

上田市文化財調査報告書第73集

西之手遺跡

株やおふく新店舗建設に係る西之手遺跡第1次発掘調査報告書

1999.3

株式会社やおふく
上田市教育委員会

西之手遺跡

株やおふく新店舗建設に係る西之手遺跡第1次発掘調査報告書

1999.3

株式会社やおふく
上田市教育委員会

序

ここ数年、上田市街地は空洞化の傾向にあり、その活性化策が様々な角度から検討・実施され、徐々にではありますが、その効果をあげております。これと相反するように、上田市街地の東方に広がる染屋台(神科台)は、上信越自動車道上田菅平ICを中心として、これまでの穀倉地帯から大規模な郊外店とともにベッドタウンとして、その姿を大きく変貌させております。

染屋台のほぼ中心部に位置する「西之手遺跡」は、昭和 57 年度から 5 カ年にわたって実施された「創置の信濃國府跡推定地確認調査」でその一部が調査され、平成 8 年度から第 1 次調査と第 2 次調査が実施されました。今回報告の第 1 次調査では、掘立柱建物群と大規模な溝で構成された古墳時代中・後期の特異な集落遺跡であることが明らかとなりました。これまで染屋台の開発は、比較的新しいと思われてきましたが、この調査の結果、少なくとも古墳時代中・後期には大規模な開発が行われていたことが実証されました。

近年、全国的に発掘調査が増加し、その結果から得られる個々の事実は、膨大な量にのぼっております。これらの事実を有機的に結びつけ、地域の皆様にわかりやすくお伝えし、活用していただくことは、行政の責務であると痛感しております。平成 11 年度から発刊が始まる「上田市誌」は、この意味において、素晴らしいものになると確信しております。

最後になりましたが、発掘調査から報告書刊行に至るまでの間、多大なる御理解と御協力を賜りました株式会社やおふくの皆様と作業員の皆様に衷心より御礼を申し上げ序といたします。

平成 11 年 3 月 31 日

上田市教育委員会教育長 我妻忠夫

例　言

- 1 本書は、長野県上田市大字古里字西之手における、㈱やおふく新店舗建設に係る西之手遺跡第1次発掘調査報告書である。
- 2 調査は、㈱やおふくから委託を受けた上田市が直當を行い、調査に要した費用の一切都是、㈱やおふくが負担した。なお、調査及び調査に係る事務は、上田市教育委員会事務局文化課(平成8年度まで社会教育課)が担当した。
- 3 現地調査は、1996年10月7日から同年12月18日・1997年3月3日から同年6月6日・1997年10月21日から同年10月27日の3回に分けて実施し、引き続き1999年3月31日まで整理・報告書作成作業を行った。
- 4 遺構の実測は、西沢和浩・清水彰・池田市郎・饗場奈那江・石合好江・斎藤かな枝・田村まり子が行った。
- 5 整理作業及び報告書作成作業は、清水の指示により、饗場・石合・田村・井沢光子・市村みつ子・大井敬子・西沢志保・丸田由紀子・山本万里・池田・井部定雄・小柳治雄・林正治が行った。
- 6 遺構写真の撮影は、西沢・清水が行った。
- 7 遺物写真の撮影は、清水が行った。
- 8 現地調査の基準点測量・メッシュ杭打・全体空中写真測量・図化を㈱こうそくに委託して実施した。
- 9 本調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。
- 10 本書の編集・刊行は上田市教育委員会事務局文化課が行った。

11 本調査の体制は次のとおりである。

(平成9年度から、機構改革により社会教育課が文化課に改称)

教 育 長 内藤 尚 (平成9年3月31日退任)

　　妻 忠夫 (平成9年4月1日着任)

教 育 次 長 荒井 鉄雄 (平成9年3月31日退任)

　　宮下 明彦 (平成9年4月1日着任)

社会教育課長 松沢征太郎 (平成9年3月31日退任)

文 化 課 長 川上 元 (平成9年4月1日着任)

文化財係長 岡田 洋一 (平成10年4月30日退任)

　　細川 修 (平成10年5月1日着任)

主 検 中沢 徳士

　　尾見 智志

　　塩崎 幸夫

主 任 久保田敦子

技 術 員 久保田 浩

主 事 西沢 和浩 (担当者)

　　山㟢 敦子 (平成10年4月1日着任)

　　清水 彰 (担当者)

　　小笠原 正

嘱 託 望月 貴弘 (平成9年4月1日着任)

　　古野 明子 (平成9年4月1日着任)

　　松野ひろみ (平成9年4月1日着任)

　　須齋千恵子 (平成10年4月1日着任)

12 調査に参加・協力していただいた方々 (順不同・敬称略)

池田 市郎 井部 定雄 内山 重利 小柳 治雄 佐野 和男

田中 正美 中島 昭吾 林 正治 東山 唯夫 東山 恒子

村田 宣子 横沢 生枝 横沢 昇 竹内 和好 竹内 勇

児玉 和衛 饗場奈那江 井沢 光子 石合 好江 市村みつ子

大井 敏子 斎藤かな枝 西沢 志保 丸田由紀子 山本 万里

凡 例

遺 構

- 1 遺構は、() 内に示す略号で表し、続く番号は任意である。
掘立柱建物跡 (S T -)・竪穴住居跡、竪穴状遺構 (S B -)・溝跡 (S D -)・
土壙 (S K -)・ピット (P -)・掘立柱建物跡のピット (P)
- 2 遺構実測図は原図 1 : 20・縮尺 1 : 3 を原則としたが、溝跡については縮尺 1 : 6
としたところもある。なお、水準値は、海拔高を示す。
- 3 遺構実測図の方位は、掘立柱建物跡・竪穴住居跡・竪穴状遺構・溝跡・土壙については図
中に示し、ピットについては真の上を国家座標による真北とした。
- 4 土層断面の観察は、主体となる土を『新版標準土色帖』(農林水産省農林水産技術会
議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修 1988 及び 1990) を用いて判別した。
- 5 S K -・P -・P の規模は、(長軸×短軸×検出面からの深さ) で示した。
- 6 海拔高の単位は、全て「m」である。
- 7 掘立柱建物跡の桁行・梁行は、長辺を桁行・短辺を梁行とした。
- 8 掘立柱建物跡の主軸方向は、国家座標の真北と桁方向とのなす角度で示した。
- 9 掘立柱建物跡の面積は、桁行×梁行で示した。
- 10 竪穴住居跡の主軸方位は、国家座標の真北と住居跡の中軸線とのなす角度で示した。
- 11 遺構写真の縮小は任意である。

遺 物

- 1 遺物実測図は、土器・土製品については、原図 1 : 1・縮尺 1 : 3 とした。なお、石
製品については、原図 1 : 1・縮尺 1 : 1 を原則としたが、縮尺 2 : 1 としたところも
ある。
- 2 土器の実測方法は、右 1 / 2 に断面・内面、左 1 / 2 に外面を記録する 4 分割法を原
則とし、必要に応じてその率を変えた。
- 3 遺物実測図中の■は赤色塗彩を示し、■は黒色処理を示す。

- 4 遺物観察表中の遺構は、掘立柱建物跡を「建物跡」・竪穴住居跡を「住居跡」と省略した。
- 5 遺物観察表中の法量は、上から口径・残高・底径あるいは裾径を示す。同表中の器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」とした。なお、色調は、遺物の内面及び外面の基本的な色調を『新版標準土色帖』(前出)を用いて判別した。
- 6 遺物写真の縮小は任意である。
- 7 遺物写真の番号は、遺物実測図の図版番号と一致する。

目 次

序
例 言
凡 例
目 次

第一章 序 説	1
第1節 調査の経過	1
第2節 調査の方法	2
第3節 調査日誌 (抄)	2
第二章 環 境	4
第1節 自然的環境	4
第2節 歴史的環境	4
第3節 創置の信濃国府跡推定地第5次確認調査	5
第4節 遺跡の基本層序	8
第三章 調査の結果	11
第1節 概 要	11
第2節 検出した遺構と出土遺物	11
第3節 遺構実測図	19
遺構観察表	88
第4節 遺物実測図	111
遺物観察表	155
第5節 小 結	188

写真図版
報告書抄録

第一章 序説

第1節 調査の経過

平成7年10月、株式会社やおふくより、上田市教育委員会事務局社会教育課（以下、「社会教育課」という。なお、平成9年度から機構改革により文化課に改称）に、国道144号線拡幅に伴い、取り壊される佛やおふく神社の移転先である上田市大字古里字西之手地区の埋蔵文化財の有無について、問い合わせがあった。

社会教育課では、遺跡分布図・埋蔵文化財分布調査報告書を確認すると、事業地は「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内であった。また、昭和61年度に実施された「創置の信濃国府跡推定地第5次確認調査」で調査されたD・E地点をも含んでいた。特に、E地点では 2×2 間庵付掘立柱建物跡等が確認されている（『創置の信濃国府跡推定地確認調査概報V』1987 上田市教育委員会）ので、事業地内に遺跡が存在することは明白であった。このため、佛やおふくと社会教育課で遺跡の保護について協議し、事業地内の遺跡の範囲を確定するために試掘調査を実施し、その結果により、保護措置を講ずることとなった。

これにより、社会教育課では、平成8年5月8・10日に試掘調査を実施した。この際、佛やおふくを通して地権者から試掘調査の承諾を得た。試掘調査の結果、古墳時代の遺構・遺物が出土し、遺跡が事業地内約 13,000 m²にわたって広がっていることが確認された。（『市内遺跡V』1997 上田市教育委員会）

この結果、佛やおふくと社会教育課で再協議が行われ、移転工事着手前にこの遺跡の発掘調査を実施し、記録保存を図ることが決定された。なお、この際の調査に要する費用の一切は、佛やおふくに負担していただいた。

これをうけて、社会教育課では、平成8年10月7日から平成9年6月6日（冬期中断を含む）にかけて現地調査を実施した。さらに、施行区域内の住居の移転が終了したため、その地点についても試掘調査を平成9年10月20日に実施したところ遺跡が確認された。（『平成9年度市内遺跡』1998 上田市教育委員会）

この部分についても、平成9年10月21日から27日にかけて現地調査を実施した。その後、整理作業を行い、平成11年3月31日までに本報告書を刊行し、全ての調査を終了した。

第2節 調査の方法

本遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内に存在するが、「創置の信濃国府跡推定地第5次確認調査」において、「西之手遺跡」として取り扱われているため、今回もそれによった。これに伴い、Ni-Shi-No-Teの「NT」を本遺跡の略記号として用いた。

調査区域の設定は、事業地内の試掘調査によって判明した遺跡の範囲とした。調査にあたっては、バックホーにより表土を除去した後、遺構検出・掘上作業を人力により行った。また、3m×3mのメッシュを設定し、遺構の測量・遺物の取り上げ等に利用した。メッシュの設定方法は、基準点0を設定し、その点から国家座標にのるように設定した。その際、東西南北にそれぞれ記号(E W S N)をあたえ、基準点からの距離を組み合わせて使用した。ここで使用した基準点0の座標値は、X=+42,480.000、Y=-20,145.000(第VII量系)である。また、調査地区が2カ所に分割されたので、西からA・B区とした。

遺構測量は、このメッシュを利用した簡易造り方法で行ったほか、全体遺構写真撮影及び図化を専門家に委託して実施した。

第3節 調査日誌(抄)

平成8年

- 10月 7日(月) バックホーによる表土剥作業(A区)開始
- 10月 18日(月) 遺構検出作業(A区)開始
- 10月 30日(水) バックホーによる表土剥作業(A区)終了
- 11月 7日(木) 遺構掘上げ作業(A区)開始
- 11月 15日(金) 基準点測量及びメッシュ杭打(A区)開始
- 12月 2日(月) 前日からの降雪により現場に約20cmの積雪
- 12月 17日(火) 航空写真撮影(A区)・第2号溝跡遺物取り上げ
- 12月 18日(水) 機材搬出 本年の現地調査終了

平成9年

- 3月 3日(月) バックホーによる表土剥作業（B区）開始
3月 6日(木) 遺構検出作業（B区）開始
3月 10日(月) 包含層（A区）掘り上げ開始
3月 18日(火) A区調査終了 基準点測量及びメッシュ杭打（B区）開始
遺構掘上げ作業（B区）開始
3月 31日(月) バックホーによる表土剥作業（B区）終了
4月 10日(木) 第27号掘立柱建物跡から白玉出土
4月 28日(月) 第5号溝跡掘上げ終了
5月 6日(火) 上田 33.5°Cを記録
6月 5日(木) 航空写真撮影（B区）
6月 6日(金) 機材搬出 現地調査終了
10月 21日(火) バックホーによる表土剥作業開始
10月 22日(水) バックホーによる表土剥作業終了 遺構検出及び堀上作業開始
10月 27日(月) 機材搬出 現地調査終了
以後、埋蔵文化財整理室において整理作業を実施し、平成11年3月31日までに
調査報告書の刊行を行い、すべての調査事業を終了した。

第二章 環境

第1節 自然的環境

染屋台条里水田跡遺跡は、千曲川の第一段丘面にあたる染屋台地に所在する。染屋台地は、上田市域の東方部に位置する。北に虚空藏山と横山丘陵をのぞみ、その麓では東西の長さ約3.5km、東は、神川に望む段丘崖が東北方からやや西南方向に約3.8km、西は、染屋段丘崖が西方から東南方向に約3kmの三側線に囲まれた三角形状の地域であり、面積は約5.76km²をはかる。東辺は神川河床から25~30m、西辺は上田市街面から15~20mの高さを持っている台地である。土質は下部が段丘疊層、上部は2~3mのローム層で第四紀洪積世に形成されたものであり、地質学的には染屋層と呼ばれている。

染屋台地は北辺部が海拔高580m、南端部は海拔高500m、比高差80mをはかり、模式的な隆起扇状地と呼ばれている。この扇状地は、神川本流及び支流の浸食を受けていない。その反面、自然流の乏水地域である。また、この台地は地下水位が低く井戸水をえられにくく、田用水は飲料水に適していないといわれている。土質は有効磷酸、マンガンに乏しく酸性の強い強粘土地帯である。

扇状地の微地形の考察では、同心円状に等高線があり、そこに凹凸のあることがわかる。その大半は平行しており、東西方向の流路となっている地点が凹地となっている。そのうち、もっとも大規模なものが新屋堰であり、扇状地の最高地を貫く大幹線となっている。また染屋堰・岩門堰も等高線を切っている。その他にも小さな凹地がいくつもあり、それらが扇状地面上に変化を与えている。しかし、染屋台のこのような変化は人工による堰の開設後に、その浸食によって生じたものと考えられている。

第2節 歴史的環境

染屋台地は、自然流がなかったことからその開発が比較的遅く、当地域からは縄文・弥生時代の遺跡および遺物の知見は比較的少ない。主として弥生時代以降のものが、台地周縁部に知られている。弥生期については発掘調査がされたことがなく、表面採集調査によっている。西方の第2段丘面には信州大学織維学部を中心とする常入遺跡群(57)が存在し、平成8年の調査により弥生時代の集落が確認されている。

古墳時代には、北縁の虚空藏山麓に新屋古墳群(45)がある。当初は、大字上野字鴻呂館

及び矢花地籍にかけて 20 数基あったと伝えられている。現在は鴻呂館地籍に 3 基、矢花地籍に「矢花の七つ塚」と呼ばれているもののうち 3 基が残存している。塙田地籍の上田市立第五中学校の敷地内にある塙田塙古墳(46)は小規模ながら横穴式石室を残している。また、岩門地籍に社宮寺古墳(51)、向田地籍の向田古墳(53)が存在するが、墳丘のあることのほか、詳しいことはわかっていない。発掘調査例としては、昭和 58 年から 5 次にわたって行われた「創置の信濃国府跡推定地確認調査」・平成 2 年の柳町遺跡(445)が挙げられるが、いずれも遺跡の密度は薄い。

奈良・平安時代になると、土師器・須恵器等の遺物が各所で表面採集されているが、発掘調査例がないため、遺跡の範囲などは明確ではない。また、この台上に信濃国府がおかれたとの説があるが、これを裏付ける調査事例はない。北方の第 3 段丘面には、信濃国分寺跡(55)がある。昭和 37 ~ 46 年にかけての発掘調査により、僧寺と尼寺が並置して確認された。現在、史跡公園として整備され、市民の憩いの場となっている。

中世以降、当地域は主として水田地帯として発展していった。平成 7 年に調査された大畑遺跡(A)では、青磁蓮弁文碗の破片と宋錢が出土している。

近年では、上信越自動車道と北陸新幹線の開通とともに、周辺地域の開発が進み、住宅地域としても活用されつつある。

なお、染屋台全域にわたって「条里遺構」が展開しているが、この形成年代等については明確にされていない。

今回、発掘調査を実施した西之手遺跡は、染屋台の中央部やや北寄りに位置している。平成 9 年度には、今回の発掘調査範囲の東側隣接地を第 2 次調査として発掘し、西之手遺跡の東側縁辺部と思われる遺構を検出している。(『西之手遺跡 II』1998 上田市教育委員会)

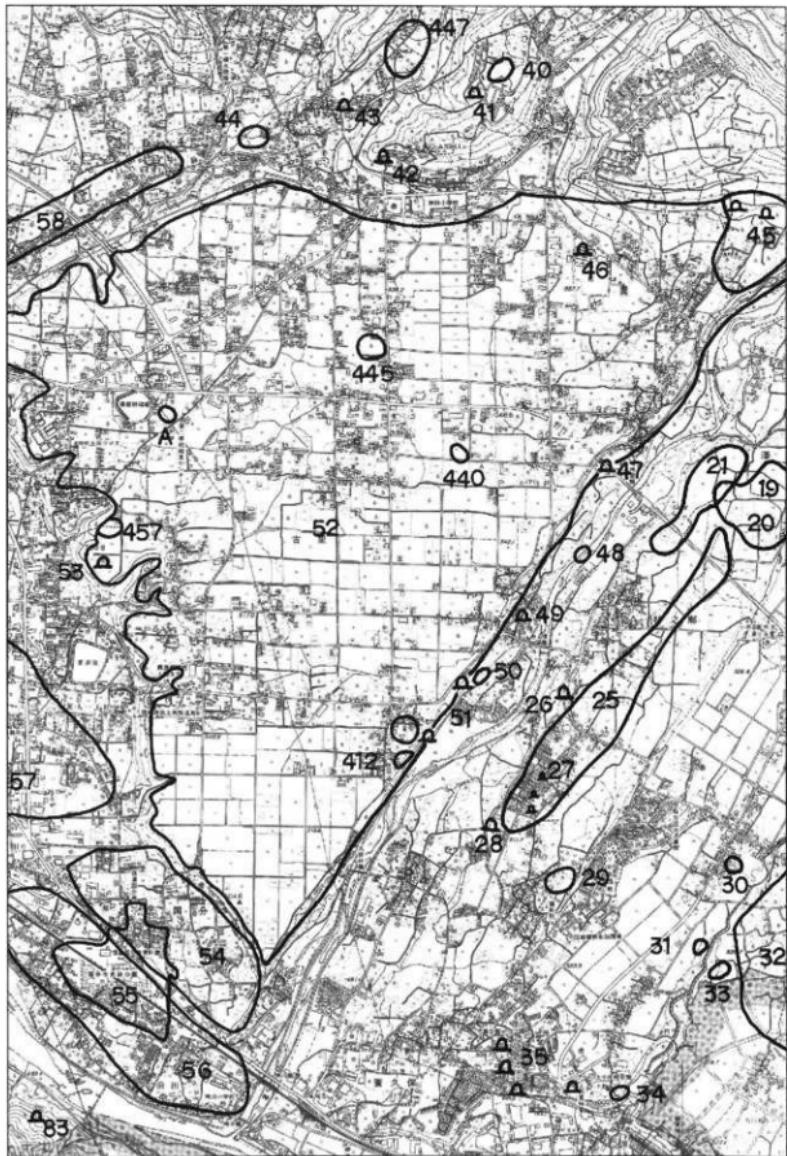
第 3 節 創置の信濃国府跡推定地第 5 次確認調査

上田市教育委員会では、昭和 57 ~ 61 年度まで「創置の信濃国府跡推定地確認調査」と称して、古里地区の各所において発掘調査を行った。今回の発掘調査範囲が、昭和 61 年度に実施した第 5 次調査の D・E 地点と重複するため、簡単に触れてみたい。詳細については、「『創置の信濃国府跡推定地確認調査概報 V』1987 上田市教育委員会」を参照していただきたい。

D 地点では、明確な遺構の検出ではなく、若干の土師器と鉄製の鋤先が出土した。

E 地点では、2 棟の掘立柱建物跡 (S B - 01・02) と 4 基のビットを確認した。

S B - 01 では、7 基のビットが検出され、桁行 4 間梁行 1 間以上の建物であることが



第1図 周辺遺跡図(1/20,000)

番号	遺跡名	時代	備考	番号	遺跡名	時代	備考
19	八千原遺跡	縄弥平	89年調査	46	塙田塚古墳	古	
20	堂下遺跡	縄~平		47	野竹塚古墳	古	
21	太田・法楽寺遺跡	古~平	95年より調査	48	篠井久保遺跡	弥~平	
25	林之郷遺跡	縄~平	88・89年調査	49	笠井塚古墳	古	
26	日ノ井古墳	古		50	掛の宮遺跡	縄~古	
27	高寺古墳群	古		51	掛の宮塚古墳	古	
28	生地場古墳	古		52	染屋台条里水田跡遺跡	弥~平	断続的に調査
29	中村Ⅱ遺跡	縄		53	向田古墳	古	
30	荒神田遺跡	平		54	国分遺跡群	弥~平	97年より調査
31	沢口上遺跡	平	87年調査	55	信濃国分寺跡	奈	国指定史跡
32	中吉田遺跡	縄弥平		56	国分寺周辺遺跡群	縄~平	94・95年調査
33	今井遺跡	平		57	常入遺跡群	縄~平	96年調査
34	いなご坂遺跡	縄		58	金井裏遺跡	縄~平	85・96年調査
35	吉田原古墳群	古		83	坂下古墳	古	
40	上野東遺跡	縄		412	岩門城跡	近	
41	陣馬塚古墳	古		440	東之手・西之手遺跡	古~平	82~86年調査
42	玄蕃塚古墳	古		445	柳町遺跡	古	90年調査
43	熱秦寺古墳	古		447	宮平遺跡	古~平	94年調査
44	熱秦寺遺跡	縄		457	染屋城跡	近	
45	七ツ塚古墳	古	市指定史跡	A	大畠遺跡	中	95年調査

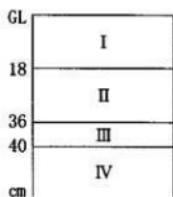
第1表 周辺遺跡名表

推定された。この建物の Pit 6 からは、古墳時代後期の土師器の甕・壺が出土した。SB - 02 は、桁行 2 間梁行 2 間廂付建物である。この建物の Pit 10 からは、土師器の甕・壺のほかに土製模造鏡が出土した。この土製鏡は、柱穴内部からの出土のため、建物の構築に際しての地鎮のための鎮壇具である可能性が指摘されている。両遺構とも古墳時代後期のものと想定されるが、今後の検討が必要とされている。

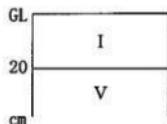
なお、下記に今回の調査と前回の調査（創置の信濃國府跡推定地第5次確認調査）との遺構の対応を示した。

前回の調査	SB - 01												SB - 02												不 明	
	Pit 1	Pit 2	Pit 3	Pit 4	Pit 5	Pit 6	Pit 7	Pit 8	Pit 9	Pit 10	Pit 11	Pit 12	Pit 13	Pit 14	Pit 15	Pit 16	Pit 17	Pit 18	Pit 19	Pit 20	Pit 21	Pit 22				
今回の調査	ST - 12												ST - 20												ST - 21	不 明
	P 5	P 4	P 3	P 2	P 1	P 6	P 18	P 9	P 8	P 7	P 6	P 10	P 11	P 5	P 1	P 2	P 3	P 4	P 1	P 2	P 1	P 2	P 1	P 2	不 明	

第4節 遺跡の基本層序



A区基本層序



B区基本層序

土層凡例 I 耕作土

IV 5Y5/1 灰色粘土

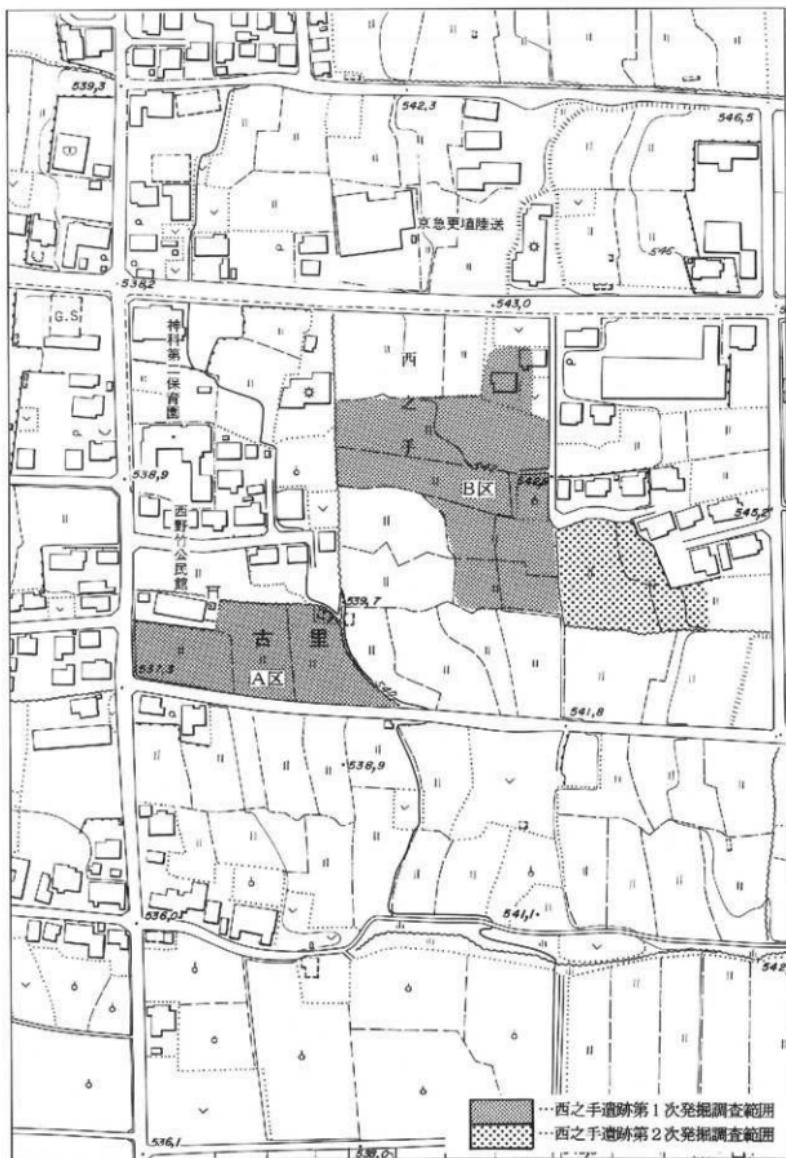
II 2.5Y6/2 灰黄色粘土

V 2.5Y3/2 黑褐色粘質土

III 2.5Y7/8 黄色粘土

西之手遺跡の基本層序は、土層図に示すとおりである。

B区からA区にかけてなだらかに傾斜しているが、いずれの地区も土砂の堆積は少ない。表土を除去すると強粘土が現われ、その中に遺構が存在する。これは、染屋台がローム層の風化した強粘土で形成されているためである。遺構検出面は、A区でG L - 40cm前後、B区でG L - 30cm前後である。



第2圖 西之手遺跡位置圖(1/2,500)

第三章 調査の結果

第1節 概要

西之手遺跡は、染屋台の中央部やや北寄りに位置しており、昭和57～61年度に実施された「創置の信濃国府跡推定地確認調査」においてその一部が調査された。特に、昭和61年度の調査で確認された2棟の掘立柱建物跡は、今回の発掘調査区域内にある。この内容については、第一章第3節において簡単に触れた。

また、今回の報告の発掘調査区域の東側隣接地を平成9年度に「西之手遺跡第2次発掘調査」として実施した結果、古墳時代後期の所産と推定される掘立柱建物跡・溝跡等の遺構が検出されている。（『西之手遺跡II』1998 上田市教育委員会）

西之手遺跡第1次発掘調査区域は、A区からB区に向かって標高が徐々にあがっていく。方位でいうと南東から北西に向かっており、その比高差は海拔高537.3～542.0m間の4.7mをはかる。

検出された遺構は、竪穴住居跡1軒・掘立柱建物跡38棟・溝跡9条・土壙8基・ビット229基である。うち、A区の遺構は、竪穴住居跡1軒・溝跡3条・土壙2基・ビット34基であり、B区の遺構は、掘立柱建物跡38棟・溝跡6条・土壙6基・ビット195基である。

遺物は、溝跡を中心に古墳時代中・後期の土師器・須恵器が出土している。

第2節 検出された遺構と出土遺物

1 掘立柱建物跡

今回の調査の結果、38棟の掘立柱建物跡が検出され、調査区域内の主要な部分を占めている。出土遺物量は微少で、図示できたものは古墳時代後期と推定される壺・甕・壇の7個体（第79図）であった。詳細なデータは、実測図・観察表を参照していただくこととし、ここでは、特徴的な建物跡・遺物について述べた後、概観してみたい。

特徴的な建物跡として、第12・20・25・27・34号をあげる。

第12号（第17図）は、桁行4間×梁行4間の大型の建物跡である。この建物跡内部には、4基のビットが確認された。このビットを東柱として考えると、全体あるいは部分的に床が存在した可能性が大きい。

第20号（第25図）は、前回調査時点では、調査範囲の制約上規模の確定ができなか

遺構名	規模	桁行(m)	桁間	桁間(m)	梁行(m)	梁間	梁間(m)	面積(m ²)	主軸方向	*
第1号	5×4	1.40	5	7.00	1.60	4	6.40	44.80	N-39°-W	N-51°-E
第2号	2×1	1.82	2	3.64	2.64	1	2.64	9.51	N-50°-W	N-40°-E
第3号	2×1	1.68	2	3.35	3.40	1	3.40	11.39	N-54°-W	N-36°-E
第4号	2×1	1.80	2	3.60	3.10	1	3.10	11.16	N-37°-W	N-53°-E
第5号	2×2	2.54	2	5.07	1.63	2	3.26	16.53	N-13°-E	N-13°-E
第6号	3×3	1.74	3	5.24	1.45	3	4.36	22.85	N-84°-W	N-6°-E
第7号	3×1	1.83	3	5.48	4.00	1	4.00	21.92	N-3°-E	N-3°-E
第8号	3×1	1.70	3	5.11	3.90	1	3.90	19.93	N-3°-E	N-3°-E
第9号	3×1	1.47	3	4.40	3.75	1	3.75	16.50	N-3°-E	N-3°-E
第10号	2×2	1.64	2	3.28	1.62	2	3.23	10.59	N-58°-E	N-58°-E
第11号	2×1	1.60	2	3.20	3.15	1	3.15	10.08	N-83°-W	N-7°-E
第12号	4×4	1.88	4	7.50	1.75	4	7.00	52.50	N-3°-W	N-87°-E
第13号	4×3	1.60	4	6.40	1.90	3	5.70	36.48	N-3°-W	N-87°-E
第14号	2×1	2.05	2	4.10	3.40	1	3.40	13.94	N-56°-W	N-34°-E
第15号	2×1	2.03	2	4.06	3.68	1	3.68	14.94	N-21°-E	N-21°-E
第16号	1×1	3.14	1	3.14	2.60	1	2.60	8.16	N-68°-W	N-22°-E
第17号	2×1	1.87	2	3.73	3.10	1	3.10	11.56	N-23°-E	N-23°-E
第18号	4×4	1.60	4	6.40	1.50	4	6.00	38.40	N-8°-W	N-82°-E
第19号	3×2	1.58	3	4.75	1.95	2	3.90	18.53	N-20°-E	N-20°-E
第20号	3×2	1.64	3	4.93	1.94	2	3.87	19.08	N-84°-E	N-84°-E
第21号	1×1	3.05	1	3.05	1.80	1	1.80	5.49	N-10°-E	N-10°-E
第22号	2×1	1.80	2	3.60	3.10	1	3.10	11.16	N-82°-E	N-82°-E
第23号	2×2	1.14	2	2.27	1.80	2	3.60	8.17	N-75°-W	N-15°-E
第24号	2×1	1.57	2	3.15	3.04	1	3.04	9.58	N-16°-W	N-74°-E
第25号	4×3	1.25	4	4.98	1.48	3	4.44	22.11	N-25°-W	N-65°-E
第26号	2×3	1.95	2	3.90	1.30	3	3.90	15.21	N-76°-W	N-14°-E
第27号		1.65	5	8.24	2.00				N-30°-E	N-30°-E
第28号	3×3	1.66	3	5.00	1.53	3	4.60	23.00	N-10°-W	N-80°-E
第29号	3×3	1.87	3	5.60	1.37	3	4.10	22.96	N-85°-W	N-5°-E
第30号	2×1	1.45	2	2.89	2.66	1	2.66	7.69	N-82°-E	N-82°-E
第31号	3×1	1.23	3	3.70	3.00	1	3.00	11.10	N-30°-W	N-60°-E
第32号		1.60			1.50	2	3.00		N-82°-E	N-82°-E
第33号		1.67			1.45				N-64°-E	N-64°-E
第34号	2×2	1.79	2	3.57	1.72	2	3.44	12.28	N-23°-W	N-67°-E
第35号	2×1	2.66	2	5.32	4.05	1	4.05	21.55	N-63°-E	N-63°-E
第36号	2×1	1.85	2	3.70	3.09	1	3.09	11.43	N-45°-E	N-45°-E
第37号		1.50			3.80	1	3.80		N-42°-E	N-42°-E
第38号	1×1	2.86	1	2.86	2.80	1	2.80	8.01	N-72°-E	N-72°-E

第2表 堀立柱建物跡の値

ったが、今回の調査により 3間×2間の入側柱式の建物であることが判明した。入側柱式の建物跡は第 20号のみであり、第 12号と同様に部分的に床が存在した可能性が大きい。遺物としては、前回調査時に P7 から土製模造鏡（第 127 図-6）が出土している。この模造鏡が、地鎮のための鎮壇具である可能性が指摘されていることについては、前述のとおりである。

第 25号（第 30 図）は、桁行 4間×梁行 3間の側柱式の建物跡である。この建物跡の南辺では、柱穴が一直線上に並ばず、P13・14が外側に張り出している。これは、北辺と南辺の比高差が 1.2 cm をはかるという地形の制約のためとも考えられる。しかし、第 18号においては、比高差が 2.4 cm をはかっているにもかかわらず、柱穴が一直線上にならんでいるので、地形上の制約を受けている可能性は薄く、何らかの特定の機能があつたと考えられる。また、P7・8は、P5・1に対応する控柱のような印象を受ける。だが、他の建物跡には、控柱の痕跡が確認できなかったため、この建物跡は、入側柱式的な要素を持つ可能性が強い。

第 27号（第 32 図）は、西側が調査区域外になってしまったため、規模の確定はできないが、5間×3間以上の大型の建物跡である。確認できた一辺も 8.24 m をはかり、今回の区域内で最長である。柱穴の平面形態は、他の建物跡はほとんどが円形であるのに対して、P7 を除いて梢円形を呈し、柱自体の掘り方も明確である。P6 からは、臼玉（第 128 図-1・2）が 2個出土した。

第 34号（第 39 図）は、桁行 2間×梁行 2間の側柱式の建物跡である。遺物として P3・7 からそれぞれ完形の小型甕・壺（第 79 図-6・7）が出土した。いずれも古墳時代後期の所産と推定される。遺物が完形で出土しているということは、この建物の廃絶時に埋められた可能性が非常に高い。この建物跡において、P3は北隅・P7は南隅に位置し、2基の柱穴が対角線上に存在することを考え合わせると興味深い。

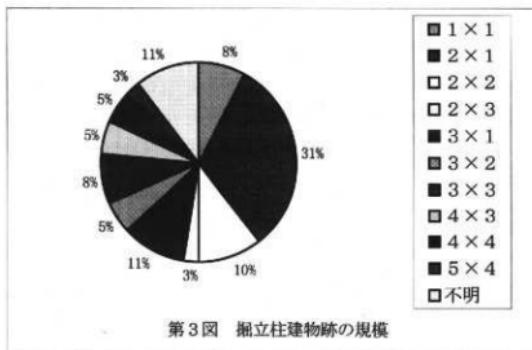
さて、建物跡の概観であるが、規模・柱間の寸法・切り合い関係・主軸方向の 4点について

規 模	遺構名	計
1 × 1	第 16・21・38号	3
2 × 1	第 2・3・4・11・14・15・17・22・24・30・35・36号	12
2 × 2	第 5・10・23・34号	5
2 × 3	第 26号	1
3 × 1	第 7・8・9・31号	4
3 × 2	第 19・20号	1
3 × 3	第 6・28・29号	3
4 × 3	第 13・25号	2
4 × 4	第 12・18号	2
5 × 4	第 1号	1
不 明	第 27・32・33・37号	4

第 3表 掘立柱建物跡の規模

て分析してみたい。

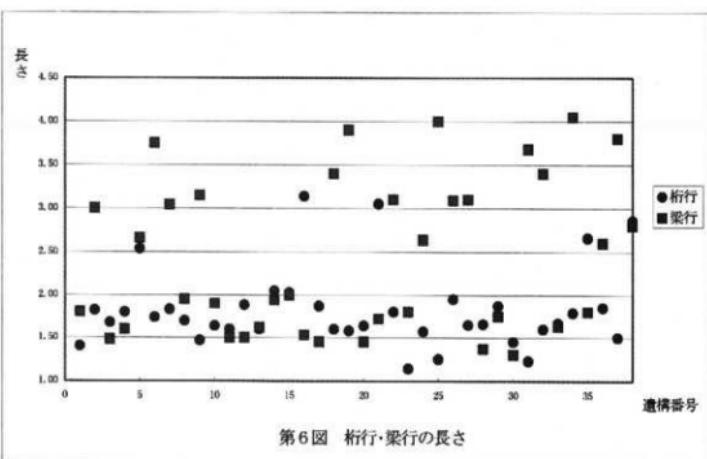
まず、規模については、第 3 表・第 3 図に示すとおりである。これらからわかることは、2間×2間以下の小規模の建物跡が全体の半分を占めるということである。特に、2間×1間の建物跡は全体の 1/3 を占める。また、2間×3間以上の建物跡の割合は、それぞれ 10% 内外



である。これは、2間×2間以下の小規模の建物跡が今回の発掘調査区域内で最も使用されていたことになる。一般的に掘立柱建物跡は、遺物等が少ないため、その用途を特定することは難しい。今回についても同様である。

るが、一般の堅穴住居跡とは、違いがあるということだけは確かである。

柱間の寸法は、桁行・梁行それぞれ1間の長さの散らばりを第4図に示した。



桁行は、ほぼ1.50～2.00mに集中していることがわかる。さらに、この範囲中でいうと1.60m付近と1.80m付近に集中するといえないこともない。梁行になると、そのばらつきは、さらに顕著になり1.50～2.00m、3.00～4.00mの範囲にピークがきている。また、11・13～15・33・38号は、桁行・梁行の長さはほぼ一致している。これらから、1間の長さの基準が1.50～2.00mの範囲にあるのではないかと推定される。

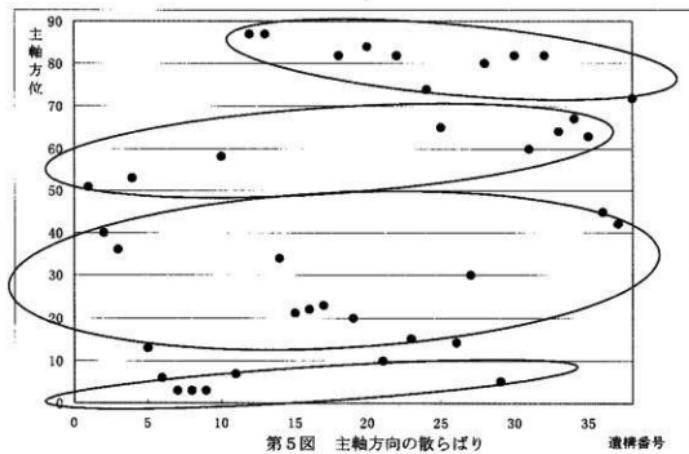
切り合い関係は、建物跡同士では第1号と第2号、第13号と第15号、第21号と第

	新	旧
S T - 22	S T - 21	
S T - 23	S T - 24	
S T - 18	S D - 08	
S D - 04	S T - 27	
S D - 04	S T - 37	

第4表 切り合いの新旧関係

少なく妥当性を欠く可能性が大きいので取り扱わない。

主軸方向は、国家座標の北と平行方向のなす角度であらわしているので比較しにくいた



め、ここでは北から東に傾いているものはそのまま使用し、西に傾いているものは 90° 加算したものを使用した。これらをまとめたものを第2表の*欄及び第5図に示した。第5図によると主軸方向は、まんべんなく分散している。そのなかで主軸方向が集中する箇所を中心にして4群に分類してみたい。4群の内訳は、N-3~10°-EをI群(第6~9・11・21・29号)、N-13~45°-EをII群(第2・3・5・14~17・19・23・26・27・36・37号)、N-51~67°-EをIII群(第1・4・10・25・31・33~35号)、N-72~87°-EをIV群(第12・13・18・20・22・24・28・30・32・38号)とした。各群の特徴は次に示すとおりである。

I群は、第6~9号が主要な構成要素である。第7~9号については、同規模の建物跡が同一の主軸方向で北から南に並び、その北側に第6号が配置されている。このため、関連した遺構と考えられ、注目される。II群は、主に第5号溝跡の南側にそって配置されて

いる。III群は、第12・13・18号が主要な構成要素である。いずれも4間×3間以上の建物跡であり、その機能は、注目される。IV群は、調査区全体に散在しているため、その規格性は薄い。

さて、各群の時期であるが、遺物が非常に少ないので、遺構の切り合い関係に限定して検討してみたい。第4表の第21号と第22号、第23号と第24号からそれぞれI群よりII群が新しく、II群よりIII群が新しい。このため、I群が最も古くII群、III群と新しくなると考えられる。IV群の時期については、不明である。

なお、各群の角度の範囲は、 7° ～ 32° とばらつきがあるため、今後の調査の進展により更に精密な分類が期待される。

以上、掘立柱建物跡について簡単に概観した。

2 堅穴住居跡

第1号堅穴住居跡（第44図）は、南側1/4が搅乱を受けているため平面形態は不明であるが、北側部分と考え合わせると隅丸長方形と思われる。火處は確認できなかった。

遺物（第81図）は、床付近と遺構検出面付近の2ヵ所から主に出土し、前者より弥生時代後期から古墳時代初頭の所産と思われる甕・台付甕・瓶・高坏等が、後者より古墳時代後期の所産と思われる甕・坏・高坏等が出土した。

本住居跡の所産期は、床付近からの遺物からみて弥生時代後期から古墳時代初頭と考えられ、他の時代の遺物は他所からの流れ込みと推定される。

第2号堅穴状遺構（第45図）は、調査開始当初は堅穴住居跡として考えていた。しかし、遺構を掘り上げた結果、床面が確認できず、平面プランも一定しないため、堅穴住居跡としての可能性は薄いと判断し、堅穴状遺構として報告した。

遺物は、土師器の小破片が十数点出土している。

3 溝跡

今回の調査により、溝跡は9条確認された。このうち、第7～9号については遺構全体を調査できたが、その他については一部の確認にとどまった。

第1・3・4号（第46・47・52図）は、遺構の一部のみの調査であるため、その性格付けは難しい。遺物としては、第1・4号（第82・102図）についてのみ図示できた。いずれも古墳時代後期の所産と推定される。なお、第1号から管玉2点、石製模造品1点（第128図3・4・6）が出土した。

第7～9号（第58・53・77図）は、いずれも自然遺構と思われる。第7・8号の存在する場所は、小規模な段丘の裾にあたり、降水があったときに機能したと考えられる。遺物（第121・122図）は、いずれも古墳時代後期の所産と推定される。

第2号（第48～51図）は、A区西部を北東から南西へ横切っており、約27mの長さにわたって検出された。最大幅4.80m、溝底の比高差は海拔高537.00～536.47m間の0.53m、その深さは北半で64cm、南半で44cmをはかる。そのプランは一定せず、南東にいくにしたがって幅は狭くなる。溝底には大小の円礫が存在し、覆土の観察所見とあわせると、本遺構の機能時には水流があったことが推定される。遺物（第83～101図）は、壺・甕を中心として他に高坏・埴・礎等が出土した。その所産期は、古墳時代中期が中心と考えられる。なお、第48図中に示した三十数点の一括土器は、覆土の4層下部より出土し、それと同じ高さで大小の円礫を多数確認した。また大部分の土器が4層を中心に出土した。

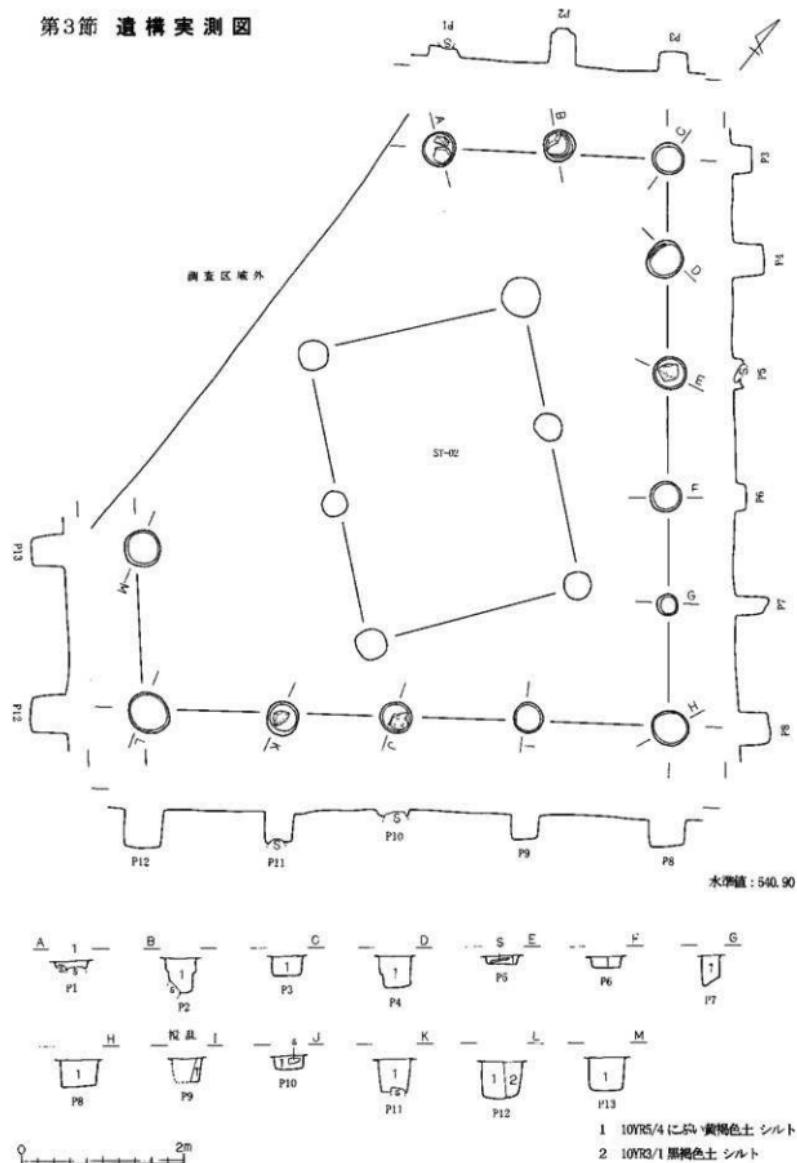
第5号（第54～56図）は、B区北部を東から西へ横切っており、約70mの長さにわたって検出された。最大幅7.20m、溝底の比高差は海拔高541.25～540.67m間の0.58m、その深さは西半で52cm、東半で44cmをはかる。覆土の観察所見から考えると、本遺構の機能時には水流があり、その流れも何度も変更している。この変更の要因は、プランが一定しないため、自然的要因である可能性が高い。溝底には、東から約25mにわたって大小の円礫が多数確認されたが、そこから西側については、ほとんど礫は確認されなかった。遺物（第103～117図）は、壺・甕を中心と高坏・埴等が多数出土した。その所産期は古墳時代後期前半が中心と考えられる。また、匙形土製品2点（第127図-1・2）・管玉1点（第128図-5）が出土した。遺物の大部分は、溝底に礫のないところからの出土であり、そのほとんどが破片としての出土であった。出土した壺の中に、体部に稜を持つもの（第105図-46～57）があるため、本遺構の機能は第2号に比べると新しい時期まで残ると推定される。なお、西之手跡第2次調査で検出した第1号溝跡と本遺構が接続する可能性が想定される。

第6号（第57図）は、B区西部を北から南へ横切っており、約36mの長さにわたって検出された。最大幅1.96m、溝底の比高差は海拔高540.80～540.14m間の0.66m、その深さは北半で9cm、南半で29cmをはかる。そのプランは、北西部でクランク状を呈する場所が1ヶ所存在し、中央部で南北方向と南北方向の2又に別れる。南北方向へ向かうものは南端で消滅してしまうため、南北方向へ向かうものが本流と推定される。溝底には、円礫が數ヶ所に確認された。水流は、北端に水源となるものが皆無のため、降水のあったときにのみ存在したと考えられる。本遺構は、自然的要因ではできにくいクランク状を呈する箇所があるため、人為的に作られた可能性が強い。位置的関係から考えると2号と接続する可能性も考えられる。遺物（第118～120図）は、古墳時代中・後期の所産と思われる壺・甕等が出土した。

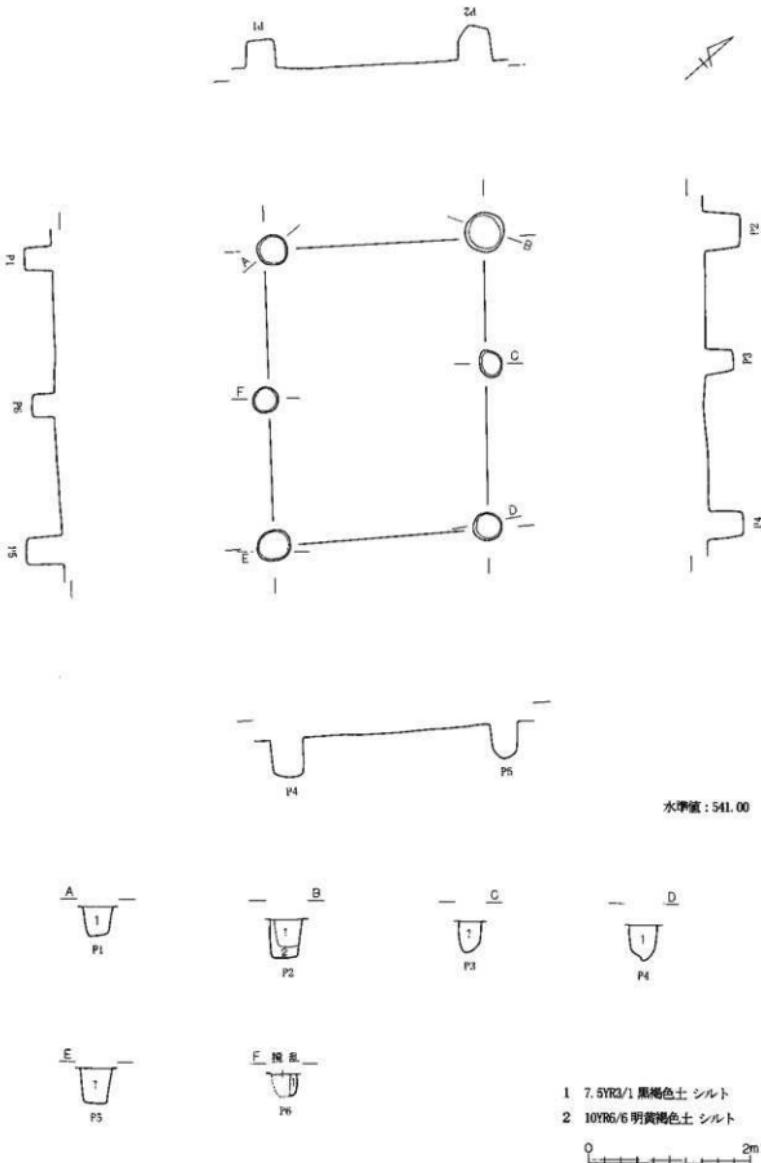
4 土壙

第1～8号（第59図）は、規模・配置とも規格性が薄く、遺構の性格は不明である。遺物は、土師器・須恵器の小破片が大部分であり、第7号から出土した坏（第123図）のみ図示した。

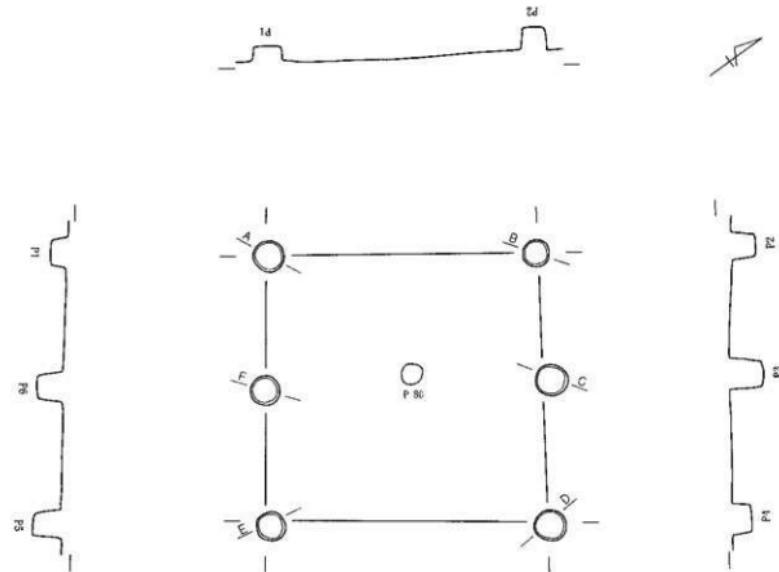
第3節 遺構実測図



第6図 第1号掘立柱建物跡実測図



第7図 第2号掘立柱建物跡実測図



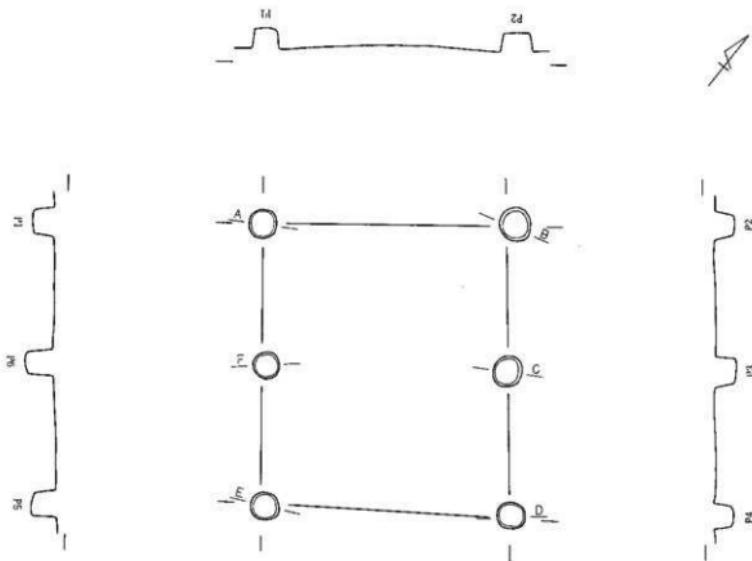
水准值 : 541.00



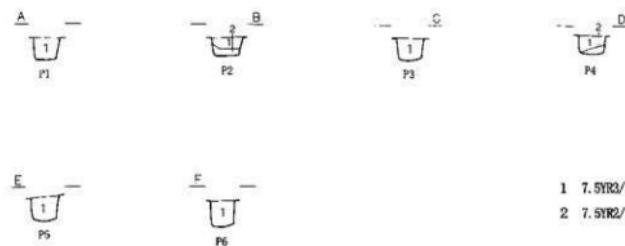
- 1 7.5M3/1 黑褐色粘质土
- 2 7.5M2/1 黑色粘土



第8图 第3号据立柱建物跡実測図



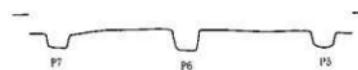
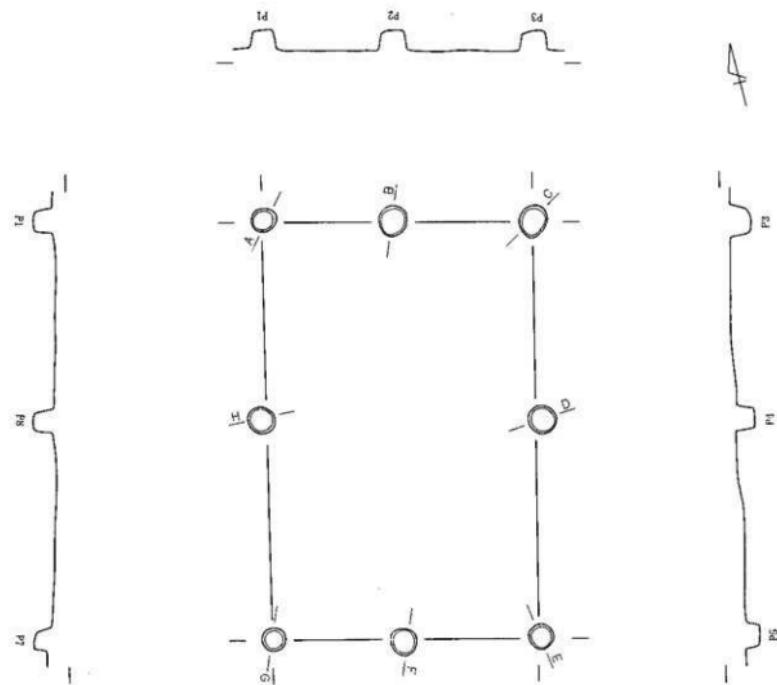
水准值 : 541.00



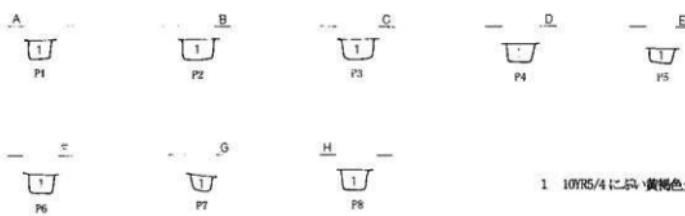
- 1 7.5YR3/1 黑褐色粘质土
2 7.5YR2/1 黑色粘土

0 2m

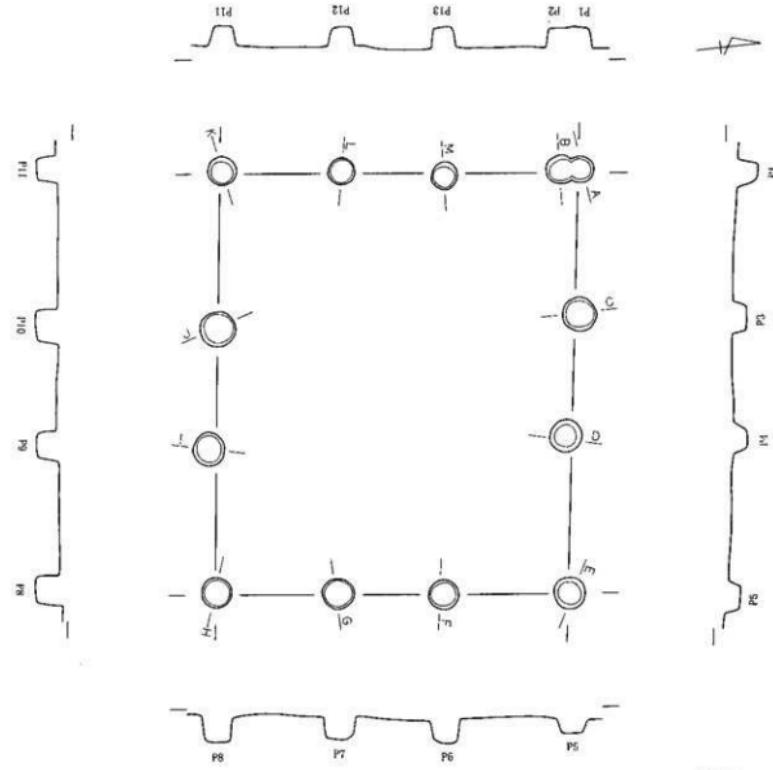
第9図 第4号据立柱建物跡実測図



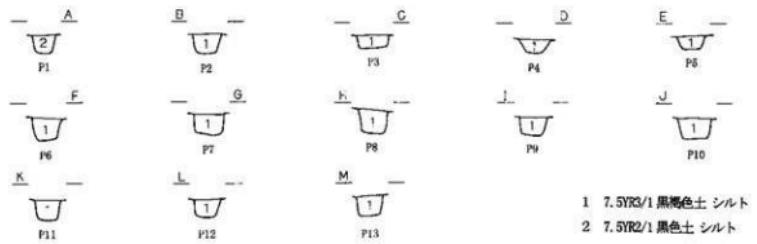
水準値 : 540.90



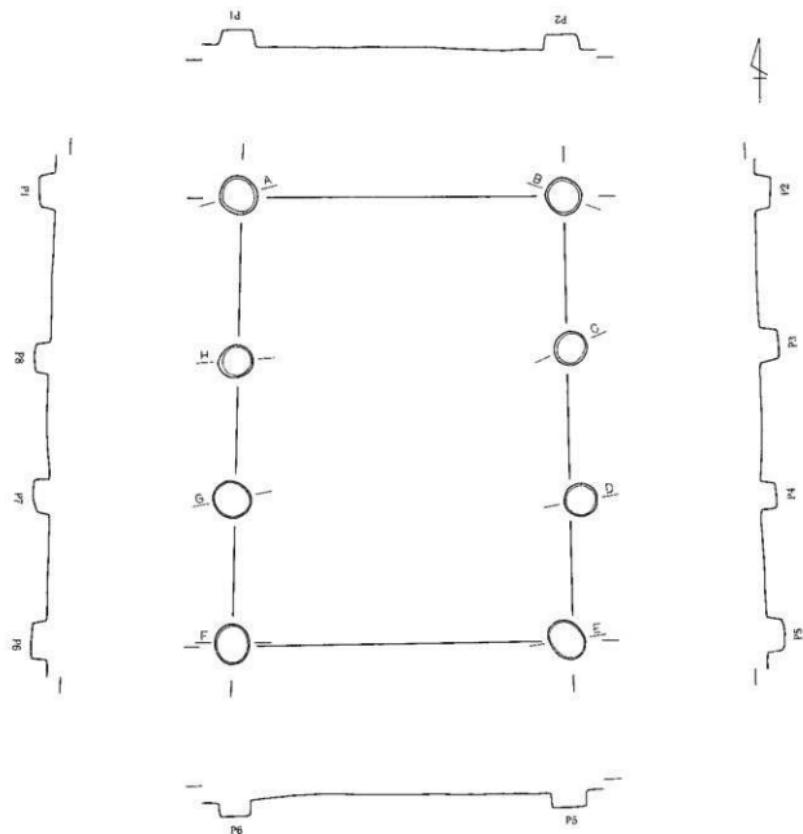
第10図 第5号掘立柱建物跡実測図



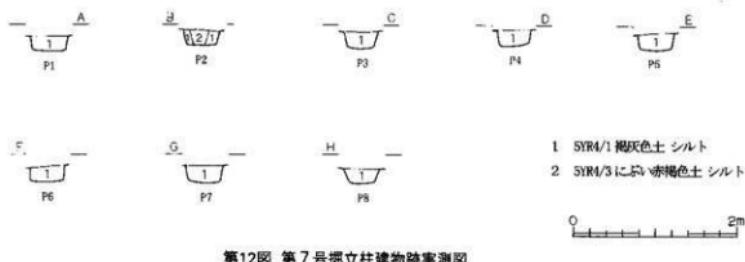
水準値: 541.10



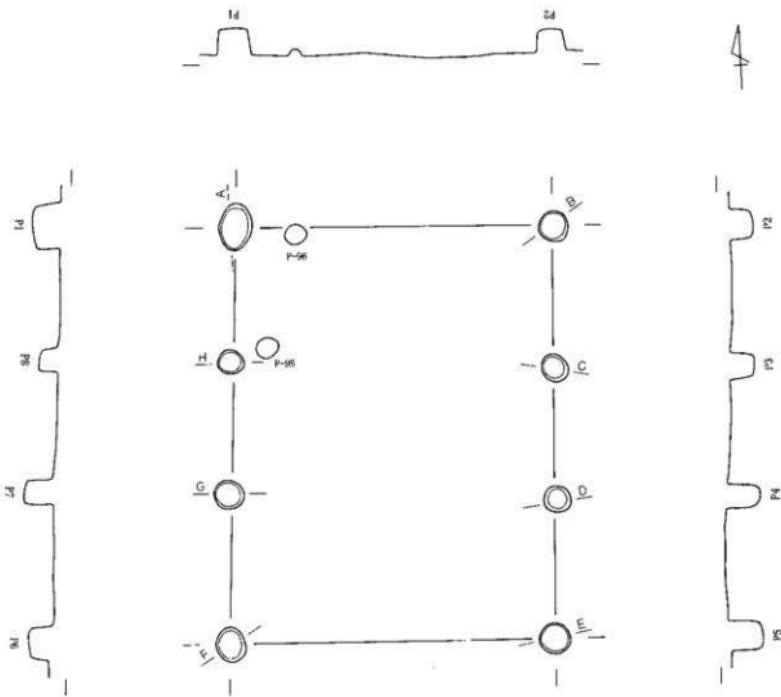
第11図 第6号掘立柱建物跡実測図



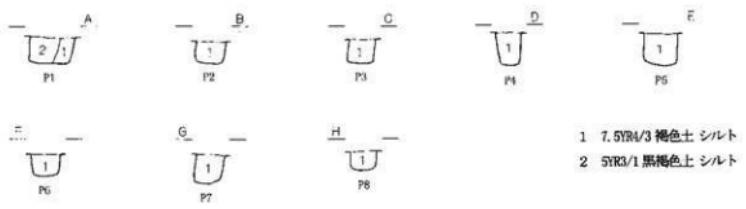
水準値 : 541.00



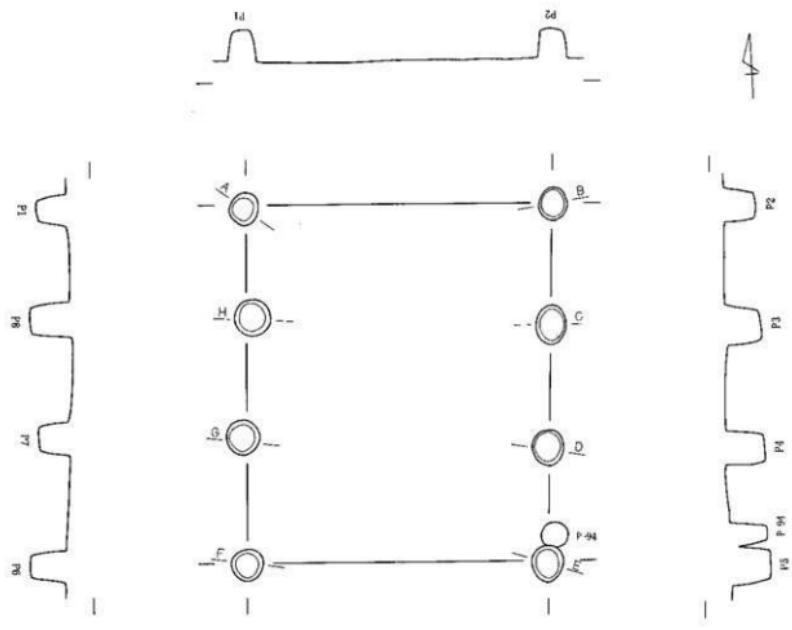
第12図 第7号掘立柱建物跡実測図



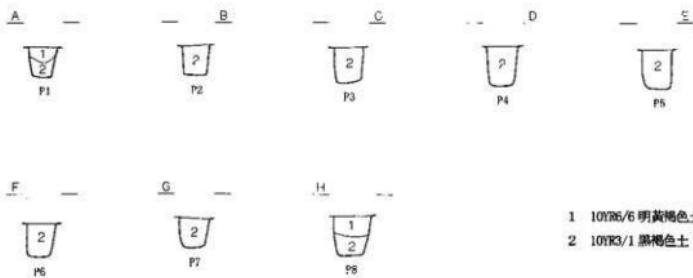
水準値 : 541.00



第13図 第8号据立柱建物跡実測図



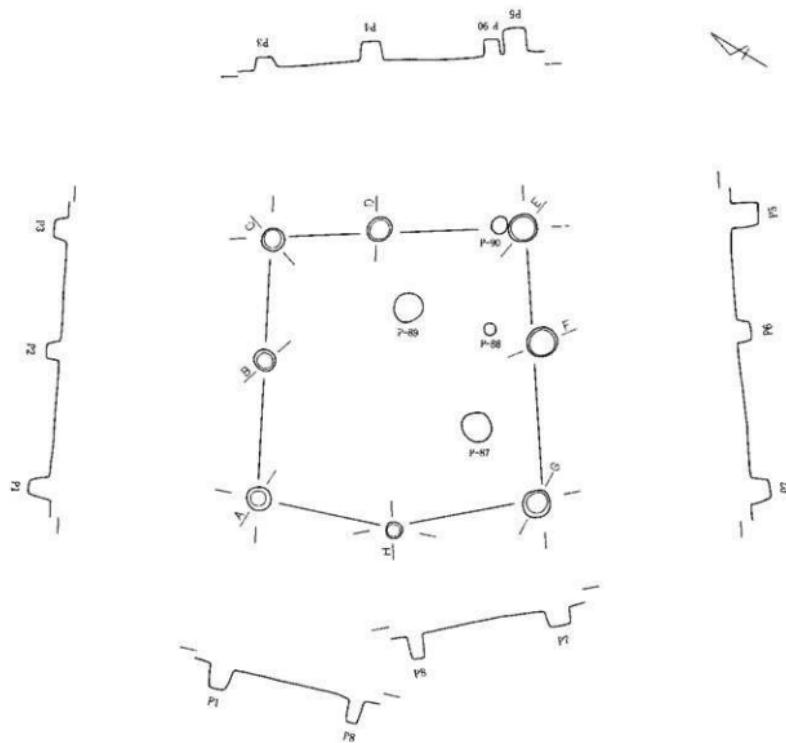
水平標: 541.00



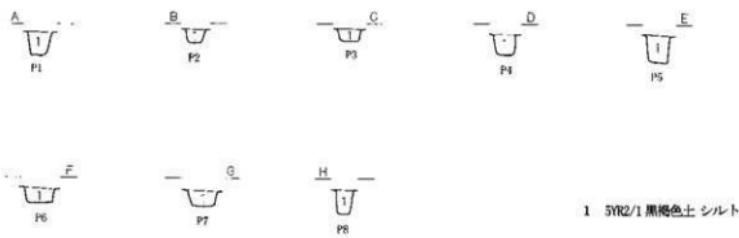
1 10YR6/6 明黄色土 シルト
2 10YR3/1 黒褐色土 シルト

0 2m

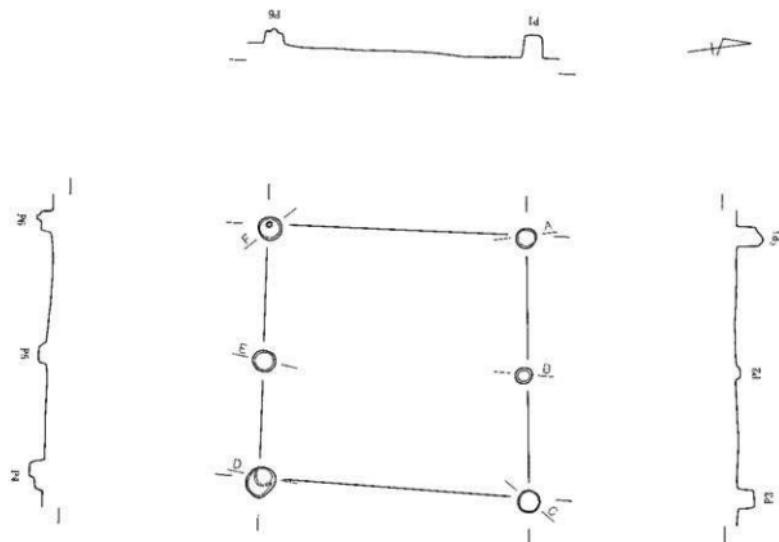
第14図 第9号掘立柱建物跡実測図

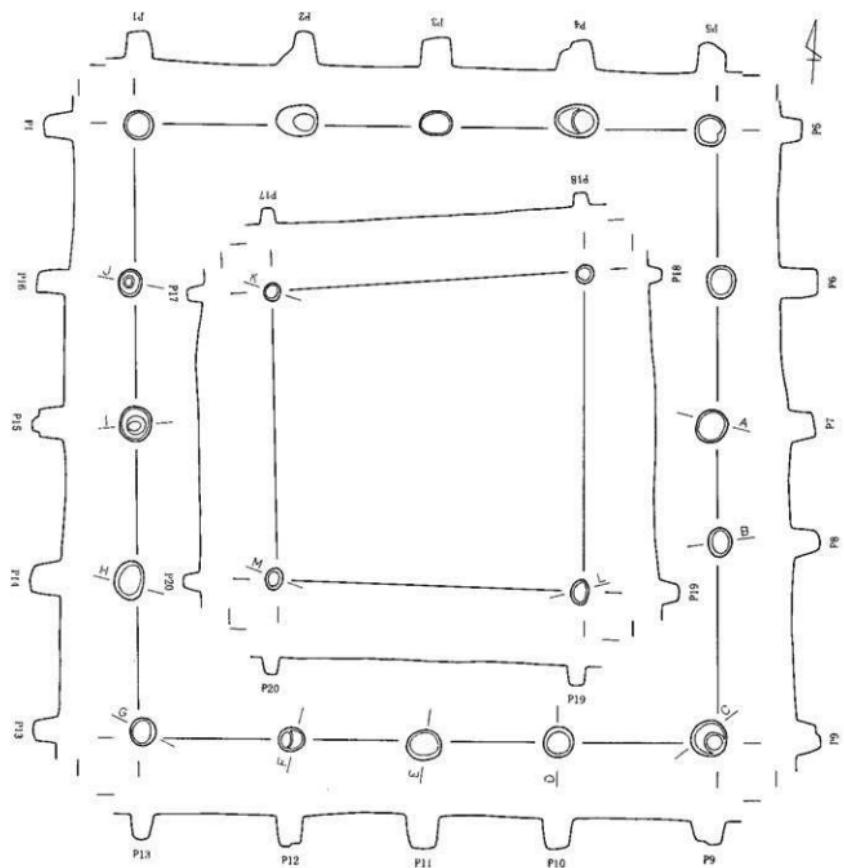


水準値：540, 70

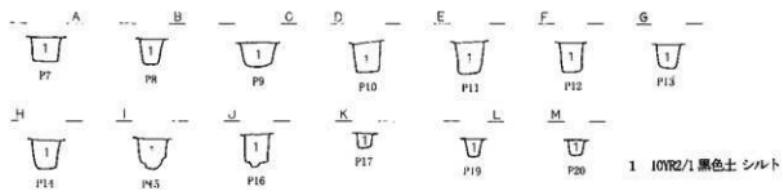


第15図 第10号掘立柱建物跡害測図



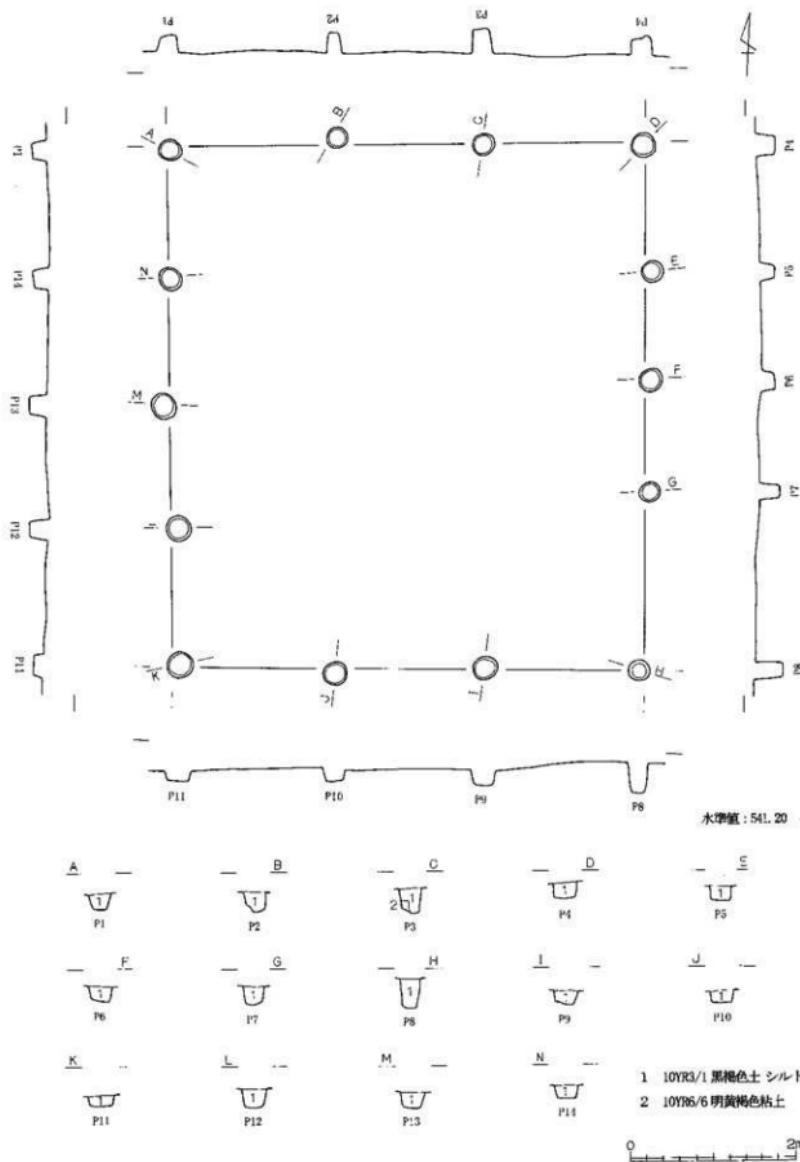


水準値：541.00

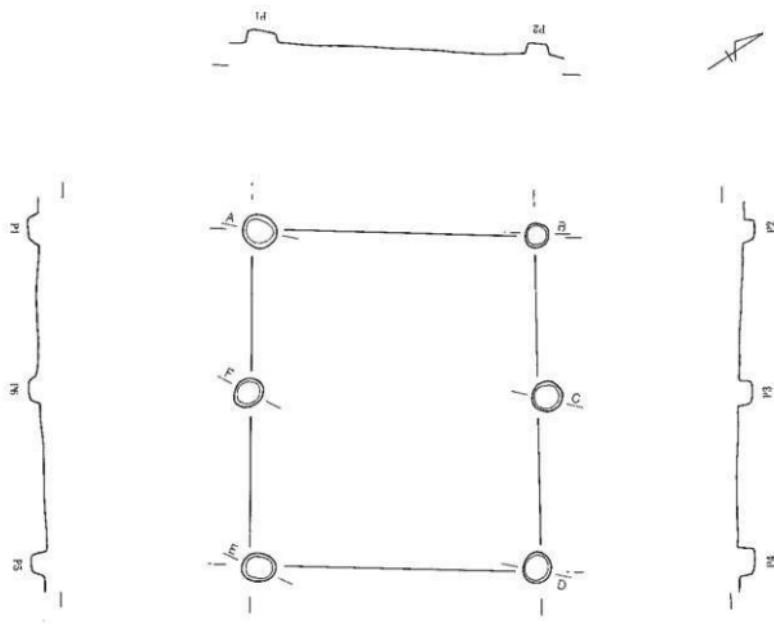


2m

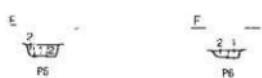
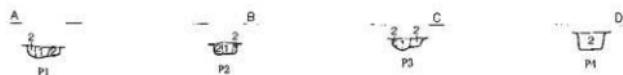
第17図 第12号掘立柱建物跡実測図



第18図 第13号掘立柱建物跡実測図



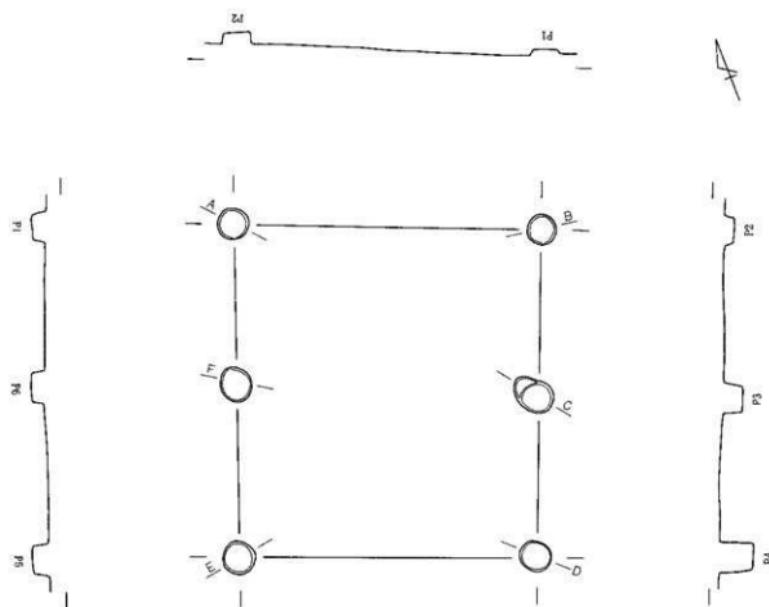
水準値: 541.30



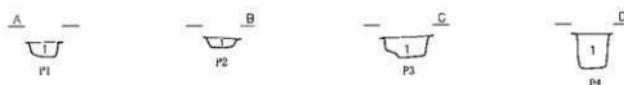
- 1 7.SYR2/1 黒色土 シルト
2 7.SYR3/1 黑褐色土 シルト



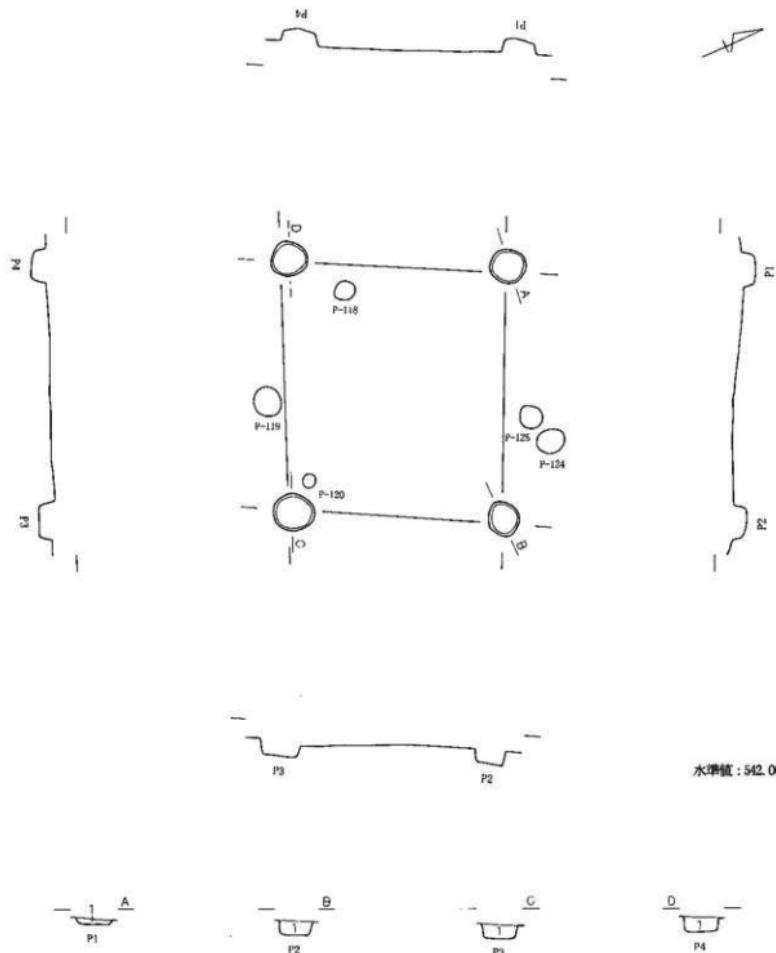
第19図 第14号据立柱建物跡実測図



水準値 : 541.20



第20図 第15号掘立柱建物跡実測図

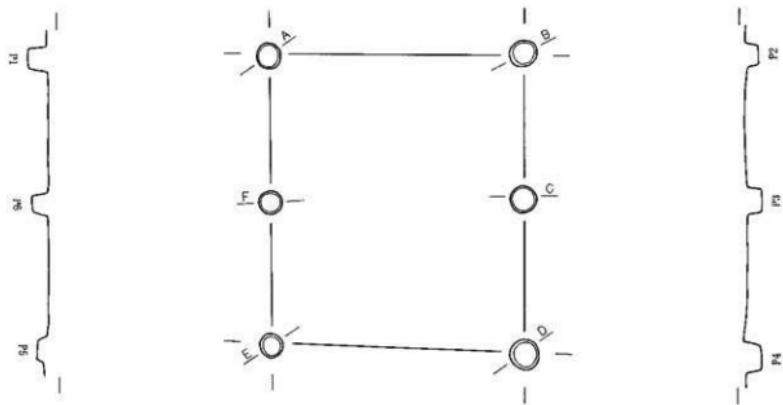


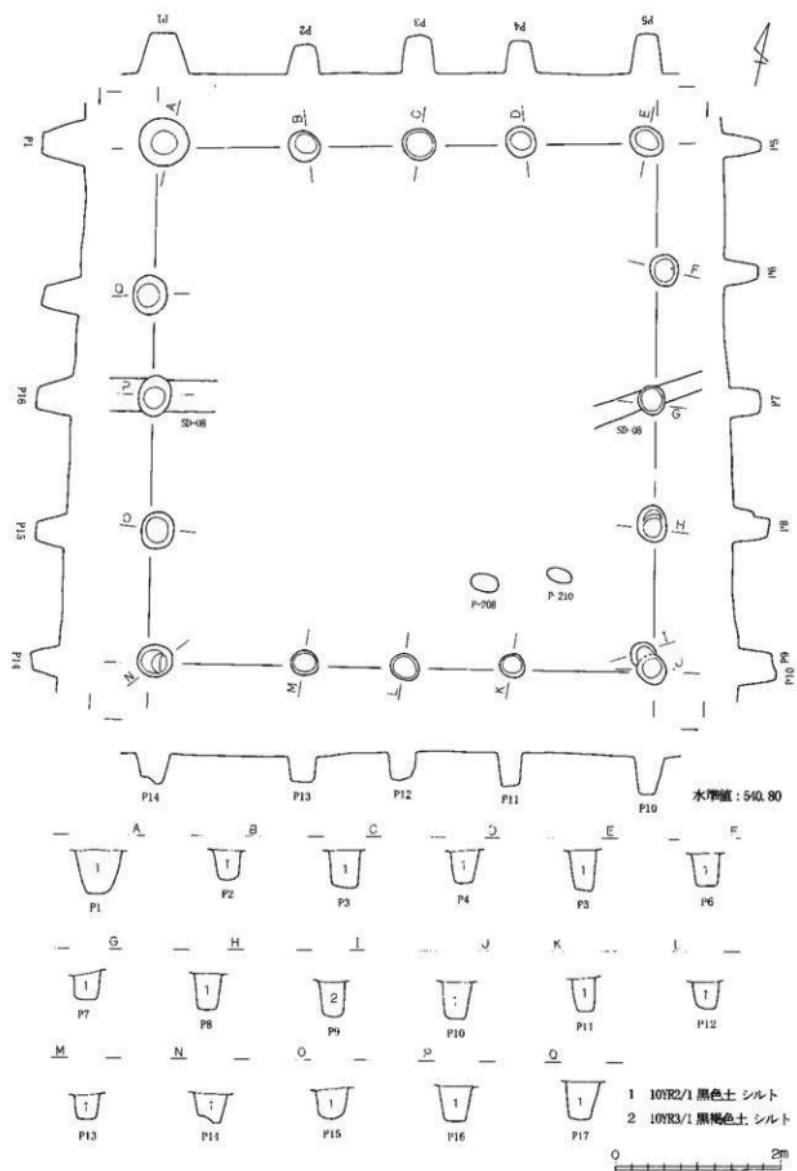
1 SW4/2灰褐色土 シルト

第21図 第16号掘立柱建物跡実測図

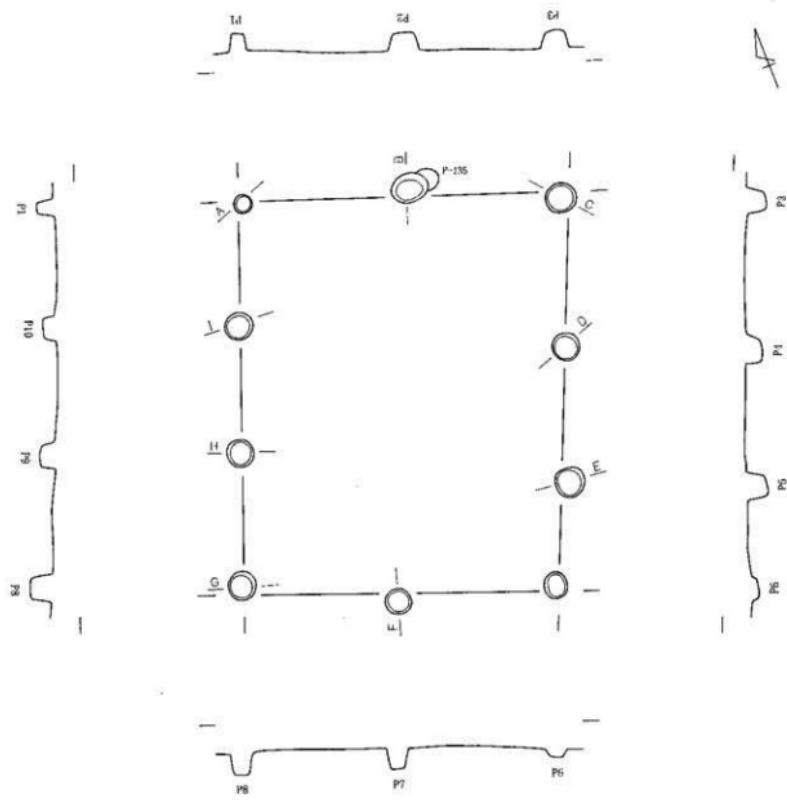


△

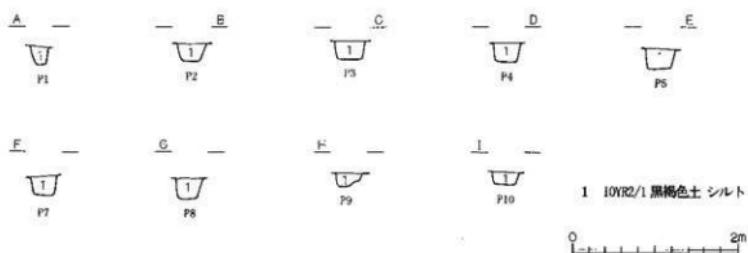




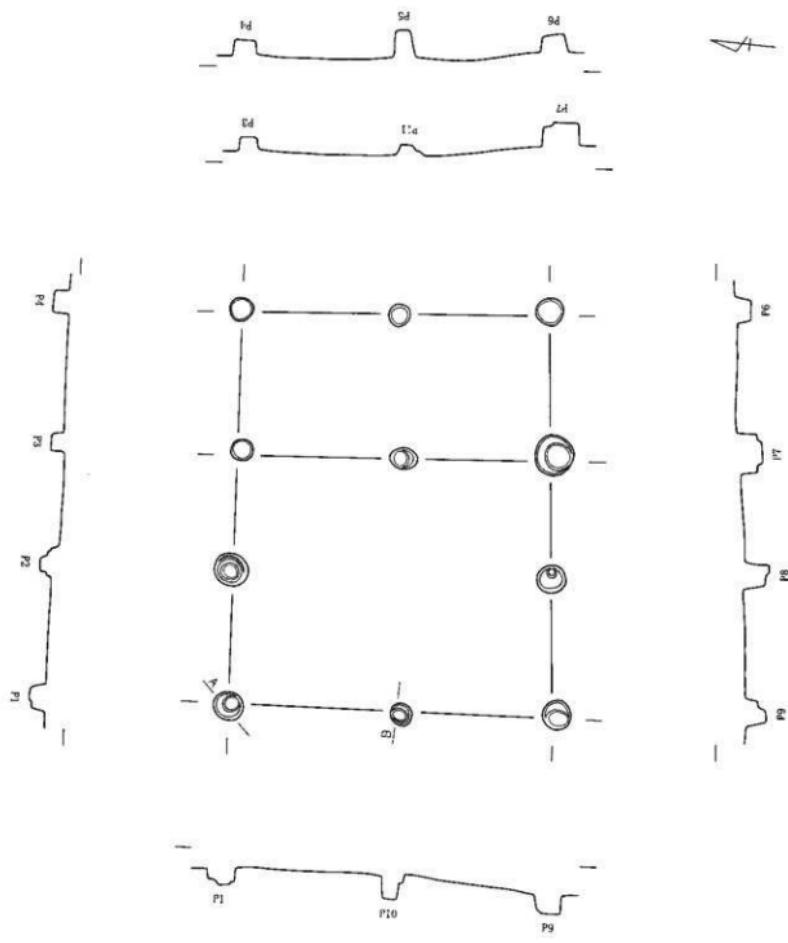
第23図 第18号掘立柱建物跡実測図



水準値 : 541.60



第24図 第19号掘立柱建物跡実測図

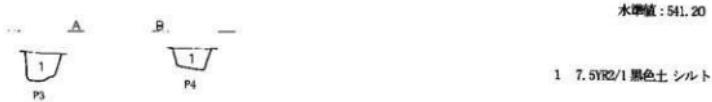
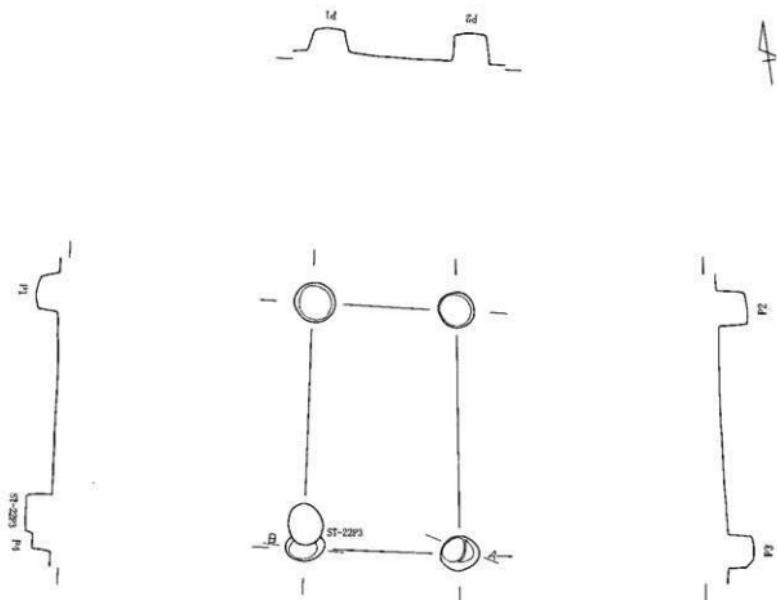


水準値: 541.20

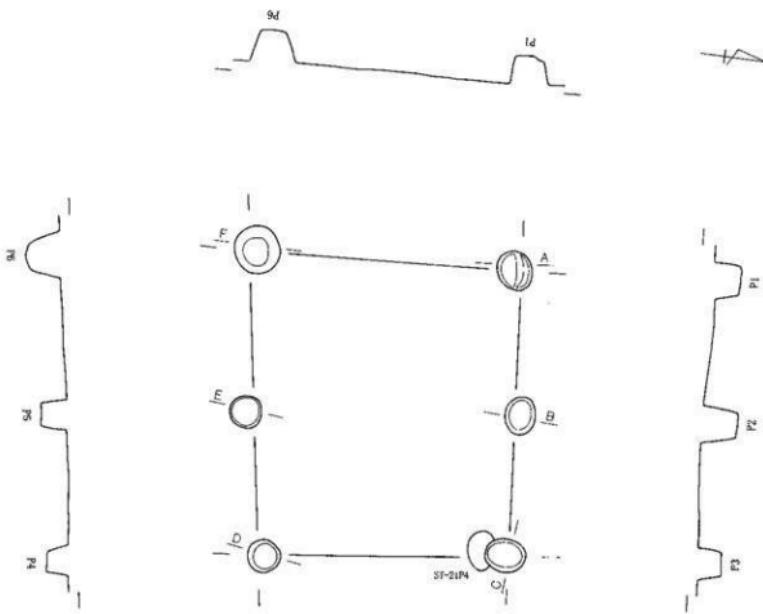


- 1 7.5YR2/1 黒色土 シルト
2 7.5YR4/4 梅色土 シルト

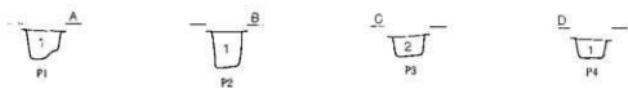
第25図 第20号掘立柱建物跡実測図



第26図 第21号掘立柱建物跡実測図



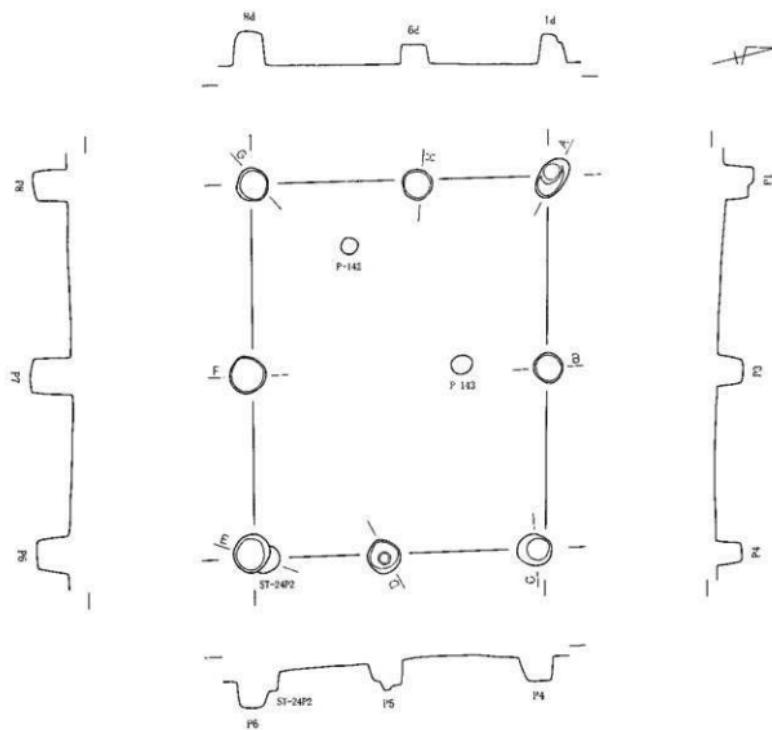
水準値: 541.10



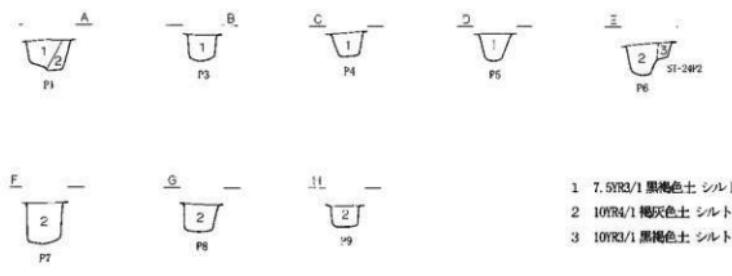
- 1 10YR3/1 黒褐色土 シルト
2 10YR5/4 にぶい黒褐色土 シルト



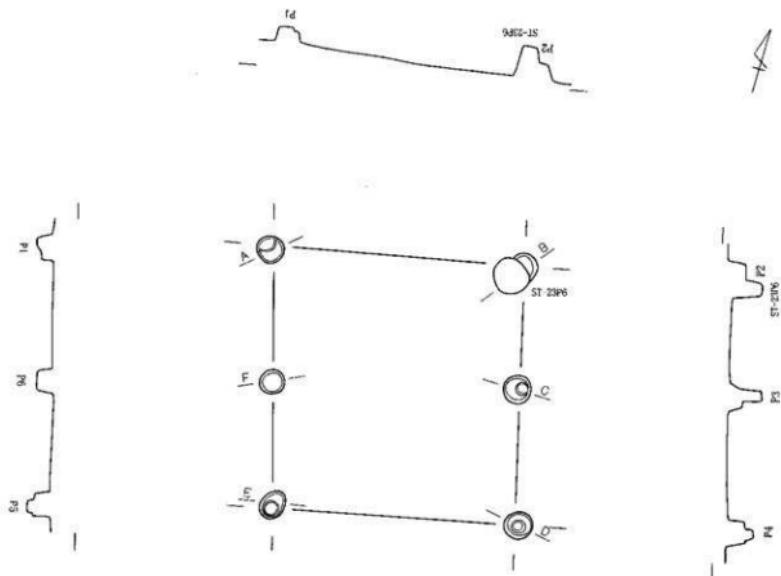
第27図 第22号掘立柱建物跡実測図



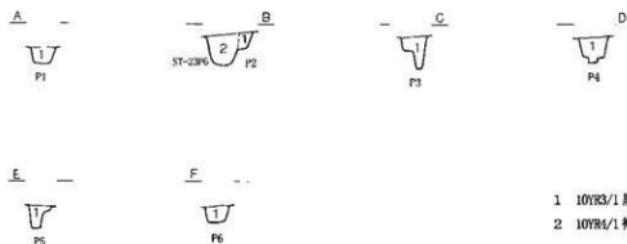
水準値: 541.50



第28図 第23号掘立柱建物跡実測図

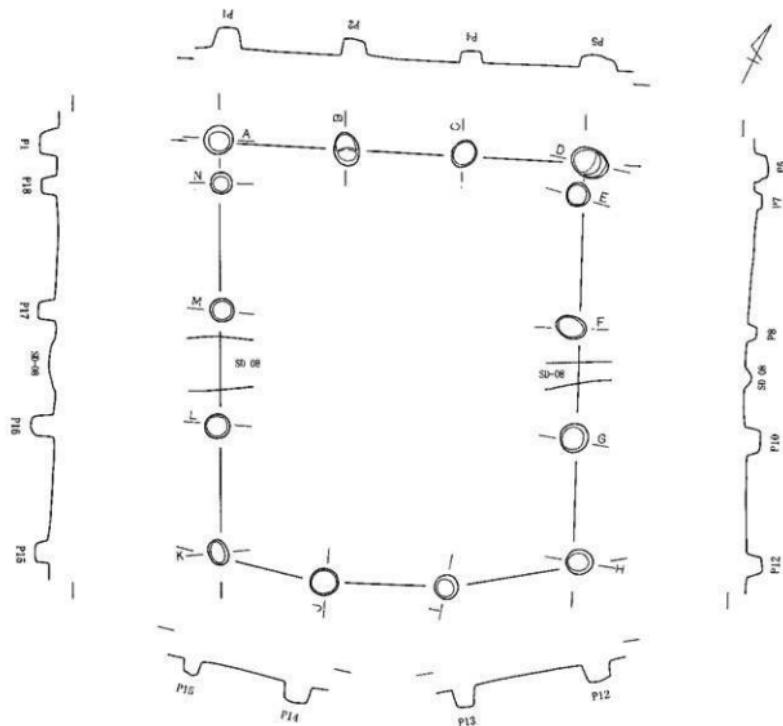


水準値 : 541.40

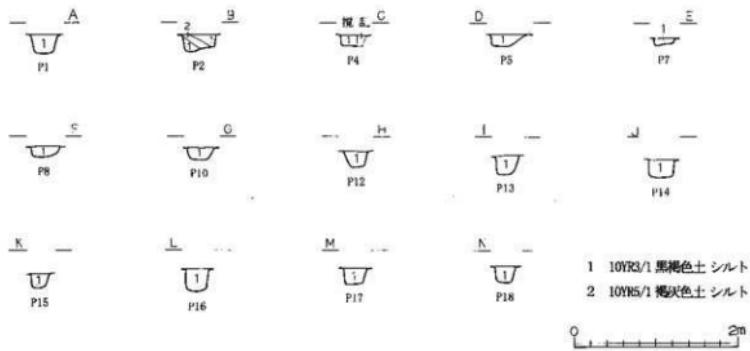


第29図 第24号掘立柱建物跡実測図

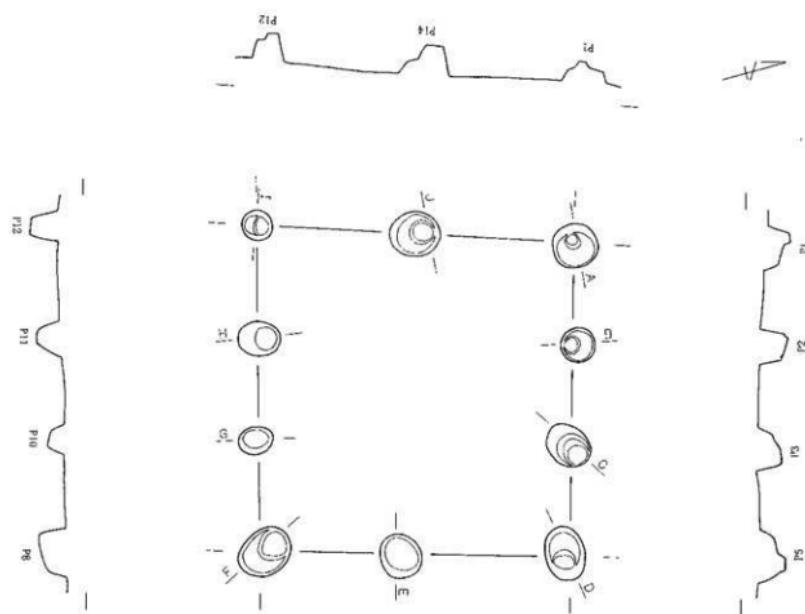
- 1 10Y3/1 黒褐色土 シルト
2 10Y4/1 暗灰色土 シルト



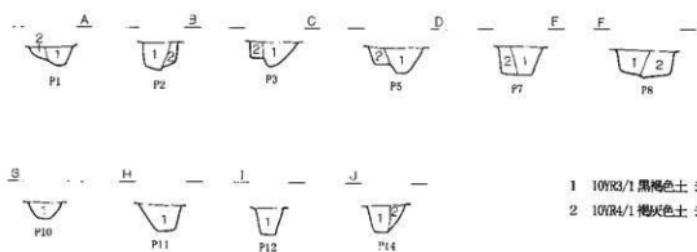
水準值：541.00



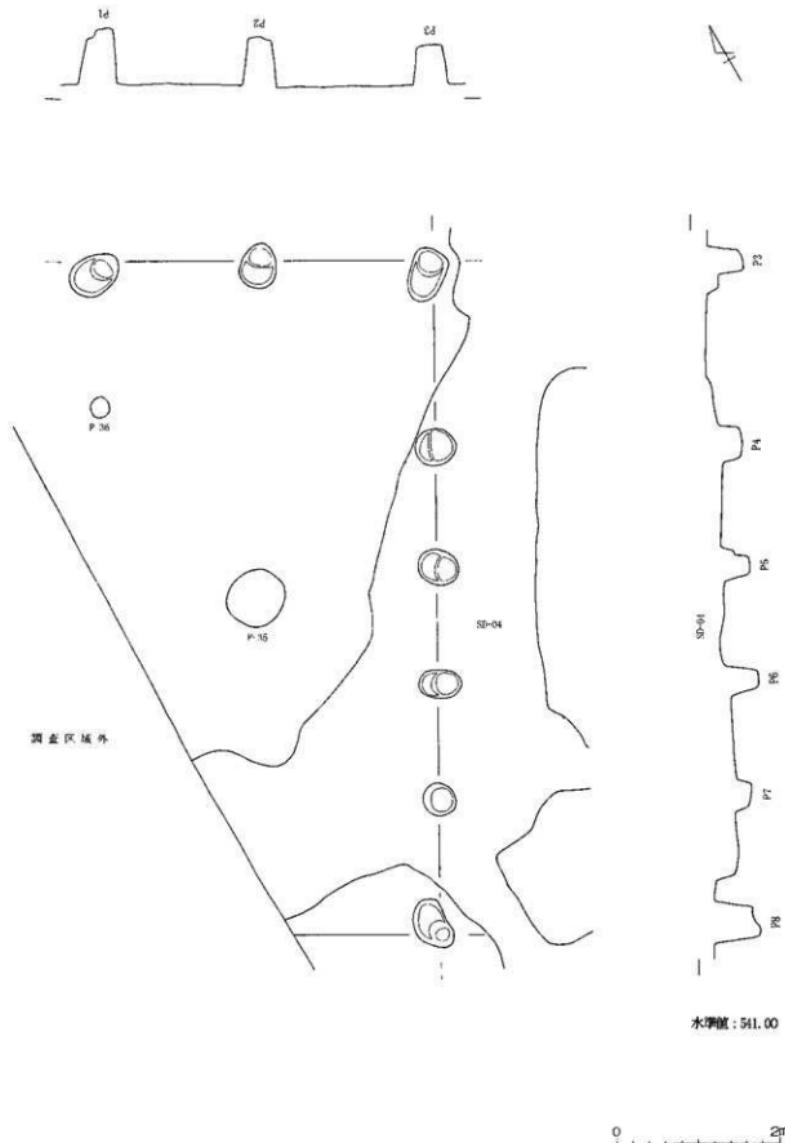
第30図 第25号掘立柱建物跡実測図



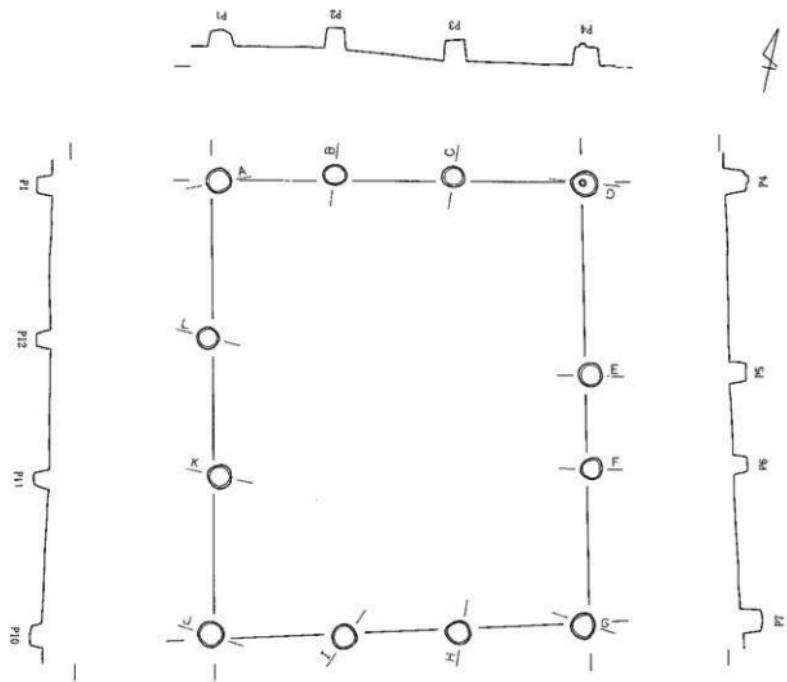
水準値 : 541.60



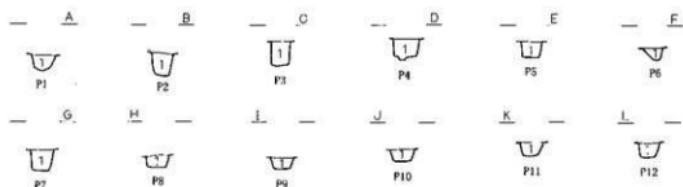
第31図 第26号掘立柱建物跡実測図



第32図 第27号掘立柱建物跡実測図

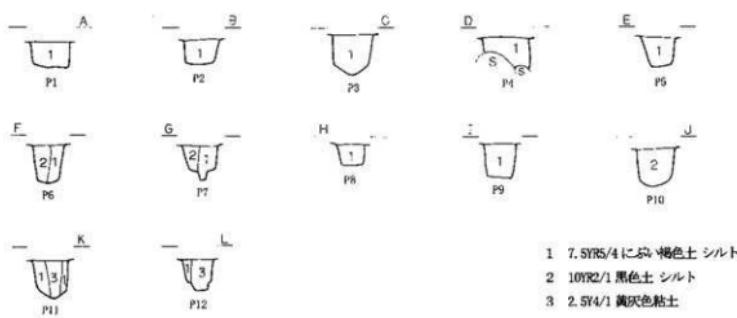
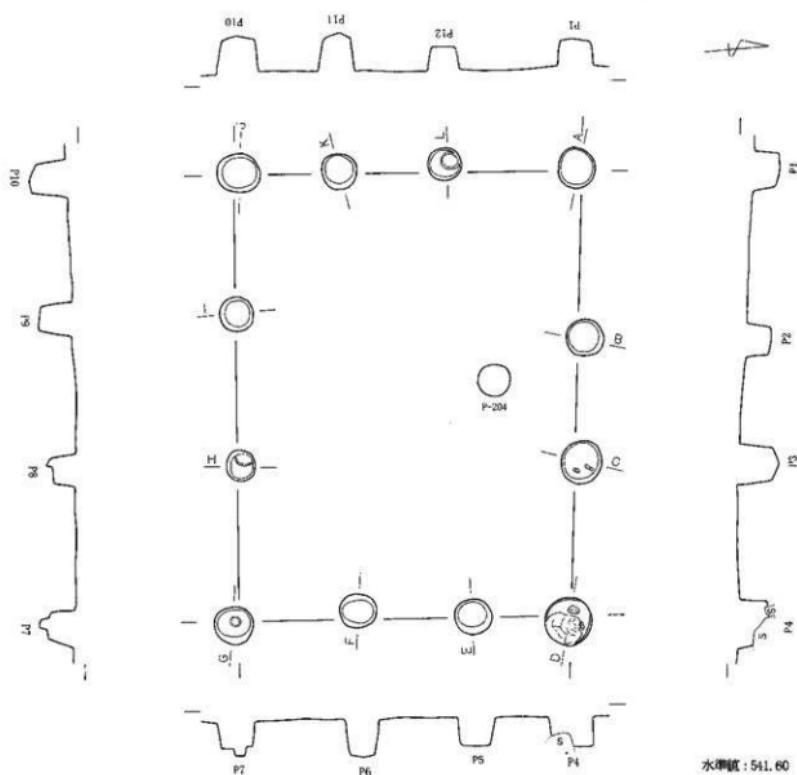


水準値 : 512.50

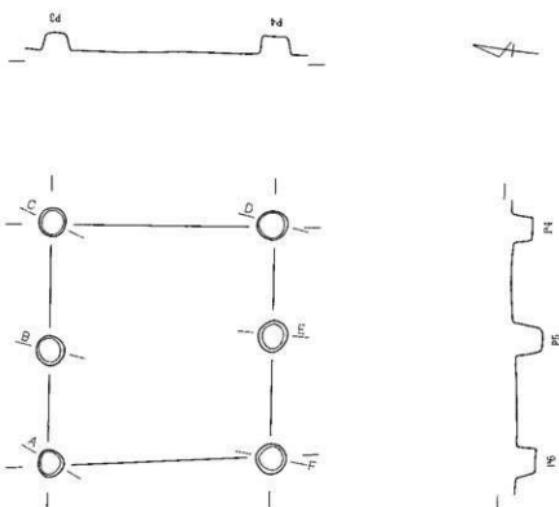


1 10TR3/1 黒褐色土 シルト
0 2m

第33図 第28号掘立柱建物跡実測図



第34図 第29号掘立柱建物跡実測図



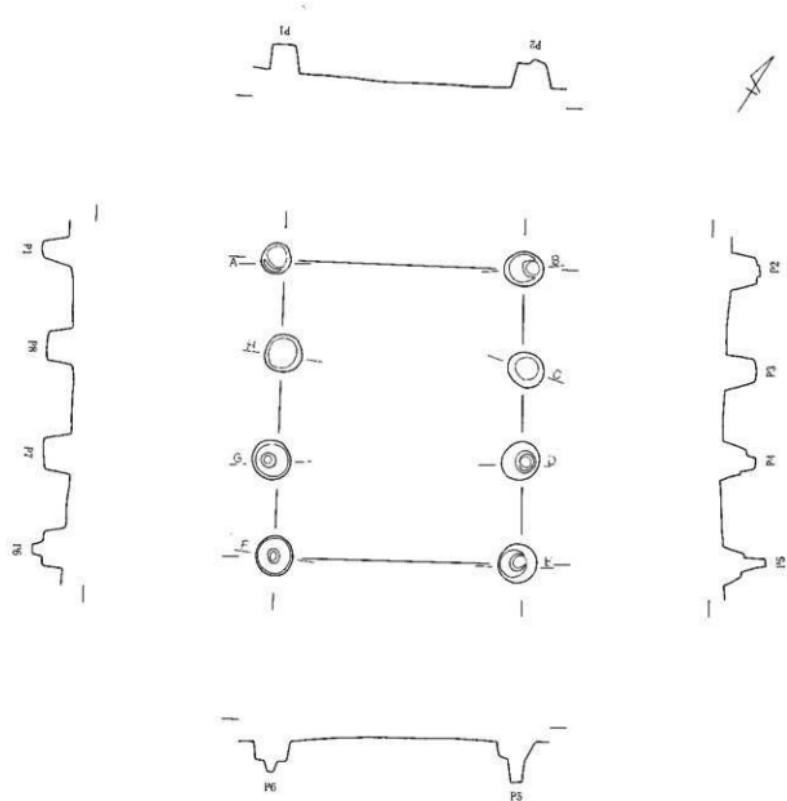
水準値: 541.60



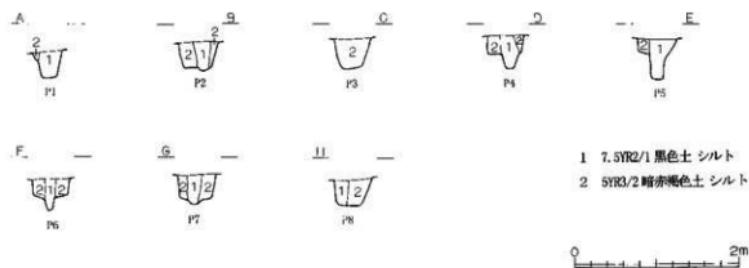
- 1 10YR3/1 黒褐色土 シレット
- 2 10YR4/3 にぬ 黄褐色土 シレット



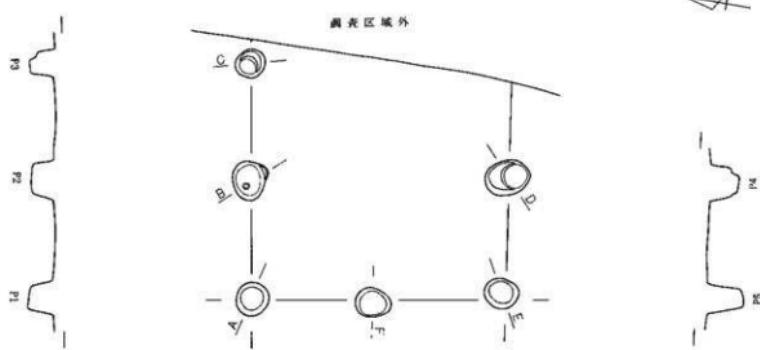
第35図 第30号掘立柱建物跡実測図



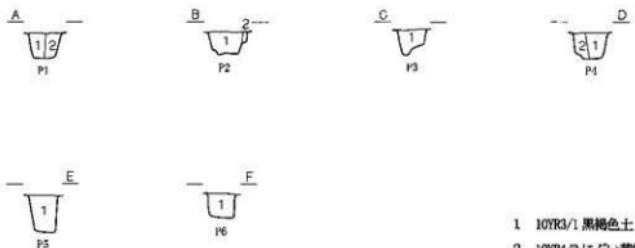
水準値 : 541.80



第36図 第31号掘立柱建物跡実測図

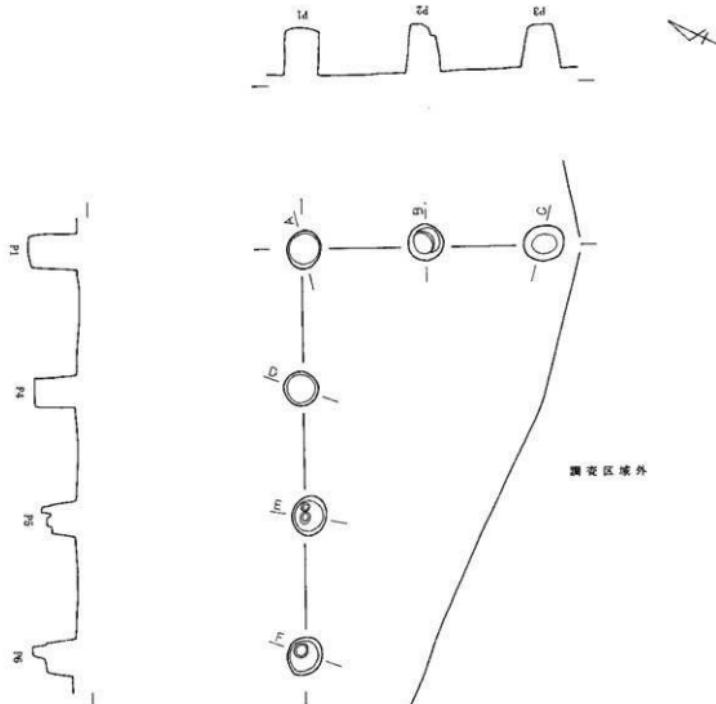


水準値 : 541.30



- 1 10YR3/1 黒褐色土 シルト
2 10YR4/3 にふく黄褐色土 シルト

第37図 第32号据立柱建物跡実測図



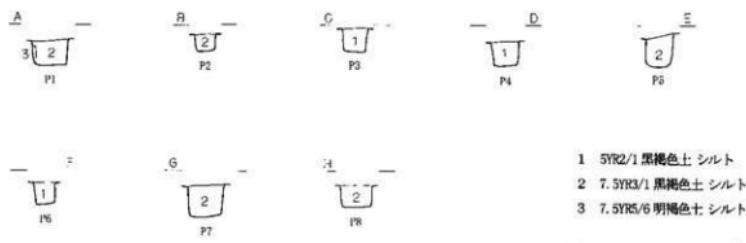
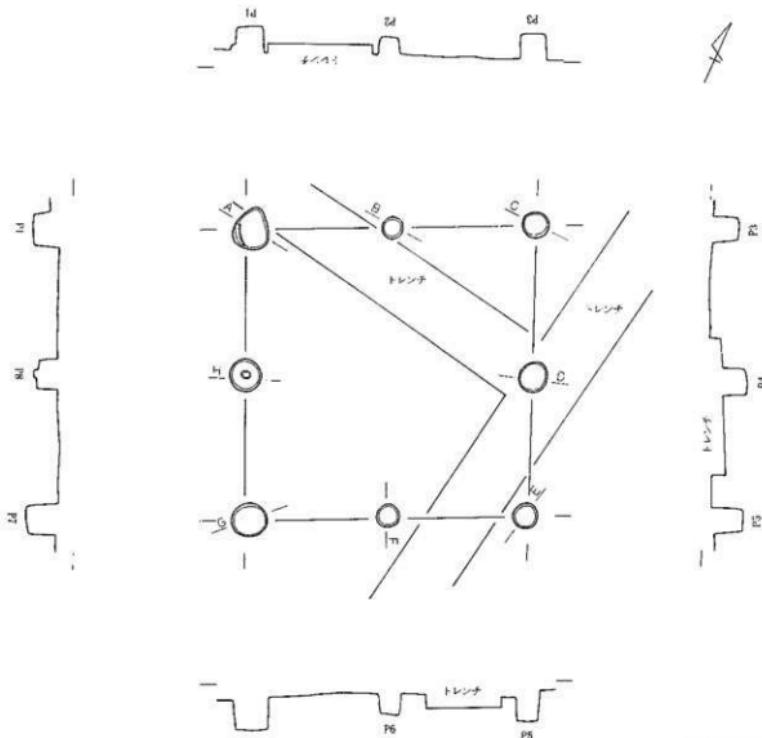
水準値 : 541.10



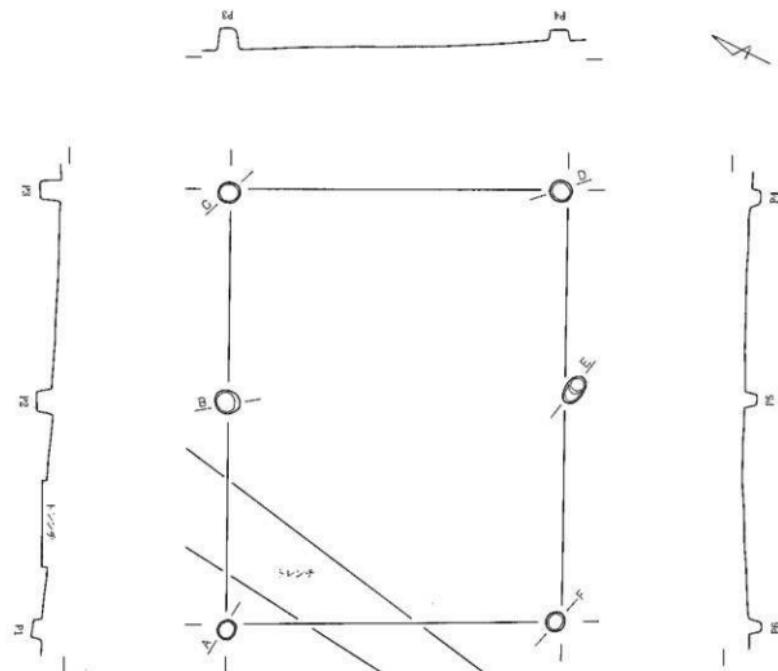
- 1 10YR3/1 黒褐色土 シルト
- 2 10YR2/1 黒色土 シルト
- 3 10YR5/3 にふ 黄褐色土 シルト



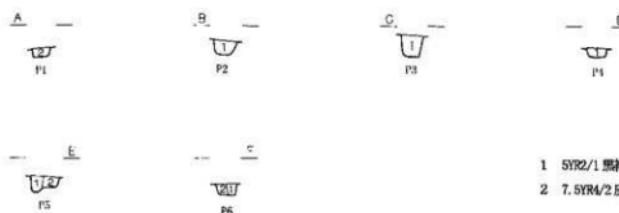
第38図 第33号掘立柱建物跡実測図



第39図 第34号掘立柱建物跡実測図

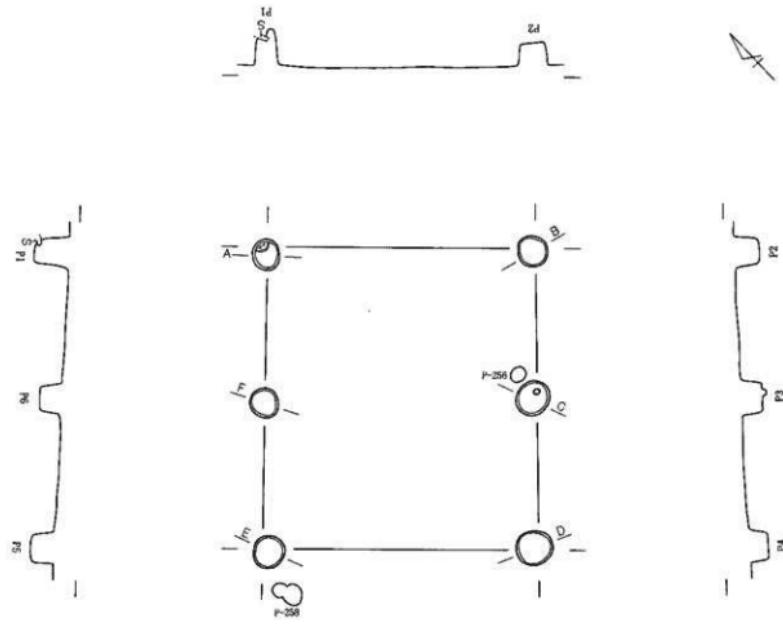


水準値: 542.70

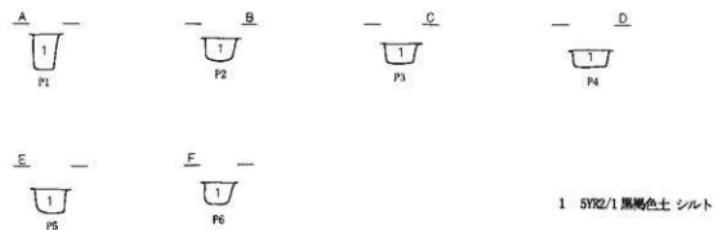


第40図 第35号掘立柱建物跡実測図

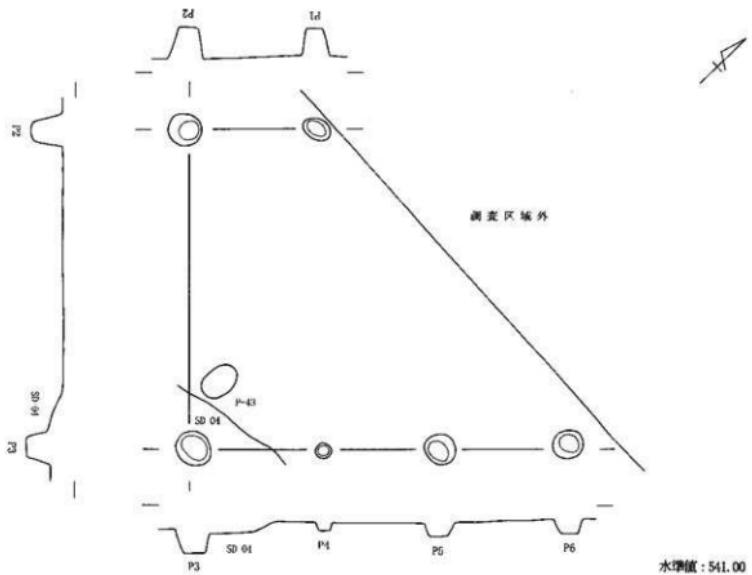
- 1 5PR2/1 黒褐色土 シルト
- 2 7.SYM4/2 灰褐色土 シルト



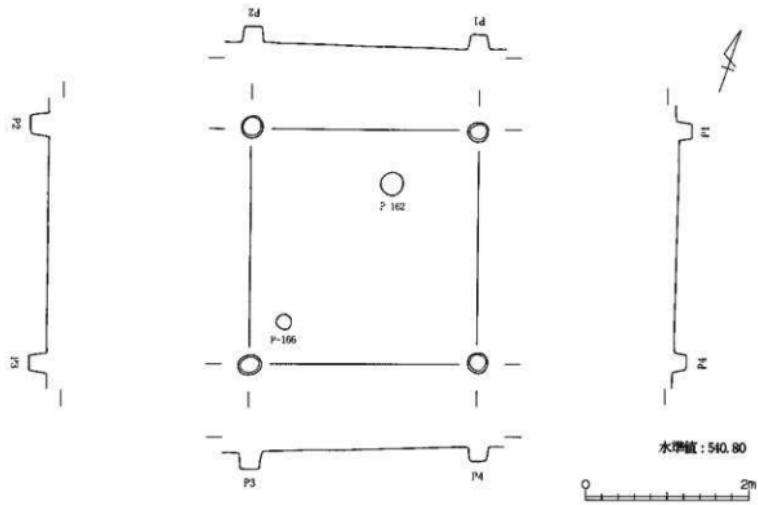
水準値 : 542.50



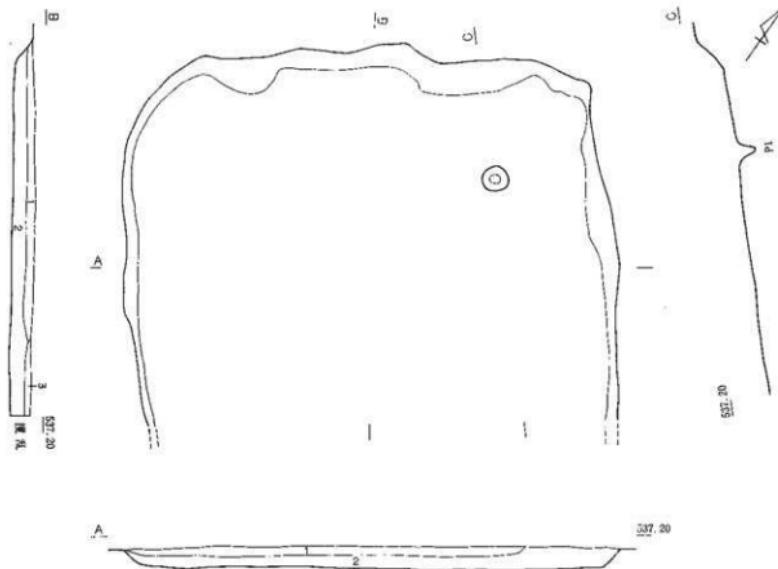
第41図 第36号振立柱建物跡実測図



第42図 第37号据立柱建物跡実測図

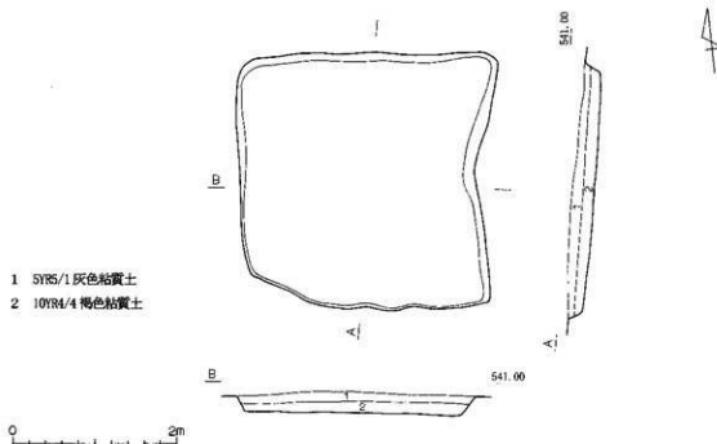


第43図 第38号据立柱建物跡実測図

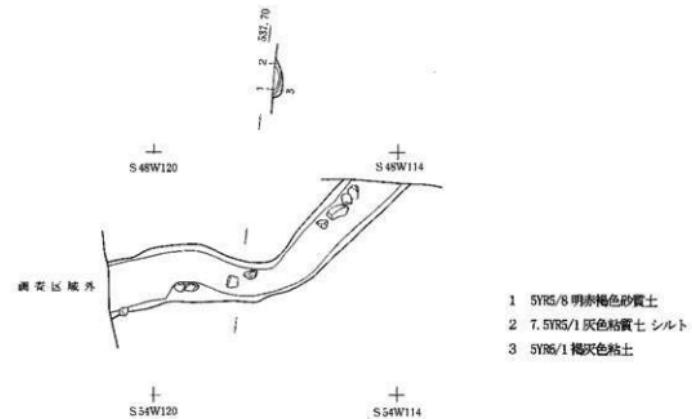


第44図 第1号堅穴住居跡実測図

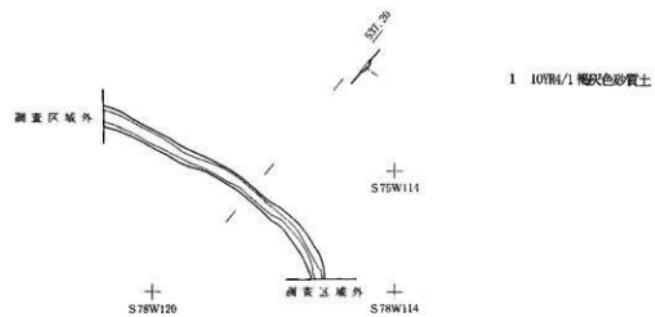
- 1 7.SYR6/4 にぶん 橙色粘質土
- 2 7.SYR3/1 黒褐色粘質土
- 3 2.SYR6/3 にぶん 黄色粘質土



第45図 第2号堅穴状遺構実測図

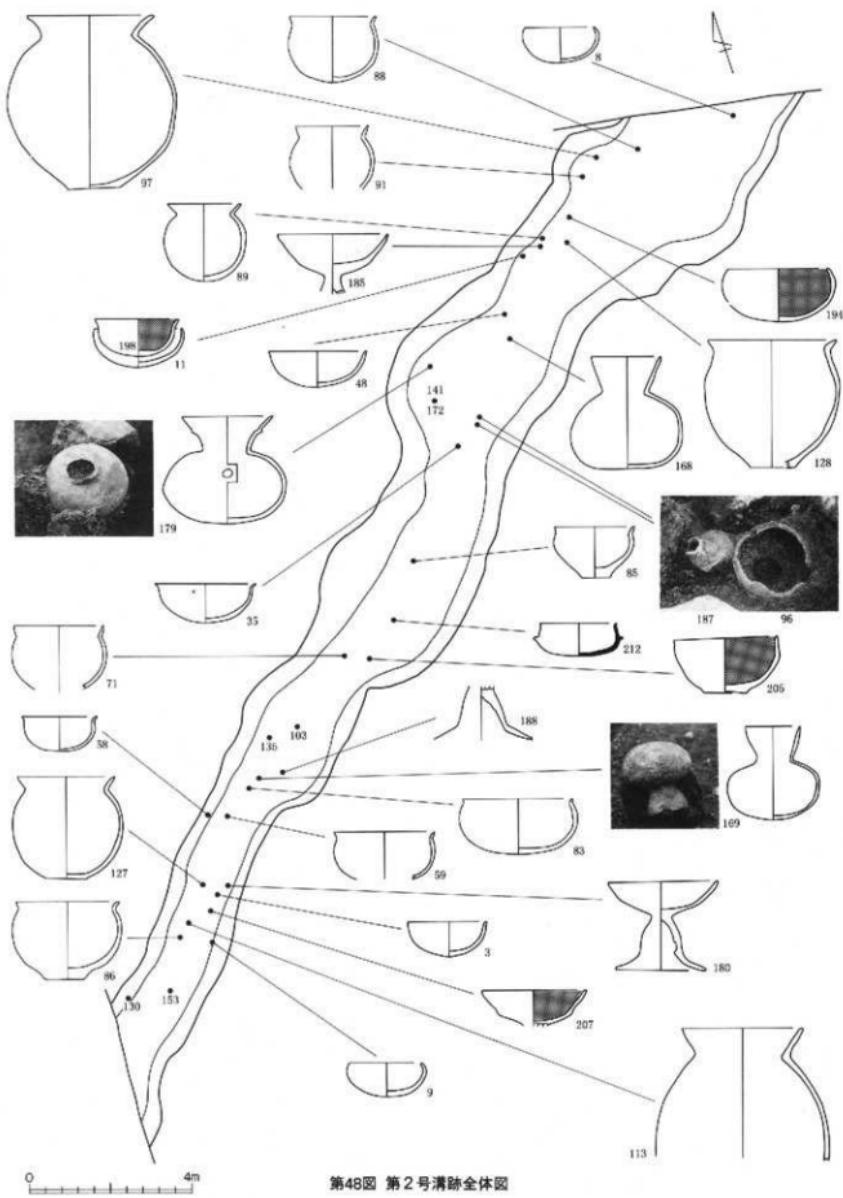


第46図 第1号溝跡実測図

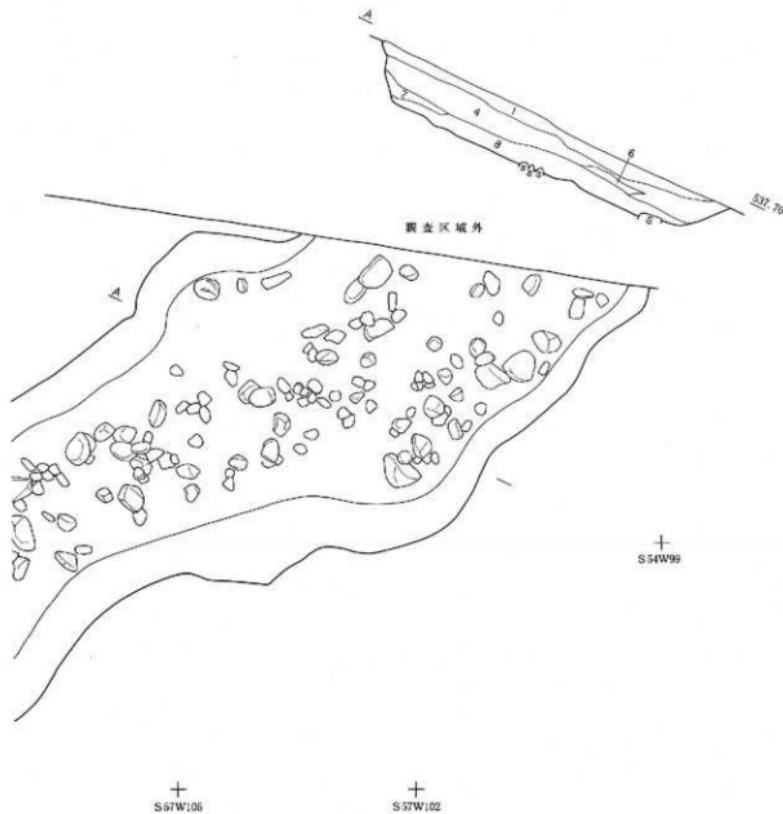


第47図 第3号溝跡実測図



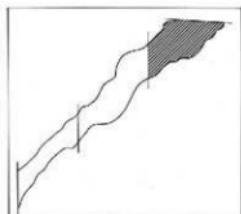


第48図 第2号溝跡全体図

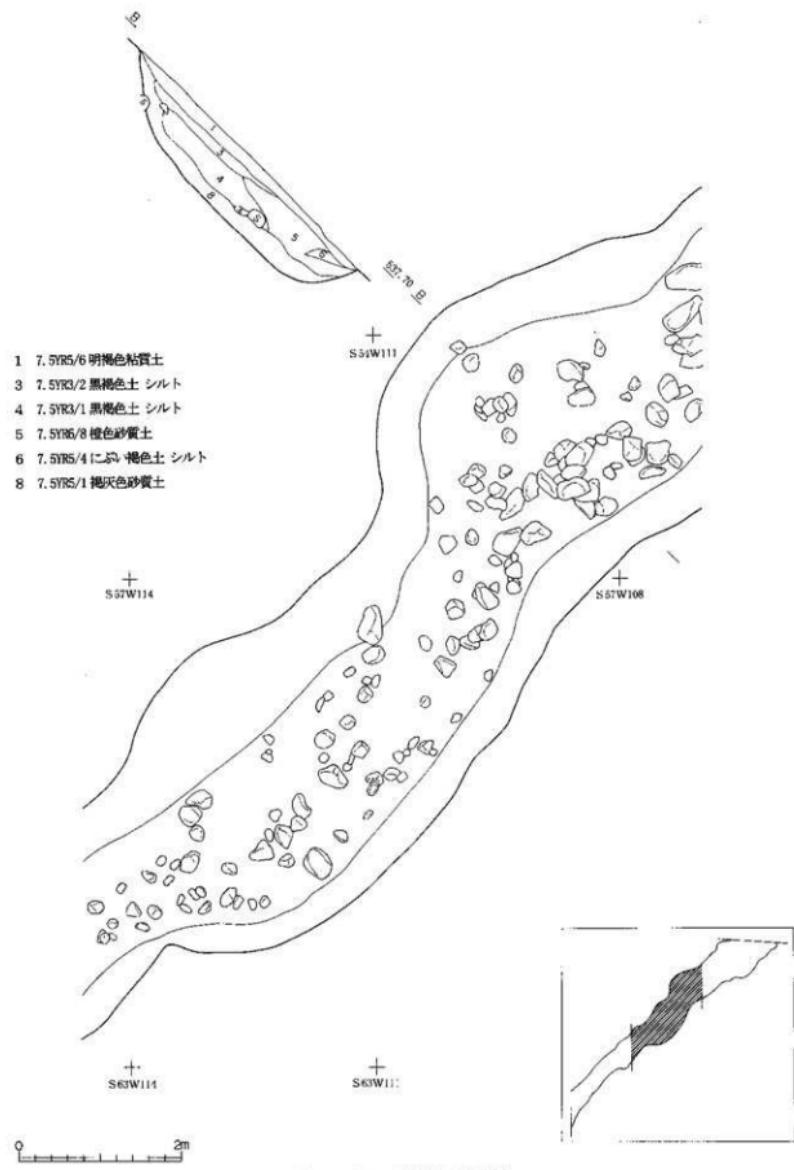


- 1 7.SYR5/6 明褐色粘質土
 4 7.SYR3/1 黒褐色土 シルト
 6 7.SYR5/4 にぬ褐色土 シルト
 7 SYR4/1 暗灰色砂質土
 8 7.SYR5/1 暗灰色砂質土

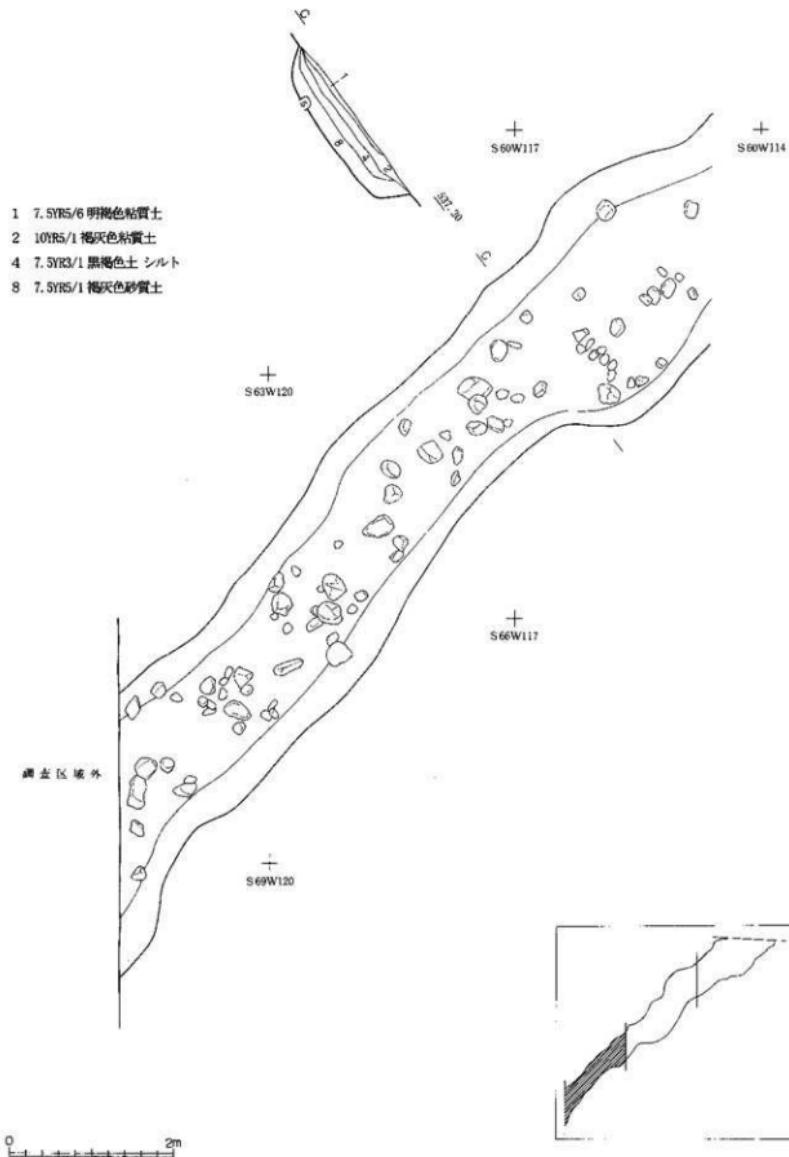
0 2m



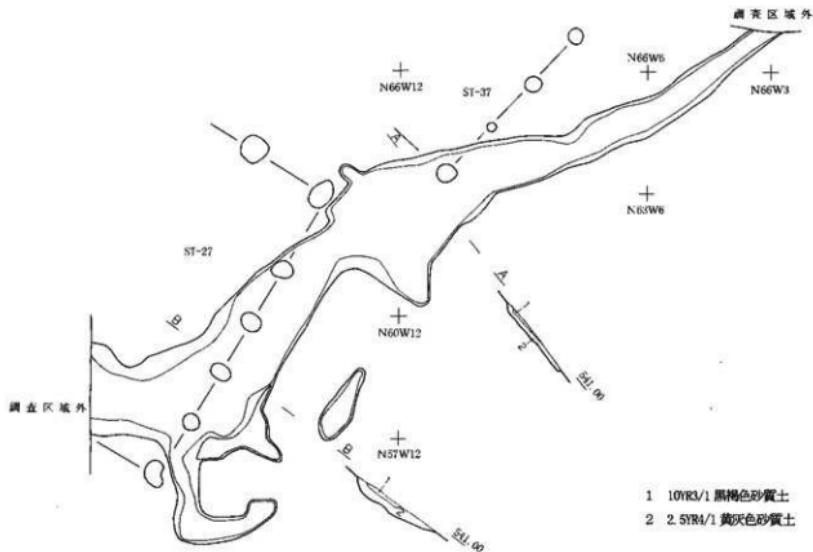
第49図 第2号溝跡実測図(1)



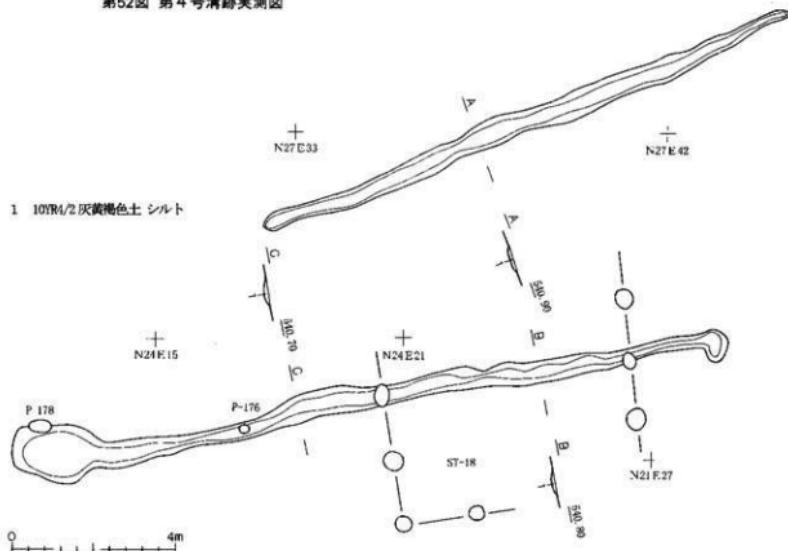
第50図 第2号溝跡実測図(2)



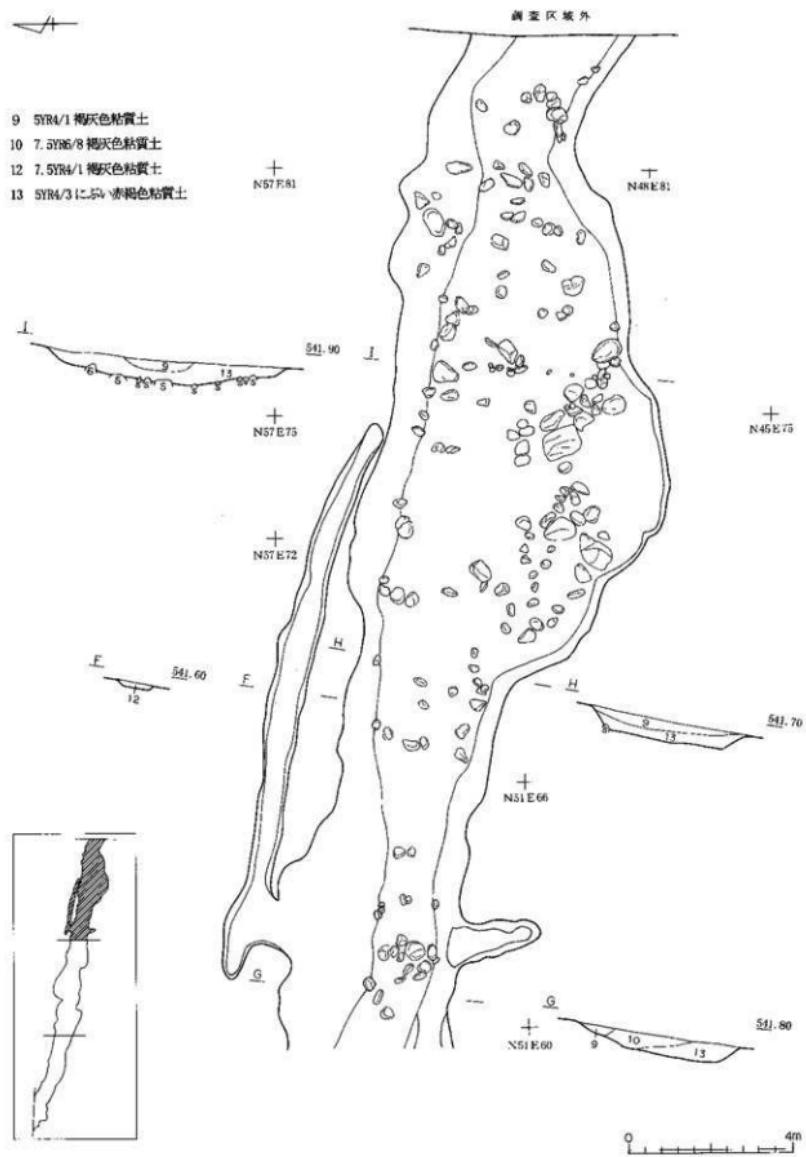
第51図 第2号溝跡変調図(3)



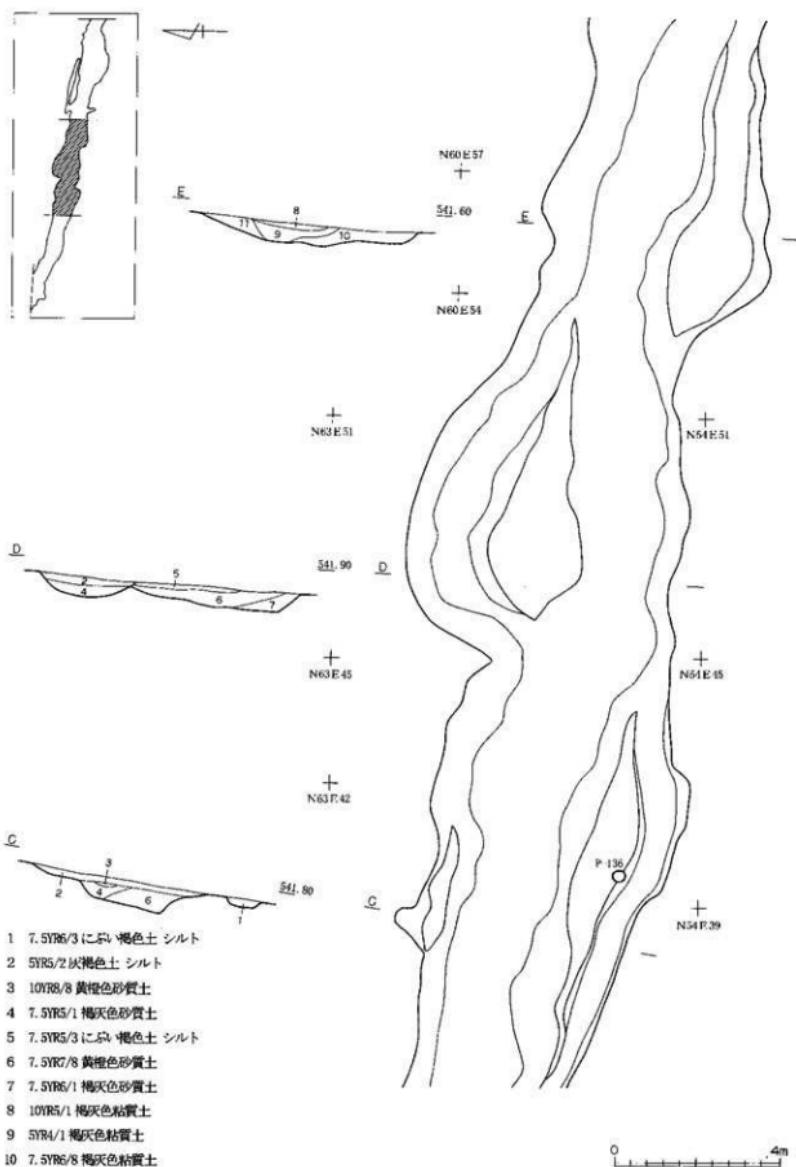
第52図 第4号溝跡実測図



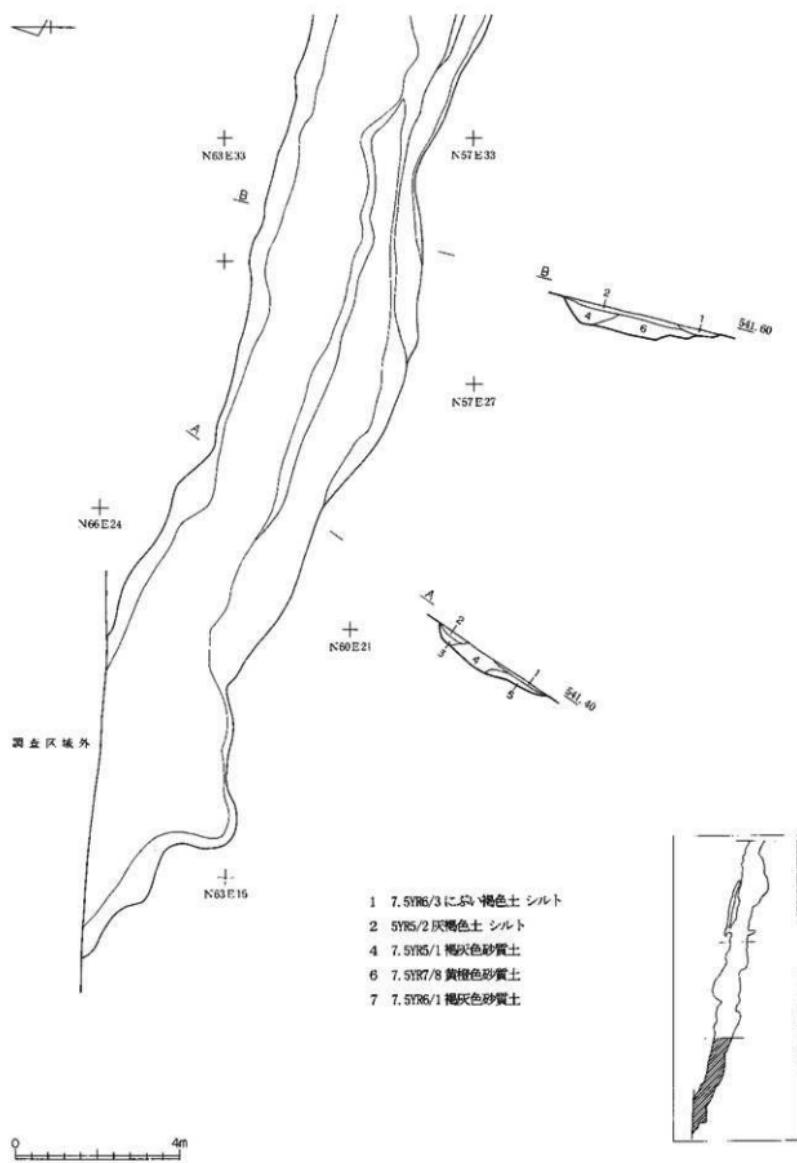
第53図 第8号溝跡実測図

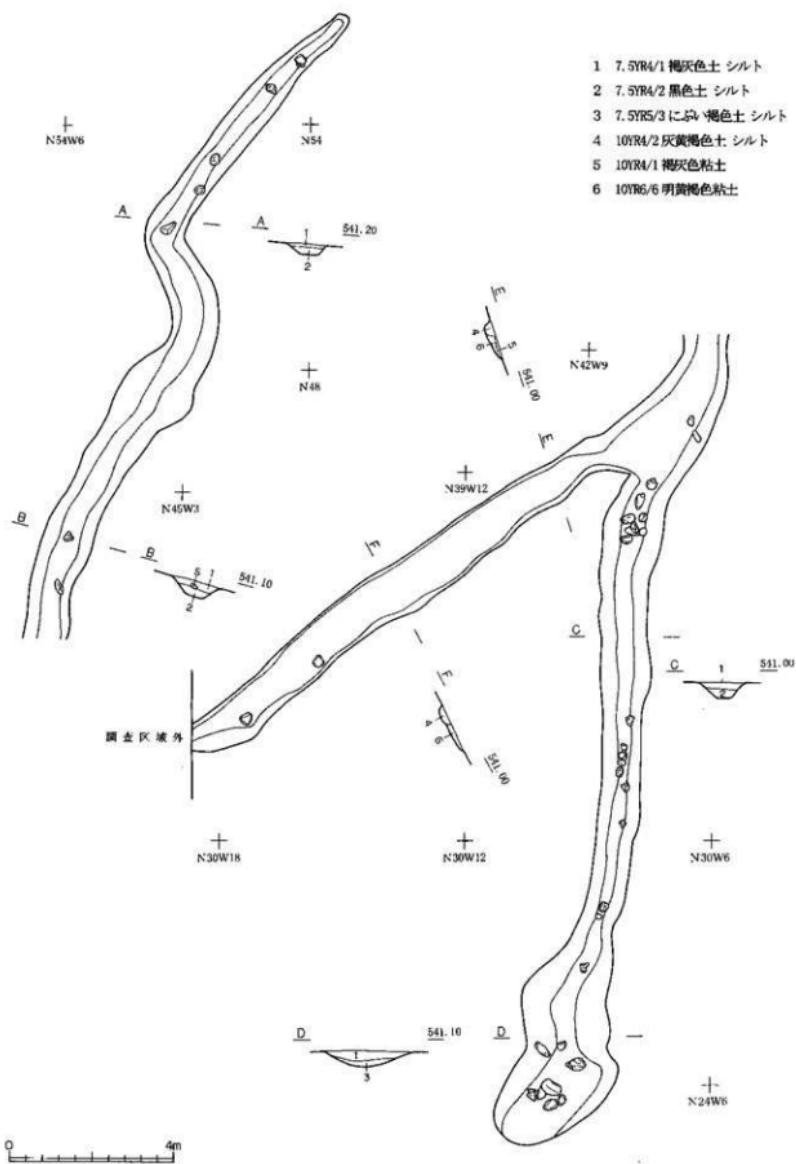


第54図 第5号溝跡実測図(1)

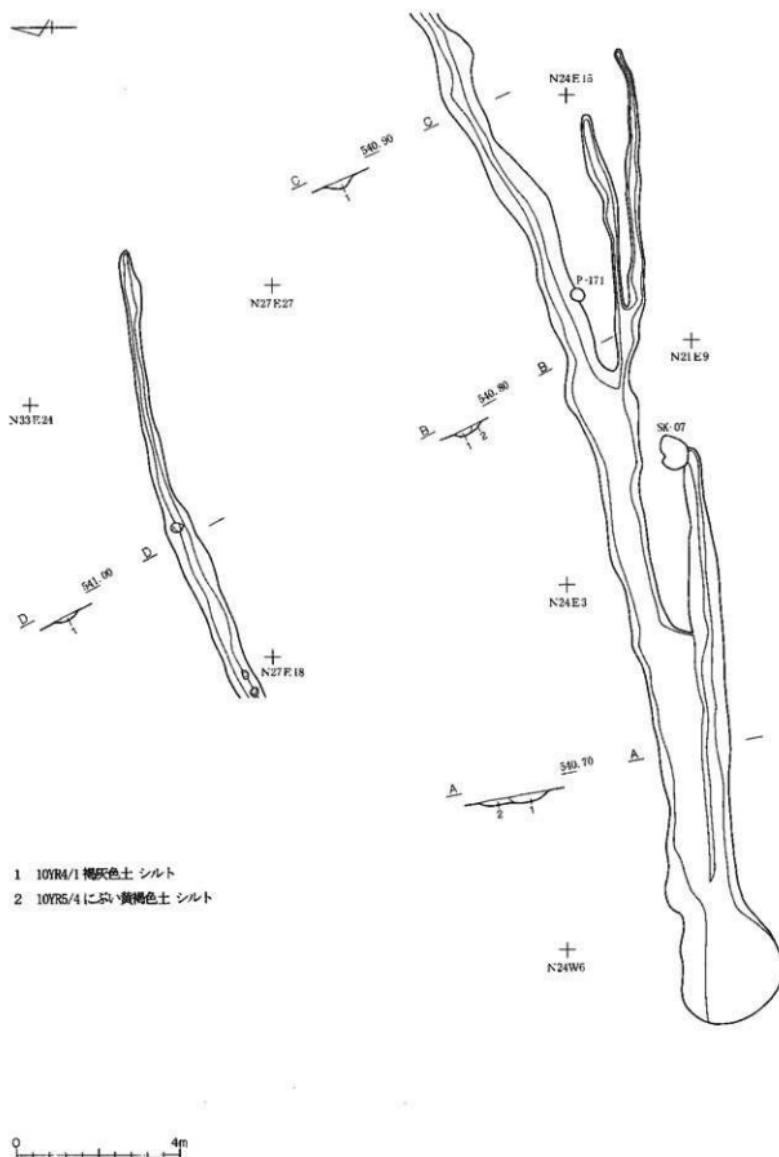


第55図 第5号溝跡実測図(2)

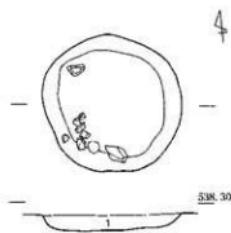




第67図 第6号溝跡実測図

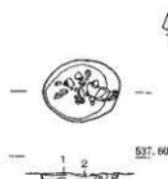


第58図 第7号溝跡実測図



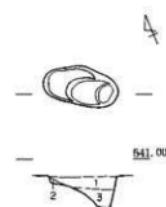
1 10YR6/1 棕灰色粘質土

第1号



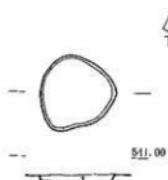
1 7.5YR2/1 黑色粘質土
2 10YR6/1 棕灰色粘質土

第2号



1 10YR6/1 棕灰色粘質土
2 10YR6/6 明黃褐色粘質土
3 10YR2/1 黑色土 シルト

第3号



1 10YR6/3 にじみ黄褐色土 シルト

第4号



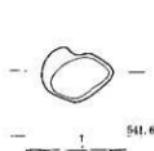
1 10YR6/3 にじみ黄褐色土 シルト

第5号



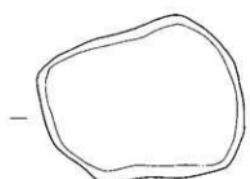
1 焼土
2 10YR6/1 棕灰色粘質土
3 10YR6/6 明黃褐色粘質土

第6号



1 10YR6/1 棕灰色土 シルト

第7号

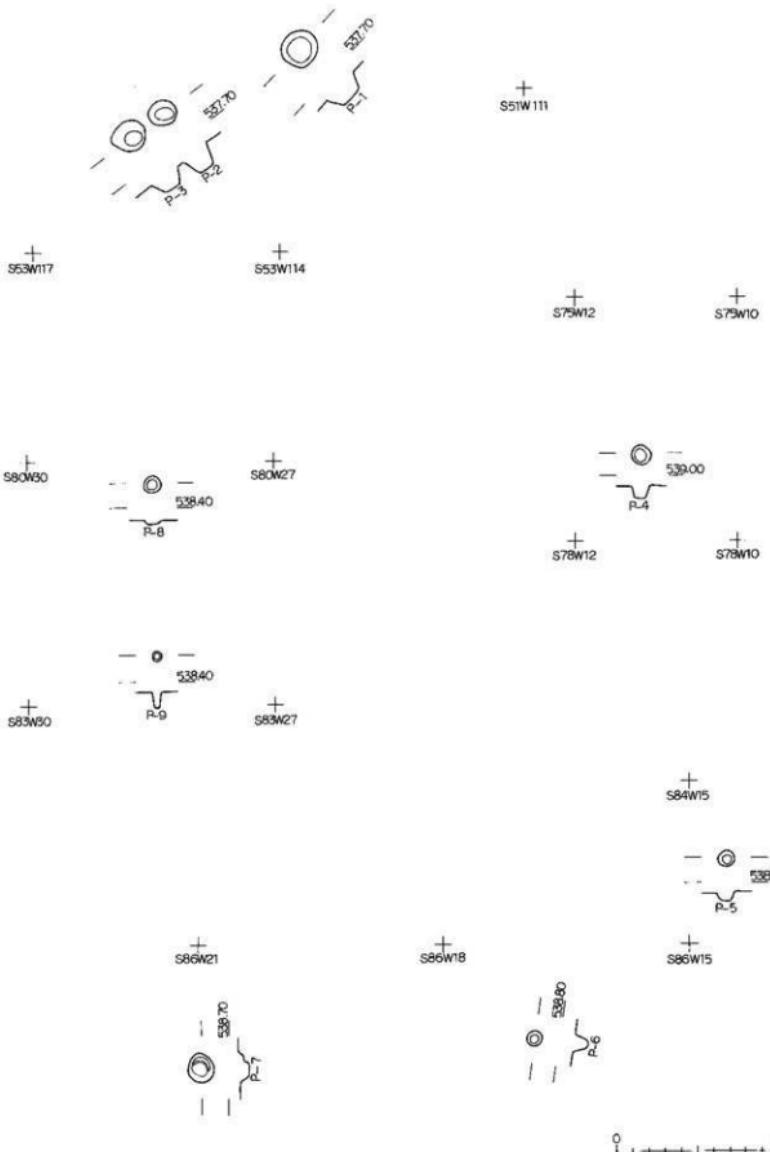


1 10YR2/1 黑色粘質土

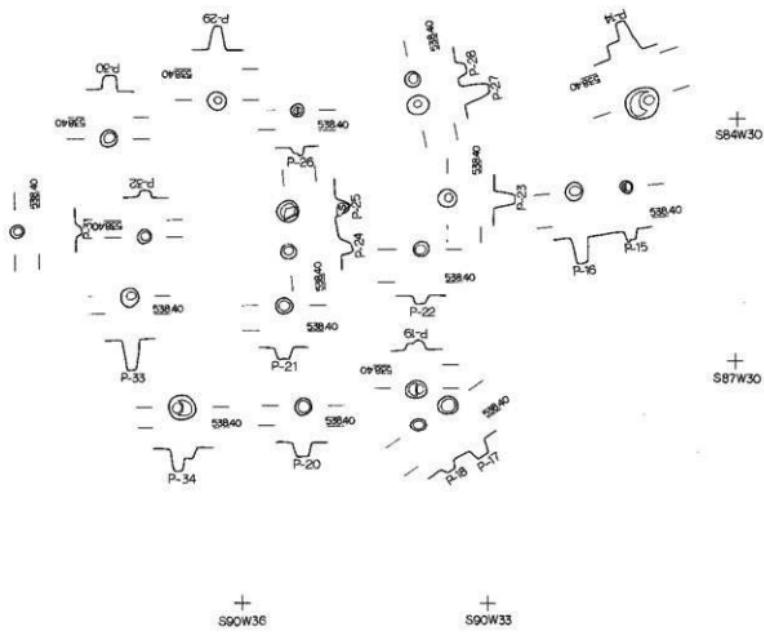
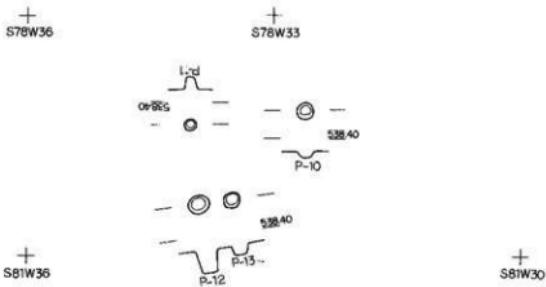
第8号



第59図 土壌実測図



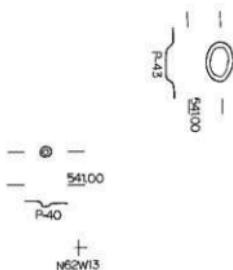
第60図 ピット実測図(1)



第61図 ピット実測図(2)

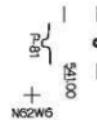
+

N66W12



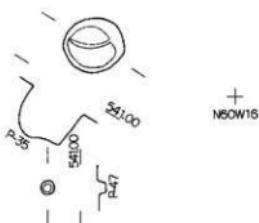
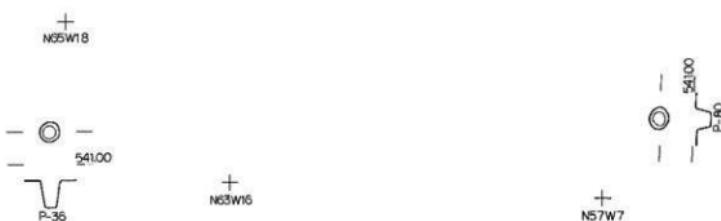
+

N62W9



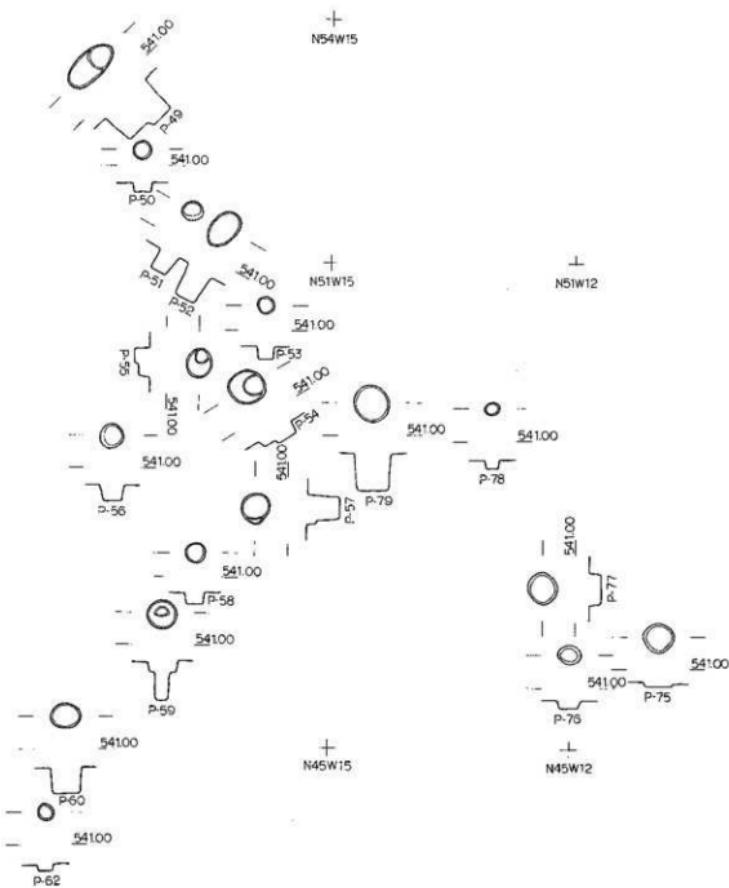
+

N60W7



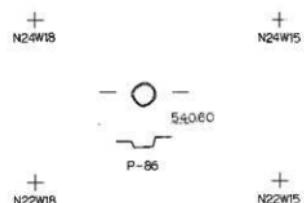
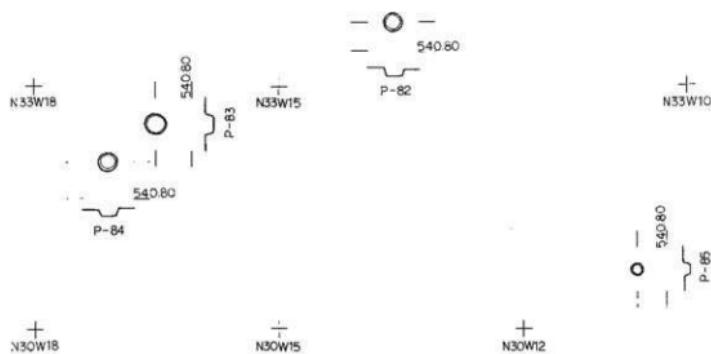
0 2m

第62図 ピット実測図(3)



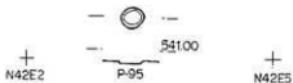
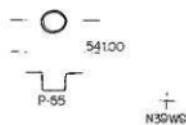
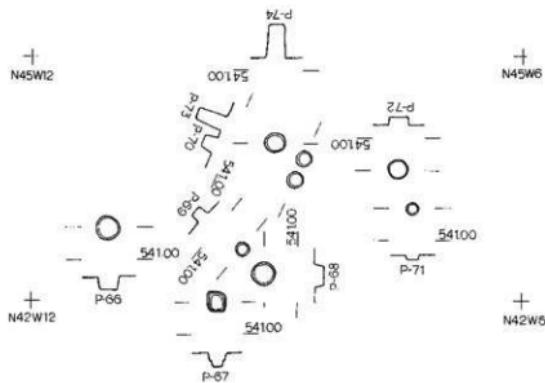
第63図 ピット実測図(4)

0 2m

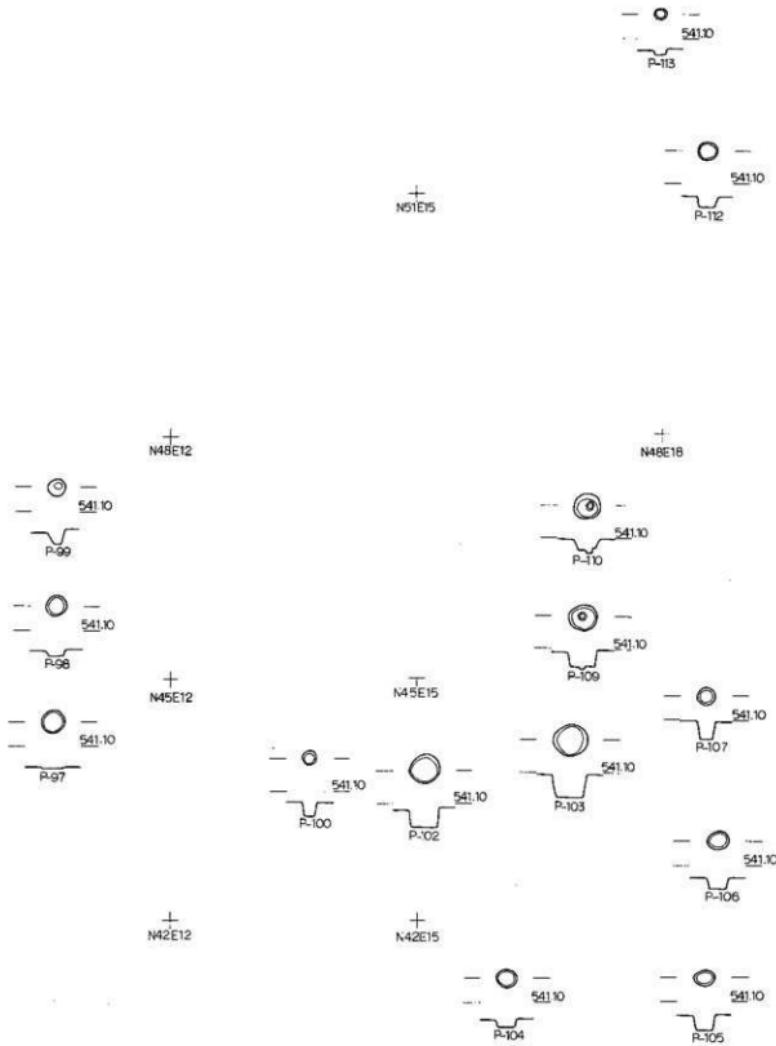


2m

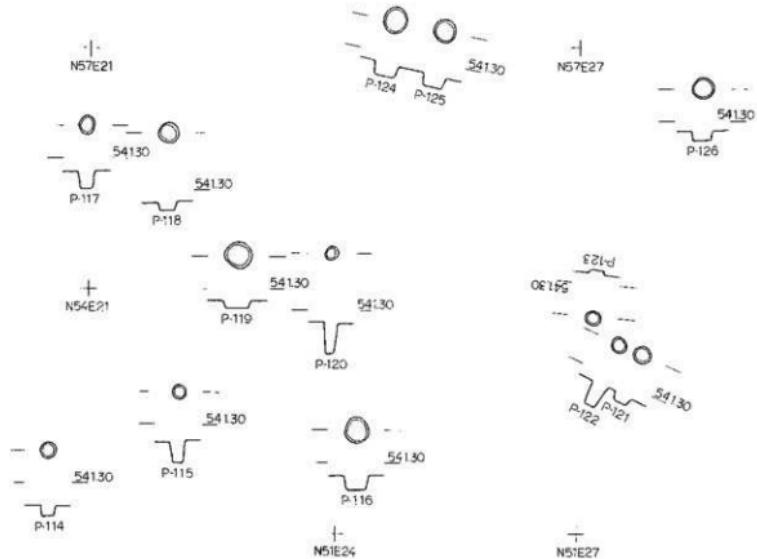
第64図 ピット実測図(5)



第65図 ピット実測図(6)

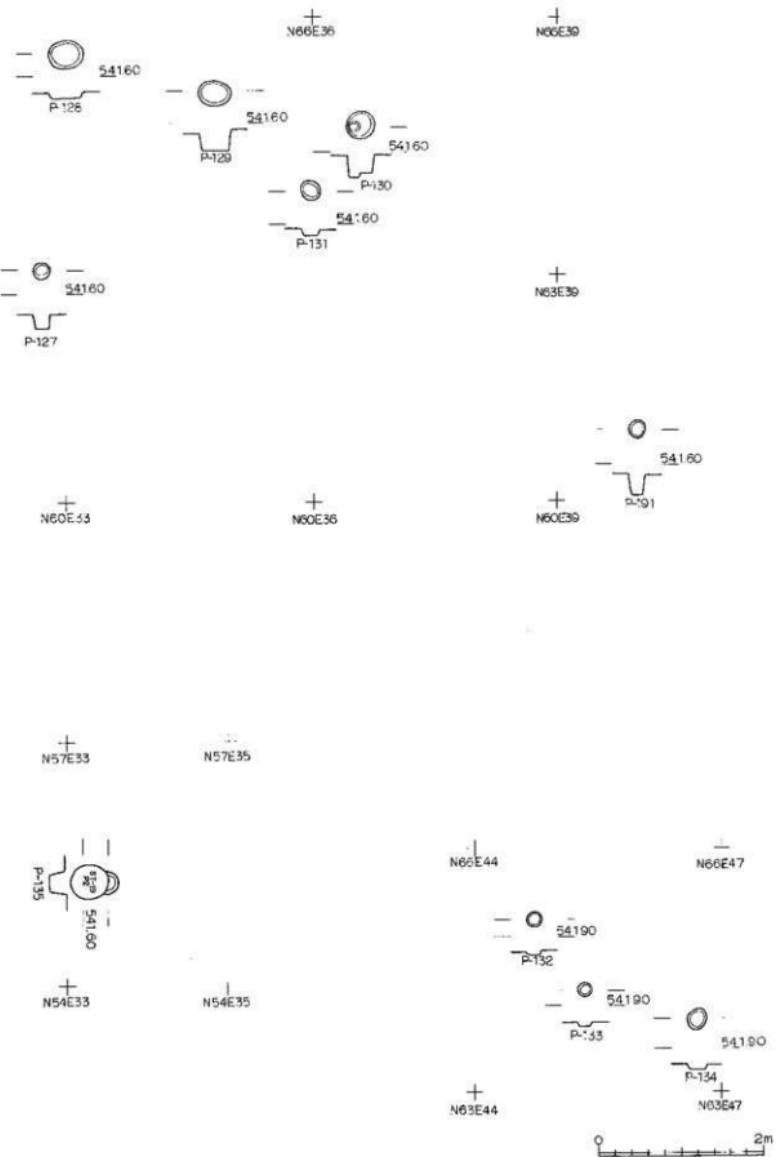


第66図 ピット実測図(7)

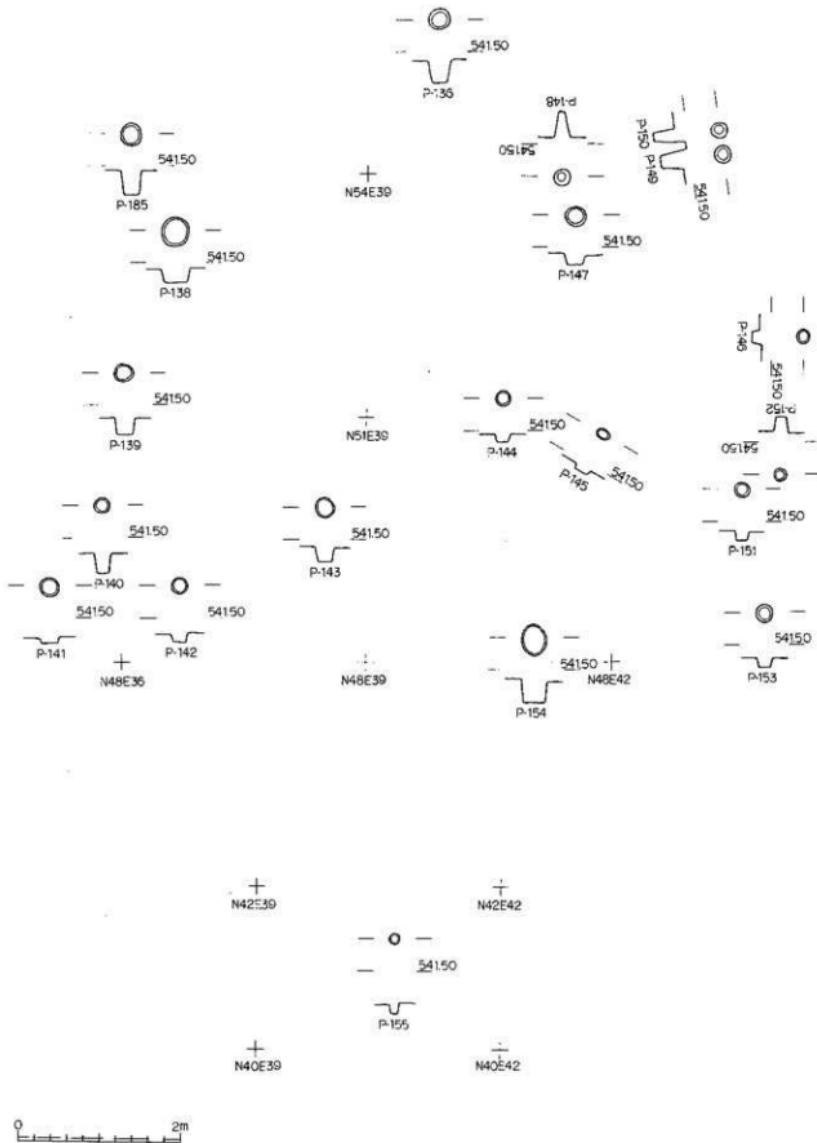


第67図 ピット実測図(8)

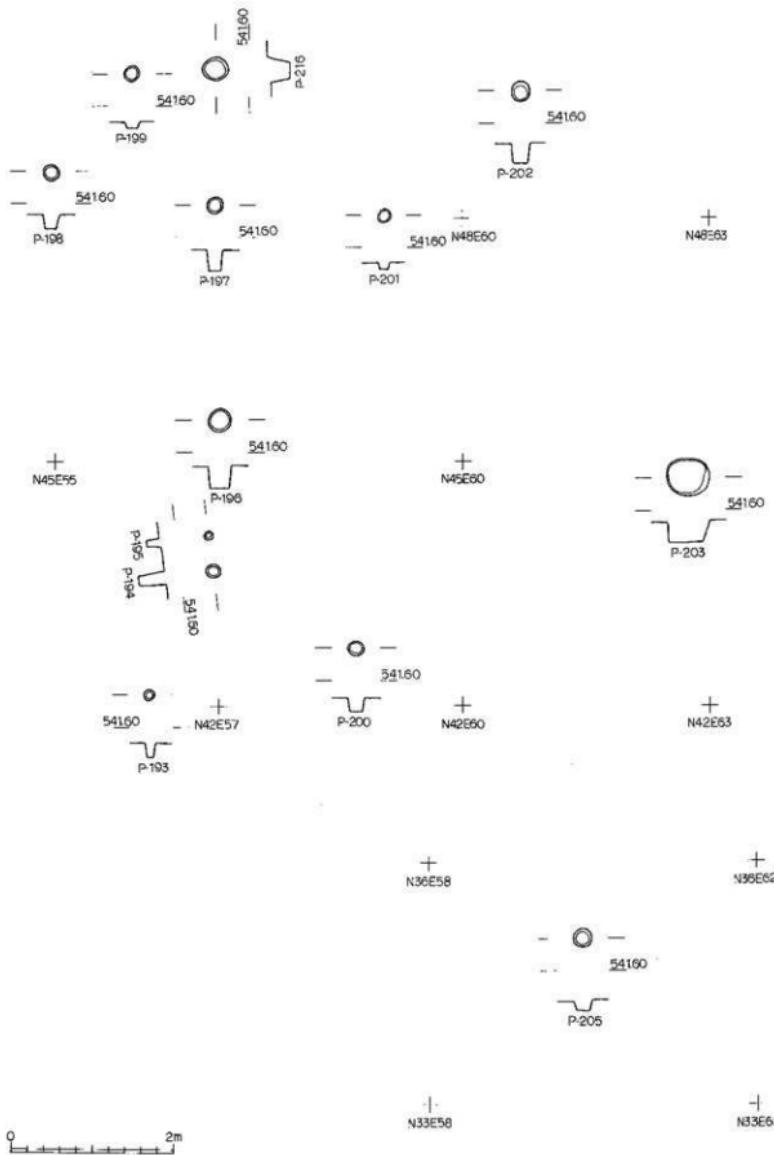
0 2m



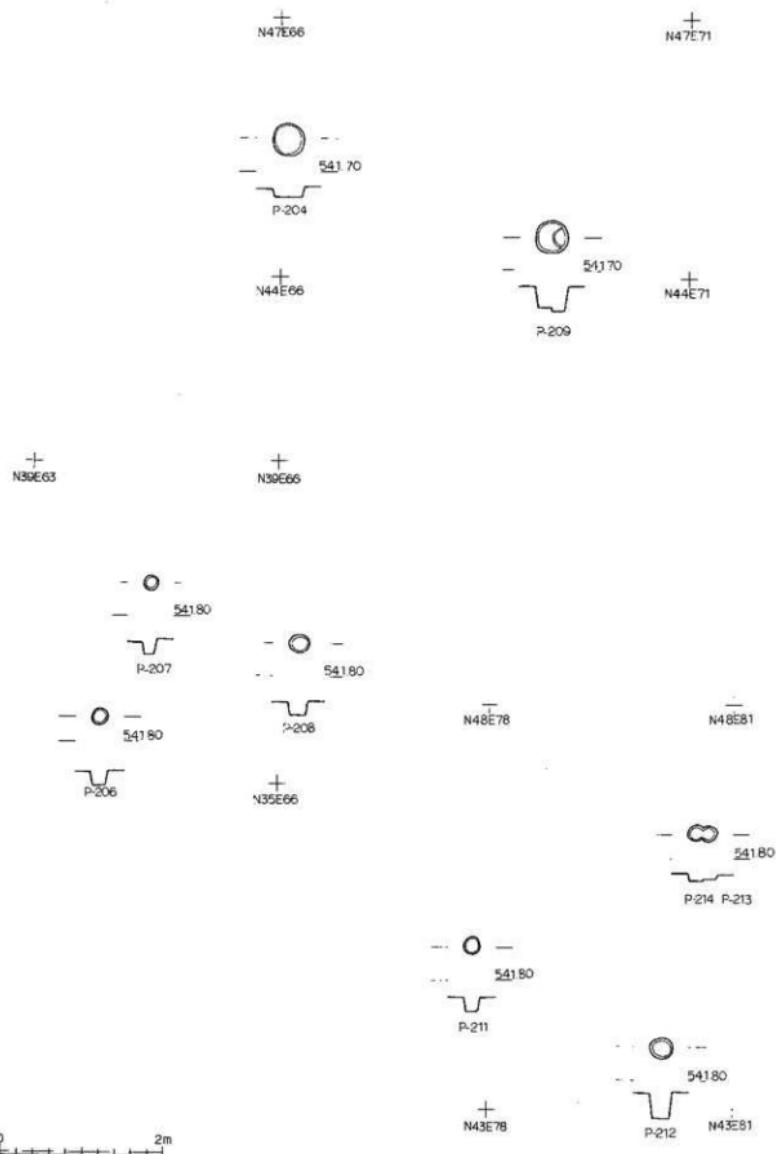
第68図 ピット実測図(9)



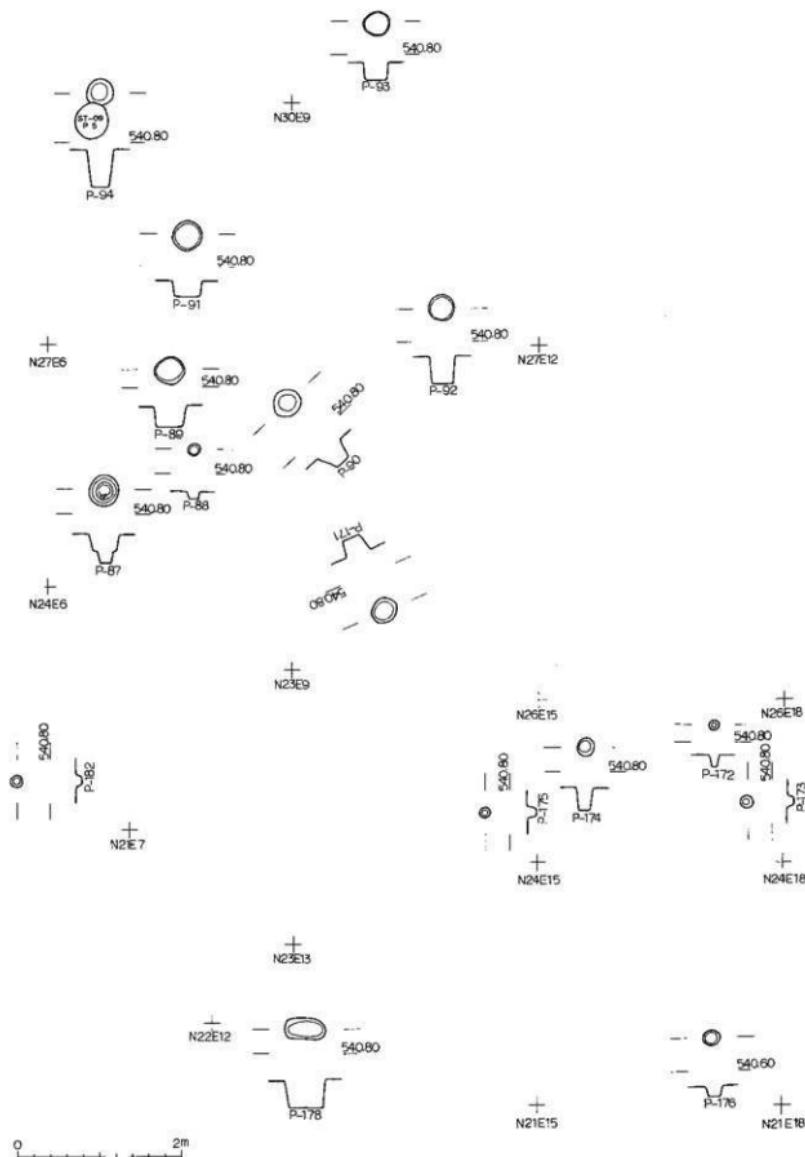
第69回 ピット実測図(10)



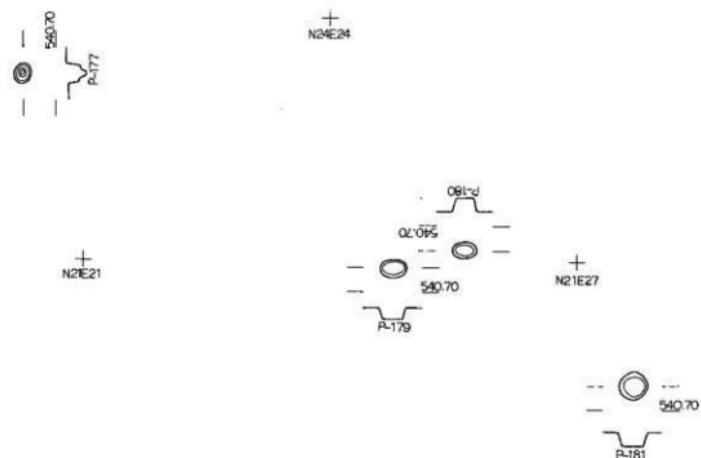
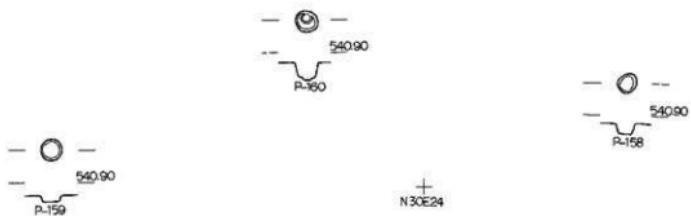
第70図 ピット実測図(11)



第71図 ピット実測図(12)

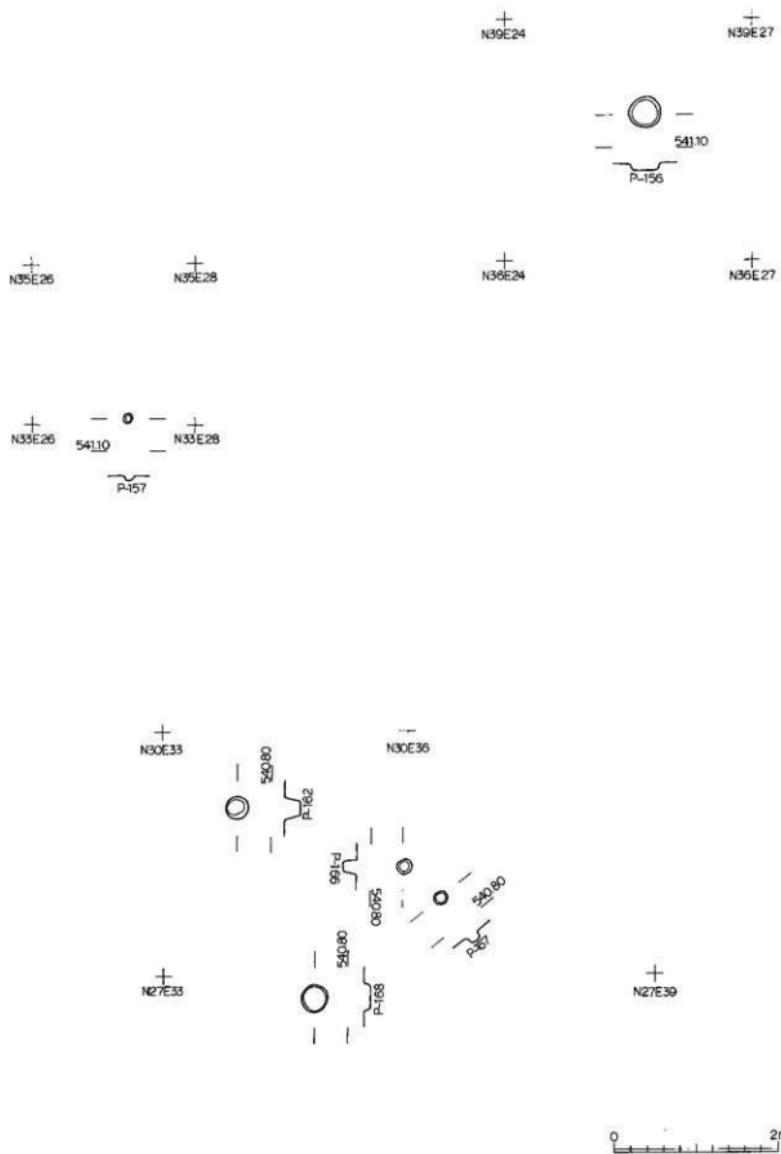


第72図 ピット実測図(13)



0 2m

第73図 ピット実測図(14)



第74図 ピット実測図(15)

N39E81

- ⊖ -
-- 54130
P-243

N39E84

N6E82

- ⊖ -
-- 54160
P-219

N6E85

N39E81

N39E84

- ⊖ -
-- 54160
P-220

- ⊖ -
-- 54160
P-221

N2E82

N2E84

S21E72

S21E75

- ⊖ -
-- 54160
P-236

- ⊖ -
-- 54160
P-235

- ⊖ -
-- 54160
P-232

- ⊖ -
-- 54160
P-234

- ⊖ -
-- 54160
P-231

- ⊖ -
-- 54160
P-233

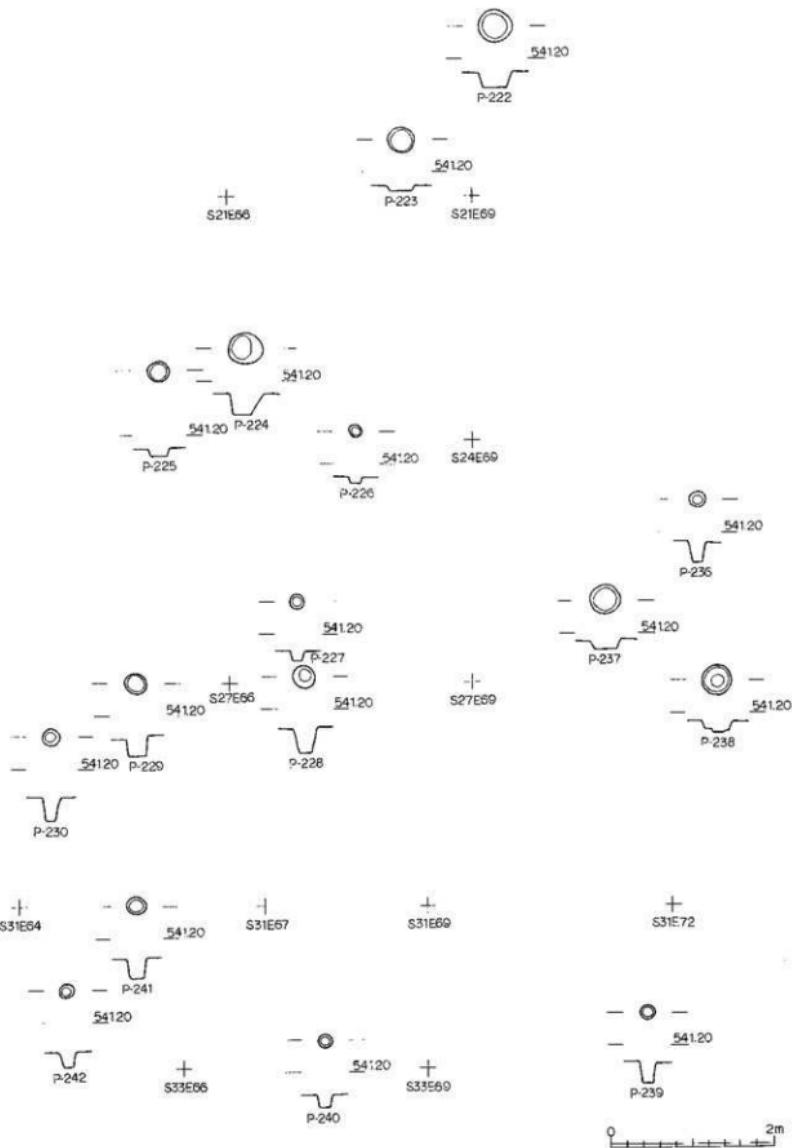
- ⊖ -
-- 54160
P-238

S27E75

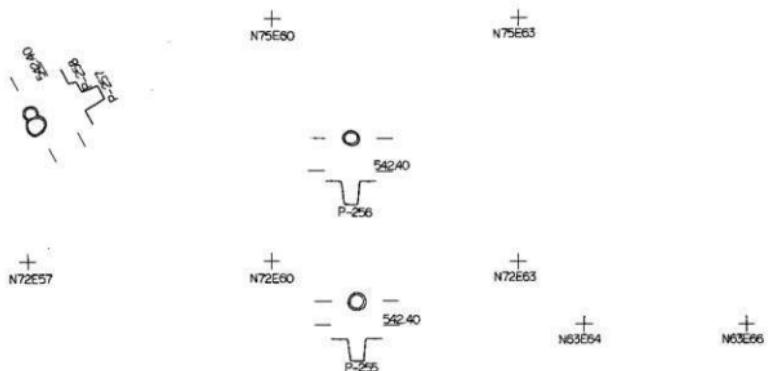
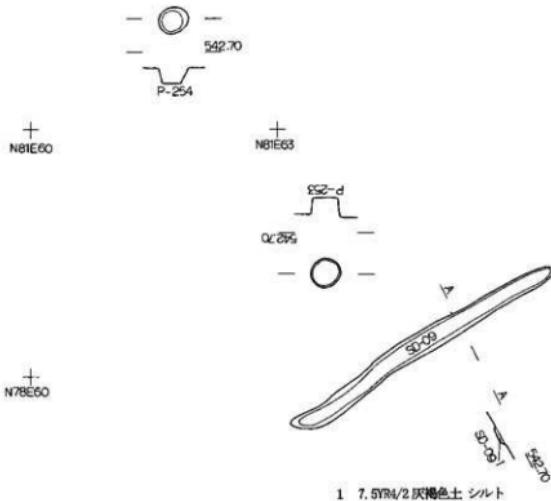
S29E72

0 2m

第75図 ピット実測図(16)



第76図 ピット実測図(17)



0 2m

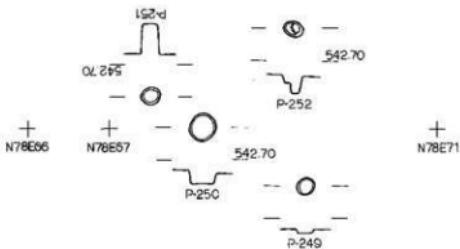
第77図 ピット実測図(18)

+

N81E66

+

N81E69



+

N78E66

+

N78E57

+

N78E71

+

N75E69

+

N71E72

+

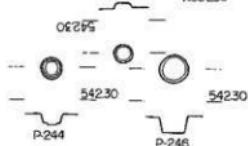
N71E75

+

N80E66

+

N80E69



+

N63E66

+

N63E69

0 2m

第78図 ピット実測図(19)

第1号掘立柱建物跡

遺構図版	第6図	遺物図版	—	規模	桁行5間(7.00m)×梁行4間(6.40m)							
主軸方向	N-39°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.40m 梁行1.60m											
柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.42	0.40	0.07	円形	無	8	0.46	0.42	0.34	円形	無
	2	0.39	0.38	0.42	円形	有	9	0.37	0.36	0.30	円形	無
	3	0.38	0.36	0.23	円形	無	10	0.42	0.38	0.16	円形	無
	4	0.47	0.43	0.38	円形	有	11	0.42	0.39	0.39	円形	無
	5	0.41	0.38	0.10	円形	無	12	0.56	0.48	0.42	円形	無
	6	0.38	0.36	0.14	円形	無	13	0.46	0.43	0.40	円形	無
備考	P2・4・6・7・8・9から土師器片出土 北西隅は調査区域外 ST-02と切り合い関係											

第2号掘立柱建物跡

遺構図版	第7図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.64m)×梁行1間(2.64m)							
主軸方向	N-50°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.82m 梁行2.64m											
柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.38	0.34	円形	無	4	0.34	0.34	0.42	円形	無
	2	0.48	0.46	0.46	円形	無	5	0.42	0.36	0.42	円形	無
	3	0.34	0.26	0.36	円形	無	6	0.32	0.30	0.28	円形	無
	P2から土師器片出土 ST-01と切り合い関係											

第5表 掘立柱建物跡観察表(1)

第3号掘立柱建物跡

遺構図版	第8図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.35m)×梁行1間(3.40m)							
主軸方向	N-54°-W				棟方向	北西南東棟						
柱間寸法	桁行1.68m 梁行3.40m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.38	0.36	0.21	円形	無	4	0.38	0.36	0.23	円形	無
	2	0.34	0.33	0.28	円形	無	5	0.36	0.36	0.35	円形	無
	3	0.40	0.39	0.42	円形	無	6	0.37	0.36	0.31	円形	無
	P 1・3・5から土師器片出土											
	備考											

第4号掘立柱建物跡

遺構図版	第9図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.60m)×梁行1間(3.10m)							
主軸方向	N-37°-W				棟方向	北西南東棟						
柱間寸法	桁行1.80m 梁行3.10m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.34	0.22	円形	無	4	0.36	0.34	0.18	円形	無
	2	0.42	0.38	0.18	円形	無	5	0.38	0.38	0.24	円形	無
	3	0.40	0.36	0.26	円形	無	6	0.34	0.34	0.28	円形	無
	P 1・2・5から土師器片出土											
	備考											

第6表 掘立柱建物跡観察表(2)

第5号掘立柱建物跡

遺構図版	第10図	遺物図版	—	規模	桁行2間(5.07m)×梁行2間(3.26m)							
主軸方向	N-13°-E			棟方向	南北棟							
柱間寸法	桁行2.54m 梁行1.63m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.32	0.30	0.24	円形	無	5	0.31	0.30	0.18	円形	無
	2	0.38	0.34	0.24	円形	無	6	0.34	0.34	0.24	円形	無
	3	0.40	0.34	0.23	円形	無	7	0.30	0.28	0.16	円形	無
	4	0.36	0.36	0.24	円形	無	8	0.36	0.32	0.24	円形	無
	P 6・8から土師器片出土											
	備考											

第6号掘立柱建物跡

遺構図版	第11図	遺物図版	—	規模	桁行3間(5.24m)×梁行3間(4.36m)							
主軸方向	N-84°-W			棟方向	東西棟							
柱間寸法	桁行1.74m 梁行1.45m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.32	0.26	0.25	円形	無	8	0.38	0.38	0.30	円形	無
	2	0.34	0.32	0.24	円形	無	9	0.42	0.38	0.25	円形	無
	3	0.34	0.32	0.18	円形	無	10	0.44	0.44	0.26	円形	無
	4	0.40	0.40	0.18	円形	無	11	0.34	0.34	0.26	円形	無
	5	0.38	0.36	0.16	円形	無	12	0.34	0.32	0.23	円形	無
	6	0.38	0.38	0.28	円形	無	13	0.34	0.30	0.26	円形	無
	7	0.40	0.36	0.28	円形	無						
P 3・5・8・9・13から土師器片出土												
備考												

第7表 掘立柱建物跡観察表(3)

第7号掘立柱建物跡

遺構図版	第1~2図	遺物図版	—	規模	桁行3間(5.48m)×梁行1間(4.00m)							
主軸方向	N-3°-E			棟方向	南北棟							
柱間寸法	桁行1.83m 梁行4.00m											
柱	番号 1 2 3 4	長径 0.48 0.45 0.42 0.40	短径 0.46 0.44 0.38 0.40	深さ 0.22 0.19 0.24 0.18	平面形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無	番号 5 6 7 8	長径 0.49 0.48 0.45 0.42	短径 0.39 0.42 0.44 0.40	深さ 0.22 0.20 0.21 0.22	平面形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無
備考	P4から土師器片出土											

第8号掘立柱建物跡

遺構図版	第1~3図	遺物図版	—	規模	桁行3間(5.11m)×梁行1間(3.90m)							
主軸方向	N-3°-E			棟方向	南北棟							
柱間寸法	桁行1.70m 梁行3.90m											
柱	番号 1 2 3 4	長径 0.58 0.38 0.36 0.34	短径 0.42 0.37 0.31 0.33	深さ 0.36 0.28 0.30 0.38	平面形 椭円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無	番号 5 6 7 8	長径 0.40 0.42 0.36 0.34	短径 0.38 0.36 0.34 0.33	深さ 0.40 0.28 0.30 0.22	平面形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無
備考												

第8表 掘立柱建物跡観察表(4)

第9号掘立柱建物跡

遺構図版	第14図	遺物図版	—	規模	桁行3間(4.40m)×梁行1間(3.75m)							
主軸方向	N-3°-E			棟方向	南北棟							
柱間寸法	桁行1.47m 梁行3.75m											
柱 穴	番号 1 2 3 4	長径 0.40 0.42 0.50 0.44	短径 0.38 0.38 0.36 0.40	深さ 0.34 0.36 0.42 0.48	平面形 円形 円形 楕円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無	番号 5 6 7 8	長径 0.46 0.40 0.44 0.46	短径 0.38 0.38 0.42 0.44	深さ 0.48 0.44 0.38 0.50	平面形 楕円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無
備考	P1から土師器片出土											

第10号掘立柱建物跡

遺構図版	第15図	遺物図版	第79図	規模	桁行2間(3.28m)×梁行2間(3.23m)							
主軸方向	N-58°-E			棟方向	北東西南棟							
柱間寸法	桁行1.64m 梁行1.62m											
柱 穴	番号 1 2 3 4	長径 0.30 0.28 0.28 0.30	短径 0.29 0.26 0.28 0.28	深さ 0.24 0.16 0.16 0.24	平面形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無	番号 5 6 7 8	長径 0.30 0.36 0.36 0.22	短径 0.28 0.36 0.34 0.21	深さ 0.28 0.16 0.20 0.30	平面形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無
備考	P5(第79図-1)から土師器片出土											

第9表 掘立柱建物跡観察表(5)

第11号掘立柱建物跡

遺構図版	第16図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.20m)×梁行1間(3.15m)								
主軸方向	N-83°-W			棟方向	東西棟								
柱間寸法	桁行1.60m 梁行3.15m												
柱 穴	番号 1 2 3	長径 0.24 0.21 0.25	短径 0.24 0.20 0.25	深さ 0.28 0.04 0.22	平面形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無	番号 4 5 6	長径 0.38 0.28 0.28	短径 0.32 0.27 0.28	深さ 0.38 0.11 0.14	平面形 楕円形 円形 円形	柱の痕跡 有 無 無	
備 考	P 1・3・4・5・6から土師器片出土												

第12号掘立柱建物跡

遺構図版	第17図	遺物図版	第79図	規模	桁行4間(7.50m)×梁行4間(7.00m)								
主軸方向	N-3°-W			棟方向	南北棟								
柱間寸法	桁行1.88m 梁行1.75m												
柱 穴	番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	長径 0.36 0.52 0.39 0.54 0.38 0.40 0.40 0.38 0.44 0.58	短径 0.34 0.38 0.30 0.40 0.36 0.34 0.34 0.28 0.44 0.34	深さ 0.34 0.40 0.38 0.36 0.38 0.44 0.38 0.33 0.30 0.38	平面形 円形 楕円形 楕円形 円形 楕円形 円形 楕円形 円形 楕円形	柱の痕跡 無 有 無 有 無 無 無 無 有 無	番号 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	長径 0.42 0.32 0.34 0.48 0.44 0.32 0.22 0.23 0.32 0.28	短径 0.38 0.30 0.30 0.34 0.38 0.28 0.20 0.20 0.22 0.20	深さ 0.40 0.36 0.30 0.36 0.36 0.40 0.20 0.18 0.24 0.22	平面形 楕円形 円形 楕円形 楕円形 楕円形 円形 円形 楕円形 楕円形	柱の痕跡 無 無 無 無 無 有 無 無 無 無	
備 考	P 6・8(第79図-2)・12・13・19から土師器片出土 前回一部調査												

第10表 掘立柱建物跡観察表(6)

第13号掘立柱建物跡

遺構図版	第18図	遺物図版	—	規模	桁行4間(6.38m)×梁行3間(5.70m)							
主軸方向	N-3°-W			棟方向	南北棟							
柱間寸法	桁行1.60m 梁行1.90m											
柱	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.28	0.26	0.20	円形	無	8	0.26	0.24	0.34	円形	無
	2	0.25	0.25	0.24	円形	無	9	0.29	0.29	0.18	円形	無
	3	0.27	0.27	0.30	円形	無	10	0.28	0.27	0.14	円形	無
	4	0.30	0.28	0.20	円形	無	11	0.33	0.32	0.12	円形	無
	5	0.28	0.26	0.16	円形	無	12	0.32	0.31	0.22	円形	無
	6	0.28	0.28	0.15	円形	無	13	0.32	0.31	0.21	円形	無
穴	7	0.26	0.24	0.24	円形	無	14	0.29	0.28	0.18	円形	無
	P9・13から土師器片出土 S T-15と切り合ひ関係											
	備											
	考											

第14号掘立柱建物跡

遺構図版	第19図	遺物図版	—	規模	桁行2間(4.10m)×梁行1間(3.40m)							
主軸方向	N-56°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行2.05m 梁行3.40m											
柱	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.43	0.40	0.18	円形	無	4	0.37	0.37	0.21	円形	無
	2	0.30	0.30	0.14	円形	無	5	0.40	0.36	0.18	円形	無
	3	0.38	0.37	0.18	円形	無	6	0.39	0.34	0.14	円形	無
	備											
	考											

第11表 掘立柱建物跡観察表(7)

第15号掘立柱建物跡

遺構図版	第20図	遺物図版	—	規模	桁行2間(4.06m)×梁行1間(3.68m)							
主軸方向	N-21°-E			棟方向	北東南西棟							
柱間寸法	桁行2.03m 梁行3.68m											
柱	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
穴	1	0.38	0.36	0.18	円形	無	4	0.40	0.36	0.44	橢円形	無
	2	0.38	0.36	0.12	円形	無	5	0.42	0.40	0.22	円形	無
	3	0.51	0.36	0.24	円形	有	6	0.44	0.38	0.18	円形	無
備考	P1・3・6から土師器片出土 ST-13と切り合い関係											

第16号掘立柱建物跡

遺構図版	第21図	遺物図版	—	規模	桁行1間(3.14m)×梁行1間(2.60m)							
主軸方向	N-68°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行3.14m 梁行2.60m											
柱	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
穴	1	0.48	0.42	0.16	円形	無	4	0.48	0.46	0.32	円形	無
	2	0.48	0.38	0.36	円形	無	5	0.46	0.40	0.36	円形	無
備考	P4から土師器片出土											

第12表 掘立柱建物跡観察表(8)

第17号掘立柱建物跡

遺構図版	第22図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.73m)×梁行1間(3.10m)								
主軸方向	N-23°-W			棟方向	北西南東棟								
柱間寸法	桁行1.87m 梁行3.10m												
柱 六	番号 1 2 3	長径 0.31 0.36 0.33	短径 0.28 0.12 0.30	深さ 0.22 0.14 0.18	平面形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無	番号 4 5 6	長径 0.38 0.32 0.29	短径 0.36 0.30 0.28	深さ 0.15 0.11 0.20	平面形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無	
備考													

第18号掘立柱建物跡

遺構図版	第23図	遺物図版	—	規模	桁行4間(6.40m)×梁行4間(6.00m)								
主軸方向	N-8°-W			棟方向	北西南東棟								
柱間寸法	桁行1.60m 梁行1.50m												
柱 穴	番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9	長径 0.62 0.38 0.42 0.38 0.42 0.40 0.36 0.44 0.32	短径 0.60 0.38 0.40 0.36 0.36 0.36 0.34 0.36 0.40	深さ 0.52 0.36 0.46 0.40 0.50 0.42 0.38 0.44 0.40	平面形 円形 円形 円形 円形 円形 円形 楕円形 円形	柱の痕跡 無 有 無 有 無 無 無 無 有	番号 10 11 12 13 14 15 16 17	長径 0.36 0.30 0.36 0.34 0.43 0.46 0.50 0.50	短径 0.46 0.28 0.32 0.32 0.38 0.40 0.40 0.41	深さ 0.46 0.42 0.34 0.32 0.32 0.36 0.42 0.46	平面形 円形 円形 円形 円形 楕円形 楕円形 楕円形	柱の痕跡 無 無 無 無 無 有 無 無	
備考	P1・2・3・6・7・11・12・14から土師器片出土 P10がP9をきる SD-08をきる												
考													

第13表 掘立柱建物跡観察表(9)

第19号掘立柱建物跡

遺構図版	第24図	遺物図版	—	規模	桁行3間(4.75m)×梁行2間(3.90m)							
主軸方向	N-20°-E				棟方向	北東南西棟						
柱間寸法	桁行1.58m 梁行1.95m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.22	0.22	0.23	円形	無	6	0.32	0.28	0.10	円形	無
	2	0.44	0.36	0.22	円形	無	7	0.32	0.32	0.26	円形	無
	3	0.38	0.37	0.23	円形	無	8	0.36	0.36	0.26	円形	無
	4	0.34	0.34	0.20	円形	無	9	0.36	0.32	0.20	円形	無
	5	0.36	0.36	0.24	円形	無	10	0.34	0.32	0.16	円形	無
	P4・5・8・10から土師器片出土 ST-19P2がP-135をきる											
	備考											

第20号掘立柱建物跡

遺構図版	第25図	遺物図版	第79図	規模	桁行3間(4.93m)×梁行2間(3.87m)							
主軸方向	N-84°-E				棟方向	東西棟						
柱間寸法	桁行1.64m 梁行1.94m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.35	0.20	円形	有	7	0.50	0.46	0.29	円形	有
	2	0.44	0.40	0.23	円形	有	8	0.34	0.32	0.29	円形	無
	3	0.28	0.26	0.16	円形	無	9	0.36	0.34	0.24	円形	有
	4	0.28	0.28	0.19	円形	無	10	0.33	0.25	0.29	円形	有
	5	0.27	0.26	0.33	円形	無	11	0.28	0.24	0.13	円形	有
	6	0.34	0.33	0.19	円形	無						
	P6(第79図-3)・7から土師器片出土 入側柱式 前回調査											
	備考											

第14表 掘立柱建物跡観察表(10)

第21号掘立柱建物跡

遺構図版	第26図	遺物図版	—	規模	桁行1間(3.05m)×梁行1間(1.80m)						
主軸方向	N-10°-E			棟方向	北東南西棟						
柱間寸法	桁行3.05m 梁行1.80m										
柱 番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
穴 1	0.50	0.50	0.30	円形	無	3	0.48	0.44	0.32	円形	無
穴 2	0.44	0.43	0.38	円形	無	4	0.52	0.20	0.26	楕円形	無
備	P2から土師器片出土 ST-21P4がST-22P3に切られる										
考											

第22号掘立柱建物跡

遺構図版	第27図	遺物図版	第79図	規模	桁行2間(3.60m)×梁行1間(3.10m)						
主軸方向	N-82°-E			棟方向	東西棟						
柱間寸法	桁行1.80m 梁行3.10m										
柱 番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
穴 1	0.48	0.44	0.34	円形	無	4	0.42	0.40	0.24	円形	無
穴 2	0.48	0.38	0.45	楕円形	無	5	0.40	0.40	0.31	円形	無
穴 3	0.50	0.40	0.26	楕円形	無	6	0.58	0.53	0.40	円形	無
備	P1(第79図-4)・2・3・4・5から土師器片出土 P6(第79図-5)から土師・須恵器片出土 ST-22P3がST-21P4をさる										
考											

第15表 掘立柱建物跡観察表(11)

第23号掘立柱建物跡

遺構図版	第28図	遺物図版	—	規模	桁行2間(2.27m)×梁行2間(3.60m)							
主軸方向	N-75°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.14m 梁行1.80m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.60	0.32	0.36	円形	無	6	0.60	0.50	0.22	円形	有
	3	0.36	0.34	0.30	円形	無	7	0.46	0.44	0.30	円形	無
	4	0.42	0.38	0.32	円形	無	8	0.44	0.40	0.42	円形	無
	5	0.42	0.40	0.36	円形	有	9	0.36	0.36	0.24	円形	無
備考	P4・5・6・7・8・9から土師器片出土 ST-23P6がST-24P2をきる											

第24号掘立柱建物跡

遺構図版	第29図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.15m)×梁行1間(3.04m)							
主軸方向	N-16°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.57m 梁行3.04m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.34	0.32	0.20	円形	有	4	0.35	0.34	0.24	円形	有
	2	0.36	0.34	0.38	円形	無	5	0.36	0.28	0.27	楕円形	有
	3	0.34	0.28	0.38	円形	有	6	0.30	0.30	0.20	円形	無
備考	P1・3・4・6から土師器片出土 ST-24P2がST-23P6に切られる											

第16表 掘立柱建物跡観察表(12)

第25号掘立柱建物跡

遺構図版	第30図	遺物図版	—	規模	桁行4間(4.98m)×梁行3間(4.44m)							
主軸方向	N-25°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.25m 梁行1.48m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.35	0.35	0.24	円形	無	12	0.34	0.30	0.20	円形	無
	2	0.40	0.30	0.20	楕円形	有	13	0.30	0.29	0.22	円形	無
	4	0.34	0.30	0.14	円形	無	14	0.34	0.34	0.22	円形	無
	5	0.48	0.34	0.16	楕円形	有	15	0.30	0.23	0.18	楕円形	無
	7	0.28	0.28	0.08	円形	無	16	0.30	0.30	0.28	円形	無
	8	0.36	0.28	0.14	楕円形	無	17	0.28	0.27	0.20	円形	無
	10	0.35	0.34	0.14	円形	無	18	0.26	0.26	0.19	円形	無
	P10・12・16・17・18から土師器片出土 SD-08と切り合い関係											
	備考											

第26号掘立柱建物跡

遺構図版	第31図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.90m)×梁行3間(3.90m)							
主軸方向	N-76°-W			棟方向	南北棟							
柱間寸法	桁行1.95m 梁行1.30m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.56	0.54	0.30	円形	有	8	0.70	0.55	0.35	楕円形	有
	2	0.44	0.42	0.34	円形	有	10	0.42	0.36	0.20	円形	無
	3	0.60	0.48	0.32	楕円形	有	11	0.52	0.44	0.30	円形	有
	5	0.68	0.48	0.34	楕円形	有	12	0.38	0.38	0.34	円形	有
	7	0.58	0.52	0.37	円形	無	14	0.62	0.56	0.38	円形	有
	P1・2・3・5・7・8・10・11・12・14から土師器片出土											
	備考											

第17表 掘立柱建物跡観察表(13)

第27号掘立柱建物跡

遺構図版	第32図	遺物図版	第128図	規模	桁行5間(8.24m)×梁行間(m)							
主軸方向	N-30°-E			棟方向								
柱間寸法	桁行1.65m 梁行2.00m											
柱 穴	番号 1 2 3 4	長径 0.64 0.54 0.66 0.50	短径 0.48 0.42 0.44 0.45	深さ 0.58 0.52 0.50 0.28	平面形 楕円形 楕円形 楕円形 楕円形	柱の痕跡 有 有 有 有	番号 5 6 7 8	長径 0.50 0.52 0.41 0.66	短径 0.42 0.36 0.40 0.42	深さ 0.34 0.36 0.22 0.58	平面形 楕円形 楕円形 円形 楕円形	柱の痕跡 有 有 無 有
備考	P4から土師器片出土 SD-04に切られる	P6から白玉2個(第128図-1・2)出土										

第28号掘立柱建物跡

遺構図版	第33図	遺物図版	—	規模	桁行3間(5.00m)×梁行3間(4.60m)							
主軸方向	N-10°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.66m 梁行1.53m											
柱 穴	番号 1 2 3 4 5 6	長径 0.32 0.28 0.26 0.32 0.30 0.28	短径 0.30 0.26 0.28 0.32 0.26 0.24	深さ 0.20 0.28 0.30 0.26 0.22 0.18	平面形 円形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無 無 無	番号 7 8 9 10 11 12	長径 0.32 0.30 0.30 0.32 0.28 0.26	短径 0.30 0.30 0.30 0.30 0.30 0.28	深さ 0.24 0.16 0.12 0.16 0.20 0.20	平面形 円形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無 無 無
備考	P1・2・3・4から土師器片出土											

第18表 掘立柱建物跡観察表(14)

第29号掘立柱建物跡

遺構図版	第34図	遺物図版	—	規模	桁行3間(5.60m)×梁行3間(4.10m)							
主軸方向	N-85°-W			棟方向	東西棟							
柱間寸法	桁行1.87m 梁行1.37m											
柱 穴	番号 1 2 3 4 5 6	長径 0.50 0.48 0.54 0.58 0.46 0.46	短径 0.46 0.44 0.50 0.56 0.44 0.40	深さ 0.34 0.30 0.46 0.36 0.34 0.46	平面形 円形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無 無 無 無	番号 7 8 9 10 11 12	長径 0.48 0.40 0.44 0.53 0.44 0.42	短径 0.46 0.36 0.42 0.48 0.43 0.40	深さ 0.42 0.36 0.40 0.44 0.46 0.30	平面形 円形 円形 円形 円形 円形	柱の痕跡 有 無 無 無 無 有
備考	P 2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12から土器片出土											

第30号掘立柱建物跡

遺構図版	第35図	遺物図版	—	規模	桁行2間(2.89m)×梁行1間(2.66m)							
主軸方向	N-82°-E			棟方向	東西棟							
柱間寸法	桁行1.45m 梁行2.66m											
柱 穴	番号 1 2 3	長径 0.33 0.37 0.33	短径 0.32 0.34 0.32	深さ 0.20 0.23 0.19	平面形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無	番号 4 5 6	長径 0.38 0.39 0.39	短径 0.36 0.36 0.38	深さ 0.22 0.34 0.21	平面形 円形 円形 円形	柱の痕跡 無 無 無
備考	P 1・3・6から土器片出土											

第19表 掘立柱建物跡観察表(15)

第31号掘立柱建物跡

遺構図版	第36図	遺物図版	—	規模	桁行3間(3.70m)×梁行1間(3.00m)							
主軸方向	N-30°-W			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.23m 梁行3.00m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.40	0.36	0.34	円形	無	5	0.48	0.46	0.42	円形	有
	2	0.50	0.44	0.36	円形	有	6	0.50	0.46	0.40	円形	有
	3	0.46	0.42	0.38	円形	無	7	0.50	0.48	0.32	円形	有
	4	0.50	0.44	0.44	円形	有	8	0.48	0.46	0.32	円形	無
	P2・4・7から土師器片出土											
	備考											

第32号掘立柱建物跡

遺構図版	第37図	遺物図版	—	規模	桁行間(m)×梁行2間(3.00m)							
主軸方向	N-82°-E			棟方向	東西棟							
柱間寸法	桁行1.60m 梁行1.50m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.34	0.31	円形	無	4	0.55	0.42	0.31	円形	無
	2	0.50	0.48	0.26	楕円形	無	5	0.41	0.36	0.45	円形	無
	3	0.37	0.36	0.32	円形	有	6	0.44	0.36	0.29	楕円形	無
	P2・6から土師器片出土											
	備考 東側は調査区域外											
	考											

第20表 掘立柱建物跡観察表(16)

第33号掘立柱建物跡

遺構図版	第38図	遺物図版	—	規模	桁行 間(m) × 梁行 間(m)							
主軸方向	N - 64° - E			棟方向								
柱間寸法	桁行1.67m 梁行1.45m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.48	0.42	0.58	円形	無	4	0.44	0.40	0.52	円形	無
	2	0.43	0.43	0.56	円形	有	5	0.47	0.42	0.40	円形	無
	3	0.48	0.42	0.54	円形	無	6	0.46	0.44	0.50	円形	有
備考	P 4・5・6から土師器片出土 南側は調査区域外											

第34号掘立柱建物跡

遺構図版	第39図	遺物図版	第79図	規模	桁行2間(3.57m) × 梁行2間(3.44m)							
主軸方向	N - 23° - E			棟方向	北西南東棟							
柱間寸法	桁行1.79m 梁行1.72m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.51	0.44	0.30	不整形	有	5	0.32	0.30	0.37	円形	無
	2	0.26	0.24	0.21	円形	無	6	0.27	0.26	0.27	円形	無
	3	0.34	0.30	0.28	円形	無	7	0.44	0.43	0.38	円形	無
	4	0.37	0.34	0.44	円形	無	8	0.40	0.39	0.27	円形	無
備考	P 1・3(第79図-6)・7(第79図-7)・8から土師器片出土											

第21表 掘立柱建物跡観察表(17)

第35号掘立柱建物跡

遺構図版	第40図	遺物図版	—	規模	桁行2間(5.32m)×梁行1間(4.05m)					
主軸方向	N-63°-W			棟方向	北東南西棟					
柱間寸法	桁行2.66m 梁行4.05m									
柱	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ
	1	0.24	0.22	0.12	円形	有	4	0.27	0.25	0.12
穴	2	0.31	0.28	0.18	円形	無	5	0.36	0.22	0.18
	3	0.28	0.26	0.16	円形	無	6	0.24	0.24	0.14
備考										

第36号掘立柱建物跡

遺構図版	第41図	遺物図版	—	規模	桁行2間(3.70m)×梁行1間(3.09m)					
主軸方向	N-45°-E			棟方向	北東南西棟					
柱間寸法	桁行1.85m 梁行3.09m									
柱	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ
	1	0.36	0.32	0.44	円形	無	4	0.42	0.40	0.20
穴	2	0.40	0.34	0.30	円形	無	5	0.40	0.36	0.30
	3	0.42	0.40	0.26	円形	有	6	0.36	0.34	0.26
備考		P2・3・4・6から土師器片出土								

第22表 掘立柱建物跡観察表(18)

第37号掘立柱建物跡

遺構図版	第42図	遺物図版	—	規模	桁行1間(3.80m)×梁行1間(3.80m)							
主軸方向	N-42°-E			棟方向								
柱間寸法	桁行1.50m 梁行3.80m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.36	0.26	0.26	円形	無	4	0.18	0.18	0.14	円形	無
	2	0.40	0.40	0.40	円形	無	5	0.40	0.36	0.17	円形	無
備 考	3	0.44	0.38	0.26	円形	無	6	0.36	0.35	0.14	円形	無
	P2・4から土師器片出土 SD-04に切られる											

第38号掘立柱建物跡

遺構図版	第43図	遺物図版	—	規模	桁行1間(2.86m)×梁行1間(2.80m)							
主軸方向	N-72°-E			棟方向	北東南西棟							
柱間寸法	桁行2.86m 梁行2.80m											
柱 穴	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡	番号	長径	短径	深さ	平面形	柱の痕跡
	1	0.28	0.24	0.20	円形	無	4	0.26	0.24	0.20	円形	無
	2	0.24	0.24	0.20	円形	無	5	0.28	0.24	0.20	円形	無
備 考	P3・4から土師器片出土											

第23表 掘立柱建物跡観察表(19)

第1号堅穴住居跡

遺構図版	第44図	遺物図版	第80・81図	平面形態	不明
主軸方向	N-36°-W	規模	5.94×	壁高	0.20(南)~0.28(北西)
床高	536.72~536.77			床面積	不明
柱穴	番号	長径	短径	深さ	平面形
	1	0.32	0.30	0.34	円形
備考	南側は搅乱を受けている。床面は縮まり、凹凸は少ない。				

第24表 堅穴住居跡観察表

	長径	短径	深さ	平面形態	断面形態	備考
SK-01	1.70	1.68	0.20	円形	たらい状	
SK-02	0.94	0.78	0.16	橢円形	たらい状	
SK-03	0.92	0.44	0.40	橢円形	なべ底状	
SK-04	0.94	0.90	0.14	不整形	たらい状	
SK-05	0.70	—	0.08	—	—	
SK-06	0.80	0.80	0.14	円形	たらい状	
SK-07	0.86	0.58	0.08	不整形	たらい状	
SK-08	2.60	1.86	0.16	不整形	たらい状	

第25表 土壌観察表

番号	長	径	短	径	深さ	番号	長	径	短	径	深さ	番号	長	径	短	径	深さ
P-1	0.46	0.44	0.20			P-32	0.18	0.16	0.08			P-74	0.26	0.24	0.24	0.41	
2	0.36	0.30	0.23			33	0.24	0.21	0.38			75	0.36	0.36	0.36	0.03	
3	0.46	0.38	0.18			34	0.34	0.30	0.28			76	0.28	0.22	0.22	0.10	
4	0.24	0.24	0.14			35	0.76	0.66	0.50			77	0.40	0.38	0.38	0.14	
5	0.22	0.22	0.10			36	0.24	0.24	0.44			78	0.18	0.14	0.14	0.10	
6	0.20	0.20	0.18			40	0.14	0.13	0.06			79	0.44	0.44	0.44	0.45	
7	0.38	0.32	0.12			43	0.46	0.34	0.10			80	0.26	0.24	0.24	0.17	
8	0.22	0.22	0.05			47	0.16	0.16	0.10			81	0.10	0.08	0.08	0.10	
9	0.12	0.11	0.20			49	0.68	0.34	0.46			82	0.22	0.22	0.22	0.10	
10	0.20	0.20	0.07			50	0.22	0.22	0.12			83	0.26	0.24	0.24	0.10	
11	0.14	0.14	0.14			51	0.26	0.22	0.26			84	0.24	0.22	0.22	0.10	
12	0.25	0.22	0.30			52	0.48	0.32	0.40			85	0.16	0.14	0.14	0.10	
13	0.20	0.20	0.12			53	0.21	0.20	0.16			86	0.18	0.16	0.16	0.14	
14	0.40	0.38	0.40			54	0.46	0.42	0.17			87	0.38	0.36	0.36	0.36	
15	0.14	0.14	0.14			55	0.36	0.30	0.19			88	0.15	0.14	0.14	0.08	
16	0.22	0.20	0.32			56	0.32	0.30	0.20			89	0.38	0.14	0.14	0.26	
17	0.24	0.22	0.18			57	0.38	0.34	0.40			90	0.35	0.34	0.34	0.24	
18	0.18	0.14	0.08			58	0.24	0.24	0.14			91	0.37	0.36	0.36	0.19	
19	0.24	0.22	0.11			59	0.36	0.35	0.49			92	0.32	0.31	0.31	0.34	
20	0.20	0.20	0.18			60	0.38	0.30	0.30			93	0.29	0.29	0.29	0.22	
21	0.20	0.20	0.14			62	0.20	0.20	0.08			94	0.36	0.12	0.12	0.46	
22	0.19	0.18	0.10			64	0.22	0.20	0.40			95	0.30	0.26	0.26	0.03	
23	0.22	0.21	0.26			65	0.30	0.28	0.22			96	0.28	0.26	0.26	0.10	
24	0.17	0.16	0.12			66	0.30	0.28	0.16			97	0.28	0.28	0.28	0.02	
25	0.26	0.25	0.18			67	0.24	0.22	0.18			98	0.26	0.24	0.24	0.04	
26	0.15	0.15	0.11			68	0.30	0.27	0.10			99	0.22	0.21	0.21	0.16	
27	0.26	0.24	0.32			69	0.18	0.16	0.14			100	0.18	0.17	0.17	0.18	
28	0.19	0.18	0.12			70	0.20	0.18	0.16			102	0.38	0.36	0.36	0.24	
29	0.22	0.22	0.29			71	0.16	0.15	0.05			103	0.39	0.38	0.38	0.28	
30	0.20	0.20	0.17			72	0.24	0.24	0.10			104	0.26	0.24	0.24	0.11	
31	0.16	0.16	0.06			73	0.20	0.18	0.34			105	0.26	0.20	0.20	0.20	

第26表 ピット観察表(1)

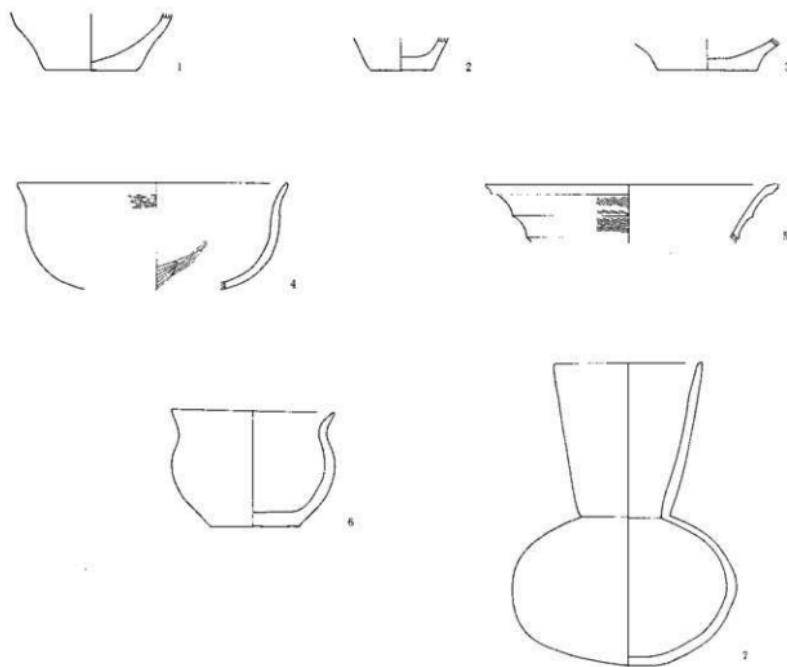
番号	長径	短径	深さ	番号	長径	短径	深さ	番号	長径	短径	深さ
P-106	0.26	0.22	0.14	P-139	0.24	0.22	0.20	P-174	0.22	0.20	0.28
107	0.22	0.21	0.22	140	0.20	0.20	0.24	175	0.12	0.12	0.12
108	0.28	0.28	0.10	141	0.24	0.24	0.06	176	0.19	0.19	0.13
109	0.35	0.32	0.24	142	0.22	0.20	0.10	177	0.24	0.20	0.24
110	0.32	0.31	0.18	143	0.26	0.24	0.18	178	0.51	0.26	0.34
112	0.23	0.22	0.14	144	0.20	0.18	0.10	179	0.32	0.22	0.14
113	0.16	0.13	0.07	145	0.18	0.12	0.06	180	0.30	0.20	0.16
114	0.20	0.19	0.12	146	0.18	0.18	0.10	181	0.36	0.34	0.17
115	0.18	0.17	0.25	147	0.26	0.24	0.12	182	0.14	0.14	0.07
116	0.32	0.28	0.18	148	0.20	0.20	0.32	183	0.18	0.16	0.24
117	0.22	0.18	0.22	149	0.22	0.20	0.28	185	0.28	0.24	0.30
118	0.26	0.24	0.09	150	0.20	0.18	0.26	191	0.22	0.20	0.26
119	0.36	0.32	0.10	151	0.18	0.18	0.11	193	0.13	0.12	0.18
120	0.16	0.16	0.38	152	0.16	0.16	0.18	194	0.18	0.16	0.32
121	0.22	0.21	0.11	153	0.22	0.20	0.12	195	0.12	0.10	0.18
122	0.20	0.19	0.30	154	0.38	0.30	0.26	196	0.30	0.28	0.27
123	0.20	0.16	0.04	155	0.12	0.12	0.12	197	0.20	0.18	
124	0.32	0.30	0.17	156	0.38	0.36	0.08	198	0.20	0.18	0.18
125	0.28	0.26	0.16	157	0.12	0.10	0.06	199	0.20	0.18	0.08
126	0.28	0.26	0.12	158	0.24	0.22	0.12	200	0.20	0.18	0.18
127	0.20	0.20	0.18	159	0.26	0.26	0.08	201	0.16	0.14	0.08
128	0.40	0.36	0.08	160	0.30	0.23	0.21	202	0.25	0.23	0.24
129	0.40	0.32	0.26	162	0.28	0.28	0.20	203	0.52	0.44	0.25
130	0.34	0.32	0.26	165	0.26	0.24	0.20	204	0.40	0.38	0.12
131	0.24	0.22	0.08	166	0.18	0.18	0.16	205	0.23	0.22	0.12
132	0.20	0.18	0.06	167	0.16	0.14	0.10	206	0.20	0.20	0.18
133	0.16	0.16	0.04	168	0.32	0.32	0.08	207	0.18	0.18	0.20
134	0.26	0.24	0.06	170	0.24	0.24	0.16	208	0.24	0.20	0.18
135	0.28	0.26	0.18	171	0.31	0.30	0.22	209	0.40	0.36	0.30
136	0.28	0.26	0.27	172	0.12	0.12	0.15	211	0.2	0.18	0.18
138	0.36	0.34	0.16	173	0.16	0.14	0.08	212	0.28	0.26	0.32

第27表 ピット観察表(2)

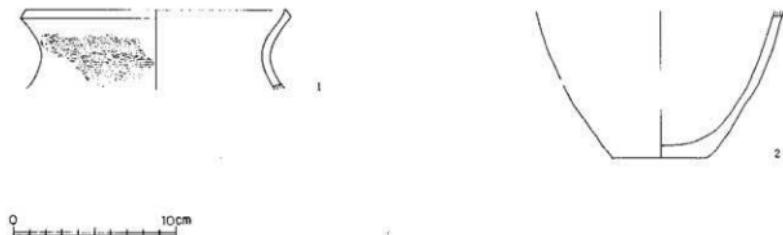
番号	長	径	短	径	深	さ	番号	長	径	短	径	深	さ
P-213	0.20	0.16		0.06			P-246	0.36	0.34		0.20		
214	0.20	0.18		0.10			247	0.24	0.24		0.23		
215	0.34	0.28		0.14			248	0.22	0.22		0.20		
216	0.34	0.28					249	0.22	0.22		0.04		
219	0.28	0.28		0.22			250	0.34	0.33		0.14		
220	0.3	0.30		0.14			251	0.22	0.20		0.37		
221	0.26	0.24		0.26			252	0.24	0.18		0.22		
222	0.40	0.40		0.18			253	0.36	0.34		0.24		
223	0.32	0.32		0.06			254	0.36	0.34		0.20		
224	0.42	0.38		0.27			255	0.22	0.21		0.37		
225	0.26	0.26		0.09			256	0.21	0.18		0.30		
226	0.17	0.16		0.08			257	0.25	0.22		0.24		
227	0.18	0.18		0.12			258	0.17	0.14		0.10		
228	0.30	0.28		0.30									
229	0.28	0.27		0.20									
230	0.22	0.22		0.30									
231	0.40	0.36		0.06									
232	0.32	0.32		0.24									
233	0.30	0.24		0.08									
234	0.22	0.24		0.10									
235	0.42	0.32		0.16									
236	0.20	0.20		0.25									
237	0.38	0.36		0.10									
238	0.38	0.38		0.14									
239	0.18	0.18		0.26									
240	0.18	0.18		0.16									
241	0.24	0.22		0.24									
242	0.18	0.16		0.18									
243	0.18	0.18		0.32									
244	0.26	0.26		0.16									
245	0.23	0.22		0.07									

第28表 ピット観察表(3)

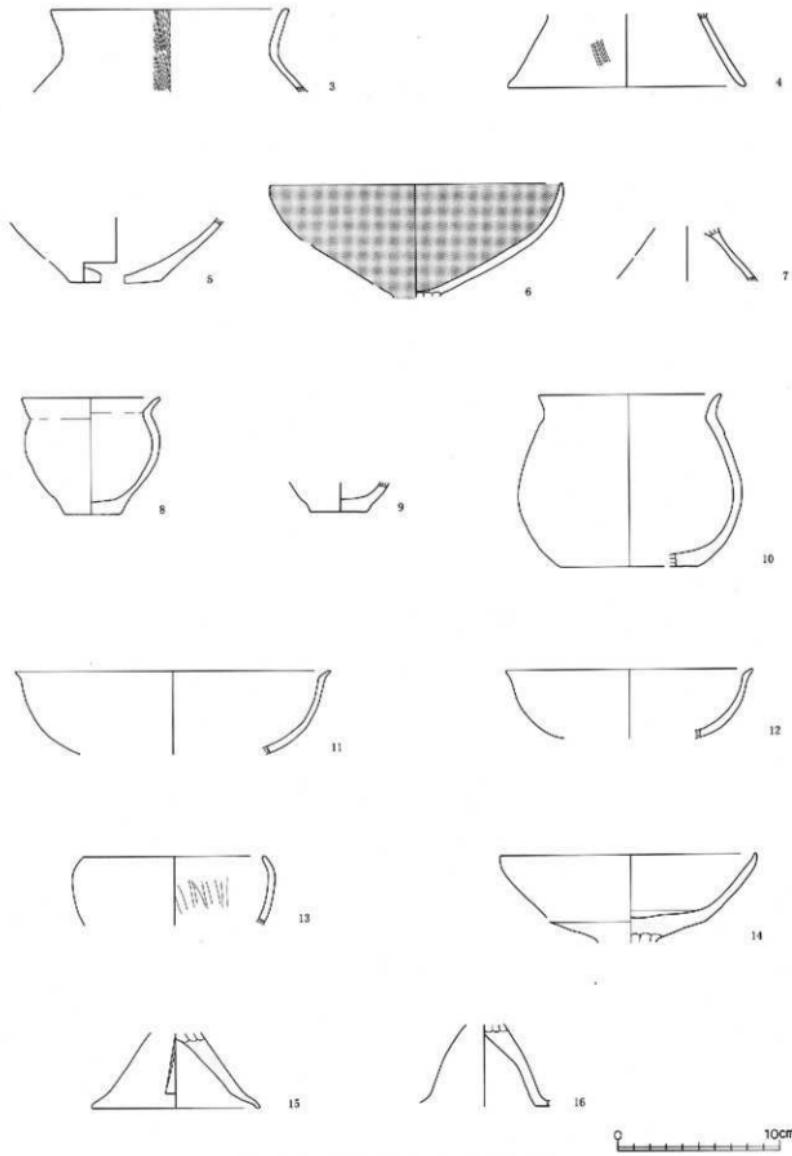
第4節 遺物実測図



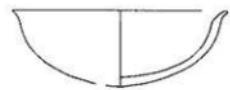
第79図 捜立柱建物跡出土遺物実測図



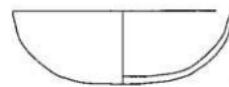
第80図 第1号竪穴住居跡出土遺物実測図(1)



第81図 第1号竪穴住居跡出土遺物実測図(2)



第82図 第1号溝跡出土遺物実測図



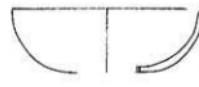
1



2



3



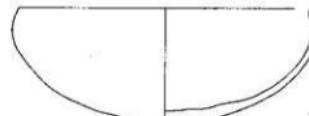
4



5



6



7



8



9



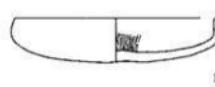
10



11



12



13



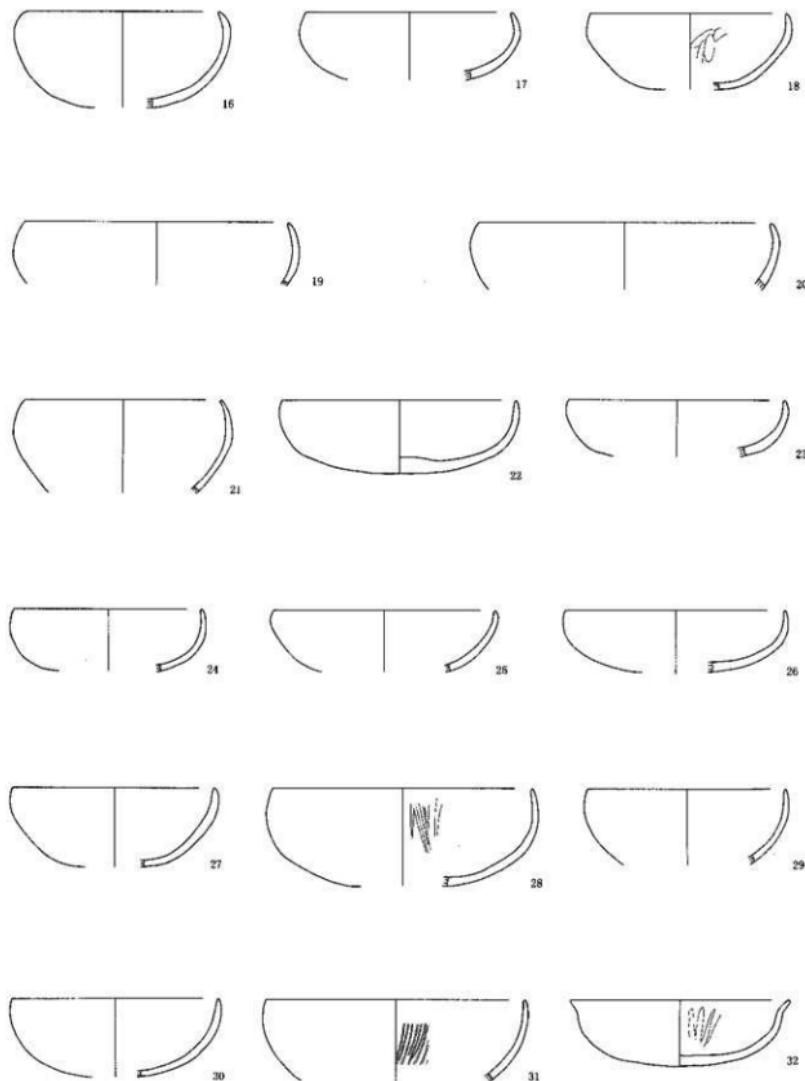
14



15

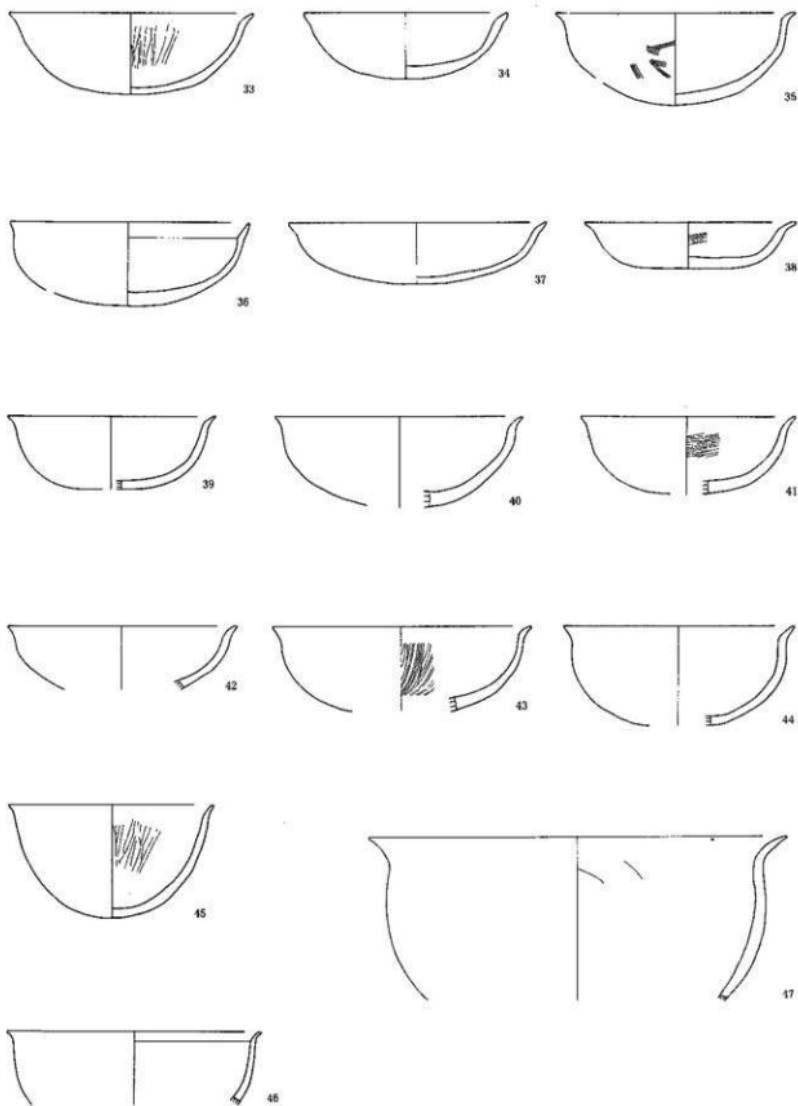


第83図 第2号溝跡出土遺物実測図(1)

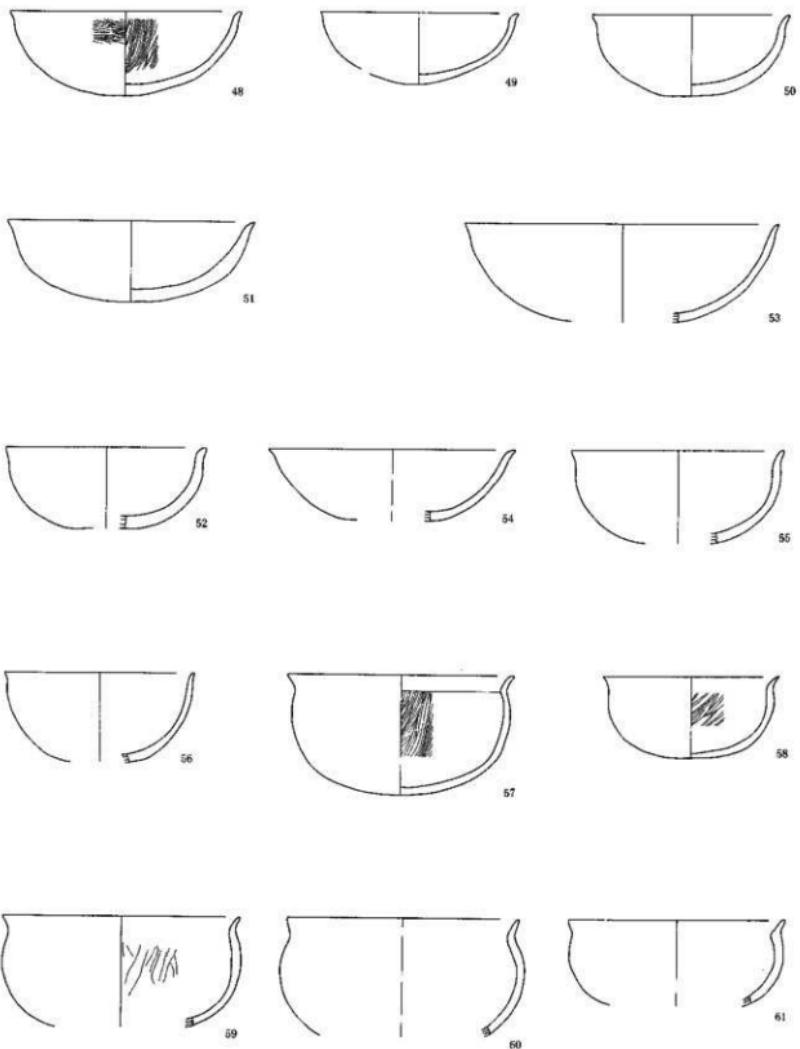


第84図 第2号溝跡出土遺物実測図(2)

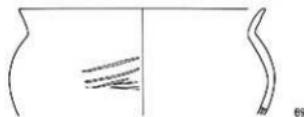
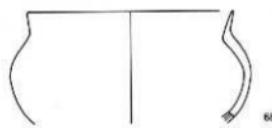
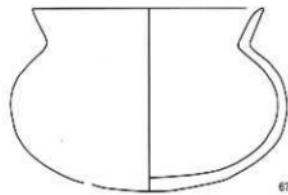
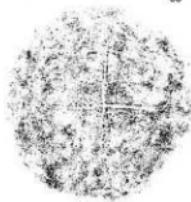
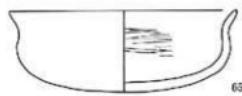
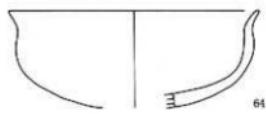
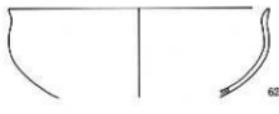
0 10cm



第85図 第2号溝跡出土遺物実測図(3)

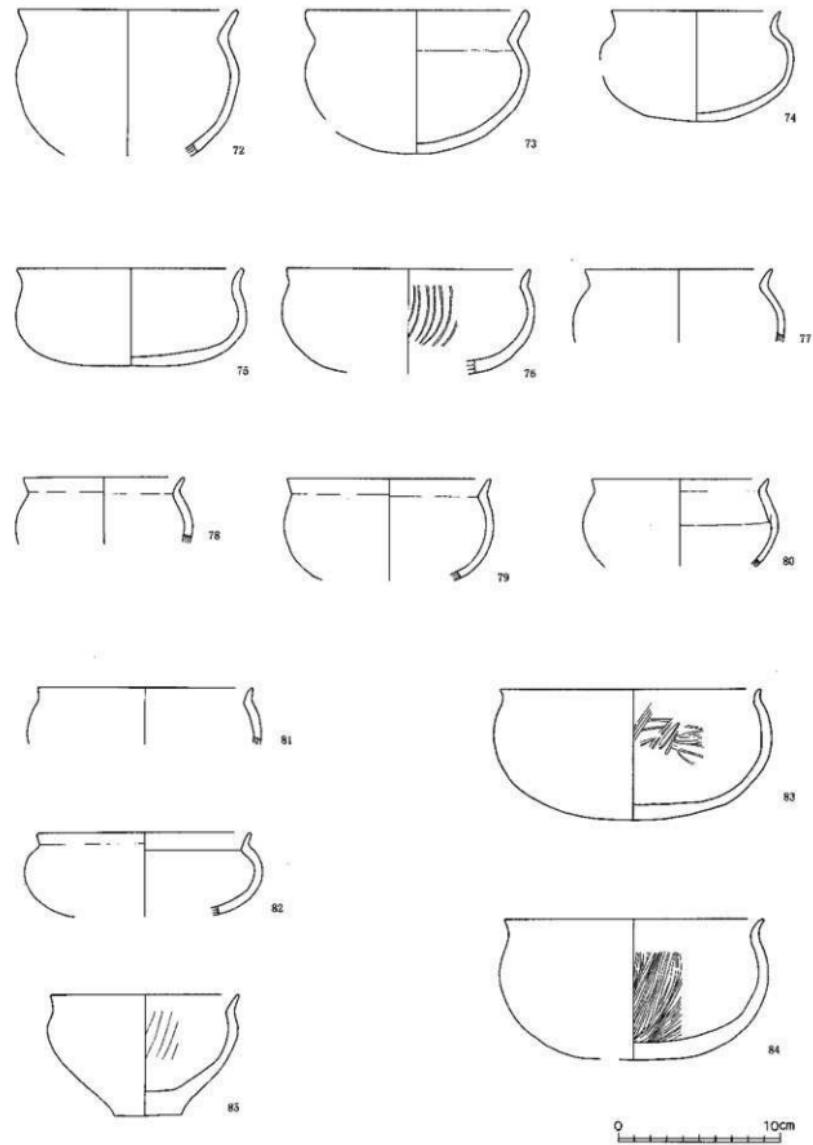


第86図 第2号溝跡出土遺物実測図(4)

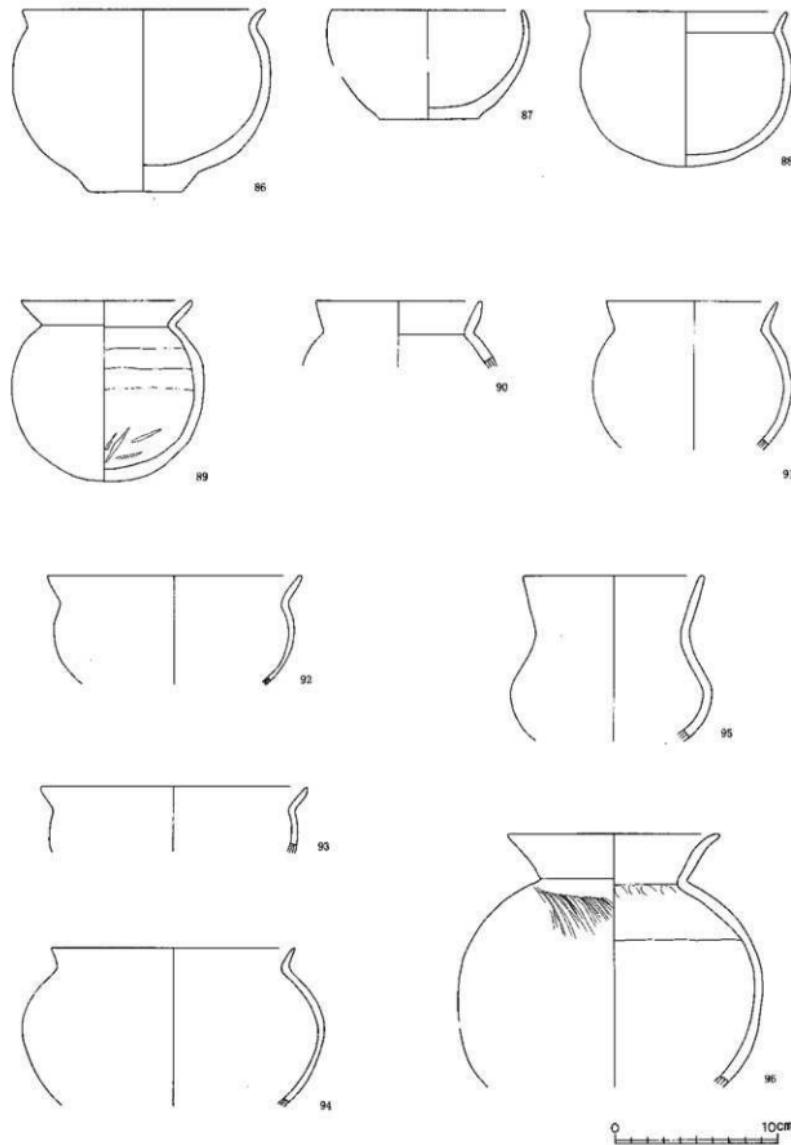


0 10cm

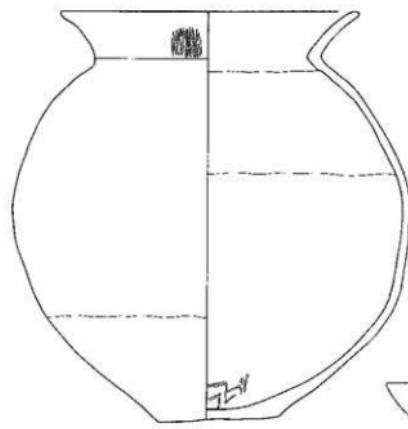
第87図 第2号溝跡出土遺物実測図(5)



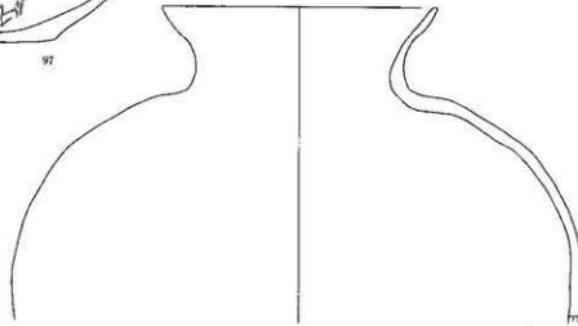
第88图 第2号沟出土遗物实测图(6)



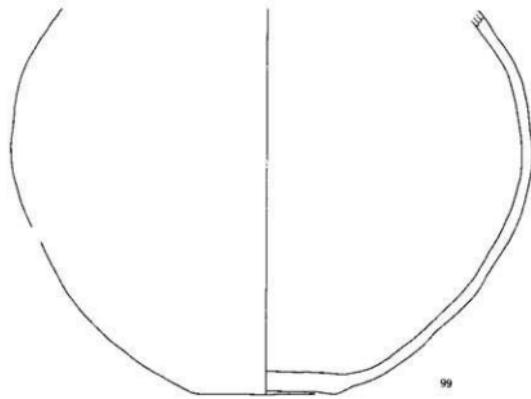
第89図 第2号溝跡出土遺物実測図(7)



97



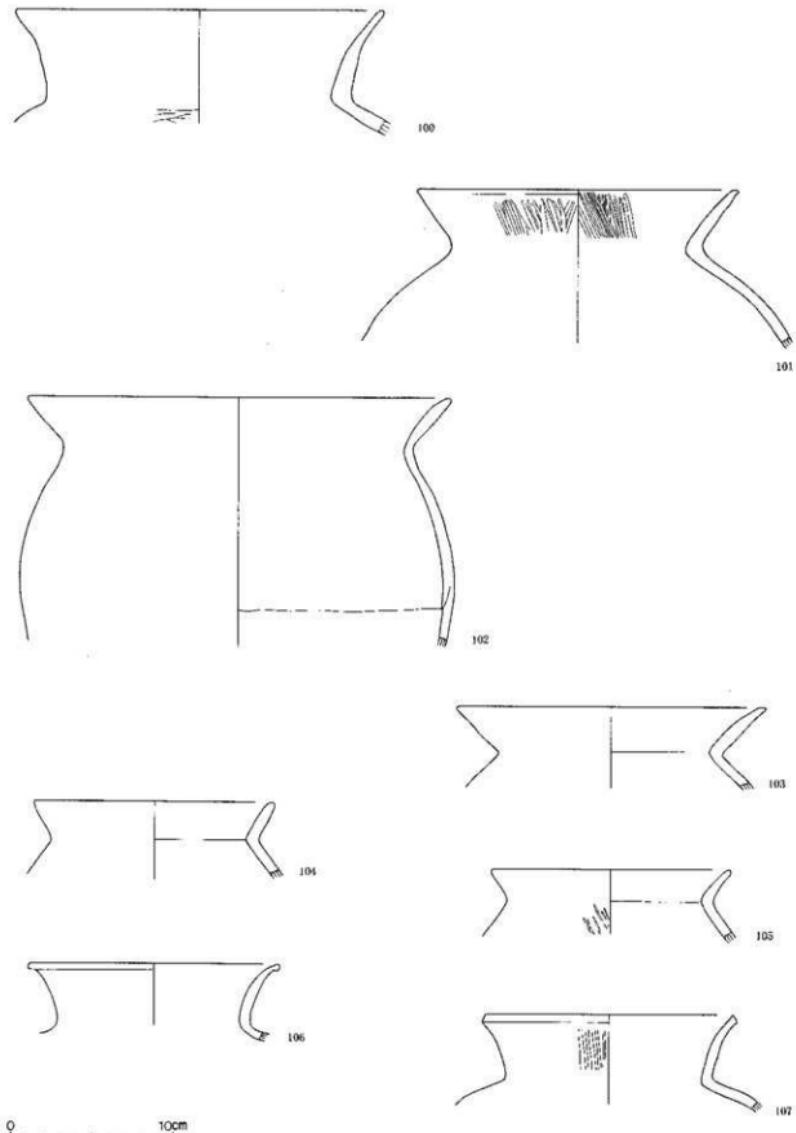
98



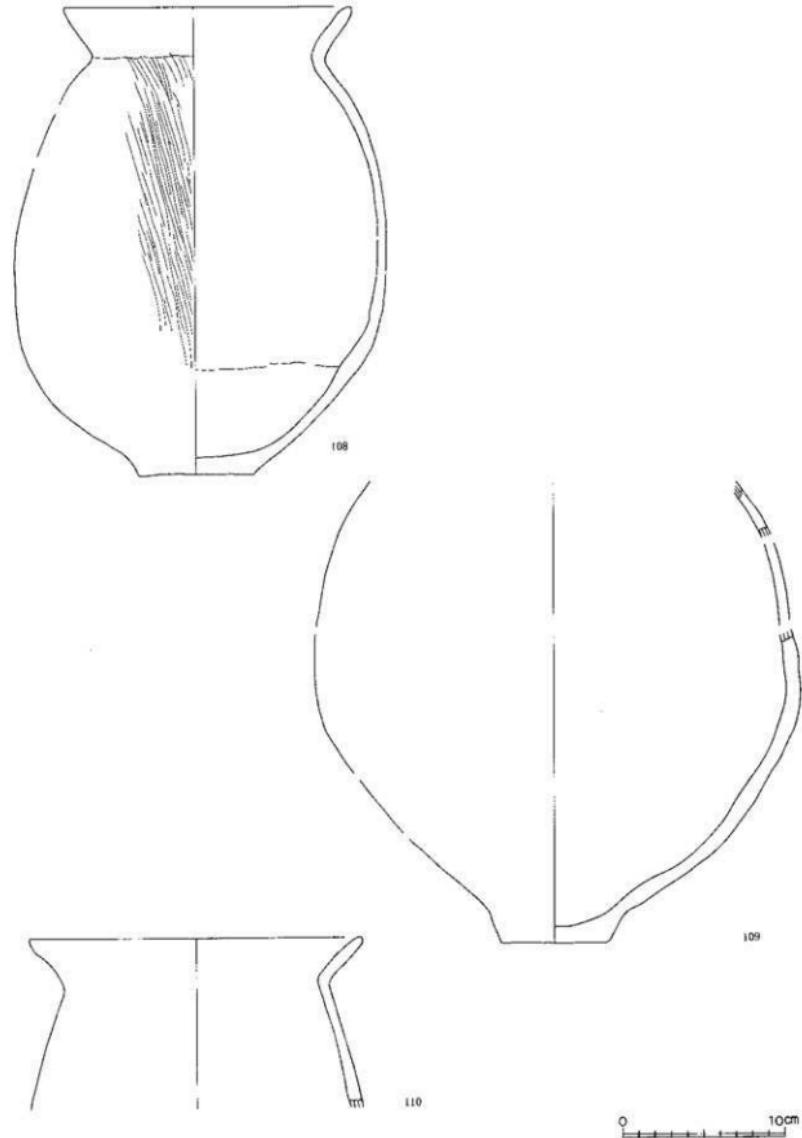
99

0 10cm

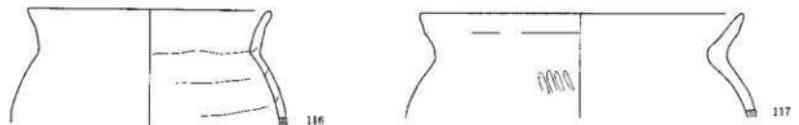
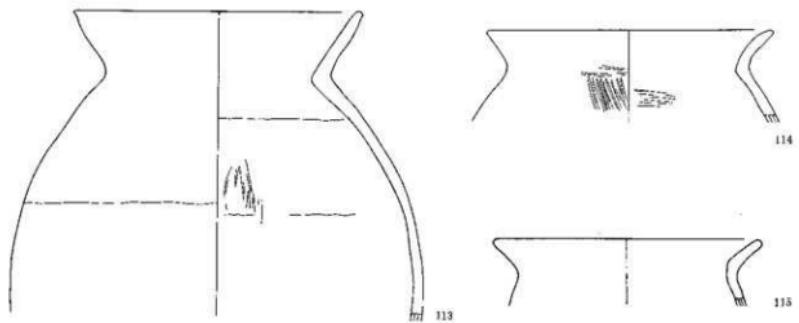
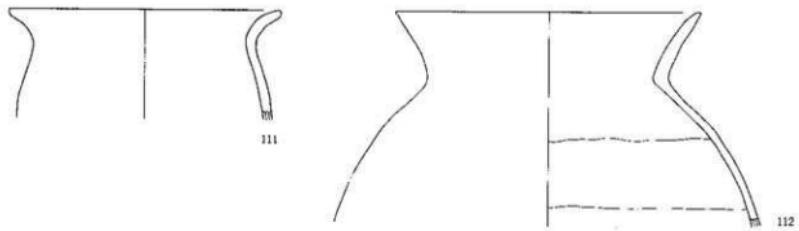
第90図 第2号溝跡出土遺物実測図(8)



第91図 第2号溝跡出土遺物実測図(9)

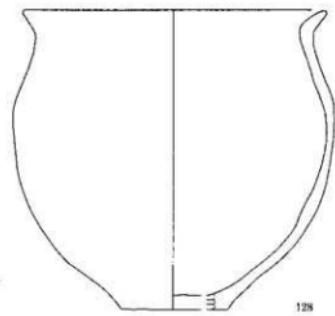
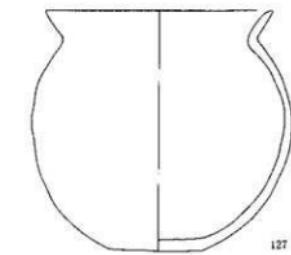
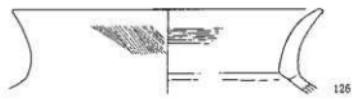
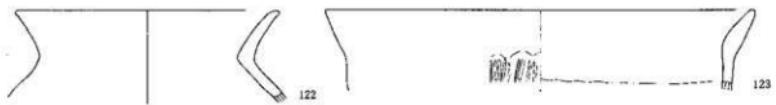


第92図 第2号溝跡出土遺物実測図(10)



0 10cm

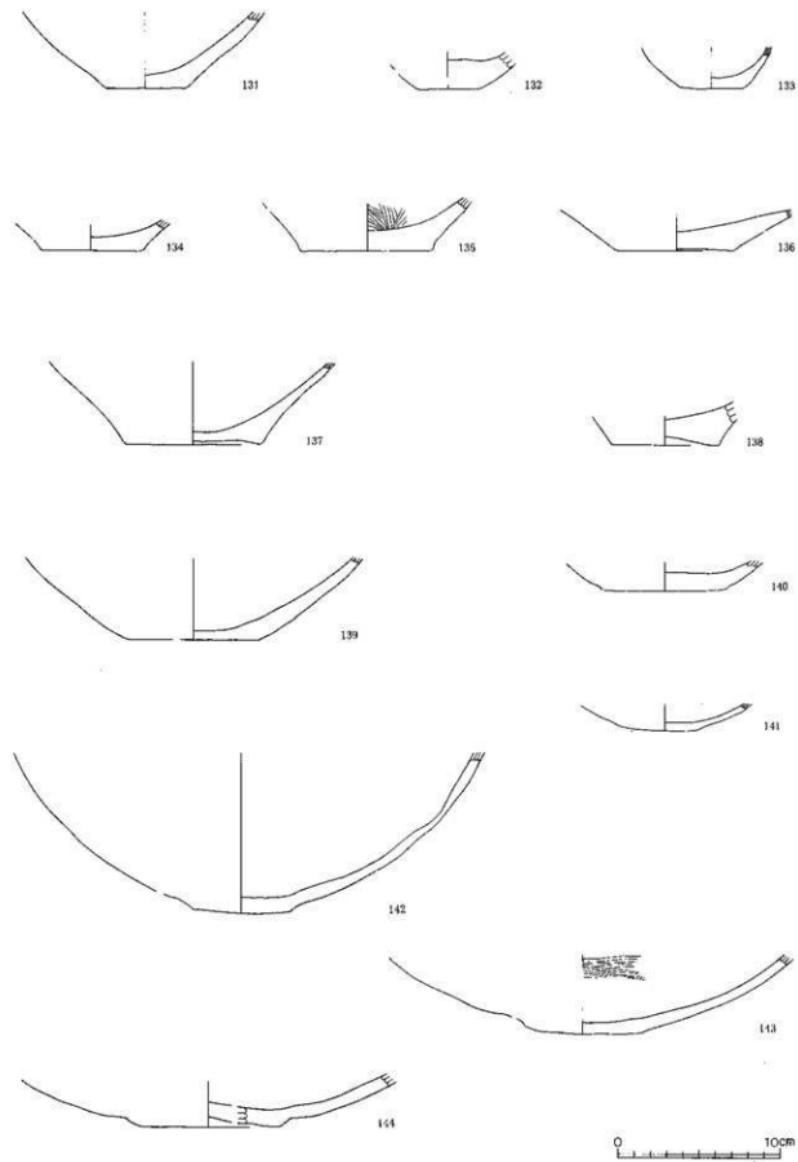
第93図 第2号溝跡出土遺物実測図(11)



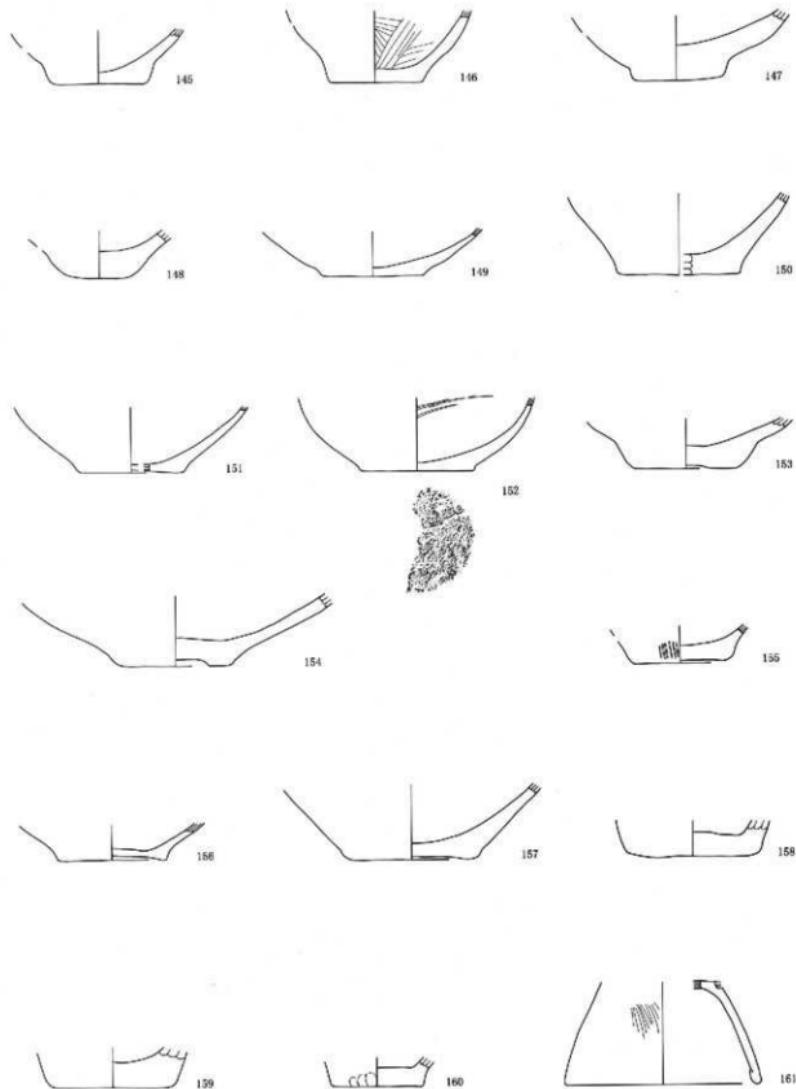
0 10cm



第94圖 第2號溝跡出土遺物實測圖(12)

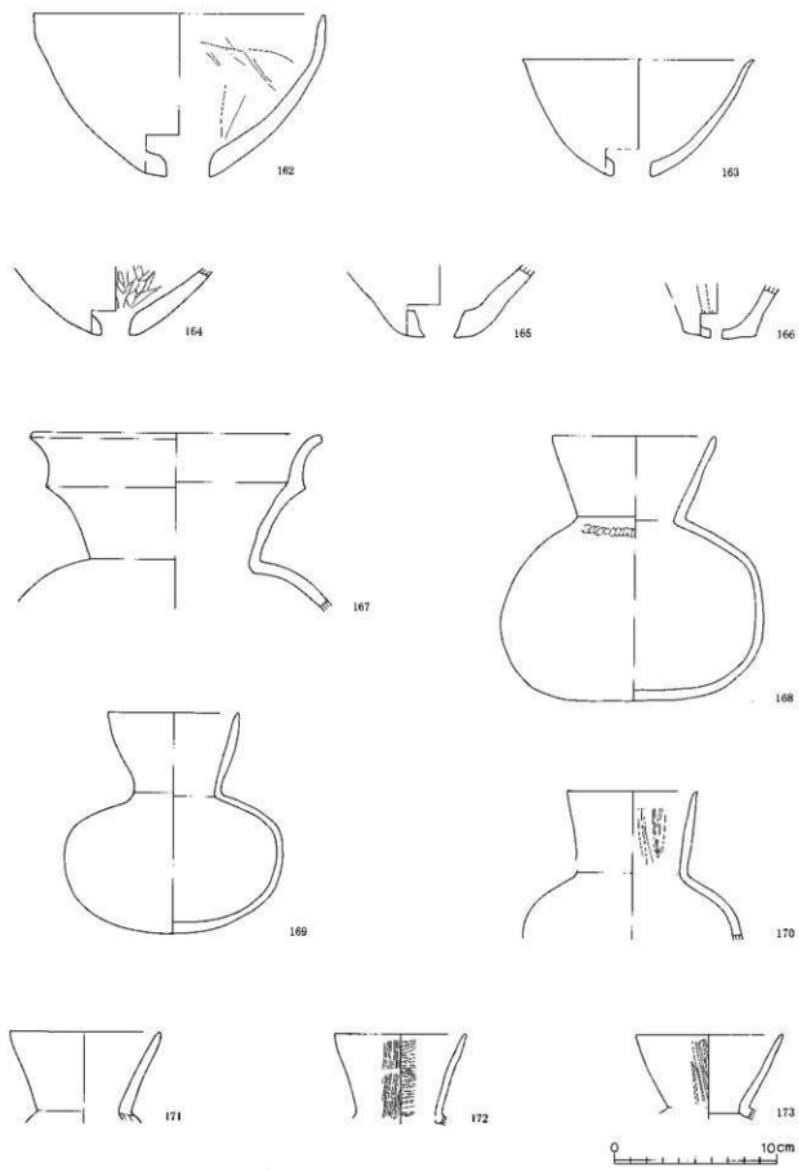


第95図 第2号溝跡出土遺物実測図(13)

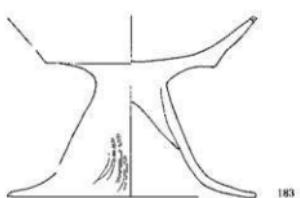
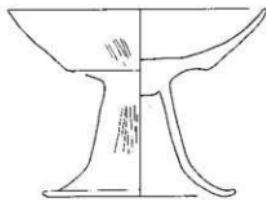
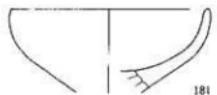
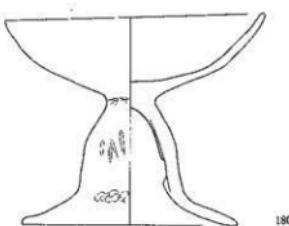
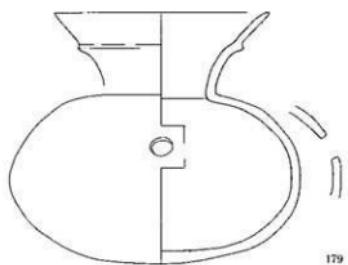
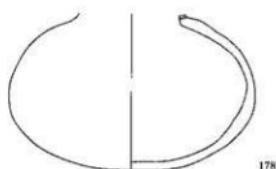
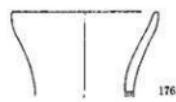
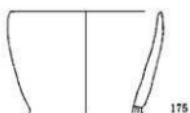
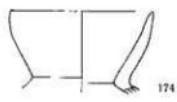


0 10cm

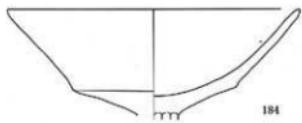
第96図 第2号溝跡出土遺物実測図(14)



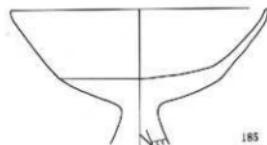
第97図 第2号溝跡出土遺物実測図(15)



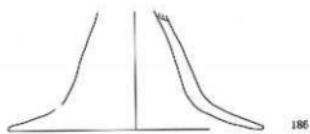
第98図 第2号溝跡出土遺物実測図(16)



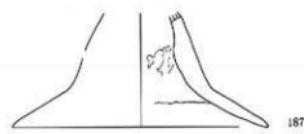
184



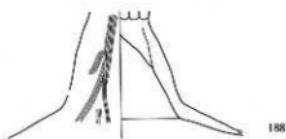
185



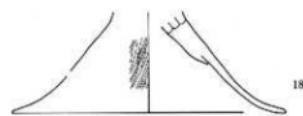
186



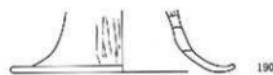
187



188



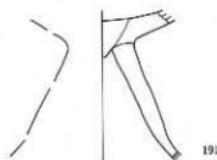
189



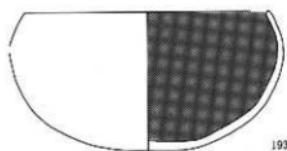
190



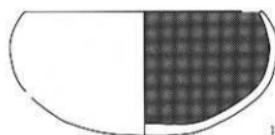
192



191



193



194



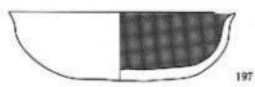
第99図 第2号溝跡出土遺物実測図(17)



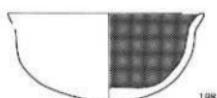
195



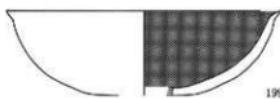
196



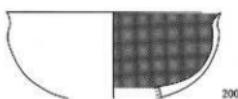
197



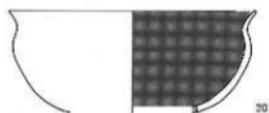
198



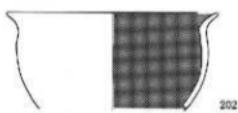
199



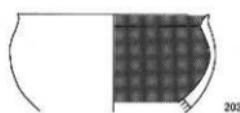
200



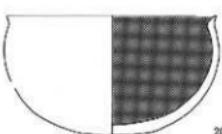
201



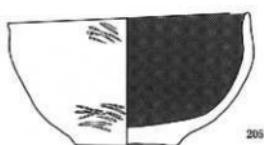
202



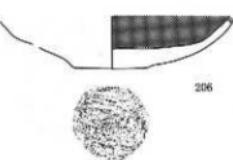
203



204



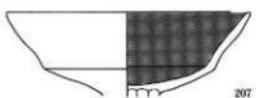
205



206

0 10cm

第100図 第2号溝跡出土遺物実測図(18)



207



208



209



210



211



212



213



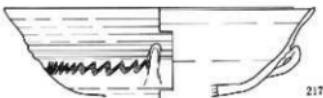
214



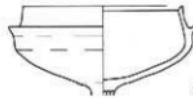
215



216



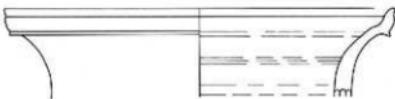
217



218



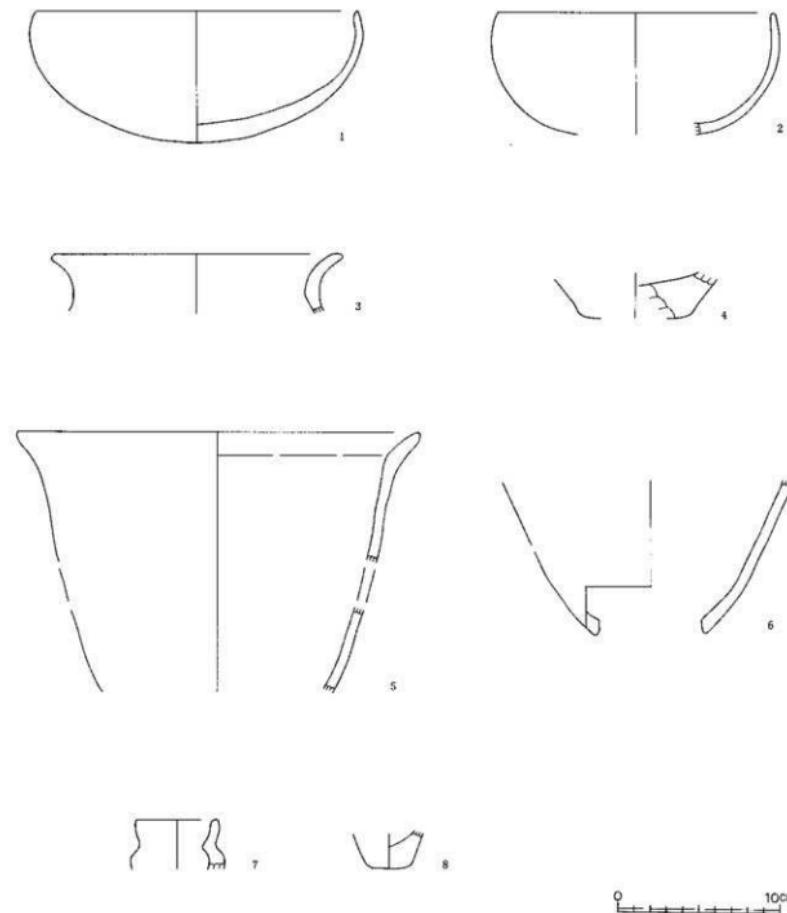
219



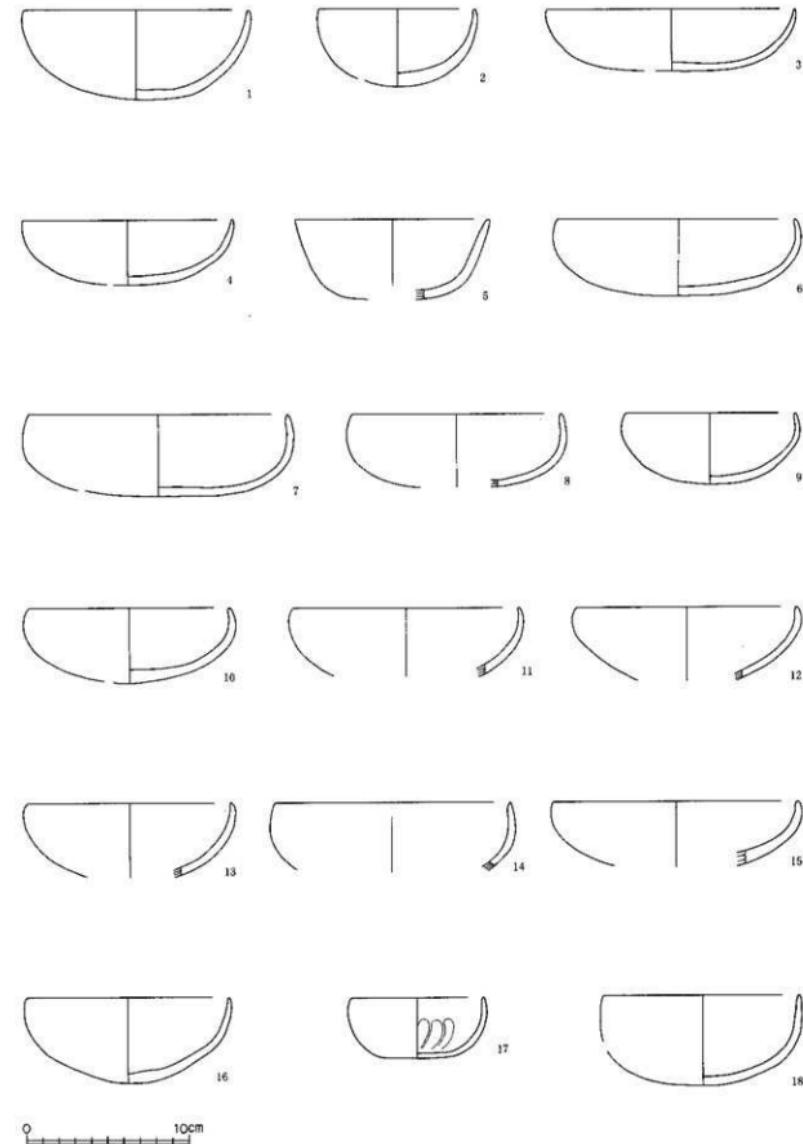
220



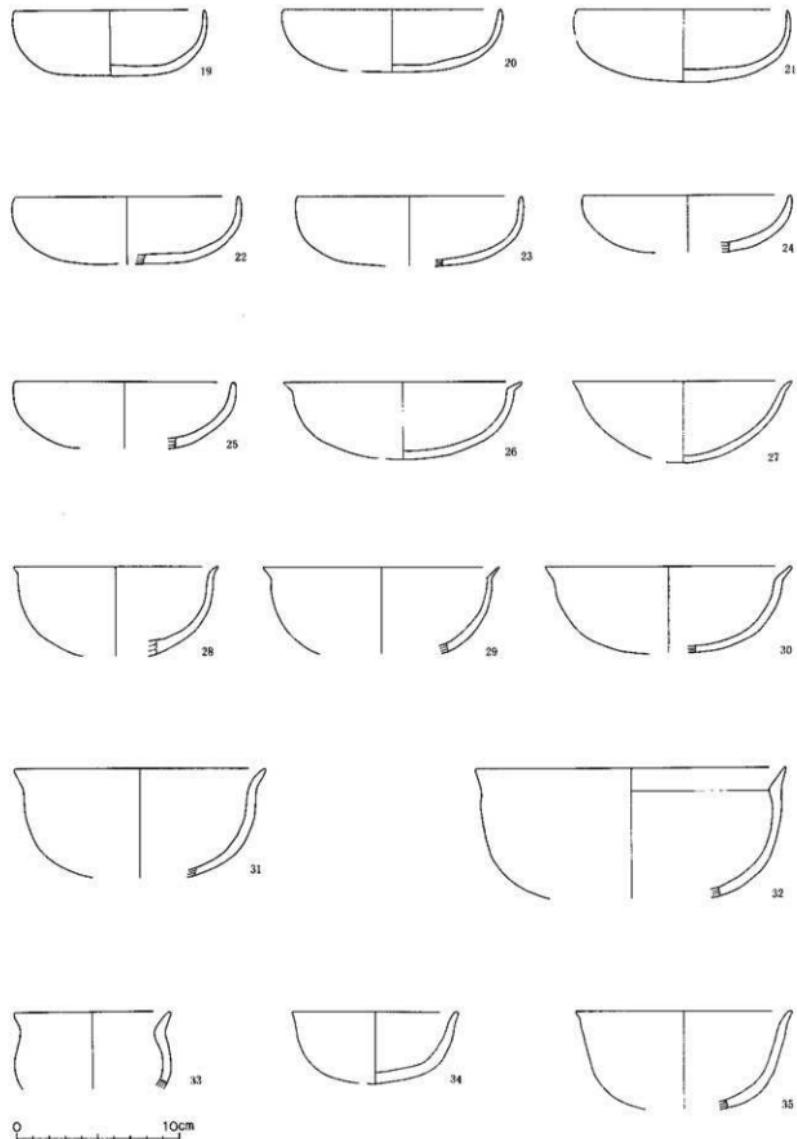
第101図 第2号溝跡出土遺物実測図(19)



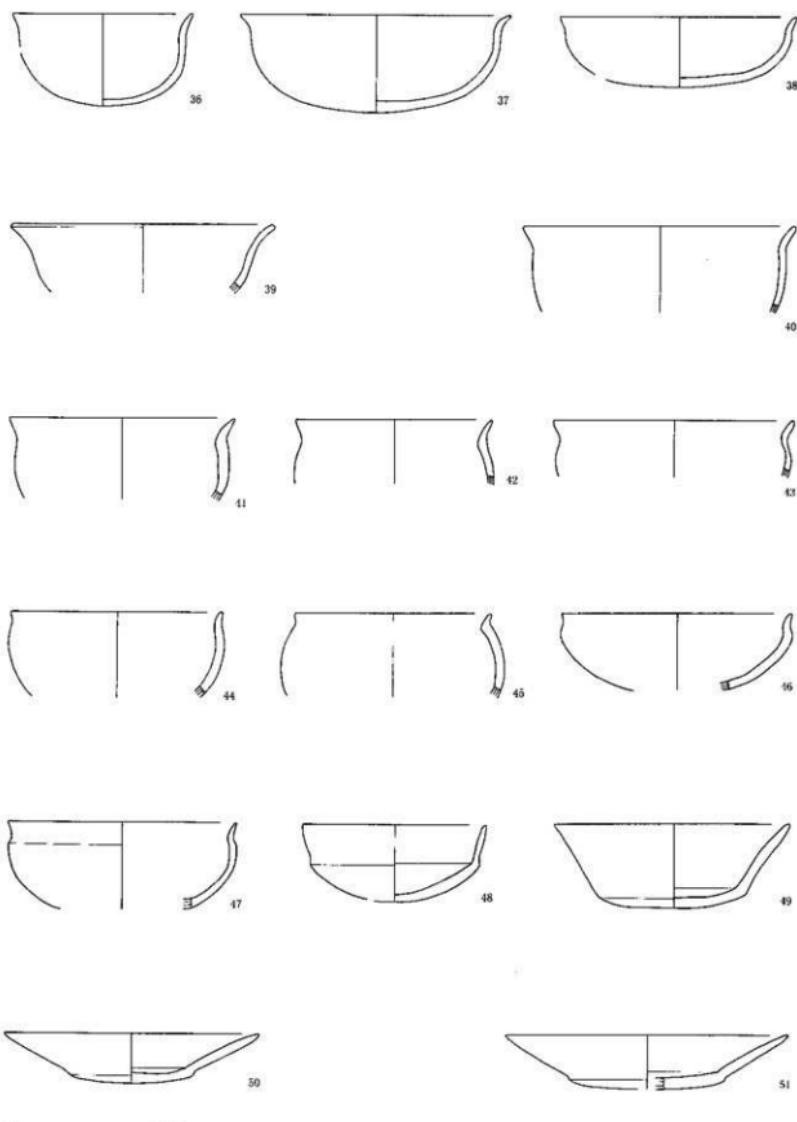
第102圖 第4號清跡出土遺物實測圖



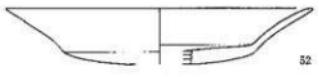
第103図 第5号溝跡出土遺物実測図(1)



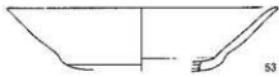
第104図 第5号溝跡出土遺物実測図(2)



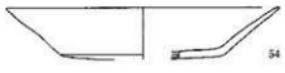
第105図 第5号溝跡出土遺物実測図(3)



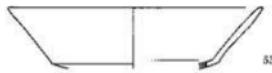
52



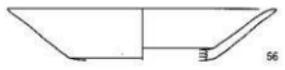
53



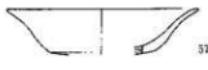
54



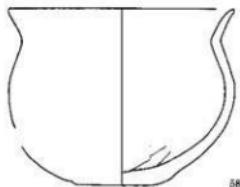
55



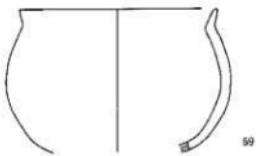
56



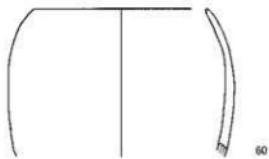
57



58



59



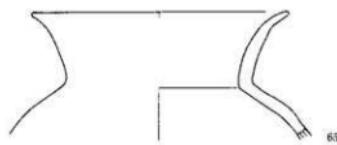
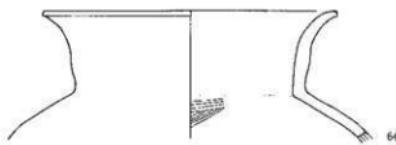
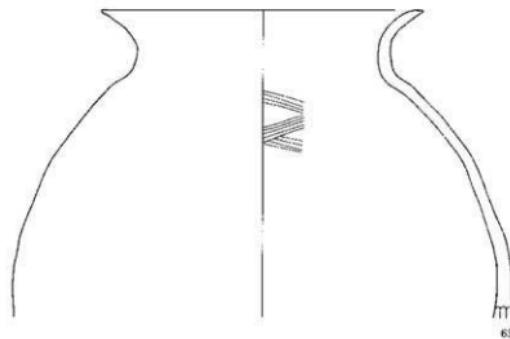
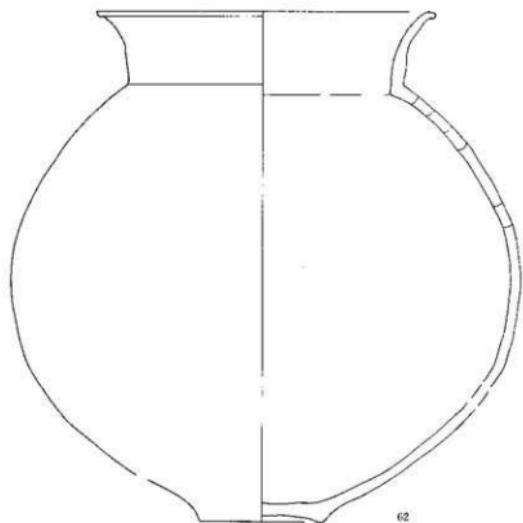
60



61

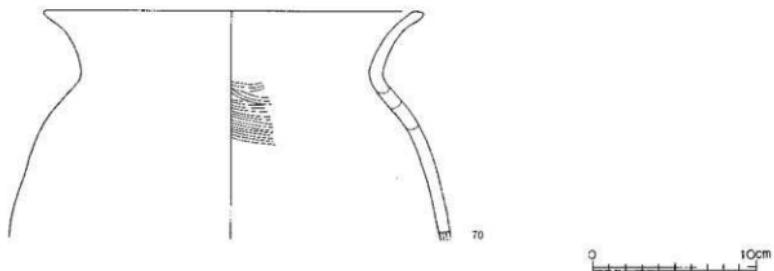
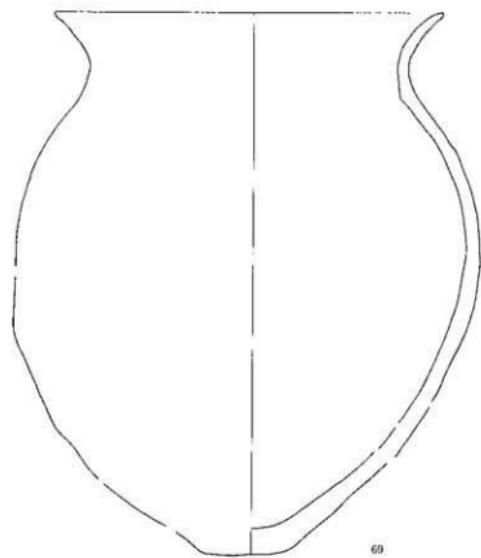


第106図 第5号溝跡出土遺物実測図(4)

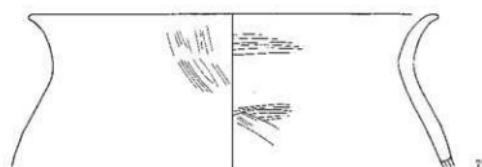
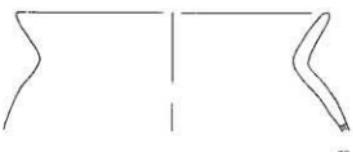
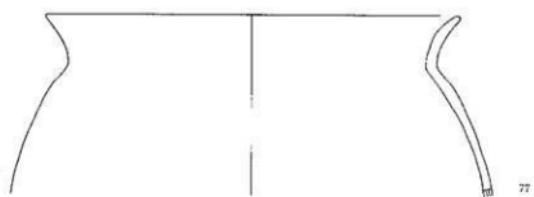


0 10cm

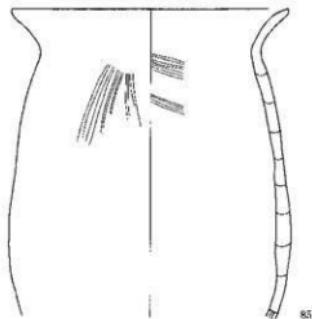
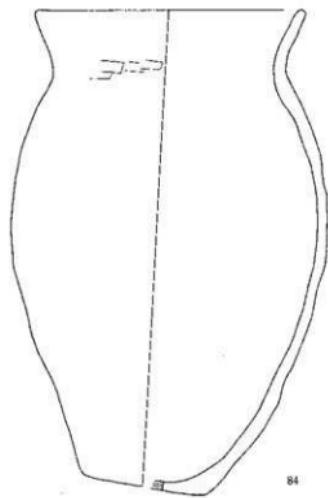
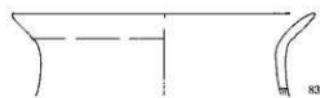
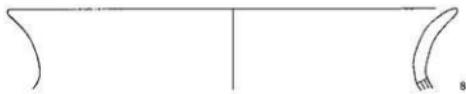
第107図 第5号溝跡出土遺物実測図(5)



第108图 第5号溝跡出土遺物実測図(6)



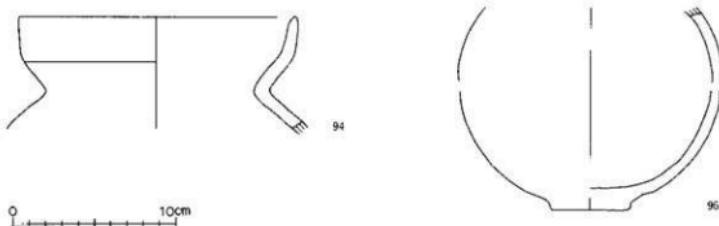
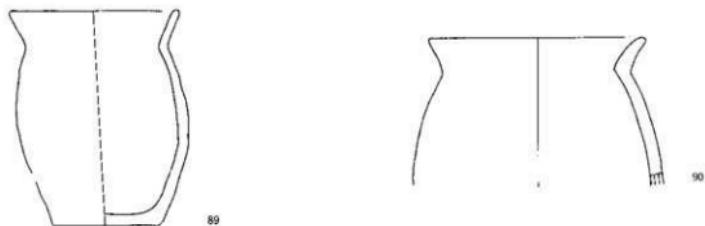
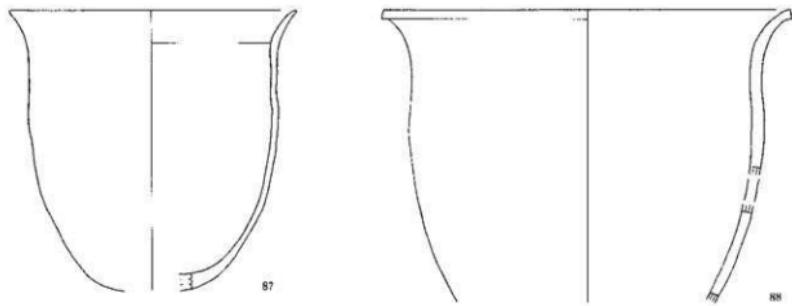
第109图 第5号沟出土遗物实测图(7)



0 10cm

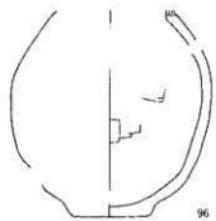


第110圖 第5號溝跡出土遺物實測圖(8)



0 10cm

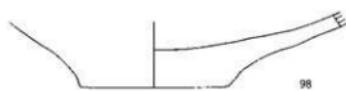
第111図 第5号溝跡出土遺物実測図(9)



96



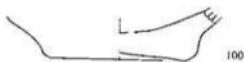
97



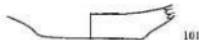
98



99



100



101



102



103



104



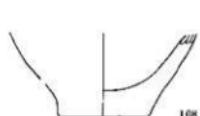
105



106



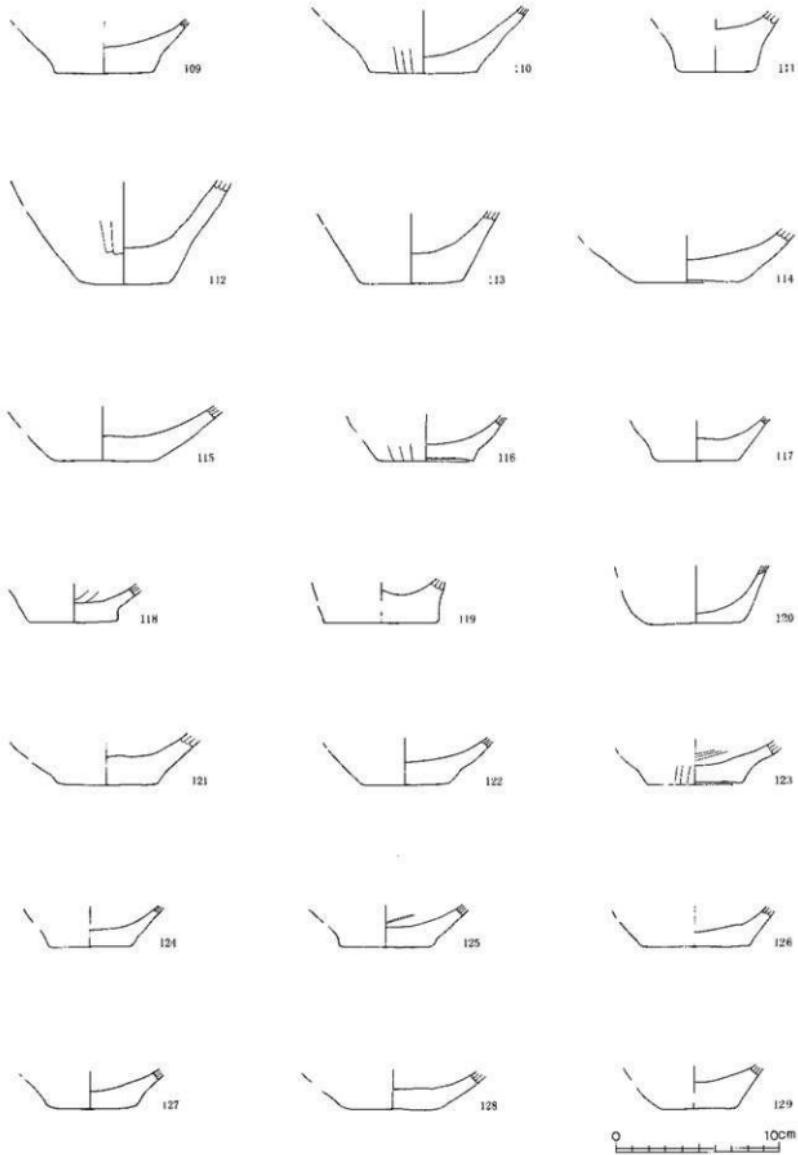
107



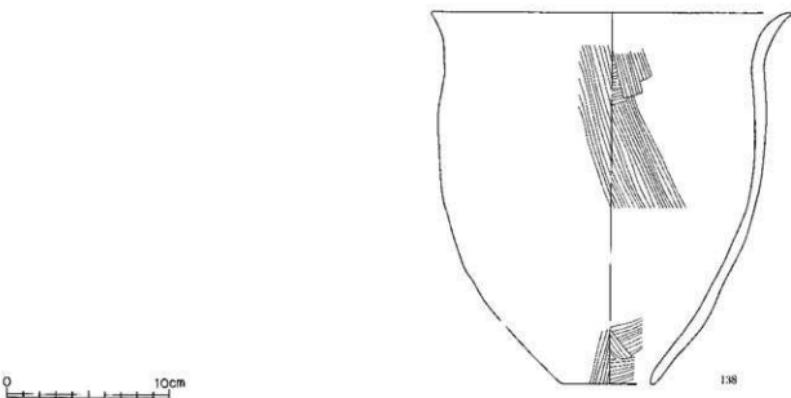
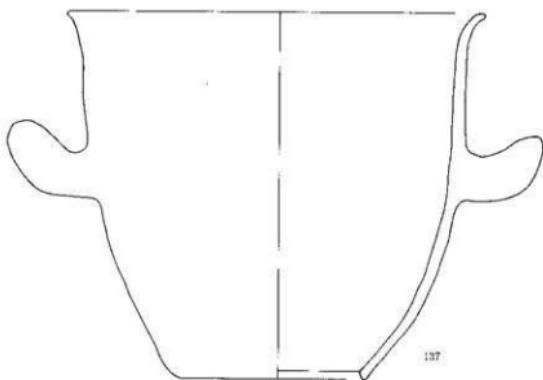
108

0 10cm

第112図 第5号溝跡出土遺物実測図(10)

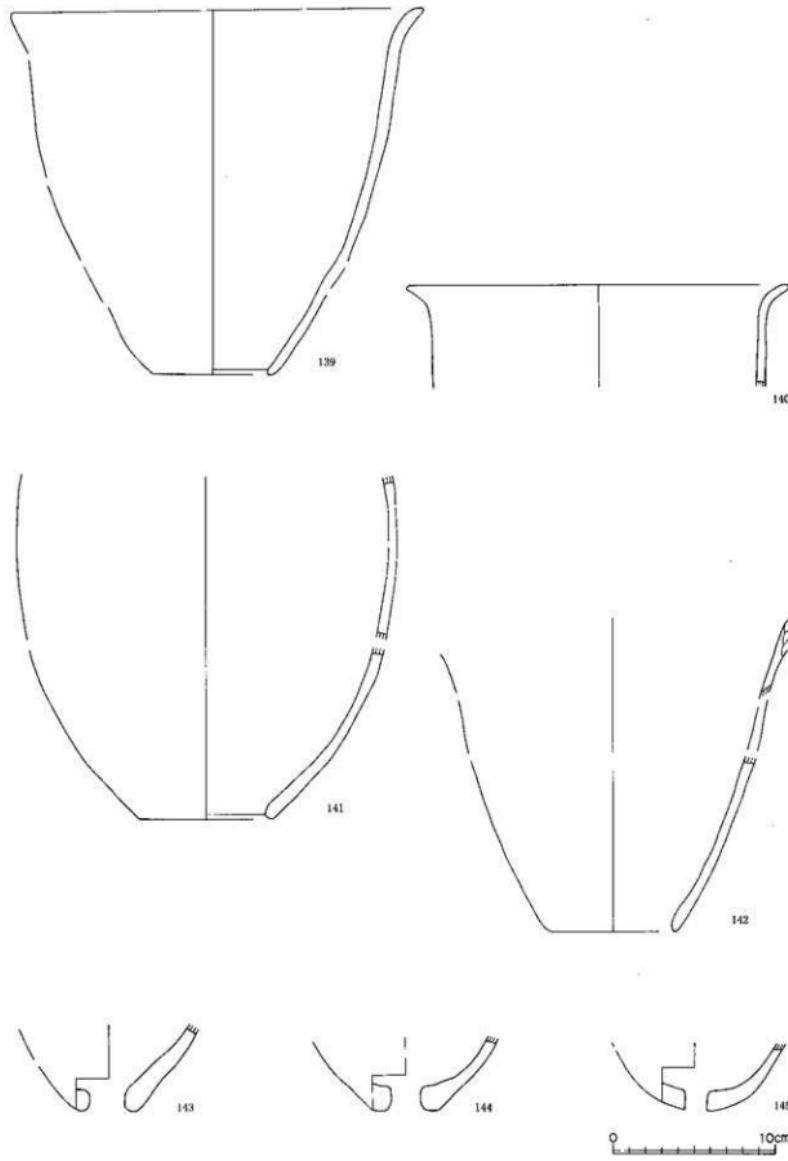


第113図 第5号溝跡出土遺物実測図(11)

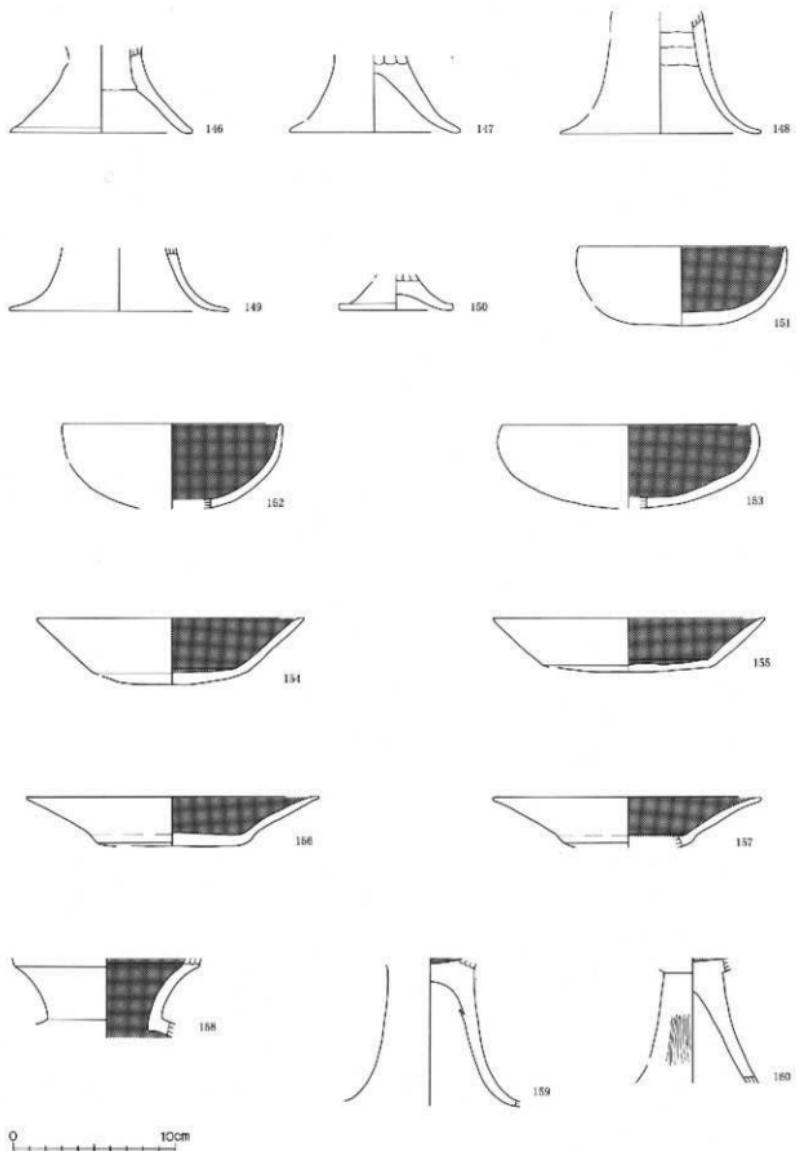


0 10cm

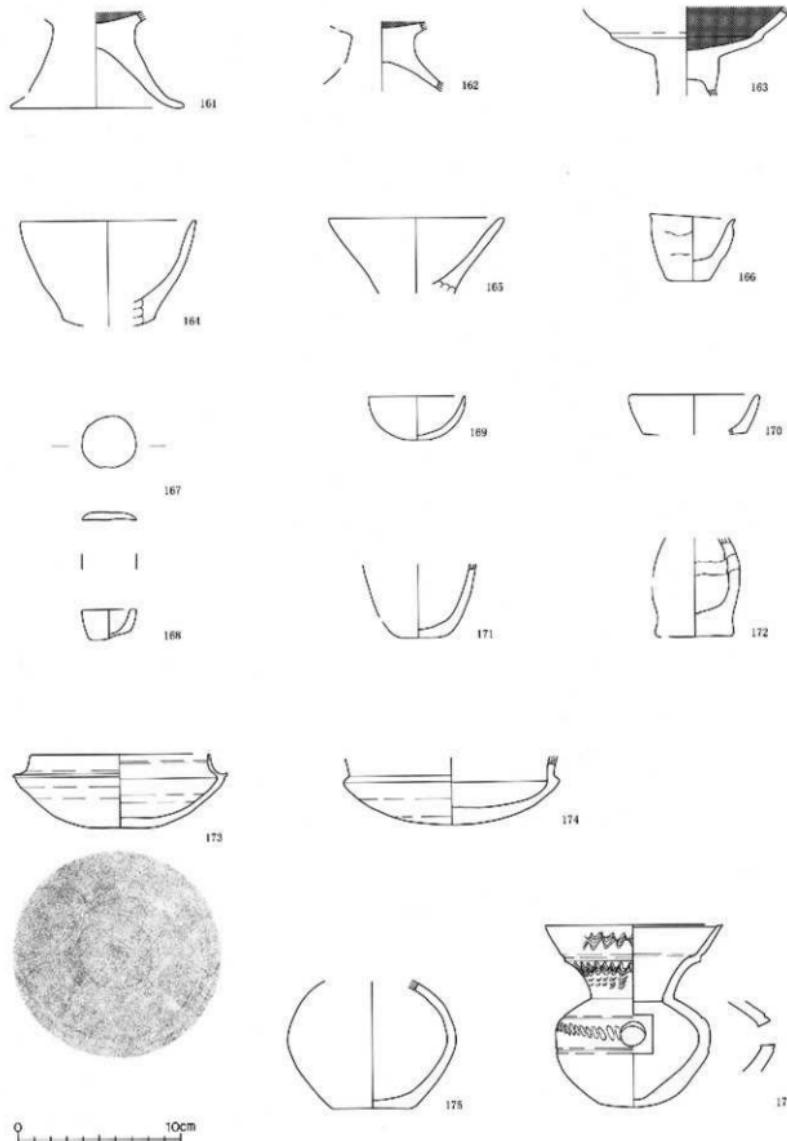
第114図 第5号溝跡出土遺物実測図(12)



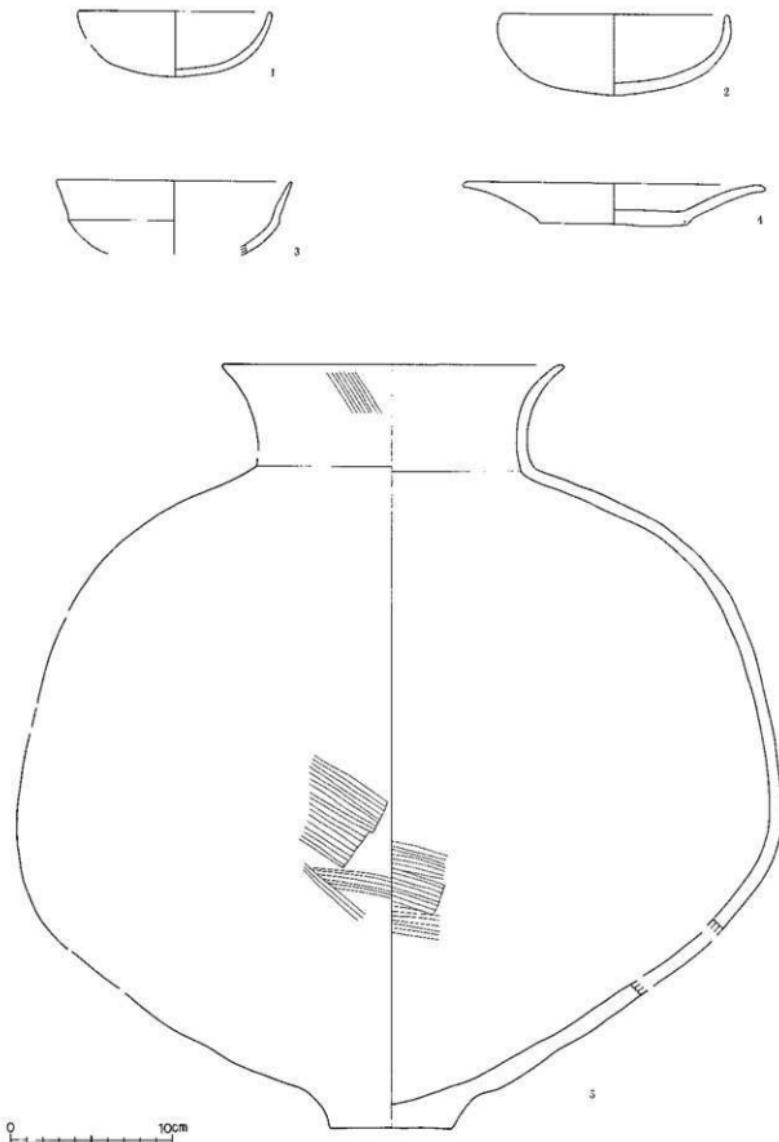
第115図 第5号溝跡出土遺物実測図(13)



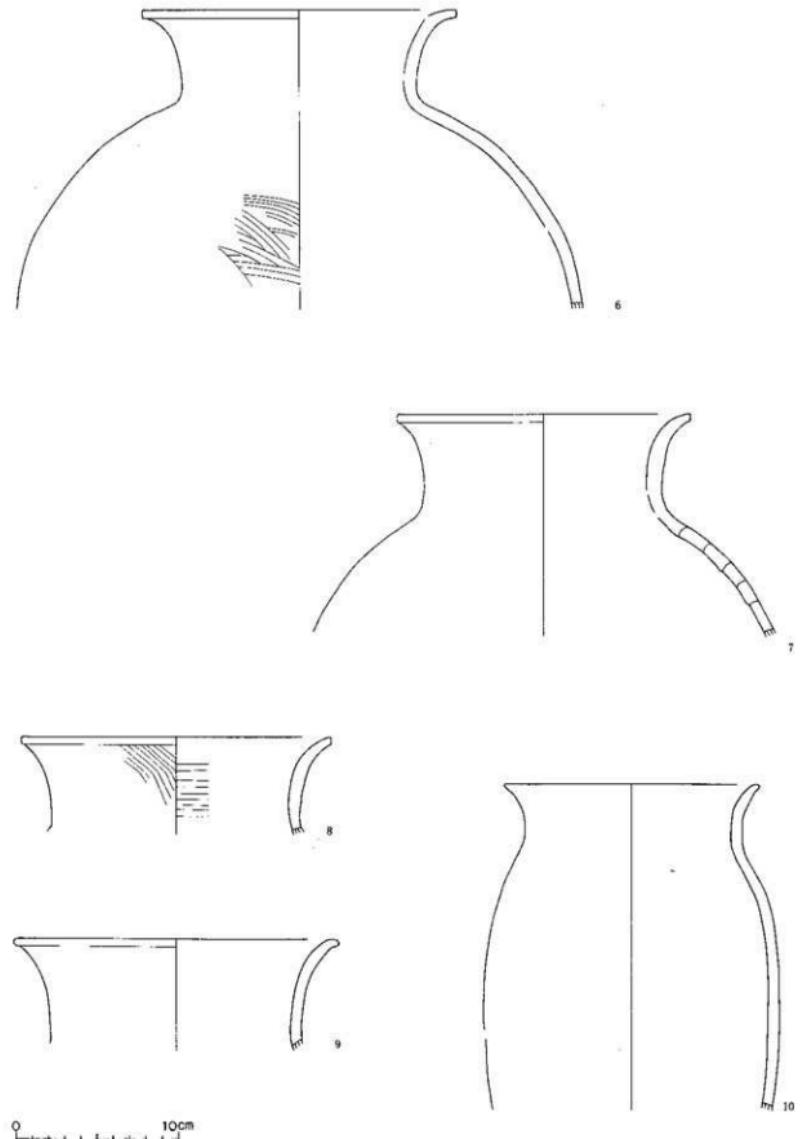
第116図 第5号溝跡出土遺物実測図(14)



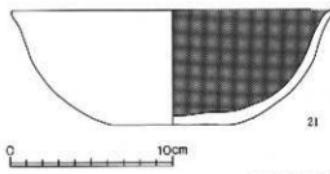
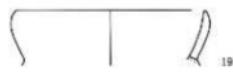
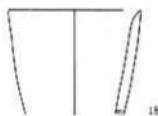
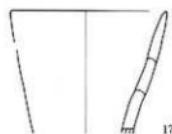
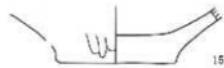
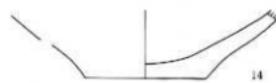
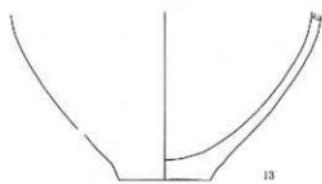
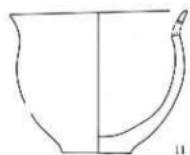
第117図 第5号溝跡出土遺物実測図(15)



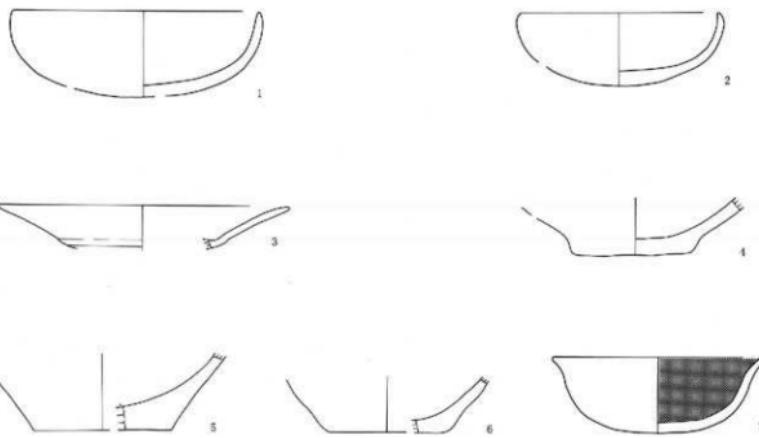
第118图 第6号沟出土遗物实测图(1)



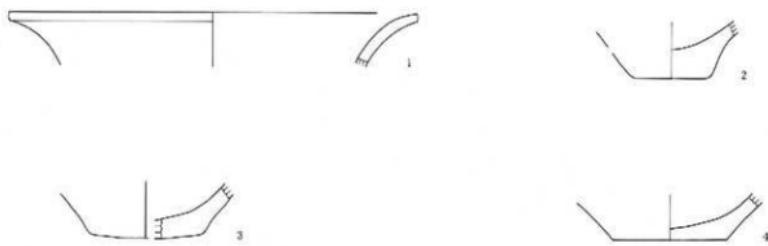
第119圖 第6號溝跡出土遺物實測圖(2)



第120図 第6号溝跡出土遺物実測図(3)



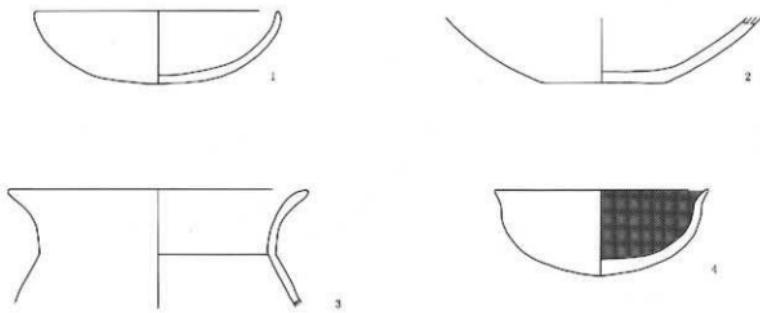
第121図 第7号溝跡出土遺物実測図



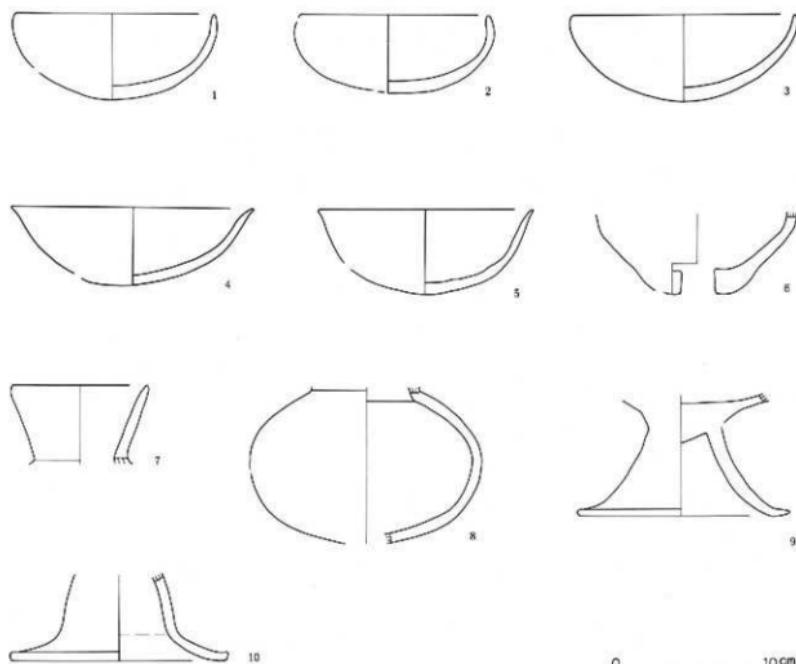
第122図 第8号溝跡出土遺物実測図



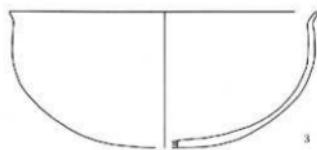
第123図 第7号土壤出土遺物実測図



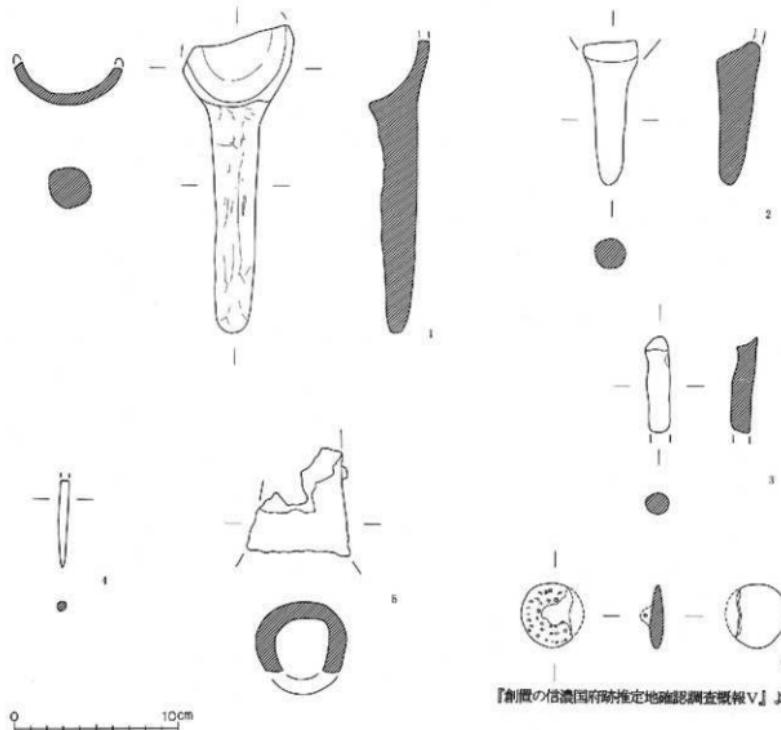
第124図 ピット出土遺物実測図



第125図 A区遺構外出土遺物実測図

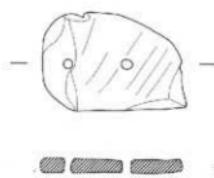
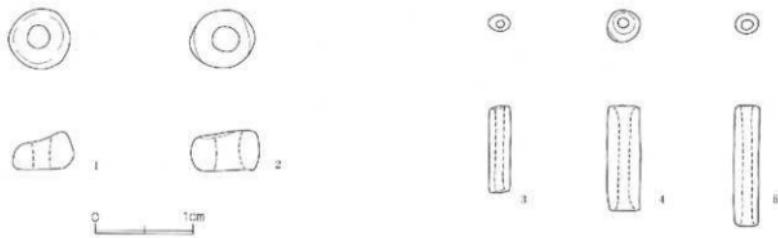


第126図 B区遺構外出土遺物実測図



第127図 土製品実測図

『創世の信濃国府跡推定地確認調査報告V』より



第128図 石製品実測図

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
10号建物跡	甕	- 3.5 5.8 底部1/4	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR4/8赤褐色 (内)2.5YR5/8明赤褐色	平底	(外)撚で (内)撚で
第79図-1	土師	- 2.0 4.0 底部一部	胎:雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR4/8赤褐色 (内)2.5YR2/1黑	平底	(外)撚で (内)撚で
12号建物跡	甕	- 2.0 4.0 底部一部	胎:雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR4/8赤褐色 (内)2.5YR2/1黑	平底	(外)撚で (内)撚で
20号建物跡	甕	- 2.0 3.2 底部のみ	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR4/8赤褐色 (内)7.5YR7/4にぶい緑	平底	(外)撚で (内)撚で
22号建物跡	壺	16.5 6.5 - 口縁部1/4	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR3/1黒褐色 (内)7.5YR6/4にぶい緑	口縁部外反する	(外)撚磨き (内)撚磨き
第79図-4	土師	18.4 3.5 - 口縁部一部	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)N5/灰 (内)N6/灰	口縁部外反する	(外)輪縁による撚で 突堤と波状文を有する (内)輪縁による撚で
22号建物跡	甕	8.6 18.2 - 10式充存	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/8黄緑 (内)5YV1オリーブ黒～5YR7/6橙	丸底より立ち上がり、体部偏平な球状を呈し、口縁部直線的に開く	(外)撚で (内)撚で
34号建物跡	鉢	10.1 7.0 5.5 充存	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR5/6明赤褐色～N2/黒 (内)2.5YR5/6明赤褐色	平底より立ち上がり、胴部上位で最大径を測り、 口縁部外反する	(外)撚で (内)撚で
第79図-7	土師	14.0 9.4 - 10式充存	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/8黄緑 (内)5YV1オリーブ黒～5YR7/6橙	丸底より立ち上がり、体部偏平な球状を呈し、口縁部直線的に開く	(外)撚で (内)撚で
1号住居跡	甕	16.0 4.9 - 口縁部一部	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	口縁部外反する。 口唇部面取りを施す	(外)波状文・稜状文を施す (内)
第80図-1	弥生	- 9.0 5.6 底完存部2/3	胎:白色微砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR5/6橙 (内)5YR7/4にぶい緑	平底より内寄して立ち上がる	(外) (内)
1号住居跡	甕	14.6 5.1 - 口縁部・部	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/4にぶい緑 (内)5YR6/6橙	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整 (内)撚で
第81図-3	土師	- 4.5 14.6 台部・部	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/3にぶい緑 (内)7.5YR7/4にぶい緑	台部	(外)刷毛調整 (内)
1号住居跡	甕	- 3.8 5.7 底部のみ	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR5/6明赤褐色～3/1黒褐色 (内)5YR4/4にぶい赤褐色	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
第81図-5	土師	- 6.8 - 底部2/3	胎:白色微砂粒含む 焼:良好 色: (外)10R3/6暗赤 (内)10R3/6暗赤	坏部外傾して開き、口縁部直線的に内寄する	(外)撚磨き (内)撚磨き 外内面赤色塗影
1号住居跡	高坏	18.0 6.8 - 坏部2/3	胎:白色微砂粒含む 焼:良好 色: (外)10R3/6暗赤 (内)10R3/6暗赤	坏部外傾して開き、口縁部直線的に内寄する	(外)撚磨き (内)撚磨き 外内面赤色塗影
第81図-6	弥生	- 3.3 - 接合部のみ	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR3/1黒褐色～4/3暗褐色 (内)5YR4/4にぶい赤褐色～3/1黒褐色	接合部	(外)撚で (内)撚で
1号住居跡	高坏	8.3 7.2 3.4 完存	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10R5/8赤～5YR4/4にぶい赤褐色 (内)10R5/8赤～5YR4/4にぶい赤褐色	平底より外傾して立ち上がる、口縁部「く」状を呈する。	(外)撚で (内)撚で 内面に炭化物？付着
第81図-8	土師	7			

第29表 遺物観察表(1)

遺構 No 図版 No	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
1号住居跡 第81図-9	土師 7	- 1.8 3.6 底部2/3	胎:白色粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)2.5VR3/6 馬油褐~5YR7/4に近い (内)2.5VR3/6 馬油褐~5YR7/4に近い	平底	(外)撫で (内)撫で
1号住居跡 第81図-10	土師	11.3 10.5 8.4 1/3	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)2.5YR7/2 灰白 (内)2.5YR7/2 灰白	平底から内窩して立ち上 がり、胴部下位で張りを 持ち、口縁部「く」状を呈 する。粘土附着み上げ	(外)撫で (内)撫で
1号住居跡 第81図-11	土師	19.4 5.1 - 1/5	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR7/6 暗橙 (内)7.5YR7/3に近い 暗	口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
1号住居跡 第81図-12	土師	15.0 4.3 - 口縁部1/6	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)2.5VR6/6 暗 (内)2.5VR6/6 黄灰	口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
1号住居跡 第81図-13	土師	11.2 4.2 - 口縁部1/2	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)5Y6/1 黑 (内)2.5Y3/1 黒褐	口縁部内寄する	(外)撫で (内)範磨き後撫で
1号住居跡 第81図-14	土師	15.4 5.3 - 坏部1/2	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)10YR8/3 浅黄褐 (内)10YR8/2 灰白	坏部下位で棱を持ち、開 く	(外)撫で (内)撫で
1号住居跡 第81図-15	土師	4.6 10.2 - 脚部1/5	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)10YR7/2に近い 黄橙 (内)7.5YR7/6 暗~N3/暗灰	脚部に三角形状の透かし 穴を4孔?持つ	(外)撫で (内)撫で
1号住居跡 第81図-16	土師	5.3 - 脚部1/2	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)2.5Y7/3 浅黄 (内)2.5Y7/3 浅黄	脚部下位で屈曲し、直線 的に開く	(外)撫で (内)撫で
1号溝跡 第82図-1	土師	13.2 4.6 - 脚部1/2	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)2.5YB/2 灰白 (内)2.5Y7/3 浅黄	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図-1	土師	11.4 4.5 - 脚部完全	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)10YR5/2 黄褐 (内)2.5VR3/1 黑褐~N3/暗灰	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撫で (内)底部指での押さえ後撫で
2号溝跡 第83図-2	土師	12.5 4.7 - 脚部完全	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)5YR4/4に近い 暗褐~N3/暗灰 (内)5YR4/4に近い 暗褐~N3/暗灰	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撫で (内)底部指での押さえ後撫で
2号溝跡 第83図-3	土師	11.3 5.5 - 脚部完全	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)10YR7/3に近い 黄褐~N2/黑 (内)10YR7/3に近い 黄褐~N2/黑	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撫で (内)範磨き後撫で
2号溝跡 第83図-4	土師	11.7 3.9 - 脚部完全	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)5YR6/8 暗 (内)5YR7/8 暗	体部内寄し、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第83図-5	土師	14.2 3.8 - 脚部1/3	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)10YR7/3に近い 黄褐~N2/黑 (内)10YR7/3に近い 黄褐	体部内寄し、口縁部開く	(外)撫で (内)範磨き後撫で
2号溝跡 第83図-6	土師	14.8 3.3 - 1/3	胎:石英・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR8/4 浅黄褐 (内)7.5YR7/6 暗	浅い丸底より立ち上 がり、口縁部開く	(外)撫で (内)撫で

第30表 遺物観察表(2)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
2号溝跡	坏	17.9 7.0 — 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/3にぶい黄橙～松葉灰 (内)10YR7/3にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
第83図-7	土師	10.0 5.2 — 完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/6 暗～A3/暗灰 (内)5YR6/6 暗～A2/灰褐	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	坏	10.5 4.9 — ほぼ完存	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/4にぶい橙～A3/1 黒褐 (内)5YR4/1 黑灰	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
第83図-9	土師	14.0 5.0 — 1/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)7.5YR7/3にぶい 橙～3/1 黑褐 (内)7.5YR7/3にぶい 橙～3/1 黑褐	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	坏	12.5 5.5 — 完存	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)7.5YR6/6 橙～7/4にぶい 橙 (内)5YR6/6 明赤褐	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
第83図-11	土師	12.8 5.6 — 口縁1/4 体部1/2	胎;石英・礫・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/2にぶい 黄橙～黑 (内)10YR7/4にぶい 黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	坏	12.3 2.6 — 2/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR7/3 浅黄 (内)2.5YR7/2 黄灰	浅い丸底より立ち上 り、口縁部内凹する	(外)撫で (内)旋磨き後撫で
第83図-13	土師	14.0 3.8 — 口縁部1/3	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR6/4にぶい 黄橙～4/1 黑灰 (内)10YR6/4にぶい 黄橙～4/1 黑灰	口縁部内凹する	(外)撫で (内)旋磨き後撫で
2号溝跡	坏	13.4 4.7 — 1/5	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/2にぶい 黄橙～4/1 黑灰 (内)10YR4/1 黑灰	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)旋磨き後撫で
第83図-15	土師	11.7 5.9 — 1/4	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/6 橙～7.5YR3/3 浅黄橙 (内)5YR7/4にぶい 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	坏	12.8 4.2 — 1/4	胎;石英・礫・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙～10YR7/3にぶい 黄橙 (内)2.5YR6/6 橙～10YR7/3にぶい 黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
第84図-17	土師	12.1 4.8 — 口縁部1/4	胎;雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR4/6 赤褐 (内)2.5YR4/6 赤褐	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)旋磨き後撫で
2号溝跡	坏	16.2 3.9 — 口縁部1/5	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR5/4にぶい 黄橙 (内)2.5YR2/4 黄灰	口縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
第84図-19	土師	18.0 4.1 — 口縁部一部	胎;雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/2にぶい 黄橙 (内)10YR7/2にぶい 黄橙	口縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	坏	12.1 5.7 — 口縁部1/5	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR6/8 橙～2.5YR4/1 赤灰 (内)5YR3/1 黑褐～10YR7/1 灰白	口縁部内凹する	(外)撫で (内)撫で
第84図-21	土師				

第31表 遺物観察表(3)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
2号溝跡 第84図-22	环 土師	14.4 4.6 — 2/3	胎; 磁-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR8/4 浅黄橙 (内) 10YR8/4 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-23	环 土師	13.3 4.0 1/6	胎; 石英-雲母-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR8/4 浅黄橙 (内) 7.5YR8/6 浅黄橙	口縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-24	环 土師 口縁部2/3	11.6 3.8 — 10H5/8赤橙 (内) 10H5/8赤	胎; 磁-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10R6/8 赤橙 (内) 10H5/8赤	口縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-25	环 土師 口縁部1/4	13.6 3.8 — 10H7/2明褐灰 (内) 7.5YR7/2明褐灰	胎; 石英-雲母-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/1 明褐灰 (内) 7.5YR7/2 明褐灰	口縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-26	环 土師 口縁部1/3	13.6 3.9 — 10H7/3暗灰 (内) 7.5YR7/3暗灰	胎; 石英-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/3にぶい 暗~N3/暗灰 (内) 7.5YR7/4にぶい 暗	浅い丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-27	环 土師 口縁部1/4	12.4 4.9 — 10H4/6赤褐色 (内) 2.5YR4/6赤褐色	胎; 雲母-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/6 明赤褐色~N2/黒 (内) 2.5YR4/6 赤褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-28	环 土師 1/3	16.0 6.0 — 10H6/6橙 (内) 7.5YR6/6橙	胎; 石英-雲母-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR6/6 橙~N3/暗灰 (内) 7.5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 蕪磨き後振で
2号溝跡 第84図-29	环 土師 口縁部1/5	12.2 4.7 — 10H8/3浅黄橙 (内) 7.5YR8/3浅黄橙	胎; 粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR8/3 浅黄橙 (内) 7.5YR8/3 浅黄橙	口縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-30	环 土師 1/3	12.7 5.2 — 10H7/3にぶい 橙~6/6橙 (内) 7.5YR7/3にぶい 橙~6/6橙	胎; 磁-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR7/3にぶい 橙~6/6橙 (内) 7.5YR7/3にぶい 橙~6/6橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第84図-31	环 土師 口縁部1/5	16.0 5.0 — 10H3/3にぶい褐 (内) 7.5YR6/3にぶい褐	胎; 石英-雲母-鐵-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 7.5YR5/3にぶい 黄褐 (内) 10YR6/3にぶい 黄褐	口縁部僅かに内寄する	(外) 振で (内) 蕴磨き後振で
2号溝跡 第84図-32	环 土師 1/2	13.4 4.1 — 10H8/3にぶい黄褐 (内) 10YR6/4にぶい黄褐	胎; 雲母-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR5/3にぶい 黄褐 (内) 10YR6/4にぶい 黄褐	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 振で (内) 蕴磨き後振で
2号溝跡 第85図-33	环 土師 口縁1/5底部1/2	14.8 5.0 — 10YR8/2灰白 (内) 10YR8/3浅黄橙	胎; 雲母-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR8/2 灰白 (内) 10YR8/3 浅黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 振で (内) 蕴磨き後振で
2号溝跡 第85図-34	环 土師 1/4	12.3 4.1 — 10H5/8明赤褐色~6/6橙 (内) 2.5YR6/8橙	胎; 磁-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 2.5YR5/8 明赤褐色~6/6橙 (内) 2.5YR6/8 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 振で (内) 振で
2号溝跡 第85図-35	环 土師 2/3	14.3 5.7 — 10H7/4にぶい黄褐 (内) 10YR7/4にぶい黄褐~N3/暗灰	胎; 石英-雲母-鐵-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR7/4 にぶい 黄褐 (内) 10YR7/4 にぶい 黄褐~N3/暗灰	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 蕴削り後振で (内) 振で
2号溝跡 第85図-36	环 土師 2/3	14.6 5.2 — 10YR6/2灰黄褐~5/1褐灰 (内) 10YR6/2灰黄褐~4/1褐灰	胎; 石英-雲母-鐵-粗砂粒含む 焼; 良好 色; (外) 10YR6/2 灰黄褐~5/1 褐灰 (内) 10YR6/2 灰黄褐~4/1 褐灰	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 振で (内) 振で

第32表 遺物観察表(4)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡 第85図-37	土師	15.7	胎: 露母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 摩で
		3.8	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 2.5YR7/2 黄 (内) 2.5YR7/2 黄		
2号溝跡 第85図-38	土師	12.8	胎: 石英・露母・礫・粗砂粒含む	浅い丸底より立ち上 り、口縁部外傾する	(外) 摩で
		2.9	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 7.5YR3/1 黒褐 (内) 7.5YR1/1 黒褐～7.2明褐		
2号溝跡 第85図-39	土師	12.6	胎: 磷・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 摩で
		4.5	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10R5/6 赤～5YR7/6 暗 (内) 5YR7/6 暗		
2号溝跡 第85図-40	土師	15.0	胎: 石英・露母・磷・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 摩で
		5.6	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR7/2 にぶい 黄褐～1/1 黑褐 (内) 10YR7/2 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第85図-41	土師	13.0	胎: 石英・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 摩で
		4.8	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR5/3 にぶい 黄褐～8/1 明褐 (内) 10YR7/3 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第85図-42	土師	14.0	胎: 石英・露母・磷・粗砂粒含む	口縁部外傾する	(外) 摩で
		3.9	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 2.5YR4/1 黑褐～6/8 暗 (内) 10YR5/3 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第85図-43	土師	15.6	胎: 石英・粗砂粒含む	口縁部外傾する	(外) 摩で
		5.2	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR7/3 にぶい 黄褐～4/1 黑褐 (内) 10YR7/2 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第85図-44	土師	15.0	胎: 石英・露母・磷・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 摩で
		6.1	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR7/3 にぶい 黄褐～2.5YR6/4 明褐 (内) 10YR7/2 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第85図-45	土師	12.4	胎: 石英・露母・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部緩く外傾する	(外) 摩で
		6.0	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR3/8 浅黄褐～K3/暗褐 (内) 10YR7/2 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第85図-46	土師	15.4	胎: 石英・粗砂粒含む	口縁部緩く外傾する	(外) 摩で
		4.5	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 7.5YR7/4 にぶい 暗～N4/灰 (内) 7.5YR7/4 にぶい 暗～1/1 黑褐		
2号溝跡 第85図-47	土師	25.4	胎: 石英・露母・磷・粗砂粒含む	口縁部緩く外傾する	(外) 摩で
		10.0	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR8/3 浅黄褐 (内) 7.5YR8/4 浅黄褐		
2号溝跡 第86図-48	土師	14.0	胎: 石英・露母・磷・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩磨き後撫で
		5.2	燒: 良好		(内) 摩磨き後撫で
		—	色: (外) 7.5YR7/4 にぶい 暗～SYR2/1 暗褐 (内) 10YR7/3 にぶい 黄褐		
2号溝跡 第86図-49	土師	12.0	胎: 粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩で
		4.4	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) SYR6/5 暗～7.5YR7/1 にぶい 暗 (内) 5YR6/8 暗		
2号溝跡 第86図-50	土師	12.3	胎: 粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩で
		5.0	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 2.5YR6/8 暗～SYR7/6 暗 (内) 5YR6/8 暗		
2号溝跡 第86図-51	土師	14.8	胎: 石英・磷・粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩で
		5.0	燒: 良好		(内) 摩で
		—	色: (外) 10YR7/4 にぶい 黄褐～3/1 黑褐 (内) 10YR7/3 にぶい 黄褐～K1/暗褐		

第33表 遺物観察表(5)

遺物 No. 区段 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
第 86 図-52	土師	12.2 5.0 — 1/5	胎:石英・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 5YR4/6 赤褐色～黒 (内) 5YR6/6 明赤褐色～7.5YR1/1 黒褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
		19.2 6.1 — 1/5	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 7.5YR4/4 浅黃褐色 (内) 5YR3/4 浅黃褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
		16.0 4.4 — 2/3	胎:石英・雲母・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 5YR5/1 暗灰褐色～7/6 橙 (内) 5YR3/1 黑褐色～7/6 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩擦で (内) 磨き後擦で
第 86 図-55	土師	13.0 5.7 — 1/4	胎:石英・雲母・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR5/1 暗灰褐色～7/1 灰白 (内) 10YR7/2 に加へ黄褐色	口縁部僅かに外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
		11.4 5.5 — 1/4	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 2.5YR7/6 橙～7/4 に加へ赤褐色 (内) 2.5YR7/6 淡赤褐色～N4/灰	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
		14.0 7.4 — 1/4	胎:石英・雲母・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR7/4 に加へ黄褐色～7.5YR6/6 橙 (内) 10YR7/4 に加へ黄褐色～7.5YR6/6 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 磨き後擦で
第 86 図-58	土師	10.8 5.0 — 1/4	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 2.5YR4/1 黄褐色～N3/暗灰 (内) 2.5YR7/2 黄褐色～N4/灰	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 磨き後擦で
		14.7 6.8 — 1/3	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR8/2 灰褐色～N4/灰 (内) 10YR8/3 浅黃褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 磨き後擦で
		14.4 7.3 — 1/6	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 2.5YR6/6 橙～10R5/6 赤 (内) 2.5YR7/6 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
第 86 図-61	土師	13.3 5.3 — 1/4	胎:白色・鐵砂粒含む 燒:良好 色: (外) 2.5YR7/3 浅黃褐色 (内) 2.5YR8/4 淡黃褐色～N3/暗灰	口縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
		16.0 5.5 — 1/6	胎:石英・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR8/4 浅黃褐色 (内) 7.5YR8/4 浅黃褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
		15.6 7.8 — 1/7	胎:石英・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR7/4 に加へ黄褐色～4/1 暗灰 (内) 10YR7/4 に加へ黄褐色～4/1 暗灰	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 摩擦で
第 87 図-64	土師	15.5 5.9 — 2/5	胎:雲母・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 7.5YR8/4 浅黃褐色 (内) 7.5YR8/4 浅黃褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 磨き後擦で
		14.2 5.0 — 1/2	胎:鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR8/4 浅黃褐色 (内) 10YR8/4 浅黃褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 摩擦で (内) 磨き後擦で
		— 1.9 — 底部のみ	胎:雲母・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外) 10YR8/3 浅黃褐色 (内) 10YR8/2 白灰	丸底	(外) 摩擦で (内) 摩擦で

第34表 遺物観察表(6)

遺物 No	器種 図版 No	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
2号溝跡	鉢	13.8 11.3 — 口縁1/8体部2/3	胎: 霧母・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)2.5W8/6 明赤褐色～10YR3/1 黒褐色 (内)黒	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)無で (内)撫で
第87図-67	土師	12.6 6.9 — 口縁部1/8	胎: 石英・雲母・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)2.5W8/6 暗褐色～4/1 布灰 (内)7.5W8/1 黒褐色	体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	鉢	15.0 6.0 — 口縁部1/4	胎: 石英・雲母・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)10YR7/4 に近い黄褐色 (内)NS/暗灰	体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)施削り後撫で (内)撫で
第87図-69	土師	12.6 4.5 — 口縁部1/5	胎: 石英・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)10YR5/3 に近い黄褐色 (内)10YR5/2 暗黄褐色～3/1 黑褐色	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	鉢	12.6 9.2 — 1/3	胎: 石英・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)5W8/6 明赤褐色～7.5W8/1 に近い灰 (内)7.5W8/1 に近い灰	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部屈曲し、僅かに内弯する	(外)撫で (内)口縁部撫で体部磨き
第87図-71	土師	13.5 9.0 — 1/3	胎: 石英・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)7.5W8/6 暗褐色～NS/灰 (内)7.5W8/4 に近い灰	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	鉢	13.6 8.8 — 1/3	胎: 霧母・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)10YR7/3 に近い黄褐色～NS/暗灰 (内)10YR7/3 に近い黄褐色	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
第88図-73	土師	10.5 6.9 — 1/2	胎: 繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)7.5W8/4 浅黄褐色 (内)7.5W8/4 浅黄褐色	丸底より立ち上がり、体部上位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	鉢	14.0 6.0 — 1/2	胎: 石英・雲母・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)2.5W6/2 暗黄褐色 (内)2.5W7/3 浅黄褐色	丸底より立ち上がり、体部下位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)施磨き後撫で
第88図-75	土師	15.0 6.5 — 口縁部1/7	胎: 石英・繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)2.5W7/2 暗黄褐色 (内)2.5W6/2 暗黄褐色	丸底より立ち上がり、体部上位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)施磨き
2号溝跡	鉢	11.4 4.5 — 口縁部1/4	胎: 繩・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)10YR7/4 に近い黄褐色 (内)10YR7/4 に近い黄褐色	口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
第88図-77	土師	9.9 4.1 — 1/6	胎: 石英・雲母・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)2.5W6/6 暗褐色 (内)2.5W4/1 黄褐色	口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	鉢	12.5 6.3 — 1/6	胎: 石英・雲母・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)2.5W7/2 暗黄褐色～NS/暗灰 (内)2.5W7/3 浅黄褐色	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
第88図-79	土師	10.8 5.4 — 口縁部体部1/4	胎: 霧母・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)10YR8/3 浅黄褐色～NS/暗灰 (内)2.5W6/1 黄褐色	体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡	鉢	13.2 3.5 — 口縁部1/4	胎: 石英・粗砂粒含む 燒: 良好 色: (外)10YR7/3 に近い黄褐色～5/3 に近い黄褐色 (内)10YR7/3 に近い黄褐色～5/3 に近い黄褐色	口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
第88図-81	土師				

第35表 遺物観察表(7)

造塊 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡 第88図-82	鉢	13.0 5.1 - 1/5	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR5/4にぶい橙～N2/黒 (内)10YR7/1にぶい黄橙～5/2灰青褐	浅い丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第88図-83	鉢	15.8 8.0 - 完存	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR2/2灰白～N3/暗灰 (内)2.5Y7/2灰黄	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)鹿鳴き後縁部削除で (内)鹿鳴き後撫で
2号溝跡 第88図-84	鉢	16.0 8.7 - 2/3	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3にぶい黄橙～3/2黒褐 (内)10YR7/3にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部短く外反する	(外)撫で (内)鹿鳴き後撫で
2号溝跡 第88図-85	鉢	11.5 7.4 4.3 - 完存	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/4にぶい橙～2/1黒 (内)5YR6/6橙	平底より内凹気味に立ち上がり、体部上位で張りを持ち口縁部外反する	(外)撫で (内)鹿鳴き後撫で
2号溝跡 第89図-86	鉢	14.8 11.3 6.2 - ほぼ完存	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR4/6赤褐～N3/暗灰 (内)5YR4/6赤褐～3/1黒褐	平底より立ち上がり、体部中位で張りを持ち、口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-87	鉢	11.8 6.7 5.7 - 1/3	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR8/3浅黄褐～5YR6/6橙 (内)7.5YR8/3浅黄褐	平底より立ち上がり、口縁部僅かに内弯する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-88	小型 甕	12.4 9.6 - ほぼ完存	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR4/6赤褐～N2/黒 (内)5YR4/6赤褐～N2/黒	丸底より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部外反する	(外)撫で (内)鹿鳴き後撫で
2号溝跡 第89図-89	小型 甕	10.5 11.1 - 完存	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR7/6橙～4/1褐色 (内)7.5YR3/1黑褐～10YR4/4浅黄褐	丸底より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部「く」状を呈する 粘土帯横上げ	(外)撫で (内)鹿鳴き後撫で
2号溝跡 第89図-90	小型 甕	10.2 4.1 - 口縁部3/5	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10RE4/4にぶい赤橙 (内)2.5Y3/1黒褐	口縁部「く」状を呈する 粘土帯横上げ	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-91	小型 甕	10.6 9.1 - 口縁部1/3胴部1/4	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR5/6橙 (内)7.5YR1/1褐色～7/4にぶい橙	胴部球状を呈し、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-92	小型 甕	15.6 6.7 - 口縁部1/4	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR1.7/1赤黒～6/6橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-93	小型 甕	16.6 4.0 - 口縁部1/5	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR5/4にぶい褐 (内)10YR7/3にぶい黄橙～4/2灰黄褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-94	小型 甕	15.0 9.7 - 口縁部頭部2/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR5/8橙～7.5YR5/3にぶい褐 (内)7.5YR1/1黒褐～7/4にぶい橙	胴部上位で張りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-95	小型 甕	11.0 9.2 - 口縁部ほぼ完存	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR4/1褐色～7.5YR1/2灰褐 (内)10YR7/2にぶい黄橙	胴部中位で張りを持ち、口縁部直線的に開く	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第89図-96	甕	13.0 15.5 - 口縁部ほぼ完存	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3にぶい黄褐～4/1褐 (内)2.5YR7/2灰黄～10YR2/1黒	胴部は球状を呈し、口縁部「く」状を呈する 粘土帯横上げ	(外)鹿鳴き後撫で (内)鹿鳴き後撫で 脇部指頭による押え

第36表 遺物観察表(8)

遺構 No 図版 No.	器種 種類	法量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号溝跡 第90図-97	甕 土師	18.0 25.2 7.4 ほぼ完全	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2にぶい黄橙～N2/黒 (内)10YR7/3にぶい黄橙	平底より外傾して立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)口縁部施磨き 振で (内)底部窓による押え 振で
2号溝跡 第90図-98	甕 土師	17.0 19.4 — 口縁部ほぼ完全	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/1明褐灰～N3/暗灰 (内)7.5YR7/1明褐灰	口縁部「く」状を呈する	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第90図-99	甕 土師	— 23.6 9.0 底部のみ胴部1/2	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2にぶい黄橙 (内)10YR6/1褐灰	平底より立ち上がり、胴部球状を呈する	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第91図-100	甕 土師	22.5 6.6 — 口縁部1/4	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR6/6橙～10YR8/3浅黄橙 (内)10YR8/2灰白	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)施磨き後振で (内)振で
2号溝跡 第91図-101	甕 土師	19.5 9.5 — 口縁部3/4	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2にぶい黄橙～NA/灰 (内)10YR7/2にぶい黄橙～NA/灰	口縁部「く」状を呈する	(外)施磨き後振で (内)施磨き後振で
2号溝跡 第91図-102	甕 土師	26.0 15.4 — 1/5	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR7/6橙～N3/暗灰 (内)2.5YR8/3淡橙	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第91図-103	甕 土師	18.7 5.0 — 口縁部1/3	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR8/2灰白 (内)10YR8/2灰白	口縁部「く」状を呈する	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第91図-104	甕 土師	14.8 4.7 — 口縁部1/3	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y7/2灰黄 (内)2.5Y7/2灰黄	口縁部「く」状を呈する	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第91図-105	甕 土師	14.4 4.0 — 口縁部1/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3にぶい黄橙 (内)10YR7/3にぶい黄橙	口縁部「く」状を呈する	(外)施磨き後振で (内)振で
2号溝跡 第91図-106	甕 土師	15.5 3.8 — 口縁部1/2	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR8/4浅黄橙 (内)7.5YR8/4浅黄橙	口縁部「く」状を呈する	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第91図-107	甕 土師	15.2 5.6 — 口縁部1/4	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2にぶい黄橙 (内)N3/暗灰	口縁部屈曲外反する 口唇部凹取りを施す	(外)施磨き後振で (内)振で
2号溝跡 第92図-108	甕 土師	17.7 28.9 7.2 ほぼ完全	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR5/6明赤褐～N2/黒 (内)5YR5/6明赤褐	平底より外傾して立ち上がり、口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)刷毛調整 口縁部振で (内)施削り後振で
2号溝跡 第92図-109	甕 土師	— 28.3 6.6 胴部1/2底完全	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR4/6赤褐～10YR3/1黒褐 (内)5YR4/6赤褐	平底より立ち上がり、胴部下位で張りを持つ	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第92図-110	甕 土師	20.4 10.5 — 口縁部ほぼ完全	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR4/3褐～N2/黒 (内)10YR3/2黒褐	口縁部「く」状を呈する	(外)振で (内)振で
2号溝跡 第93図-111	甕 土師	16.4 6.7 — 口縁部1/5	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR4/4にぶい赤褐 (内)7.5YR2/1黒	口縁部「く」状を呈する	(外)振で (内)振で

第37表 遺物観察表(9)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
第93図-112	土師	18.6 13.2 口縁部1/3	胎;石英-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR6/6 橙 (内)5YR6/6 橙~5/4にぶい赤褐	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
		17.4 19.0 - 1/3	胎;石英粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR6/6 明赤褐~3/4暗赤褐 (内)5YR6/6 明赤褐~3/4暗赤褐	口縁部「く」状を呈する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)焼削り後撫で
		17.3 5.7 - 口縁部1/4	胎;石英-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)7.5YR5/3にぶい褐 (内)7.5YR4/4にぶい橙	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整後撫で (内)刷毛調整後撫で
第93図-115	土師	16.0 4.0 - 口縁部1/3	胎;石英-雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR6/6 明赤褐 (内)5YR4/3 橙	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
		15.0 7.1 - 口縁部1/4	胎;石英-雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR5/6 明赤褐 (内)2.5YR3/1 暗赤褐~7.5YR4/2 暗褐	口縁部緩く外反する 粘土帯積上げ	(外)撫で (内)撫で
		18.8 6.4 - 口縁部1/4	胎;石英-雲母-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR6/6 橙~10YR4/1 褐灰 (内)7.5YR6/4にぶい橙	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で 頭部細面による押え (内)撫で
第93図-118	土師	14.4 5.7 - 口縁部1/3	胎;石英-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR5/6 明赤褐 (内)N2/黒	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
		19.4 3.5 - 口縁部1/2	胎;石英-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR4/4にぶい赤褐 (内)2.5YR4/6 赤褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
		17.8 5.9 - 口縁部3/4	胎;雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙 (内)2.5YR6/6 橙	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
第94図-121	土師	18.4 6.0 - 口縁部1/2	胎;石英-雲母-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR6/6 橙~5YR4/4にぶい橙 (内)5YR5/6 明赤褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
		15.8 5.7 - 口縁部1/2	胎;石英-雲母-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR3/1 黒褐 (内)5YR3/1 黒褐	口縁部「く」状を呈する	(外)撫で (内)撫で
		26.4 5.0 - 口縁部1/6	胎;石英-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR3/4 暗赤褐 (内)7.5YR3/2 黒褐	口縁部緩く外反する 粘土帯積上げ	(外)刷毛調整後撫で (内)撫で
第94図-124	土師	16.0 3.0 - 口縁部1/3	胎;石英-雲母-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR6/6 明赤褐 (内)5YR6/4にぶい橙	口縁部緩く外反する	(外)撫で (内)撫で
		18.6 4.5 - 口縁部1/6	胎;石英-雲母-隕-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR4/6 明赤褐~N2/黒 (内)5YR4/5 赤褐~2/1 黒褐	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整 (内)刷毛調整
		18.8 4.9 - 口縁部2/3	胎;雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)2.5YR4/6 赤褐 (内)2.5YR4/6 赤褐	口縁部「く」状を呈する	(外)刷毛調整後撫で (内)刷毛調整後撫で

第38表 遺物観察表(10)

遺構 No 図版 No	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
第94図-127	土師 「はむ完全	14.0	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底より立ち上がり、胴部中位で握りを持ち、口縁部「く」状を呈する	(外)擦で (内)擦で底部窓による押え
		14.8	色:(外)2.5YR4/8赤褐色 (内)10YR2/3黒褐色		
		5.8			
第94図-128	土師	18.6	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底より内窓しながら立ち上がり、口縁部「く」状を呈する	(外)擦で (内)擦で
		18.4	色:(外)5YR6/6橙～N2黒 (内)5YR5/6明赤褐色～N2黒		
		6.7			
第94図-129	土師 底部のみ	1/2		平底	(外)擦で (内)擦で
		-	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好		
		3.5	色:(外)10YR6/3にむき黄橙 (内)10YR6/3にむき黄褐色～7.5YR4/4褐		
第94図-130	土師 底部のみ	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		2.7	色:(外)5YR6/6橙～4/1褐灰 (内)10YR10/3にむき黄橙		
		7.5			
第95図-131	土師 底部3/4	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		4.7	色:(外)2.5YR4/8赤褐色～5YR4/3にむき黄橙 (内)5YR4/6赤褐色		
		5.0			
第95図-132	土師 底部2/3	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		2.0	色:(外)5YR4/6赤褐色 (内)5YR2/1黒褐色		
		4.0			
第95図-133	土師 底部のみ	-	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		2.6	色:(外)7.5YR8/4浅黄橙 (内)7.5YR8/4浅黄橙		
		3.8			
第95図-134	土師 底部のみ	-	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		1.7	色:(外)10YR4/8赤 (内)5YR5/6明赤褐色		
		6.0			
第95図-135	土師 底部のみ	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)刷毛調整
		3.0	色:(外)2.5YR5/8明赤褐色 (内)7.5YR7/4にむき橙		
		8.0			
第95図-136	土師 底部1/2	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		2.5	色:(外)10YR7/2にむき黄橙～4/1褐灰 (内)10YR7/1にむき黄褐色～5/4にむき黄褐色		
		7.4			
第95図-137	土師 底部1/4	-	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好	上げ底気味の底部	(外)擦で (内)擦で
		5.1	色:(外)10YR7/3にむき黄橙 (内)10YR7/2にむき黄橙		
		8.5			
第95図-138	土師 底部のみ	-	胎:石英・雲母・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	上げ底気味の底部	(外)擦で (内)擦で
		1.8	色:(外)7.5YR5/4にむき橙 (内)5YR4/4にむき赤褐色		
		6.5			
第95図-139	土師 底部1/3	-	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		5.0	色:(外)2.5YR7/8橙 (内)5YR5/4にむき赤褐色		
		8.1			
第95図-140	土師 底部3/4	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)擦で (内)擦で
		1.8	色:(外)2.5YR4/6赤褐色～2/1黒 (内)7.5YR8/4浅黄橙		
		7.5			
第95図-141	土師 底部のみ	-	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好	平底	(外)面磨き後擦で (内)施削り後擦で
		1.6	色:(外)2.5YR4/6赤褐色～2/1黒 (内)7.5YR7/4にむき橙～2.5YR4/6赤褐色		
		4.0			

第39表 遺物観察表(11)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
2号溝跡 第95図-142	甕 土師	- 9.9 6.0 底部のみ	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR5/6明赤褐色～3/1黒褐色 (内)SYR7/4にぶい橙	平底より内寄りに立ち上がる	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第95図-143	甕 土師	- 4.6 6.8 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2にぶい黄橙 (内)10YR7/2にぶい黄橙	平底より内寄りして立ち上がる	(外)荒磨き後撫で (内)荒磨き後撫で
2号溝跡 第95図-144	甕 土師	- 2.5 8.0 底部1/8	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙～5/6明褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-145	甕 土師	- 3.4 5.8 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR5/4にぶい橙～2.5YR5/6明赤褐色 (内)N3暗灰	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-146	甕 土師	- 4.4 5.7 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR5/6明赤褐色 (内)10YR3/2黒褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-147	甕 土師	- 4.0 6.0 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR3/4暗赤褐色～2/1赤黒 (内)2.5YR5/6明赤褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-148	甕 土師	- 3.0 4.0 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR5/6明赤褐色 (内)SYR5/6明赤褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-149	甕 土師	- 2.8 6.2 底部1/2	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR5/4にぶい黄褐色～N3/暗灰 (内)2.5YR7/3浅黄	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-150	甕 土師	- 5.0 7.3 底部1/2	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR5/3にぶい褐 (内)7.5YR3/1黒褐色	平底	(外)箝削り (内)箝削り
2号溝跡 第96図-151	甕 土師	- 4.0 6.5 底部2/3	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR7/6橙～7.5YR8/6浅黄褐色 (内)7.5YR7/1にぶい橙	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-152	甕 土師	- 4.5 6.8 底部1/2	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR8/4にぶい褐～2.5YR3/1黒褐色 (内)N2/黒	平底	(外)荒磨き後撫で 底部窓切り (内)荒磨き後撫で
2号溝跡 第96図-153	甕 土師	- 3.0 6.6 底部のみ	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR5/8明赤褐色 (内)N2/黒	平底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-154	甕 土師	- 3.4 7.5 底部のみ	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/1明褐色 (内)7.5YR7/4にぶい橙	上げ底	(外)撫で (内)撫で
2号溝跡 第96図-155	甕 土師	- 2.2 6.0 底部2/3	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR5/4にぶい褐 (内)7.5YR3/3暗褐色	平底	(外)箝削り (内)撫で
2号溝跡 第96図-156	甕 土師	- 2.2 6.6 底部のみ	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR8/3浅黄褐色 (内)7.5YR8/2白灰～4/褐	上げ底気味の底部	(外)撫で (内)撫で

第40表 遺物観察表(12)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号標跡 第96図-157	甕	- 4.6 7.1 底部1/3	胎: 雪芯・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10YR7/2にぶい黄橙 (内)2.5Y7/3 浅黄	平底	(外)撫で (内)撫で
2号標跡 第96図-158	甕	- 2.5 8.0 底部のみ	胎: 石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10YR8/4 浅黄橙 (内)10YR8/4 浅黄橙～3/1 黒褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
2号標跡 第96図-159	甕	- 2.0 7.6 底部のみ	胎: 石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)SYR4/6 赤褐 (内)SYR4/6 赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
2号標跡 第96図-160	甕	- 1.8 5.7 底部のみ	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5YR5/4にぶい褐 (内)7.5YR6/6 橙	平底	(外)撫で 指觸注意 (内)施削り後撫で
2号標跡 第96図-161	古村 甕 土師	6.3 12.2 古部1/4	胎: 石英・雲母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)3YN5/6 明赤褐～2.5YR7/1 暗灰 (内)SYR5/8 明赤褐～10YR4/2 浅黄橙	台部直線的に開き、口縁部 折り返す	(外)刷毛調整 (内)撫で
2号標跡 第97図-162	甕	17.8 10.1 3.2 2/3 ほぼ完存	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10YR8/3 浅黄橙 (内)10YR8/4 浅黄橙	体部は内湾し、口縁部で 直立する。底部に1孔を 有する	(外)撫で (内)施磨き
2号標跡 第97図-163	甕	14.0 7.2 2.3 ほぼ完存	胎: 石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10YR7/4にぶい黒褐～2/1 黑 (内)10YR7/3にぶい黄橙	体部は泡状を呈し、口 縁部僅かに外反する。底 部に1孔を有する	(外)撫で (内)撫で
2号標跡 第97図-164	甕	- 4.2 色: (外)2.5Y7/2 浅黄～N3/暗灰 底部のみ	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)2.5Y7/2 浅黄～N3/暗灰 (内)N2/黒～3/暗灰	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)施磨き後撫で
2号標跡 第97図-165	甕	- 4.4 1.8 1/3	胎: 石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)5YR5/6 明赤褐 (内)5YR5/6 明赤褐～N2/黒	底部に1孔を有する	(外)撫で (内)箆で押え後撫で
2号標跡 第97図-166	甕	- 3.4 0.7 底部のみ	胎: 石英・雲母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)SYR5/6 橙～4/1 暗灰 (内)SYR5/6 明赤褐	底部に1孔を有する	(外)箆割り (内)撫で
2号標跡 第97図-167	有段 甕 土師	16.0 8.5 - 口縁部2/3	胎: 石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5YR8/3 浅黄橙 (内)7.5YR8/3 浅黄橙	頭部から外反しながら立 ち上がり、口縁部屈曲外 反する	(外)撫で (内)撫で
2号標跡 第97図-168	壇	9.8 16.3 - 完存	胎: 雪芯・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)2.5YR5/6 明赤褐～N3/暗灰 (内)10YR8/4 浅黄橙	丸底から立ち上がり、体 部は偏平な球形を呈し、 口縁部にかけて直線的に 開く	(外)施磨き後撫で 指觸注意 (内)撫で
2号標跡 第97図-169	壇	7.9 13.5 - 完存	胎: 石英・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)2.5YR5/6～7.5YR7/3にぶい褐 (内)SYR7/6 橙～7.5YR7/4にぶい褐	丸底から立ち上がり、体 部は偏平な球形を呈し、 口縁部にかけて直線的に 開く	(外)撫で (内)撫で
2号標跡 第97図-170	壇	8.0 9.1 - 口縁部完存	胎: 石英・礫・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)SYR7/6 橙	口縁部直線的に開く	(外)撫で (内)箆磨き後撫で
2号標跡 第97図-171	壇	9.2 5.6 - 口縁部1/5	胎: 雪芯・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)SYR7/6 橙 (内)2.5YR8/6 橙	口縁部直線的に開く	(外)箆磨き (内)箆割り

第41表 遺物観察表(13)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号横跡 第97図-172	埴 土師	8.1 5.2 — 色; (外) 6Y5/1 淡~N3/暗灰 (内) 5Y5/1 淡~N3/暗灰 口縁部 1/3	胎; 雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 6Y5/1 淡~N3/暗灰 (内) 5Y5/1 淡~N3/暗灰	口縁部直線的に開く	(外) 磨き (内) 披磨き
2号横跡 第97図-173	埴 土師	9.0 5.0 — 色; (外) 7.5YR7/4 にぶい 橙 (内) 7.5YR7/3 にぶい 橙 口縁部 1/2	胎; 石英・雲母・鐵・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 7.5YR7/4 にぶい 橙 (内) 7.5YR7/3 にぶい 橙	口縁部直線的に開く	(外) 磨き (内) 披
2号横跡 第98図-174	埴 土師	8.8 5.0 — 色; (外) 10YR7/6 明黄褐 (内) 10YR7/6 明黄褐 口縁部 4/5	胎; 石英・雲母・鐵・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 10YR7/6 明黄褐 (内) 10YR7/6 明黄褐	口縁部直線的に開き、口 唇部僅かに内寄する	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第98図-175	埴 土師	9.2 6.7 — 色; (外) 7.5YR8/3 浅黃橙 口縁部 1/4	胎; 石英・雲母・鐵・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 7.5YR8/3 浅黃橙 口縁部 1/4	口縁部直線的に開き、口 唇部僅かに内寄する	(外) 磨き (内) 磨き
2号横跡 第98図-176	埴 土師	9.0 5.3 — 色; (外) 7.5YR7/6 橙 口縁部 1/4	胎; 石英・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 7.5YR7/6 橙 (内) 7.5YR7/6 橙	口縁部直線的に開き、口 唇部僅かに内寄する	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第98図-177	埴 土師	13.8 8.2 — 色; (外) 7.5YR6/4 にぶい 橙 口縁部一部	胎; 石英・鐵・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 7.5YR6/4 にぶい 橙 (内) N3/暗灰	口縁部緩く内寄する。口 唇部折り返す	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第98図-178	埴 土師	— 9.6 — 色; (外) 7.5YR7/4 にぶい 橙~7/6 橙 体部 2/3	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 7.5YR7/4 にぶい 橙~7/6 橙 (内) N3/暗灰	体部扁平な球形を呈する	(外) 磨き後拂 (内) 磨き後拂
2号横跡 第98図-179	埴 土師	13.0 15.5 — 色; (外) 10YR6/6 赤橙~N3/暗灰 口縁 1/2 脚部光	胎; 粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 10YR6/6 赤橙~N3/暗灰 (内) 7.5YR8/4 浅黃橙	丸底より立ち上がり、肩 部偏平な球状を呈し、口 縁部 2段に屈曲外反する 脚部に1孔を有する	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第98図-180	高坏 土師	15.7 13.1 13.0 注記完全 10YR7/2 にぶい 黄橙	胎; 粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 10YR7/2 にぶい 黄橙 (内) 10YR7/2 にぶい 黄橙	坏部は内寄しながら開 き、脚部柱状を呈して、 裾部で大きく開く	(外) 坏前拂で 脚部磨き後拂 (内) 披
2号横跡 第98図-181	高坏 土师	12.2 5.2 — 色; (外) 5YR6/6 橙~2.5Y5/1 黄灰 坏部 1/2	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 5YR6/6 橙~2.5Y5/1 黄灰 (内) 5YR6/6 橙	坏部は内寄しながら開く	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第98図-182	高坏 土师	15.7 11.5 10.8 坏部 2/3 脚部光	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 5YR7/6 橙 (内) 2.5YR7/8 橙	坏部下位で棱を持て開 き、裾部ラッパ状に大き く開く	(外) 磨き (内) 披
2号横跡 第98図-183	高坏 土师	— 11.2 16.0 坏部 1/3 脚部光 2/3	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 10YR7/4 にぶい 黄橙 (内) 7.5YR8/4 浅黃橙~N3/暗灰	坏部下位で棱を持ち、脚 部柱状を呈し、裾部大き く開く	(外) 磨き (内) 披
2号横跡 第99図-184	高坏 土师	18.0 6.8 — 色; (外) 10YR6/6 赤橙~5YR7/6 橙 坏部 4/5	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 10YR6/6 赤橙~5YR7/6 橙 (内) 5YR7/6 橙	坏部下位で棱を持ち、開 く	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第99図-185	高坏 土师	15.8 8.4 — 色; (外) 5YR6/8 橙~7.5YR7/6 橙 坏部 7/4	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 5YR6/8 橙~7.5YR7/6 橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい 橙	坏部下位で棱を持ち、開 く	(外) 披 (内) 披
2号横跡 第99図-186	高坏 土师	— 7.2 15.8 脚部 3/4	胎; 雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外) 7.5YR8/6 浅黃橙 (内) 7.5YR8/6 浅黃橙	裾部大きく開く	(外) 披 (内) 披

第42表 遺物観察表(14)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 は か
2号溝跡 第99図-187	高坏 土師	- 7.0 15.6 脚部2/3	胎:石英・繊維・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR8/6 黄橙～2.5Y6/1 黄灰 (内)7.5Y6/4 にぶい 橙	腹部大きく開く	(外)撫で (内)撫で 指頭による押え
2号溝跡 第99図-188	高坏 土師	- 7.7 - 色:(外)10YR7/2 にぶい 黄橙 (内)10YR7/2 にぶい 黄橙	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2 にぶい 黄橙 (内)10YR7/2 にぶい 黄橙	腹部大きく開く	(外)刷毛調整後撫で (内)撫で
2号溝跡 第99図-189	高坏 土師	- 6.2 15.4 脚部2/3	胎:石英・雲母・繊維・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR8/4 浅黄橙～5YR7/6 橙 (内)5YR7/6 橙	脚部大きく開く	(外)箋磨き (内)箋磨き後撫で
2号溝跡 第99図-190	高坏 土師	- 3.7 13.8 脚部1/2	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR8/6 橙～10YR7/4 にぶい 黄橙 (内)10YR7/4 にぶい 黄橙	腹部反り返る	(外)箋磨き (内)撫で
2号溝跡 第99図-191	高坏 土師	- 9.2 - 色:(外)2.5Y5/1 黄灰 (内)2.5Y3/1 黒褐色	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y5/1 黄灰 (内)2.5Y3/1 黒褐色	脚部開く	(外)箋磨き後撫で (内)箋削り後撫で
2号溝跡 第99図-192	器台 土師	- 3.4 - 接合部	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR6/4 にぶい 橙 (内)5YR6/4 にぶい 橙	接合部	(外)箋磨き (内)撫で
2号溝跡 第99図-193	坏 土師	15.0 8.4 - 3/4	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR5/6 明褐～N3/暗灰 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第99図-194	坏 土師	14.5 7.6 - 2/3	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3 にぶい 黄橙 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-195	坏 土師	16.5 7.3 - 2/3	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y7/2 暗黄 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-196	坏 土師	11.5 5.0 - 2/3	胎:石英・雲母・繊維・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/4 にぶい 黄橙～2.5Y6/3 黑褐色 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部内凹する	(外)撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-197	坏 土師	13.6 4.0 - 4/5	胎:繊維・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR6/8 橙 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部緩く外反する	(外)撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-198	坏 土師	11.8 5.2 - 1/2	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR3/1 黒褐色 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部緩く外反する	(外)撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-199	坏 土師	17.0 5.2 - 1/4	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3 にぶい 黄橙～N2/黑 (内)黑	丸底より立ち上がり、口 縁部緩かに外反する	(外)箋磨き後撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-200	坏 土師	13.2 5.3 - 1/6	胎:石英・雲母・繊維・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3 にぶい 黄橙～5/1 黑褐色 (内)黑	口縁部「く」状を呈する	(外)箋磨き後撫で (内)黑色処理
2号溝跡 第100図-201	坏 土師	15.2 6.3 - 1/6	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y7/2 暗黄 (内)黑	口縁部「く」状を呈する	(外)箋磨き後撫で (内)黑色処理

第43表 遺物観察表(15)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 � 實	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
2号横跡 第100回- 202	坏 土師	13.0	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10Y3/3に混入黄橙 (内)黒	口縁部「く」状を呈する	(外)擦で (内)黒色処理
		6.0			
		1.5			
2号横跡 第100回- 203	鉢	11.8	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5Y7/3 浅黄 (内)黒	体部上位で張りを持ち、 口縁部短く外反する	(外)擦で (内)黒色処理
		6.0			
		1/3			
2号横跡 第100回- 204	鉢	12.9	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10Y8/4 浅黄橙～N4/暗灰 (内)黒	丸底より立ち上がり、体 部中位で張りを持ち、口 縁部短く外反する	(外)擦で (内)黒色処理
		7.4			
		2/3			
2号横跡 第100回- 205	鉢	15.0	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10Y7/3に混入黄橙～E6/暗灰 (内)黒	平底より内窵して立ち上 がり、体部上位で張りを 持ち口縁部に至る	(外)箝磨き (内)黒色処理
		8.2			
		6.4			
2号横跡 第100回- 206	鉢 底部のみ	3/4			
		2.9			
		4.7			
2号横跡 第101回- 207	高坏 土師 坏部先存	14.8	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5Y8/4 淡橙 (内)黒	坏部下位で接を持ち、口 縁部聞く	(外)擦で (内)黒色処理
		5.2			
		1/2			
2号横跡 第101回- 208	手捏 土師 糊付	5.5	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5Y7/3 浅黄 (内)2.5Y7/3 浅黄	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
		2.9			
		2.9			
2号横跡 第101回- 209	手捏 土師 完存	4.2	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5Y8/6 橙～N4/灰 (内)5Y8/6 橙～N4/灰	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
		2.9			
		4.2			
2号横跡 第101回- 210	手捏 土師 糊付	3.9	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10Y8/2 白灰 (内)10Y8/2 白灰	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
		2.8			
		2.8			
2号横跡 第101回- 211	手捏 土師 坏部 1/3	—	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5Y8/6 浅黄橙 (内)2.5Y8/6 橙	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
		3.5			
		—			
2号横跡 第101回- 212	坏 須恵	10.8	胎:白色含む 焼:良好 色: (外)N4/灰 (内)N4/灰	丸底より立ち上がり、受 部は内に伸び、口唇部は 外傾する	(外)輪轂による擦で (内)輪轂による擦で
		4.7			
		3/4			
2号横跡 第101回- 213	坏 須恵	13.4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)N4/灰 (内)N4/暗灰	体部中位に綾を持つ	(外)輪轂による擦で (内)輪轂による擦で
		3.3			
		1/3			
2号横跡 第101回- 214	坏 須恵	—	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)N4/灰 (内)N4/灰	丸底	(外)輪轂による擦で 底面に施記号を有する (内)輪轂による擦で
		0.9			
		1/2			
2号横跡 第101回- 215	蓋 須恵	11.4	胎:精良 焼:良好 色: (外)N6/灰～4/灰 (内)N6/灰	天井部は扁平で梗以下は 直降する	(外)輪轂による擦で (内)輪轂による擦で
		3.9			
		—			
2号横跡 第101回- 216	蓋 須恵	1/5			
		12.4	胎:精良 焼:良好 色: (外)N4/暗灰 (内)N4/灰	梗以下は僅かに外反し 縁部に至る	(外)輪轂による擦で (内)輪轂による擦で
		3.8			
		1/2			

第44表 遺物觀察表(16)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
2号溝跡 第101図-217	高环 須恵	19.3 5.5 — 坏部1/6	胎:精良 焼:良好 色:(外)N3/暗灰 (内)N3/灰	坏部は開き、外面に把手を有する	(外)輪縁による擦で 沈線・波状文を施す (内)輪縁による擦で
2号溝跡 第101図-218	高环 須恵	9.8 5.5 — 坏部2/3	胎:精良 焼:良好 色:(外)N4/灰 (内)N4/灰	坏部中位に稜を持ち、口縁部内傾する	(外)輪縁による擦で (内)輪縁による擦で
2号溝跡 第101図-219	高环 須恵	— 2.8 — 接合部のみ	胎:精良 焼:良好 色:(外)N5/灰 (内)N5/灰	接合部のみ	(外)輪縁による擦で (内)輪縁による擦で
2号溝跡 第101図-220	甕 須恵	24.0 5.4 — 口縁部1/3	胎:石英・雲母・磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)N4/灰 (内)N3/暗灰	口縁部稜を持ち、外反する	(外)輪縁による擦で (内)輪縁による擦で
4号溝跡 第102図-1	坏 土師	19.6 8.1 — 1/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y3/2灰黄~2/1黒 (内)2.5Y5/1黄灰	丸底より立ち上がり、口縁部内弯する	(外)擦で (内)擦で
4号溝跡 第102図-2	坏 土師	16.8 7.5 — 口縁部体部1/4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y7/3浅黄 (内)2.5Y7/4浅黄	口縁部内弯する	(外)擦で (内)擦で
4号溝跡 第102図-3	甕 土師	17.8 3.6 — 口縁部1/4	胎:磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5Y8/3褐色 (内)7.5Y8/4にぶい褐色	口縁部外反する	(外)擦で (内)擦で
4号溝跡 第102図-4	甕 土師	— 2.8 6.8 底部1/2	胎:石英・磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5Y8/2灰褐 (内)7.5Y8/4にぶい褐色	平底	(外)擦で (内)擦で
4号溝跡 第102図-5	甕 土師	24.8 16.0 — 口縁1/4脚一部	胎:磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR7/4にぶい橙~7/5橙 (内)SYR7/5橙~7/4にぶい橙	脚部直線的に開き、口縁部外反する 5と同一個体か?	(外)擦で (内)擦で
4号溝跡 第102図-6	瓶 土師	— 9.5 7.0 底部1/2 ほぼ完存	胎:磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR7/4にぶい橙~N3/暗灰 (内)SYR7/4にぶい橙	底部より外傾して立ち上がる 5と同一個体か?	(外)擦で (内)標位の擦で
4号溝跡 第102図-7	甕 土師	5.0 3.0 — 口縁部一部	胎:磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3にぶい黄橙 (内)10YR7/4にぶい黄橙	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
4号溝跡 第102図-8	甕 土師	— 2.1 2.6 底部1/2	胎:磯・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2にぶい黄橙~5/1褐色 (内)10YR7/3にぶい黄橙	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第103図-1	坏 土師	13.8 5.5 — ほぼ完存	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR7/6橙 (内)5YR7/6橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第103図-2	坏 土師	9.8 4.8 — 1/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR7/6橙~10YR6/1褐色 (内)5YR7/6橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第103図-3	坏 土師	15.4 4.8 — 1/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)N3/暗灰 (内)2.5Y5/1黄灰~7.5Y9/4にぶい橙	丸底より立ち上がり、口縁部開く	(外)擦で (内)擦で

第45表 遺物観察表(17)

遺物 No 図版 No	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号溝跡	坏	13.0	胎: 雜-粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-4	土師	4.0	燒: 良好	縁部開く	(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR8/4 浅黄橙~N4/灰		
		1/3	(内) 5YR6/6 橙		
5号溝跡	坏	12.0	胎: 雜-粗砂粒含む	口縁部開く	(外) 摩で
第103図-5	土師	4.9	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 5YR6/6 橙~2.5YR8/8 明赤褐		
		1/5	(内) 5YR6/6 橙		
5号溝跡	坏	14.7	胎: 雜砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-6	土師	4.7	燒: 良好	縁部内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR7/2 に近い 黄橙~1/1 烟灰		
		1/3	(内) 10YR7/2 に近い 黄橙~4/1 烟灰		
5号溝跡	坏	16.0	胎: 雜砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-7	土師	5.0	燒: 良好	縁部内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 7.5YR7/4 に近い 暗~N2/黒		
		2/3	(内) 7.5YR7/4 に近い 暗~N4/灰		
5号溝跡	坏	13.0	胎: 雜砂粒含む	口縁部内窓する	(外) 摩で
第103図-8	土師	4.5	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 5YR6/6 橙~N4/灰		
		1/5	(内) 5YR6/6 橙		
5号溝跡	坏	11.4	胎: 雜砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 口縁部側立の跡で
第103図-9	土師	4.3	燒: 良好	縁部内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 2.5YR6/6 橙		
		1/2	(内) 2.5YR6/6 橙		
5号溝跡	坏	13.4	胎: 雜砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-10	土師	4.6	燒: 良好	縁部内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 5YR7/4 に近い 暗~2.5YR7/6 暗		
		1/2	(内) 5YR7/4 に近い 暗		
5号溝跡	坏	14.0	胎: 雜砂粒含む	口縁部内窓する	(外) 摩で
第103図-11	土師	4.2	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR6/8 赤褐		
		1/4	(内) 2.5YR7/6 暗		
5号溝跡	坏	13.8	胎: 雜砂粒含む	口縁部内窓する	(外) 摩で
第103図-12	土師	4.5	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR7/2 に近い 黄橙~N4/灰		
		1/3	(内) 10YR7/2 に近い 黄橙		
5号溝跡	坏	12.4	胎: 雜砂粒含む	口縁部内窓する	(外) 摩で
第103図-13	土師	4.5	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 2.5YR5/6 明赤褐		
		1/3	(内) 2.5YR5/4 に近い 赤褐		
5号溝跡	坏	14.5	胎: 雜砂粒含む	口縁部内窓する	(外) 摩で
第103図-14	土師	4.3	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR7/3 に近い 黄橙		
		1/3	(内) 10YR7/2 に近い 黄橙~N3/黒灰		
5号溝跡	坏	15.4	胎: 雜砂粒含む	口縁部内窓する	(外) 摩で
第103図-15	土師	3.9	燒: 良好		(内) 摩で
		-	色: (外) 7.5YR8/4 浅黄橙~2.5YR5/1 黄灰		
		1/4	(内) 10YR5/3 に近い 黄橙~2.5YR5/1 黄灰		
5号溝跡	坏	12.6	胎: 雜砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-16	土師	5.2	燒: 良好	縁部僅かに内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR6/6 赤褐		
		1/3	(内) 2.5YR7/6 暗		
5号溝跡	坏	8.3	胎: 雜母-粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-17	土師	3.7	燒: 良好	縁部僅かに内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 10YR7/3 に近い 黄橙		
		1/4	(内) 10YR7/3 に近い 黄橙		
5号溝跡	坏	12.2	胎: 雜母-粗砂粒含む	丸底より立ち上がり、口	(外) 摩で
第103図-18	土師	5.5	燒: 良好	縁部僅かに内窓する	(内) 摩で
		-	色: (外) 5YR6/6 橙~7.5YR7/4 に近い 暗		
		4/5	(内) 5YR6/6 橙		

第46表 遺物観察表(18)

遺構 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
5号横跡	壺	11.6 4.0 — 1/4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR8/2灰白～5YR4/1灰白 (内)7.5YR8/2灰白～5YR4/1灰白	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
第104図-19	土師	13.6 3.9 — 1/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR7/6橙～10YR7/1灰白 (内)10YR7/1灰白	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	13.0 4.4 — 1/2	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR8/4浅黄橙～5/1褐灰 (内)7.5YR7/6橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
第104図-21	土師	14.0 4.1 — 口縁部1/4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR7/3に近い黄橙～5/5灰 (内)10YR7/2に近い黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	13.8 4.3 — 口縁部1/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR6/5橙～7.5YR7/3に近い橙 (内)5YR6/6橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
第104図-23	土師	12.8 3.5 — 口縁部1/5	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5Y7/2灰黄 (内)2.5Y7/2灰黄	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	13.9 4.1 — 口縁部1/4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR7/3に近い黄橙～5/3褐灰 (内)10YR7/3に近い黄橙～5/4灰黄	口縁部僅かに内寄する	(外)撫で (内)撫で
第104図-25	土師	14.6 4.8 — 1/2	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR6/6橙 (内)5YR6/6橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	13.4 5.0 — 1/5	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/4に近い黄～10YR8/2灰白 (内)7.5YR7/4に近い黄～2.5Y7/1灰白	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
第104図-27	土師	12.6 5.5 — 口縁部1/4	胎:石英・雲母・砕砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR8/2灰白 (内)10YR7/2に近い黄橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	14.5 5.3 — 口縁部1/3	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR8/2灰白 (内)10YR7/3に近い黄橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
第104図-29	土師	15.2 5.3 — 口縁部1/3	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR6/6橙～10YR5/2灰暗褐 (内)2.5YR6/6橙～10YR4/1褐灰	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	15.4 6.7 — 口縁部1/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR6/6橙 (内)5YR7/6橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
第104図-31	土師	19.0 8.0 — 口縁部1/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR6/6橙～7/6橙 (内)2.5Y3/1黒褐色	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	壺	9.6 4.7 — 口縁部1/5	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR6/6橙 (内)7.5YR6/6橙～10YR6/3に近い黄橙	口縁部外傾する	(外)撫で (内)撫で
第104図-33	土師				

第47表 遺物観察表(19)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様(ほか)	整 形 ほ か
5号溝跡 第104図-34	环 土師	10.2 4.4 — 1/2	胎: 霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)5Y4/6 赤褐色～N2/黒 (内)5Y5/4 にぶい赤褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第104図-35	环 土師	13.2 6.0 — 口縁部 1/2	胎: 霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5Y7/4 にぶい橙 (内)7.5Y7/6 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-36	环 土師	11.0 5.8 — ぼく元存	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)5Y5/1 暗灰～6/4 にぶい橙 (内)5Y5/1 暗灰～6/4 にぶい橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-37	环 土師	16.4 6.0 — 1/4	胎: 石英・霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5Y6/3 にぶい褐 (内)7.5Y6/3 にぶい褐	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-38	环 土師	14.4 4.3 — 1/2	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)2.5Y7/3 浅黄 (内)10Y4/3 にぶい黄褐色	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-39	环 土師	16.0 4.2 — 口縁部 1/4	胎: 霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)5Y7/6 橙～N3/暗灰 (内)5Y7/6 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-40	环 土師	16.4 5.3 — 口縁部 1/4	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10Y7/3 にぶい黄橙 (内)10Y7/3 にぶい黄橙	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-41	环 土師	13.8 5.0 — 口縁部 1/4	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5Y8/6 浅黄橙 (内)7.5Y8/6 淡黄褐色～10Y7/3 にぶい黄褐色	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-42	环 土師	12.0 3.8 — 口縁部 1/5	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10Y7/4 にぶい黄褐色～6/3 にぶい黄褐色 (内)7.5Y6/6 橙	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-43	环 土師	14.6 3.5 — 口縁部 1/3	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10Y5/2 灰黃褐色～5/6 黄褐色 (内)10Y4/1 暗灰	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-44	环 土師	13.0 5.2 — 口縁部 1/2	胎: 霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)2.5Y7/2 灰黄 (内)2.5Y7/2 灰黄	口縁部直ぐ外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-45	环 土師	12.0 5.0 — 口縁部 1/5	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)10Y7/4 にぶい黄橙 (内)10Y4/6 橙	口縁部直ぐ外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-46	环 土師	14.0 4.7 — 口縁部 1/5	胎: 霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5Y8/2 灰白～5/1 暗灰 (内)10Y8/2 灰白	体部上位に稜を持ち、口 縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-47	环 土師	14.0 5.3 — 口縁部 1/5	胎: 石英・霧母・粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)5Y7/3 にぶい橙 (内)5Y7/3 にぶい橙	体部上位に稜を持ち、口 縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第105図-48	环 土師	11.2 4.7 — 1/5	胎: 粗砂粒含む 焼: 良好 色: (外)7.5Y8/4 浅黄褐色～2.5Y7/1 灰白 (内)7.5Y8/4 浅黄褐色	丸底より立ち上がり、体 部下位に稜を持ち、口縁 部直ぐ	(外)撫で (内)撫で

第48表 遺物観察表(20)

遺構 No 図版 No	器種 種類	法量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 は か
5号溝跡 第105図-49	环 土師	14.4 5.2 -- 完存	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 7.5YR7/4 梅～2.5YR5/6 明赤堀 (内) 5YR6/6 橙	丸底より外傾して立ち上 がり、体部下位に棱を持 ち、口縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第105図-50	环 土師	15.6 3.0 -- 1/6	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 7.5YR7/4 にぶい 橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい 橙	浅い丸底より外傾して立 ち上がり、体部下位に棱を持 ち、口縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第105図-51	环 土師	17.4 3.3 -- 1/3	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 7.5YR6/6 橙～N4/灰 (内) 7.5YR6/6 橙	浅い丸底より外傾して立 ち上がり、体部下位に棱を持 ち、口縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-52	环 土師 口縁部 1/9	18.8 3.4 -- 1/6	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 7.5YR5/2 灰褐 (内) 7.5YR5/2 灰褐	体部下位に棱を持ち、口 縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-53	环 土師 口縁部 1/5	15.6 3.9 -- 1/6	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 5YR6/6 橙～N4/灰 (内) 5YR7/6 橙	体部下位に棱を持ち、口 縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-54	环 土師 口縁部 1/9	17.0 3.2 -- 1/6	胎;繩・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 5YR6/6 橙 (内) 7.5YR7/4 にぶい 橙	体部下位に棱を持ち、口 縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-55	环 土師 口縁部 1/4	15.2 4.8 -- 1/6	胎;雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 2.5YR7/6 橙～N4/灰 (内) 2.5YR7/4 淡赤堀	体部下位に棱を持ち、口 縁部開く	(外) 摩で (内) 茶磨き後撫で
5号溝跡 第106図-56	环 土師 口縁部 1/3	16.6 3.2 -- 1/6	胎;石英・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 5YR7/6 橙～N4/灰 (内) 5YR7/8 橙	体部下位に棱を持ち、口 縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-57	环 土師 口縁部 1/5	11.6 2.7 -- 1/6	胎;繩・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 10YR6/4 にぶい 黄橙 (内) 10YR7/3 にぶい 黄橙～N5/灰	体部下位に棱を持ち、口 縁部開く	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-58	鉢 土師	14.0 10.9 5.7 1/2	胎;雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 5YR6/4 にぶい 橙～10YR1/1 梅褐 (内) 7.5YR6/4 にぶい 橙～10YR1/1 梅褐	平底より内窵して立ち上 がり、体部中位で張りを 持ち、口縁部外反する	(外) 摩で (内) 摩で 篦による押え
5号溝跡 第106図-59	鉢 土師 口縁部体部 1/3	12.0 8.8 -- 1/6	胎;雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 5YR6/8 橙～10YR7/2 にぶい 黄橙 (内) 10YR7/2 にぶい 黄橙	体部中位で張りを持ち、 口縁部短く外反する	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-60	鉢 土師 口縁部 1/3	10.8 9.1 -- 1/6	胎;雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 7.5YR4/4 橙～10YR7/3 にぶい 黄橙 (内) 7.5YR4/4 橙	口縁部内窵する	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第106図-61	鉢 土師	— 8.5 6.0 1/3	胎;繩・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 10YR4/3 にぶい 黄褐～5/1 梅褐 (内) N4/灰	平底より内窵して立ち上 がり、口縁部僅かに外反 する	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第107図-62	甕 土師	20.5 31.4 7.4 2/3	胎;微砂粒含む 燒;良好 色; (外) 7.5YR8/4 浅黄褐～N3/暗灰 (内) 7.5YR8/3 浅黄褐	上げ底気味の底部より立 ち上がり、腹面状を呈 し、口縁部「コ」状に外反 する 粘土帯積み上げ	(外) 摩で (内) 摩で
5号溝跡 第107図-63	甕 土師	19.4 18.9 -- 口縁部 1/2	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 燒;良好 色; (外) 5YR7/6 橙 (内) 5YR7/4 にぶい 橙	口縁部「コ」状に外反する	(外) 摩で (内) 刷毛調整

第49表 遺物観察表(21)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
5号溝跡 第107図-64	土師	18.0 7.8 —	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR8/2灰白 (内)10YR8/2灰白~N3/暗灰	口縁部「コ」状に外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で (内)刷毛調整後撫で
		15.6 7.7 —	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/6 橙~10R3/2暗赤褐 (内)10YR8/1 暗灰	口縁部「コ」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
		17.6 6.0 —	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR6/1 暗灰	口縁部「コ」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図-66	土師	17.2 6.4 —	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR8/3浅黄橙~5Y7/1灰白 (内)5Y7/1灰白	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
		15.2 4.3 —	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で (内)撫で
		23.7 32.8 5.0 3/4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR5/8赤~7.5YR7/4 にぶい橙 (内)7.5YR7/4 にぶい橙	平底より立ち上がり、胴部上位で振りを持ち、口縁部「く」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第108図-69	土師	23.4 14.0 —	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/4 にぶい橙 (内)10YR7/3 にぶい黄橙~N3/灰	口縁部「く」状に外反する 粘土帯積七字	(外)撫で (内)刷毛調整
		19.3 6.5 —	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR4/4 にぶい赤褐 (内)5YR3/1 黒褐	口縁部「く」状に外反する	(外)横位の撫で (内)横位の撫で
		17.4 6.0 —	胎:雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR6/6 橙 (内)5YR6/6 橙	口縁部「く」状に外反する 丸底より立ち上がり、口縁部内凹する	(外)横位の撫で (内)撫で
5号溝跡 第109図-73	土師	16.8 5.9 —	胎:雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR4/4 にぶい赤褐~3/2暗赤褐 (内)5YR4/4 にぶい赤褐~3/2暗赤褐	口縁部「く」状に外反する	(外)刷毛調整後撫で (内)刷毛調整後撫で
		18.2 5.0 —	胎:雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR5/6明褐	口縁部「く」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
		16.8 5.0 —	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR5/4 にぶい褐 (内)7.5YR5/4 にぶい褐	口縁部「く」状に外反する	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡 第109図-76	土師	15.6 4.8 —	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR7/6 棕	口縁部「く」状に外反する	(外)刷毛調整後撫で (内)刷毛調整
		25.2 11.1 —	胎:雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR8/4 淡橙~7.5YR6/1褐灰 (内)2.5Y5/1 黄灰	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
		19.0 7.3 —	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR5/6 橙 (内)5YR4/6 赤褐	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で

第50表 遺物観察表(22)

遺構 No 図面 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号横跡 第109図-79	甕 土師	24.6 9.5 —	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR4/6 暗 (内)7.5YR5/6 明褐	口縁部外反する	(外)刷毛調整後焼で (内)刷毛調整後焼で
		25.4 6.7 —	胎:雲母・鐵・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR4/2 黒褐～5/1にぶん 暗 (内)7.5YR5/4 にぶん 暗～6/5	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
		27.2 5.0 —	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR7/4 にぶん 暗 (内)7.5YR7/4 にぶん 暗～N5/灰	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
5号横跡 第110図-81	甕 土師	19.2 4.7 —	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR5/4 にぶん 暗 (内)7.5YR7/4 にぶん 暗～N5/灰	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
		15.2 4.9 —	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)5YR6/6 暗 (内)5YR6/6 暗	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
		16.4 29.3 7.7 1/2	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR7/4 にぶん 暗～4/3 暗 (内)7.5YR7/4 にぶん 暗	平底より立ち上がり、脇部施ण状を呈し、口縁部外反する	(外)口縁部側位の箇所削り後焼で (内)焼で
5号横跡 第110図-84	甕 土師	16.8 19.0 —	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR6/2 黒褐～5/1にぶん 暗 (内)5YR6/6 暗	口縁部外反する 粘土帯積上げ	(外)刷毛調整 (内)刷毛調整
		17.8 9.0 —	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)5YR5/6 明赤褐 (内)5YR5/6 明赤褐	口縁部外反する	(外)刷毛調整 (内)焼で
		17.4 17.2 1/2	胎:石英・雲母・細砂粒含む 燒:良好 色: (外)5YR6/6 暗 (内)5YR6/6 明赤褐	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
5号横跡 第111図-88	甕 土師	24.8 18.0 —	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR6/2 黑褐～2/1 黒 (内)7.5YR6/2 黑褐	口縁部外反する 口唇部面取りを施す	(外)焼で (内)焼で
		10.2 13.2 6.4 2/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR7/3 にぶん 暗 (内)7.5YR7/4 にぶん 暗	平底より内寄して立ち上がり、口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
		12.8 9.0 —	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)5YR3/6 暗赤褐 (内)5YR2/1 黑褐	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
5号横跡 第111図-91	甕 土師	13.2 6.2 —	胎:粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR6/4 にぶん 暗 (内)7.5YR6/4 にぶん 暗	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
		13.8 8.8 —	胎:石英・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR6/4 にぶん 暗～2.5YR5/6 明赤褐 (内)10YR5/2 黑褐	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
		14.0 6.7 —	胎:雲母・粗砂粒含む 燒:良好 色: (外)7.5YR7/6 暗 (内)7.5YR7/4 にぶん 暗	口縁部外反する	(外)焼で (内)焼で

第51表 遺物観察表(23)

遺物 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様(ほか)	整 形 ほ か
5号溝跡 第111図-94	甕 土師	17.0 6.9 — 口縁部 1/2	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR5/6 明赤褐色～N2/黒 (内)5YR5/4 にぶい赤褐色	口縁部受口状を呈する	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第111図-95	甕 土師	— 12.5 4.8 底部 2/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR7/6 桜～N2/黒 (内)5YR7/6 桜	平底より立ち上がり、胴 部球状を呈する	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-96	甕 土師	— 12.7 4.5 底部調節部 1/2	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR8/2 白灰～N3/暗灰 (内)10YR8/2 白灰～N3/暗灰	平底より内寄して立ち上 がる	(外)擦で (内)刷毛調整
5号溝跡 第112図-97	甕 土師	— 4.1 9.3 底部 3/4	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/6 桜 (内)7.5YR8/4 浅黄桜	平底	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-98	甕 土師	— 4.6 9.0 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/4 にぶい桜～2/1 黒 (内)7.5YR8/1 暗灰	平底	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-99	甕 土師	— 3.0 7.0 底部 2/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2 にぶい黄桜～N1/暗灰 (内)10YR8/3 浅黄桜	上げ底気味の底部	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-100	甕 土師	— 3.2 9.4 底部 1/2	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3 にぶい黄桜～N4/灰 (内)10YR7/3 にぶい黄桜～N4/灰	平底	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-101	甕 土師	— 2.1 6.8 底部のみ	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR6/8 桜～10YR3/1 黒桜 (内)10YR3/1 黒桜	平底	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-102	甕 土師	— 1.8 6.4 底部のみ	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/2 にぶい黄桜 (内)N3/暗灰	平底	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-103	甕 土師	— 5.0 6.8 底部 1/2	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR4/1 暗灰 (内)7.5YR7/3 にぶい桜	平底	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第112図-104	甕 土師	— 5.9 6.8 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR7/3 にぶい黄桜 (内)7.5YR6/8 桜	平底	(外)刷毛調整 (内)刷毛調整
5号溝跡 第112図-105	甕 土師	— 6.2 5.6 底部のみ	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR6/6 桜～N2/黒 (内)5YR5/6 明赤褐色	平底	(外)直削り (内)擦で
5号溝跡 第112図-106	甕 土師	— 7.0 6.1 底部のみ	胎:雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR6/4 にぶい桜～6/6 桜 (内)N3/暗灰	平底	(外)擦で (内)無で
5号溝跡 第112図-107	甕 土師	— 6.1 6.3 底部のみ	胎:雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR6/8 桜～7/8 桜 (内)5YR6/8 桜	平底	(外)擦で (内)刷毛調整
5号溝跡 第112図-108	甕 土師	— 5.1 5.6 底部のみ	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR5/6 桜 (内)5YR2/1 黑桜	平底	(外)無で (内)無で

第52表 遺物観察表(24)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
5号溝跡	甕	- 3.2 6.0 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)2.5YR5/8 明赤褐色 (内)10YR7/2にぶい黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-109	土師	- 4.1 6.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)2.5YR5/8 明赤褐色～1 黑褐色 (内)7.5YR8/4にぶい褐色	平底	(外)施削り (内)撫で
5号溝跡	甕	- 3.8 5.0 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)2.5YR4/8 赤褐色～3/暗赤褐色 (内)7.5YR3/3 暗褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-111	土師	- 6.5 5.7 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)5YNG/6 橙～N3/暗灰 (内)5YR6/8 橙	平底	(外)施削り (内)撫で
5号溝跡	甕	- 4.3 6.6 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)2.5YR4/4にぶい赤褐色～N2/黒褐色 (内)2.5YR4/6 赤褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-112	土師	- 3.3 6.4 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)7.5YR7/4にぶい浅黄褐色 (内)7.5YR8/4 浅黄褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡	甕	- 3.3 5.8 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)7.5YR8/4にぶい暗褐色 (内)7.5YR8/4にぶい褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-114	土師	- 2.9 5.9 底部のみ	胎;暗褐色～N3/暗灰 焼;良好 色; (外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)10YR4/2 灰黃褐色	平底	(外)施削り (内)撫で
5号溝跡	甕	- 2.7 5.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)5YR6/6 橙 (内)10YR7/2にぶい黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-116	土師	- 2.4 5.5 底部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)5YR4/6 赤褐色～N3/暗灰 (内)5YR4/6 赤褐色	平底	(外)撫で (内)撫でによる押え
5号溝跡	甕	- 2.7 7.0 底部のみ	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)5YR7/6 橙 (内)5YR4/1 暗褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-119	土師	- 3.5 5.8 底部3/4	胎;雲母・暗褐色～N3/暗灰 焼;良好 色; (外)5YR5/6 明赤褐色～N3/暗灰 (内)5YR5/6 明赤褐色	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡	甕	- 3.1 6.1 底部3/4	胎;雲母・微細砂粒含む 焼;良好 色; (外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)7.5YR7/3にぶい橙～N3/暗灰	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図-121	土師	- 2.9 5.5 底部のみ	胎;雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)2.5YR5/8 明赤褐色 (内)2.5YR6/8 橙	平底	(外)撫で (内)撫で
5号溝跡	甕	- 2.8 5.8 底部のみ	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)10YR7/4にぶい黄橙～N4/灰 (内)N4/灰	平底	(外)施削り (内)副毛調整
第113図-123	土師	-			

第53表 遺物観察表(25)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
5号横跡	甕	- 2.5 5.0 底部のみ	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5YR6/3にぶる褐 (内)7.5YR6/3にぶる褐	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図- 124	土師	2.6 5.6 底部のみ	胎; 石英・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5YR7/4にぶる褐~4/1褐色 (内)7.5YR3/1 黒褐	平底	(外)撫で (内)撫による押え
5号横跡	甕	- 2.5 6.6 底部のみ	胎; 石英・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5YR4/4にぶる赤褐 (内)5YR4/4にぶる赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図- 125	土師	2.5 3.6 底部のみ	胎; 雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5YR7/4にぶる赤褐 (内)10YR6/1 褐灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	甕	- 2.5 6.0 底部のみ	胎; 雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5YR8/4 浅黄橙~4/4灰 (内)10YR8/4 浅黄橙	平底	(外)撫で (内)撫で
第113図- 126	土師	2.7 4.6 底部のみ	胎; 粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)5YR4/3にぶる赤褐 (内)7.5YR3/1 黒褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	甕	- 2.1 5.4 底部のみ	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)5YR6/6 橙 (内)5YR3/1 黑褐	平底	(外)撫で (内)撫で
第114図- 130	土師	2.2 6.2 底部のみ	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5YR5/4にぶる赤褐 (内)2.5YR3/1 暗赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	甕	- 2.7 6.0 底部3/4	胎; 雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5YR4/6 赤褐 (内)5YR4/4にぶる赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
第114図- 131	土師	4.4 4.8 底部のみ	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5YR6/4にぶる褐~2.5YR5/6 明赤褐 (内)10YR5/1 褐灰	平底	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	甕	- 3.0 5.4 底部のみ	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5YR4/6 赤褐 (内)5YR4/2 黄褐	平底	(外)撫で (内)撫で
第114図- 132	土師	3.5 4.3 底部のみ	胎; 石英・雲母・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5YR7/3にぶる褐 (内)7.5YR7/3 黑褐~3/1 黑褐	平底	(外)撫で (内)撫による押え
5号横跡	甕	- 2.8 5.3 底部のみ	胎; 粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)5YR4/6 赤褐 (内)5YR7/6 橙	上げ底気味の底部	(外)撫で (内)撫で
第114図- 133	土師	25.5 22.5 11.5 ほぼ完存	胎; 石英・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)10YR7/3にぶる黄褐 (内)10YR5/1 褐灰	底部より内窓して立ち上がり、口縁部外反する。 体部に1対の把手を有する	(外)撫で (内)撫で
5号横跡	瓶	22.0 22.8 5.8 3/4	胎; 石英・粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)5YR5/6 明赤褐~N2/黒 (内)2.5YR5/8 橙~N4/灰	底部より内窓して立ち上がり、口縁部外反する	(外)刷毛調整 (内)刷毛調整
第114図- 138	土師				

第54表 遺物観察表(26)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号構跡	瓶	25.3 22.5 7.6 3/4	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色; (外)7.5V8/6 淡黄緑～N3/暗灰 (内)7.5V8/6 浅黄緑	底部より外傾して立ち上 がり、口縁部外反する	(外)撚で (内)撚で
第115図— 139	土師	23.4 6.3	胎;粗砂粒含む 焼;良好	口縁部外反する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	瓶?	—	胎;粗砂粒含む 焼;良好	口縁部外反する	(外)撚で (内)撚で
第115図— 140	土師	21.4 8.2 体部底部1/3	色; (外)2.5V7/2 淡黄～N2/黒 (内)10V8/2 淡黄褐	底部より内湾して立ち上 がる	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	瓶	19.3 7.8	胎;微砂粒含む 焼;良好	底部より外傾して立ち上 がる	(外)撚で (内)撚で
第115図— 142	土師	3.6 底部のみ	色; (外)2.5V7/2 淡黄～N2/黒 (内)2.5V7/2 淡黄	底部より外傾して立ち上 がる	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	瓶	5.3 3.6 底部のみ	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
第115図— 143	土師	4.1 底部1/2	色; (外)7.5V8/3 淡黄緑～3/1 黒褐 (内)10V8/3 淡黄緑	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	瓶	—	胎;微砂粒含む 焼;良好	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
第115図— 144	土師	4.5 4.1 底部1/2	色; (外)7.5V8/4 にぶい橙 (内)7.5V8/8 明褐	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	瓶	4.1 1.3 底部のみ	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
第115図— 145	土師	—	色; (外)5V5/4 にぶい赤褐～2/1 黒褐 (内)10V5/2 淡黄褐	底部に1孔を有する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	高坏	5.3 11.2 脚部のみ	胎;粗砂粒含む 焼;良好	脚部は緩く外反する。 据部面取りを施す	(外)撚で (内)撚で
第116図— 146	土師	—	色; (外)5V7/6 橙～2.5V6/6 橙 (内)7.5V7/4 にぶい橙	脚部外反する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	高坏	—	胎;雲母・細砂粒含む 焼;良好	脚部外反する	(外)撚で (内)撚で
第116図— 147	土師	4.9 10.6 脚部のみ	色; (外)7.5V8/6 淡黄緑 (内)5V7/6 橙	脚部外反する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	高坏	7.5 12.5 脚部2/3	胎;雲母・細砂粒含む 焼;良好	脚部外反する 粘土帯積上げ	(外)撚で (内)撚で
第116図— 148	土師	—	色; (外)7.5V8/2 淡白 (内)7.5V8/2 灰白	脚部外反する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	高坏	—	胎;粗砂粒含む 焼;良好	脚部外反する	(外)撚で (内)撚で
第116図— 149	土師	3.9 13.4 脚部1/2	色; (外)5V7/6 橙 (内)2.5V7/6 橙～N5/灰	脚部外反する	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	高坏	—	胎;雲母・細砂粒含む 焼;良好	脚部大きく聞く 据部面取りを施す	(外)撚で (内)撚で
第116図— 150	土師	2.3 7.0 脚部のみ	色; (外)5V5/6 明赤褐 (内)5V5/6 明赤褐	脚部大きく聞く 据部面取りを施す	(外)撚で (内)撚で
5号構跡	坏	12.8 4.9 — 1/2	胎;粗砂粒含む 焼;良好	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撚で (内)黒色処理
第116図— 151	土師	—	色; (外)5V4/4 にぶい 橙～2.5V7/2 にぶい 橙 (内)黒	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撚で (内)黒色処理
5号構跡	坏	13.6 5.2 口縁部1/2	胎;雲母・細砂粒含む 焼;良好	口縁部開く	(外)撚で (内)黒色処理
第116図— 152	土師	—	色; (外)10V7/2 にぶい 黄緑 (内)黒	口縁部開く	(外)撚で (内)黒色処理
5号構跡	坏	15.6 5.1 — 1/2	胎;石英・雲母・細砂粒含む 焼;良好	丸底より立ち上がり、口 縁部開きに内湾する	(外)撚で (内)黒色処理
第116図— 153	土師	—	色; (外)10V7/3 にぶい 黄緑 (内)黒	丸底より立ち上がり、口 縁部開きに内湾する	(外)撚で (内)黒色処理

第55表 遺物観察表(27)

遺傳 No. 図版 No.	部種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様のほか	整 形 ほ か
5号構跡	坏	16.5 4.1 — 1/3	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/3に似い黄橙 (内)黒	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に縫を持ち、口縁密閉く	(外)撫で (内)黒色処理
第116図-154	土師	16.8 3.2 — 4/5	胎;雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/6 橙～N3/暗灰 (内)黒	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に縫を持ち、口縁密閉く	(外)撫で (内)黒色処理
5号構跡	坏	18.0 3.0 — 1/3	胎;雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/6 橙～N3/暗灰 (内)黒	丸底より外傾して立ち上がり、体部下位に縫を持ち、口縁密閉く	(外)撫で (内)黒色処理
第116図-156	土師	16.5 3.1 — 1/3	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/2に似い黄橙～N3/暗灰 (内)黒	体部下位に縫を持ち、口縁密閉く	(外)撫で (内)黒色処理
5号構跡	坏	16.5 3.1 — 1/3	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/2に似い黄橙～N3/暗灰 (内)黒	口縁部屈曲外反する	(外)撫で (内)黒色処理
第116図-157	土師 口縁部 1/5	— 4.8	胎;雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR8/3 浅黄橙 (内)黒	口縁部屈曲外反する	(外)撫で (内)黒色処理
5号構跡	有段壺	— 9.1	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/4に似い橙 (内)坏部 黑 脚部 5YR7/4に似い橙	脚部外反する	(外)撫で (内)坏部黒色処理
第116図-159	土師 脚部一部	— 7.7	胎;雲母-繩-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/3に似い黄橙～N3/暗灰 (内)黒	脚部外反する	(外)撫で (内)坏部黒色処理
5号構跡	高坏	— 5.9	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/4に似い橙 (内)脚部 黑 脚部 5YR7/4に似い橙	脚部外反する	(外)撫で (内)坏部黒色処理
第116図-160	土師 脚部一部	— 10.7	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR7/3に似い黄橙～N3/暗灰 (内)黒	脚部ラック状に開く	(外)撫で (内)坏部黒色処理
5号構跡	高坏	— 4.2	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/6 橙 (内)坏部 黑 脚部 5YR7/6 橙	接合部	(外)撫で (内)坏部黒色処理
5号構跡	高坏	— 5.5	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)10YR5/6 黄褐 (内)黒	坏部下位に縫を有する	(外)撫で (内)坏部黒色処理
第117図-163	土師 接合部のみ	— 1/4	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～N2/黒 (内)5YR5/6 明赤褐～N2/黒	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
5号構跡	ミナフ 7	10.8 6.5	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR5/6 明赤褐～N2/黒 (内)5YR5/6 明赤褐～N2/黒	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
第117図-164	土師	— 1/4	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR4/1に似い赤褐～N1 黑褐 (内)5YR4/4に似い赤褐	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
5号構跡	ミナフ 7	10.8 4.6	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR4/1に似い赤褐～N1 黑褐 (内)5YR4/4に似い赤褐	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
第117図-165	土師	— 1/4	胎;粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR4/1に似い赤褐～N1 黑褐 (内)5YR4/4に似い赤褐	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
5号構跡	ミナフ 7	5.2 4.1 2.6 完存	胎;石英-雲母-粗砂粒含む 燒;良好 色;(外)7.5YR7/4に似い橙～N2/黒 (内)7.5YR7/4に似い橙	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
第117図-166	土師	3.3 0.4	胎;微砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/4に似い橙～10YR8/1灰白 (内)10YR8/1灰白	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
5号構跡	ミナフ 7	2.9 2.3 完存	胎;微砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/4に似い橙～10YR8/1灰白 (内)10YR8/1灰白	手捏ね	(外)撫で (内)撫で
第117図-168	土師	3.2 2.9 2.3 完存	胎;微砂粒含む 燒;良好 色;(外)5YR7/4に似い橙～10YR8/1灰白 (内)10YR8/1灰白	手捏ね	(外)撫で (内)撫で

第56表 遺物觀察表(28)

遺構 No 図版 No	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
5号溝跡 第117図-169	土師 土師	5.9 2.7 — 1/4	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR7/8 棚~5Y6/1 黒 (内)2.5YR6/8 棚	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第117図-170	土師 土師	7.8 2.4 6.4 1/5	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR5/6 棚 (内)5YR6/6 棚	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第117図-171	土師 土師	— 4.5 3.0 底部のみ	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR8/3 浅黄褐 (内)10YR7/3 にぶい黄橙	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第117図-172	土師 須恵 ほむけ	— 6.0 4.8 底削のみ	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR6/3 にぶい褐~5/1 暗灰 (内)7.5YR5/1 暗灰	手捏ね	(外)擦で (内)擦で
5号溝跡 第117図-173	坏 坏	11.0 4.5 — 色: (外)N6/灰 (内)N6/灰	胎:白色砂粒含む 焼:良好 色: (外)N6/灰 (内)N6/灰	丸底より立ち上がり、受部に伸び、口唇部外反する 底削回輪切り	(外)輪廓による擦で 底部に免記号を有す (内)輪廓による擦で
5号溝跡 第117図-174	坏 須恵 ほむけ	— 4.1 — 底部のみ	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:不良 色: (外)10YR7/1 黄白 (内)10YR7/2 にぶい黄橙	丸底より立ち上がり、口輪部外反する 底部回輪切り	(外)輪廊による擦で (内)輪廊による擦で
5号溝跡 第117図-175	長颈 壺 須恵 ほむけ	— 7.8 5.0 胸部1/2	胎:石英-雲母-粗砂粒含む 焼:不良 色: (外)N5/灰~7.5YR7/4 にぶい橙 (内)N5/灰~7.5YR7/4 にぶい橙	平底より内窵して立ち上がる	(外)輪廊による擦で (内)輪廊による擦で
5号溝跡 第117図-176	壺 須恵 ほむけ	10.9 11.2 — 色: (外)5YR5/3 にぶい赤褐~N5/灰 (内)5YR5/3 にぶい赤褐~2.5YR6/6 水滴	胎:白色砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR5/3 にぶい赤褐~N5/灰 (内)5YR5/3 にぶい赤褐~2.5YR6/6 水滴	丸底より立ち上がり、胴部球状を呈し、口縁部に腰を有し、外反する。 胴部に1孔を有する	(外)輪廊による擦で 沈線・波状文を施す (内)輪廊による擦で
6号溝跡 第118図-1	坏 土師	11.8 4.0 — 1/2	胎:焼:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR7/6 棚~7/3 にぶい橙 (内)5YR7/6 棚	丸底より立ち上がり、口輪部開く	(外)擦で (内)擦で
6号溝跡 第118図-2	坏 土師	13.8 5.0 — 1/2	胎:焼:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)2.5YR7/2 黄灰~6/1 黄灰 (内)2.5YR6/1 黄灰	丸底より立ち上がり、口輪部内窵する	(外)擦で (内)擦で
6号溝跡 第118図-3	坏 土師	14.4 4.5 — 口縁第一部	胎:焼:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)5YR6/6 棚 (内)5YR7/4 にぶい橙~6/6 棚	体部中位に腰を持ち、口輪部開く	(外)擦で (内)擦で
6号溝跡 第118図-4	坏 土師	18.2 2.5 9.0 1/4	胎:焼:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR7/2 にぶい黄褐~6/8 にぶい黄褐 (内)2.5YR7/6 棚	平底より外傾して立ち上がり、体部下位に腰を持ち、口縁部大きく開く	(外)刷毛調整後擦で (内)擦で
6号溝跡 第118図-5	壺 土師	21.2 47.0 7.5 2/3	胎:石英-粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR7/4 にぶい橙~N2/黒 (内)N6/灰~3/暗灰	平底より外傾して立ち上がり、胴部下位に張りを持ち、口縁部「コ」状を呈する	(外)刷毛調整 (内)刷毛調整
6号溝跡 第119図-6	壺 土師	19.2 18.4 — 口縁3/4胸部1/2	胎:石英-焼:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)10YR7/4 にぶい黄橙 (内)10YR7/4 にぶい黄橙	口縁部「コ」状を呈する。口唇部面取りを施す	(外)刷毛調整後擦で (内)擦で
6号溝跡 第119図-7	壺 土師	18.2 13.4 — 口縁先胸部一部	胎:焼:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外)7.5YR5/1 黑~3/1 オリーブ黒 (内)7.5YR5/1 黑	口縁部「コ」状を呈する 口唇部面取りを施す 粘土帶積上テ	(外)擦で (内)擦で

第57表 遺物観察表(29)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
6号溝跡	甕	19.0 6.0	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)10W7/2にぶい黃澄-N3/暗灰	口縁部外反する。 口唇部面取りを施す	(外)刷毛調整
第119図-8	土師	-	(内)10W7/2にぶい黃澄-N3/暗灰		(内)刷毛調整後焼で
6号溝跡	甕	20.0 7.0	胎; 石英-磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5W7/6 橙	口縁部外反する。 粘土帶積上げ	(外)焼で
第119図-9	土師	-	(内)7.5W7/4 橙	口唇部面取りを施す	(内)焼で
6号溝跡	甕	15.6 20.0	胎; 石英-磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5W7/4にぶい橙-N3/暗灰	口縁部外反する	(外)焼で
第119図-10	土師	-	(内)N3/暗灰		(内)焼で
6号溝跡	甕	11.0 8.8 4.2 3/4	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)SYW6/6 橙 (内)SYW6/6 橙	平底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外)焼で (内)焼で
第120図-11	土師	-			
6号溝跡	甕	- 3.8 7.4 底部一部	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5W7/1灰白-N3/暗灰 (内)黒	平底	(外)焼で (内)副毛調整
第120図-12	土師	-			
6号溝跡	甕	10.5 5.6 脣部1/4底部充	胎; 石英-磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)SYW6/6 橙-N3/暗灰 (内)N3/暗灰	平底より外傾して立ち上 がる	(外)焼で (内)焼で
第120図-13	土師	-			
6号溝跡	甕	- 4.2 7.4 底部のみ	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)N3/暗灰 (内)SYW1/1灰	平底	(外)焼で (内)焼で
第120図-14	土師	-			
6号溝跡	甕	- 3.5 7.4 底部のみ	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)10W7/3にぶい黃澄-N3/暗灰 (内)10W7/3にぶい黃澄	平底	(外)施削り (内)焼で
第120図-15	土師	-			
6号溝跡	甕	- 3.3 5.6 底部のみ	胎; 石英-雲母-磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)SYW6/4にぶい橙-N3/暗灰 (内)SYW6/4にぶい橙	平底	(外)焼で (内)焼で
第120図-16	土師	-			
6号溝跡	甕	9.5 7.7 口縁部1/2	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)10W7/1灰白 (内)10W7/1灰白	口縁部直線的に開く 粘土帶積上げ	(外)焼で (内)焼で
第120図-17	土師	-			
6号溝跡	甕	8.2 6.5 口縁部1/3	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)2.5W7/1灰白 (内)2.5W7/1灰白-N3/暗灰	口縁部直線的に開く	(外)焼で (内)焼で
第120図-18	土師	-			
6号溝跡	甕	11.6 3.4 口縁部1/4	胎; 雲母-磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)10W7/3にぶい黃澄 (内)10W7/3にぶい黃澄	口縁部内寄する	(外)焼で (内)焼で
第120図-19	土師	-			
6号溝跡	高坏	- 5.4 接合部のみ	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)10W7/3にぶい黃澄 (内)10W7/3にぶい黃澄	接合部	(外)焼で (内)焼で
第120図-20	土師	-			
6号溝跡	坏	19.8 7.0 1/8	胎; 磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)7.5W7/3にぶい橙-N3/暗灰 (内)黒	平底より立ち上り、口 縁部幅かに外反する	(外)焼で (内)黑色処理
第120図-21	土師	-			
6号溝跡	坏	- 3.1 底部のみ	胎; 石英-磁-粗砂粒含む 燒; 良好 色; (外)N5/灰 (内)N5/灰	丸底 底部削出切り	(外)輪縫による焼で (内)輪縫による焼で
第120図-22	須恵	-			

第58表 遺物觀察表(30)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様(ほか)	整 形 ほ か
7号溝跡 第121図-1	壺 土師	15.1 5.3 - 1/3	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR6/6 橙～N3/暗灰 (内)2.5YR6/6 明赤褐	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撫で (内)撫で
7号溝跡 第121図-2	壺 土師	12.2 4.5 - 1/2	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/4 にぶい 橙～N3/暗灰 (内)7.5YR7/4 にぶい 橙	丸底より立ち上がり、口 縁部開き内窓する	(外)撫で (内)撫で
7号溝跡 第121図-3	壺 土師	17.8 2.7 - 口縁部一部	胎:細砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR4/6 赤褐～4/1 暗灰 (内)SYR4/6 橙	体部下位に稜を持ち、口 縁部大きく開く	(外)撫で (内)撫で
7号溝跡 第121図-4	甕 土師	- 3.6 7.5 底部のみ	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR3/3 にぶい 橙 (内)7.5YR3/3 にぶい 橙	平底	(外)撫で (内)撫で
7号溝跡 第121図-5	甕 土師	- 4.7 8.4 底部1/4	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR4/4 にぶい 橙～5/4 にぶい 橙 (内)7.5YR4/4 にぶい 橙	平底	(外)撫で (内)撫で
7号溝跡 第121図-6	甕 土師	- 3.4 7.4 底部1/4	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR4/6 赤褐 (内)7.5YR5/6 明赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
7号溝跡 第121図-7	壺 土師	12.8 4.7 - 1/4	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR8/3 浅黄橙 (内)黒	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外)撫で (内)黒色処理
8号溝跡 第122図-1	甕 土師	25.0 3.3 - 口縁部一部	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR6/8 橙～6/2 灰褐 (内)5YR6/8 橙～7/4 にぶい 橙	口縁部外反する 口唇部面取りを施す	(外)撫で (内)撫で
8号溝跡 第122図-2	甕 土師	- 3.5 4.4 底部1/2	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR5/6 明赤褐 (内)7.5YR5/2 灰褐～6/1 にぶい 橙	平底	(外)撫で (内)撫で
8号溝跡 第122図-3	甕 土師	- 3.5 7.0 底部一部	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)5YR5/4 にぶい 赤褐 (内)5YR5/4 にぶい 赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
8号溝跡 第122図-4	甕 土師	- 3.8 7.0 底部一部	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)7.5YR7/4 にぶい 橙 (内)7.5YR7/4 にぶい 橙	平底	(外)撫で (内)撫で
7号土壤 第123図-1	壺 土師	12.8 5.0 - ほぼ完存	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)10YR4/2 灰褐 (内)10YR4/1 暗灰	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外)撫で (内)撫で
75号ビット 第124図-1	壺 土師	14.8 4.5 - 1/8	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5Y7/4 浅黄 (内)10YR8/1 灰白	丸底より立ち上がり、口 縁部開く	(外)撫で (内)撫で
77号ビット 第124図-2	甕 土師	- 4.0 7.5 底部1/4	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)2.5YR4/4 にぶい 赤褐 (内)2.5YR5/6 明赤褐	平底	(外)撫で (内)撫で
122号ビット 第124図-3	甕 土師	18.2 7.2 - 口縁部3/8	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色:(外)SYR5/6 橙 (内)7.5YR7/4 にぶい 橙	口縁部外反する	(外)撫で (内)撫で

第59表 遺物観察表(31)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法量	器質	成形・形態・文様ほか	整形ほか
212号ピット 第124図-4	壺 土師	13.0 5.3 — 1/4	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 5Y4/1 灰 (内) 黒	丸底より立ち上がり、口 縁部外反する	(外) 振で (内) 黒色処理
A区遺構外 第125図-1	壺 土師	12.2 5.3 — 2/3	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 10YR7/2 に近い・黄橙～N3/暗灰 (内) 10YR7/2 に近い・黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内弯する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-2	壺 土師	11.4 4.8 — 3/4	胎:石英・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 10YR7/2 に近い・黄橙 (内) 7.5Y3/1 オリーブ黒	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内弯する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-3	壺 土師	13.6 5.3 — 1/2	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) SYR7/4 に近い・燈～7/1 明褐色 (内) SYR7/4 に近い・燈～8/2 灰白	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内弯する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-4	壺 土師	14.8 4.8 — 1/3	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 2.5YR6/6 暗 (内) 2.5YR6/6 暗～7/1 明暗灰	丸底より立ち上がり、口 縁部外傾する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-5	壺 土師	13.1 5.2 — 1/5	胎:石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 10YR5/1 暗灰 (内) 10YR7/2 に近い・黄橙	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-6	瓶 土師	— 5.0 2.0 底部一部	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR5/1 暗灰 (内) 7.5YR5/2 灰褐色	底部に1孔を有する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-7	壺 土師	8.2 4.8 — 口縁部のみ	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR7/4 に近い・燈 (内) 7.5YR7/4 に近い・燈	口縁部直線的に開く	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-8	壺 土師	— 9.5 — 体部3/4	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR7/3 に近い・燈 (内) 7.5YR7/3 に近い・燈	丸底より立ち上がり、体 部偏平な球状を呈する	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-9	高壺 土師	— 7.5 13.0 脚部3/4	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR7/4 に近い・燈～8/2 灰白 (内) 7.5YR8/2 灰白	脚部大きく開く	(外) 振で (内) 振で
A区遺構外 第125図-10	高壺 土師	— 5.4 13.4 脚部1/4	胎:礫・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR7/3 に近い・燈～7/6 暗 (内) 7.5YR7/6 暗～7/2 明褐色	脚部大きく開く	(外) 振で (内) 振で
B区遺構外 第126図-1	壺 土師	11.8 6.6 — 2/3	胎:石英・雲母・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 10YR5/3 に近い・黄橙～N2/黒 (内) 5mm3/に近い・黄～2.5YR7/1 オリーブ黒	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内弯する	(外) 振で (内) 振で
B区遺構外 第126図-2	壺 土師	13.8 4.6 — 1/2	胎:石英・粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR7/1 に近い・燈～2.5YR6/6 暗 (内) 10YR7/3 に近い・黄橙～SYR7/6 暗	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに内弯する	(外) 振で (内) 振で
B区遺構外 第126図-3	壺 土師	18.8 8.4 — 1/3	胎:粗砂粒含む 焼:良好 色: (外) 7.5YR8/3 浅黄橙～2.5YR7/1 灰白 (内) 7.5YR8/3 浅黄橙～2.5YR7/1 灰白	丸底より立ち上がり、口 縁部僅かに外反する	(外) 振で (内) 振で

第60表 遺物観察表(32)

遺構No.	図版No.	遺物名称	色調	法量			
				長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
5号溝跡	第127図-1	匙型土製品	7.5YR5/6明褐	17.00	6.50	0.60	182.10
5号溝跡	第127図-2	匙型土製品	7.5YR6/6橙	8.80	3.30	1.90	52.86
5号溝跡	第127図-3	不明	10YR7/3にぶい黄橙	5.90	1.10	1.10	12.83
5号溝跡	第127図-4	不明	10YR7/3にぶい黄橙	5.30	0.60	0.60	1.78

第61表 土製品観察表

遺構No.	図版No.	遺物名称	色調	法量			
				長さ(cm)	外径(cm)	口径(cm)	重量(g)
5号溝跡	第127図-5	羽口	7.5YR7/4にぶい橙	6.30	—	—	86.76

第62表 羽口観察表

遺構No.	図版No.	遺物名称	材質	色調	法量			
					長さ(cm)	幅(cm)	孔径(cm)	厚さ(cm)
27号建物跡P6	第128図-1	臼玉	石墨片岩	10GY2/1緑灰	0.70	0.60	0.30	0.40
27号建物跡P6	第128図-2	臼玉	石墨片岩	7.5GY3/1暗緑灰	0.60	0.60	0.30	0.40
1号溝跡	第128図-3	管玉	石墨片岩	7.5GY6/1緑灰	1.90	0.50	0.20	0.40
1号溝跡	第128図-4	管玉	石墨片岩	10BG1.7/1青黒	2.20	0.70	0.50	0.70
5号溝跡	第128図-5	管玉	石墨片岩	10G2/1緑黒	2.50	0.50	0.30	0.40
1号溝跡	第128図-6	模造品	絹雲母片岩	7.5Y7/1灰白	3.10	2.90	0.20	0.30
2号溝跡	第128図-7	模造品	滑石	2.5Y6/1黄灰	2.90	2.10	0.20	0.40
4号溝跡	第128図-8	石鐵	珪岩	2.5GY6/1オリーブ灰	2.50	2.10	—	0.40
5号溝跡	第128図-9	石鐵	黒耀石		2.70	1.50	—	0.40
遺構外	第128図-10	石鐵	黒耀石		2.80	1.90	—	0.60
								1.58

第63表 石製品観察表

第5節 小 結

今回発掘調査を実施した西之手遺跡の調査面積は、第2次調査部分とあわせると約16,000 m²に及んでいる。この面積は、近年の上田市の発掘調査としては、かなり大規模なものとなる。

今回の発掘調査により西之手遺跡は、古墳時代中期後半から後期前半の大規模な溝と掘立柱建物群で構成された、特異な集落遺跡であるということが明らかになった。さらに、これまで比較的開発が遅いと考えられていた染屋台において、古墳時代中期後半には、かなり大規模な開発行為があったということが実証された。これらのこととは、上小地域の古墳時代のあり方を理解し、また、染屋台の開発の起源を探るうえで、今後に重要な示唆を与えるであろう。この節では、第2次調査の成果も踏まえて、今回の発掘調査により明らかになった事実と今後の課題を簡単にまとめてみたい。

まず、掘立柱建物跡についてである。今回確認された38棟の掘立柱建物跡を1つのまとまりとしてとらえてみると、ある一定期間このまとまりが存続し、建物が数期にわたって変遷していくと考えられる。その存続期間は、建物跡自体からの遺物の出土が微少であるためはつきりしたことはいえない。しかし、その存続期間と溝跡出土の土器の時期が一致すると考えれば、古墳時代中期後半から後期前半とみてほぼ間違いない。

この建物群の興味深い点は、側柱式建物を中心構成されており、総柱式建物・竪穴住居が確認されなかったことである。一般的な集落は、側柱式建物・総柱式建物・竪穴住居が混在して構成されている。仮に、西之手遺跡を一般的な集落とすると、この建物群は集落の一部分ということになり、近隣地に竪穴住居群等が存在する非常に大規模な遺跡ということがいえるであろう。また、この建物群が単独で集落として存在するならば、西之手遺跡はかなり特殊な性格を持つ集落ということになるであろう。この特殊な性格が、何に起因するのかを判断することは、現時点では難しい。このことについては、類例の増加と今後の研究に期待したい。

次に、溝跡についてである。今回の発掘調査において、特に、注目されるべき溝跡は、第2・5号である。両者とも遺構全体を確認することはできなかつたが、今回確認した部分だけでも非常に大規模な溝跡であることは明白である。両者あわせて、土器の出土量は、コンテナ30箱以上を数えた。しかし、両者における遺物の出土状況は大きく異なっている。

第2号からは、30点以上の一括土器が出土した。その出土状況から祭祀的な性格を帶びた遺物である可能性が感じられた。第5号では、この溝の東端から約25m部分の溝底には大小の円碟は存在するが、遺物はほとんど確認できなかつた。この部分から西側については一括土器の出土はほとんど確認されなかつたが、小破片の土器が大量に出土し、土

器棄て場ともいえる様相を呈していた。このことは、この部分についてのみ、土器の廃棄が行われたことを示し、興味深い。これらのことから、今回の発掘調査の範囲に限定すると、第2・5号を土器の遺棄あるいは廃棄場所として二次的に利用していることがわかる。

それでは、第2・5号の形成されたそもそもその目的は何であろうか。覆土の観察所見から考えると、両者とも機能時には水流があったものと推定できる。染屋台が自然流の乏しい乏水地域であることを考慮すると、その目的は、第一に、溝による水の確保ということが挙げられる。

さらに、もう一つの側面として、区画としての溝の可能性があるのではないだろうか。第2号は、一部分のみの確認であり、第6号との接続も推測の域を出ない。だが、第5号は、西之手遺跡第2次調査で確認された第1号溝跡とかなり高い確率で接続すると思われる。第2次調査の結果によると、第2次調査範囲付近が西之手遺跡の東側の縁辺部に相当するとの指摘がなされている。このため、第2次調査の第1号溝跡は、西之手遺跡の東端を区切る溝と考えられる。

仮に、第5号と西之手遺跡第2次調査で確認された第1号溝跡が接続するならば、第5号についても同様に区画としての機能があると考えることはできないだろうか。ただし、第5号の北側にも掘立柱建物跡が確認されているので、西之手遺跡の北端を区画する溝というよりは、集落内を何らかの目的で区画する溝なのではないだろうか。今後の調査の進展次第では、さらに、明確な事実が明らかにされるであろう。

2次にわたる発掘調査によって、西之手遺跡は、大規模な溝跡と掘立柱建物群で構成された遺跡であることが明らかになった。しかし、遺跡全体について調査が行われたわけではない。では、この遺跡のひろがりはどの程度になるのだろうか。

A区は、第2号溝跡が南北にひろがる以外は、大きくひろがる可能性は少ないであろう。B区は、第2次調査範囲付近を西之手遺跡の東端とすれば、その北、南、西側に掘立柱建物群が展開するだろう。

特に、西側は桁行5間の大型の掘立柱建物跡が2棟確認された。各柱穴の平面形は、梢円形を呈し、柱自体の掘り方も明確である。このため、西之手遺跡の掘立柱建物群の中心は、B区の西側に存在すると考えられる。また、第5号溝跡をはさんで、3棟の掘立柱建物跡が確認されているので、北側にも掘立柱建物群が展開していくと思われる。これらの建物群と南側の掘立柱建物群と機能面で明確な違いがあるとすれば、注目される。

本来、遺跡の性格は、遺跡の大部分が明らかになってから論じられるべきものである。未調査区域の残る西之手遺跡についても、今回の成果のみでその性格を論じるのは難しい。このため、今後の課題を中心まとめてみたい。

西之手遺跡を特徴づけているものは、掘立柱建物群の存在である。この掘立柱建物群は、どのような機能を持っていたのだろうか。具体的にいって、この掘立柱建物群が、堅穴住

居のような居住空間としての性格を持つかどうかということである。

もし、この掘立柱建物群が居住空間としての性格を持つならば、これは、一般の竪穴住居と同様の機能を持っているということになる。では、なぜ竪穴住居を選択せずに、掘立柱建物が選択されたのだろうか。地形的な制約があるとは考えにくいので、実際に、この建物群に居住していた集団と一般の竪穴住居に居住していた集団の間には、何らかの違いがあったのではないかと考えられる。今のところ、その違いの背景を類推することはできない。しかしながら、一般の集落に居住する集団とは明らかに異なる特殊な集団が居住していた可能性が高い。

また、この掘立柱建物群が居住空間としての性格を持たないならば、この掘立柱建物群に関わる集団が周辺に居住していたことになり、西之手遺跡自体もかなり大規模なものとなってくる。このように、居住空間と居住空間ではない部分が明確に分けられるとすれば、おのずと西之手遺跡の性格も限られてくるのではないだろうか。つまり、掘立柱建物群(居住空間ではない部分)が、政治的な施設としての色合いを帯びてくるのではないだろうか。さらに、大胆な推測が許されるならば、西之手遺跡が染屋台周辺地域の当該期の政治的な中心地である可能性も考えていかなければいけないのではないかろうか。

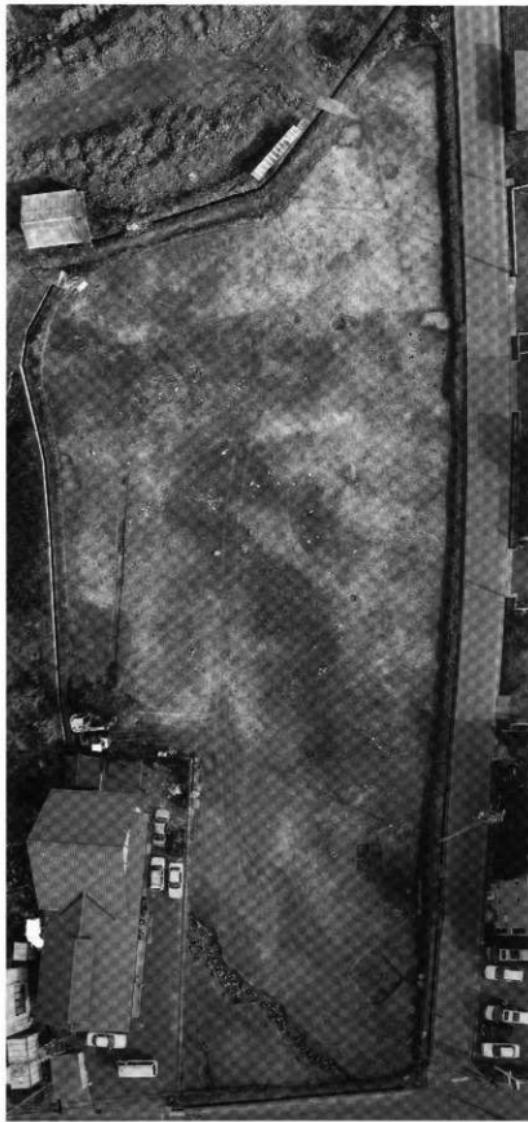
以上、簡単に今回の発掘調査についての成果をまとめた。あくまでも、遺跡の一部分を調査しただけなので、今後の調査の進展により遺跡の全貌が明らかになることを期待したい。

最後に、現在の発掘調査は、そのほとんどが何らかの開発行為に伴った記録保存を目的とした緊急調査である。調査方法も非常に詳細であり、調査期間も長期間にわたる。このため、経費はかなり高額になり、この負担は事業主体者にたよっている。このような状況下、計画段階を含めると約4年間という長期間にわたり、御理解と御協力をいただいた㈱やおふくの皆様に心より感謝を申し上げて小結としたい。

写 真 図 版



西之手遺跡発掘調査区域(平成6年5月撮影のものに合成)



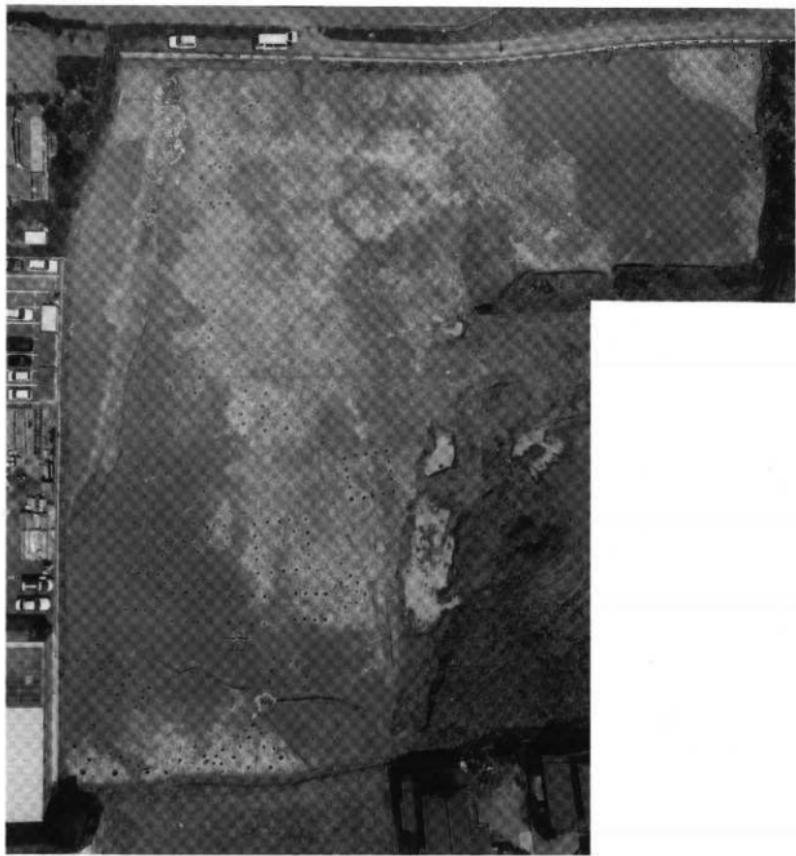
A区(上空から)



A区(南から)



A区(東から)



B区(上空から)



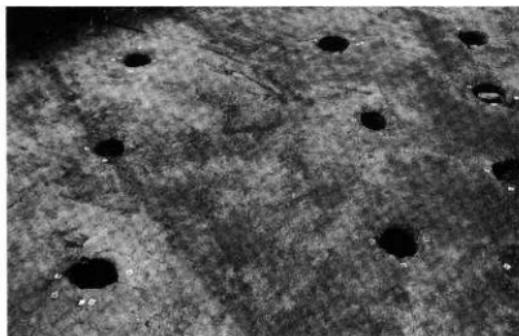
B区(南から)



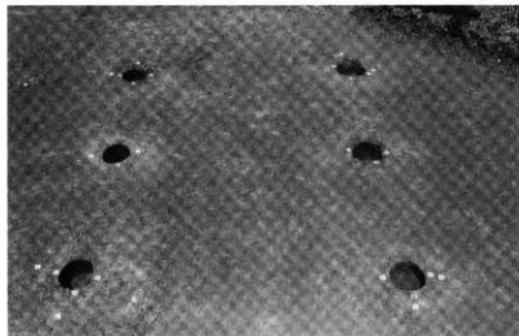
B区(東から)



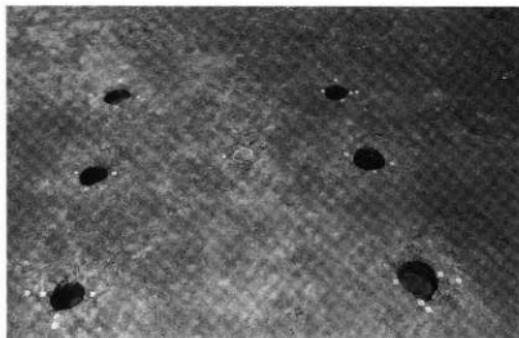
第1号掘立柱建物跡(南東から)



第2号掘立柱建物跡(南東から)



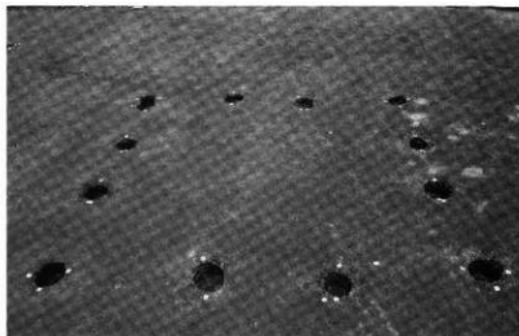
第3号掘立柱建物跡(南東から)



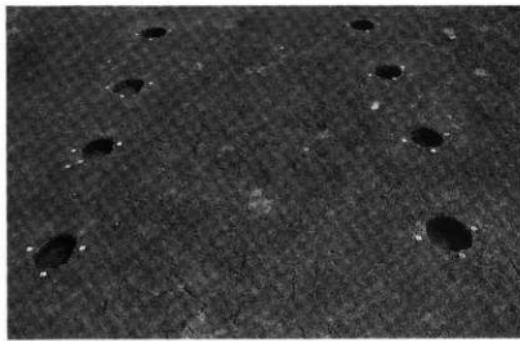
第4号掘立柱建物跡(南東から)



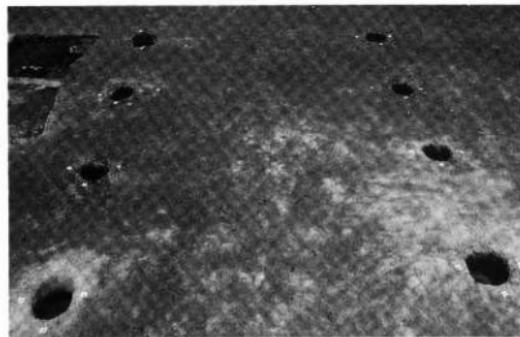
第5号掘立柱建物跡(南から)



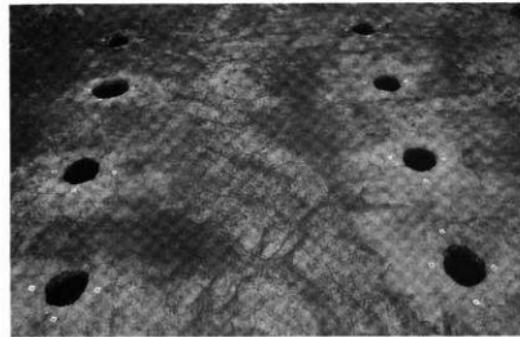
第6号掘立柱建物跡(南から)



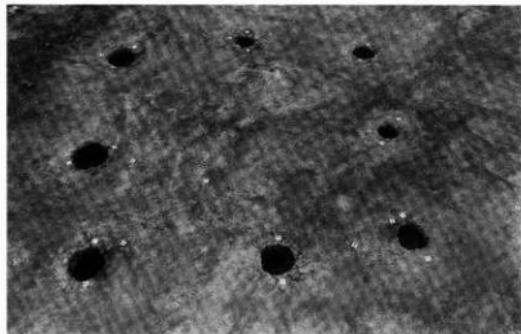
第7号掘立柱建物跡(南から)



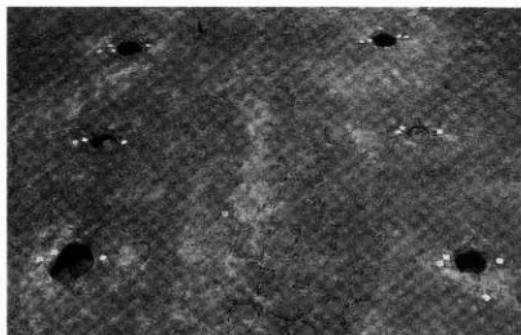
第8号掘立柱建物跡(南から)



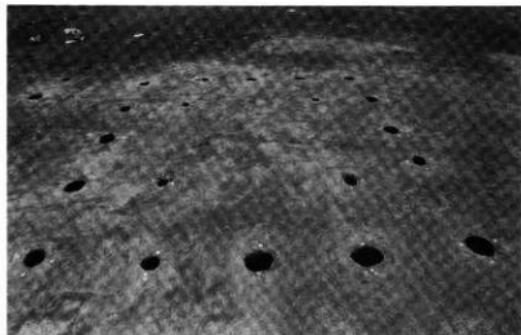
第9号掘立柱建物跡(南から)



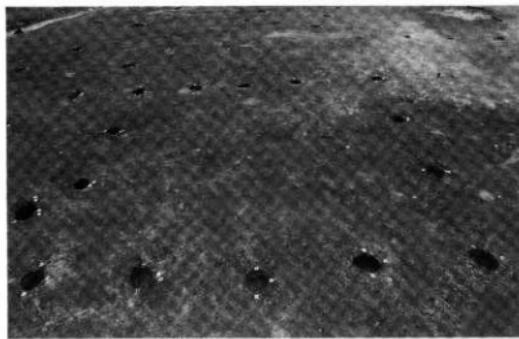
第10号掘立柱建物跡(北東から)



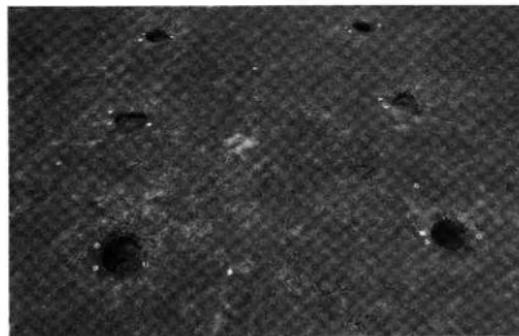
第11号掘立柱建物跡(東から)



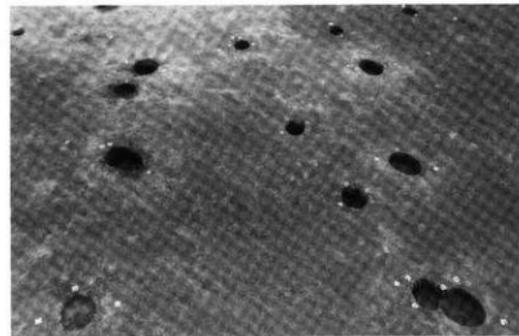
第12号掘立柱建物跡(南から)



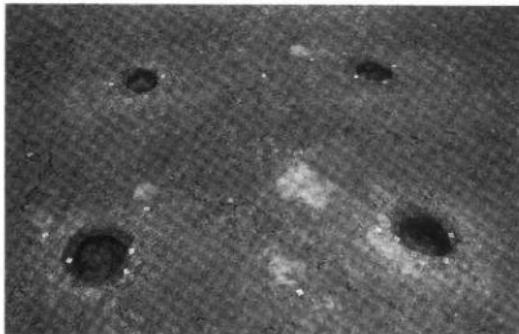
第13号掘立柱建物跡(西から)



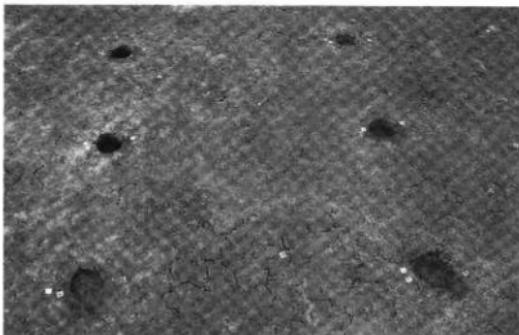
第14号掘立柱建物跡(南東から)



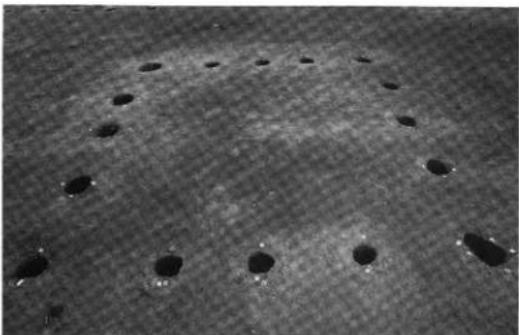
第15号掘立柱建物跡(北東から)



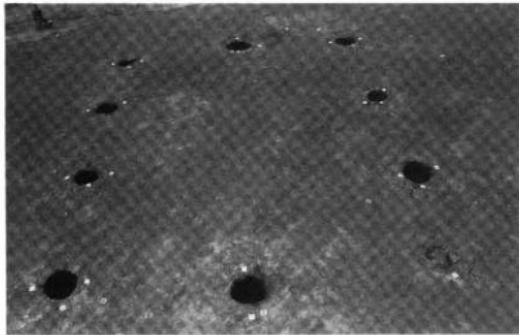
第16号掘立柱建物跡(南西から)



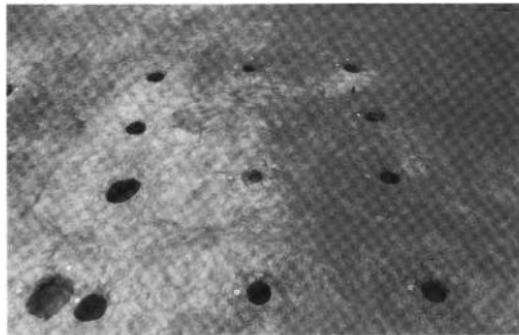
第17号掘立柱建物跡(南東から)



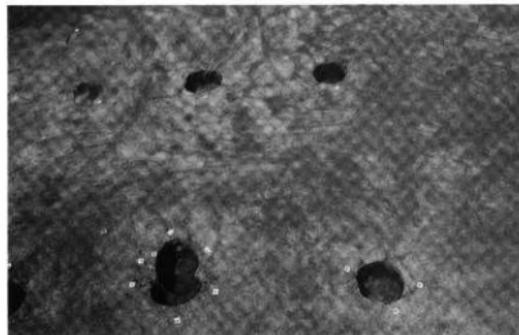
第18号掘立柱建物跡(南から)



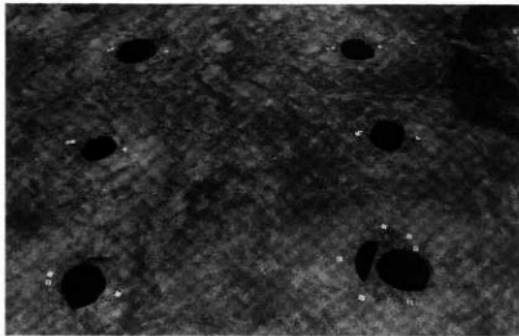
第19号掘立柱建物跡(南から)



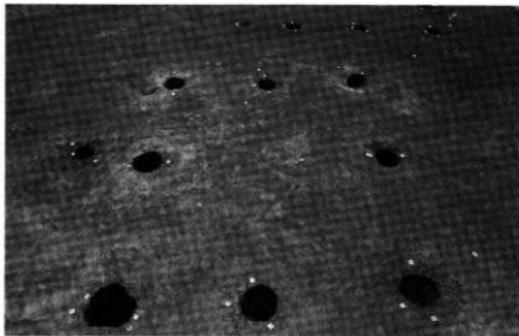
第20号掘立柱建物跡(東から)



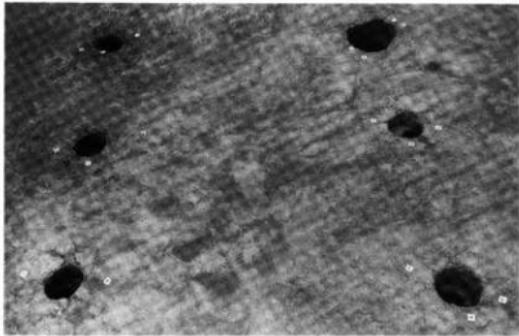
第21号掘立柱建物跡(南から)



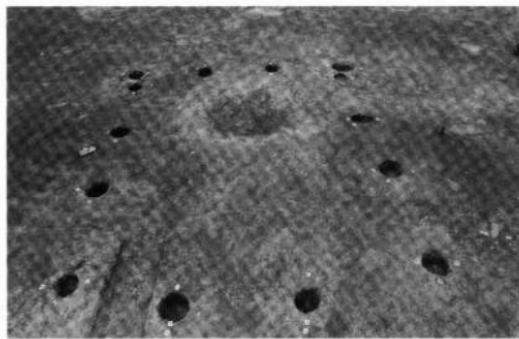
第22号掘立柱建物跡(東から)



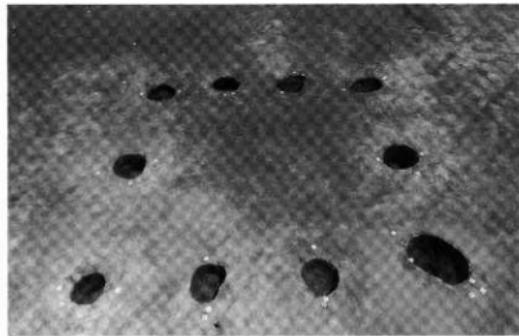
第23号掘立柱建物跡(東から)



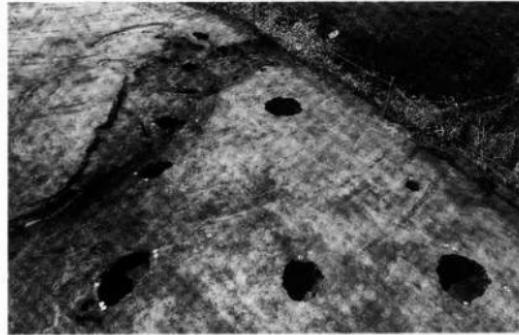
第24号掘立柱建物跡(南東から)



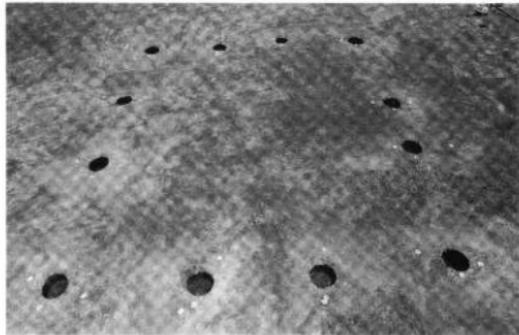
第25号掘立柱建物跡(南から)



第26号掘立柱建物跡(南から)



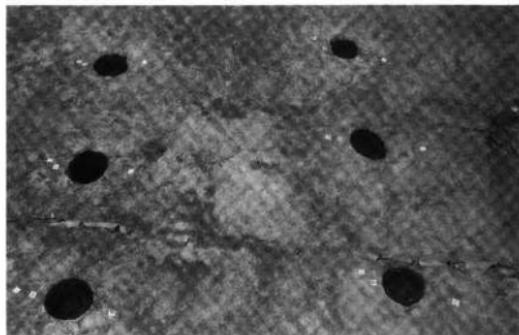
第27号掘立柱建物跡(北東から)



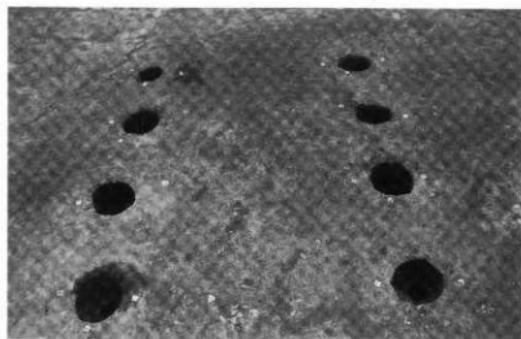
第28号掘立柱建物跡(南から)



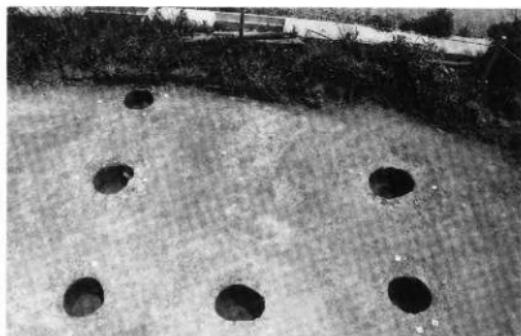
第29号掘立柱建物跡(南から)



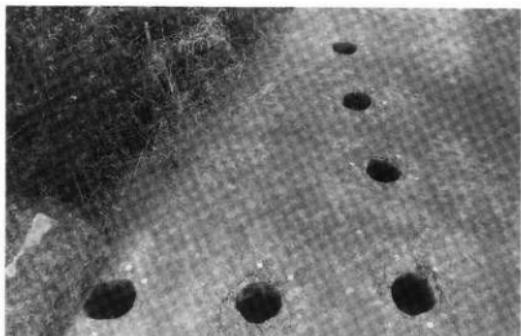
第30号掘立柱建物跡(東から)



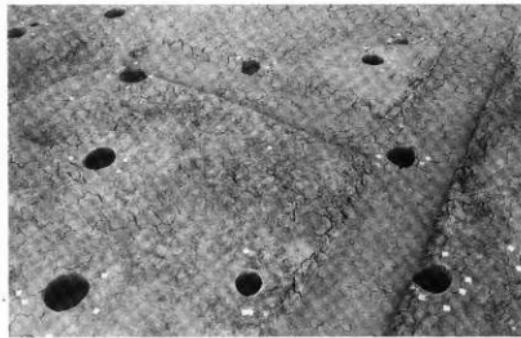
第31号掘立柱建物跡(南東から)



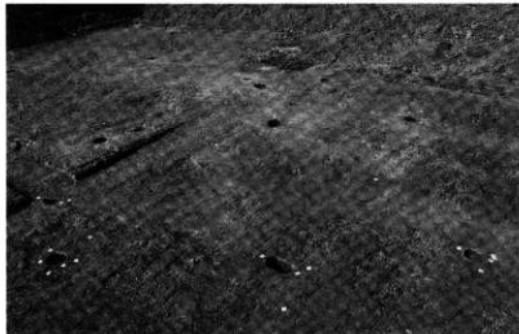
第32号掘立柱建物跡(西から)



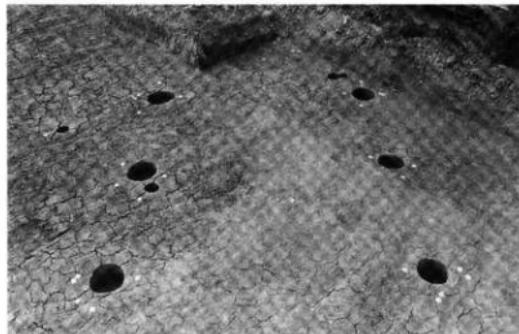
第33号掘立柱建物跡(北東から)



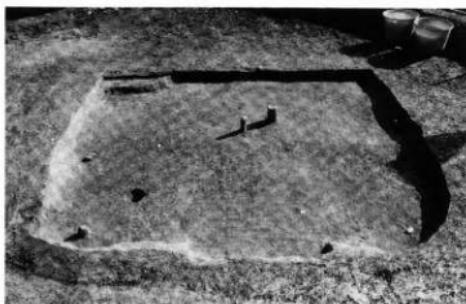
第34号掘立柱建物跡(南東から)



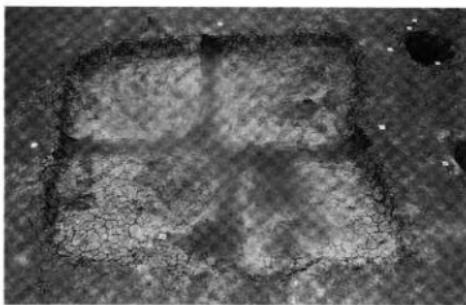
第35号掘立柱建物跡(南東から)



第36号掘立柱建物跡(北東から)



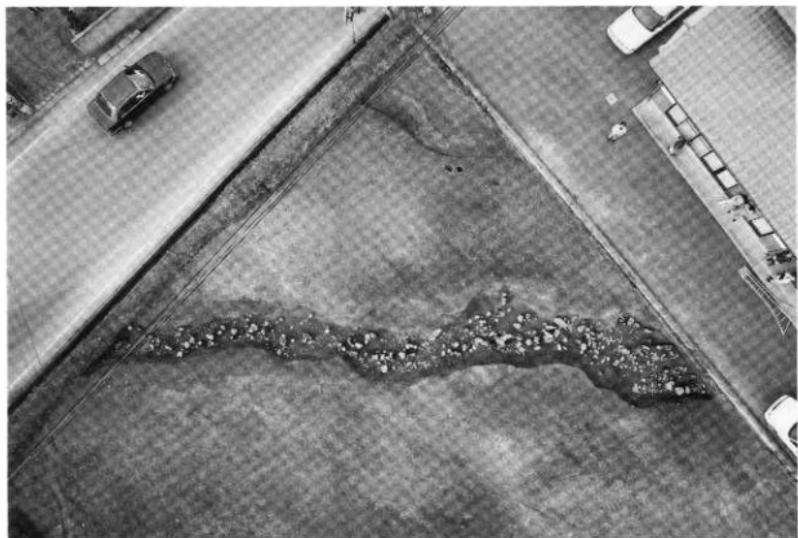
第1号竪穴住居跡(北から)



第2号竪穴状遺構(南から)



第1号溝跡(東から)



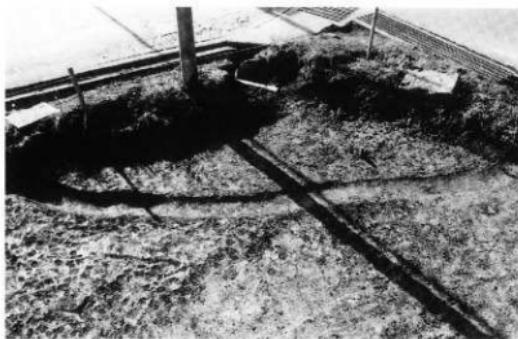
第2号溝跡(上空から)



第2号溝跡土器出土状況(北から)



第2号溝跡完掘状況(北から)



第3号溝跡(北から)



第4号溝跡(南西から)



第5号溝跡(西から)